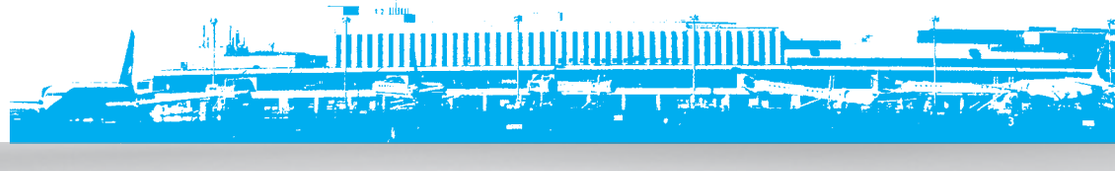
要覧ちとせ

令和８年版





2026

北海道千歳市

要覧ちとせ

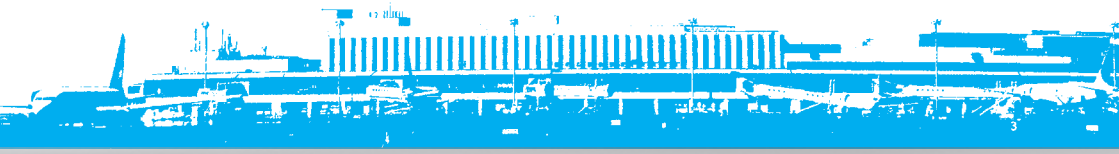
令和８年版

北海道千歳市

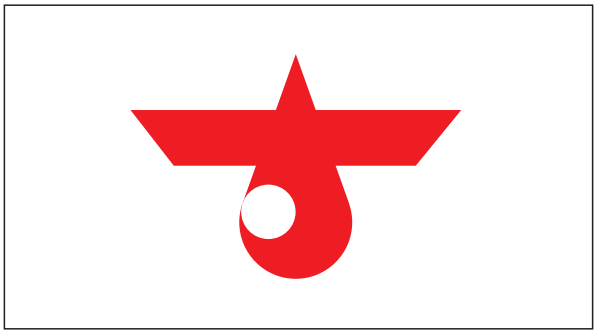
要覧ちとせ

令和８年版





北海道千歳市



千　歳　市　章

町制施行10周年を記念して昭和27（1952）年５月１日に制定し、その後、33（1958）年の市制施行によって市章となりました。

ちとせの「ち」を飛行機の形に図案化して、空港がある臨空都市を表現すると共に、国立公園支笏湖とその連山、豊かな大地など伸びゆく千歳の姿を描いています。

地　名　の　由　来

千歳の旧地名は、アイヌの人たちの言葉でシコツと呼ばれていました。シコツとは「大きなくぼ地又は谷」という意味で、大空に鶴が舞い、川にはサケが遡る、自然にあふれた大地でした。

シコツには、太平洋と日本海を結ぶルートのシコツ越えがあり、万治元（1658）年に現在の千歳神社の位置に志古津弁天小社が造営されるほどに、人の往来が多い地でした。

文化２（1805）年、シコツ場所担当の箱館奉行調役並山田鯉兵衛嘉充が箱館奉行羽太正養に、新しい地名を名付けてほしいと願い出ました。そこで、シコツの地には多くの鶴がいることから「鶴は千年、亀は万年」の故事から『千歳』と命名しました。

御　挨　拶

千歳市は、石狩平野の南端に位置し、国立公園支笏湖や清流千歳川などの豊富な自然に囲まれた住環境と陸・空の交通アクセスや生活利便性に優れた都市環境が調和する道央圏の中核をなす都市であります。

北海道の空の玄関口である新千歳空港は、本市はもとより、北海道内全体の地域活性化や観光振興に寄与しており、令和６年度から２年連続で過去最高の乗降客数を記録するなど、一層の賑わいを見せています。本市における空港の起源は、1926年（大正15年）、当時の千歳村民の勤労奉仕によって造成された一本の着陸場に「北海」第１号が飛来したことにあり、今年は空港開港100年の節目を迎えます。

そして「次世代半導体の国産化を目指した国家プロジェクト」への取組では、最先端の半導体を製造する工場と研究開発拠点が一体となった、国内には例がない強固なエコシステムが形成されることにより、本市に大きな波及効果をもたらすとともに、北海道全体の産業や経済の発展につながっていくものと考えており、本市といたしましても、「千歳市将来ビジョン」をもとに、まちのさらなる発展に向けた取組を進めてまいります。

また、本市の最上位計画である千歳市第７期総合計画で掲げる将来都市像『人をつなぐ　世界をつなぐ　空のまち　ちとせ』の実現に向け、今後も安全で安心できる魅力的なまちづくりに取り組んでまいります。

本書は、市勢の推移と現況を最新の統計資料に基づき体系的に総括したものであり、市民の皆様はもとより、千歳市に関心を寄せていただいている多くの方々に様々な情報をわかりやすくお伝えし、より身近に千歳市を感じていただきたいと考え、作成しております。

末筆ではございますが、刊行に当たり資料の御提供をいただきました関係各位に対し、心から感謝の意を表しますとともに、今後とも市政に対して一層の御指導、御協力をお願い申し上げ御挨拶といたします。

令和８年10月

千歳市長　横田隆一

千歳市民憲章

世界をつなぐ　北の大空。
千歳川の　清い流れ。
開拓　ここに一世紀。
私たちは、誇りある千歳市民です。
郷土の発展と、お互いのしあわせを願い、
この憲章をかかげて、力強く前進をつづけます。

1　心身をきたえ、仕事にはげみ、
　明るく　若々しい　まちにしましょう。
1　自然を愛し、季節に親しみ、
　快よく　楽しい　まちにしましょう。
1　きまりを守り、力を合わせて、
　美しく　住みよい　まちにしましょう。
1　年よりを敬い、子供の夢をはぐくみ、
　温かく　平和な　まちにしましょう。
1　文化を育て、希望にみちた、
　豊かな　おちついた　まちにしましょう。

昭和54（1979）年 7月1日制定



青葉公園入口に「希望」「健康」「自然」「連帯」「愛」をイメージする憲章像が5体建っています。平成３（1991）年 7月20日建立



市の鳥　ヤマセミ

市のシンボル

木	シラカバ	昭和43（1968）年 4 月 1 日制定
花	カツラ ツツジ ハナショウブ	昭和61（1986）年 4 月 1 日制定
鳥	コウライキジ ヤマセミ	昭和61（1986）年 4 月 1 日制定
魚	ヒメマス サ　ケ	平成 8（1996）年11月 1 日制定



千歳市都市宣言塔　平成４（1992）年３月31日建設

交通安全都市宣言

産業、経済、文化の著しい発展向上に伴う車両交通の増加により、交通事故は、年々増加の傾向にあり、大きな社会問題となっている。

これら交通事故による悲惨な事故を防止し、市民生活の安全を守るためには、交通環境の改善を図るとともに、全市民が安全交通の自覚に徹することが必要である。

よって、千歳市は、関係機関の総力を結集し、全市民の一致協力のもとに、安全運動を強力に推進し、交通事故のない明るい都市の建設を期し、ここに千歳市を『交通安全都市』とすることを宣言する。

昭和37年３月12日

清く明るく正しい選挙都市宣言

選挙は、民主政治の基盤であり、民主政治の健全な発展と確立のためには、選挙が清く明るく、かつ正しく行なわれなければならない。

民主政治確立のため、本市議会は全市民の期待と熱意を結集し、ここに清く明るく正しい選挙を推進する都市たることを宣言する。

昭和41年12月22日

青少年健全育成都市宣言

千歳市は次代を託すべき青少年が風雪百年輝やく未来を自ら開き、明るく豊かな郷土を建設、職業に誇りをもち、人間性豊かにして自主性を有し、心身ともに健全にして、創造的かつ新らしい文化的民主〃義的社会建設のにない手となるように成長することを願い、地域の大人達は自ら姿勢を正し、青少年に愛の手を注ぎ、明るい家庭と環境づくりに力を尽くし、全市民の総意を結集して健全育成につとめることを決意し、ここに「青少年健全育成都市」たることを宣言する。

昭和43年３月27日

スポーツ都市宣言

私たち千歳市民は、スポーツを愛し、スポーツを通じて健康でたくましい身体をつくり、豊かで明るい郷土を築くため、次の目標を掲げて、ここに「スポーツ都市」を宣言する。

記

1　市民すべてがスポーツを楽しみましょう。
2　力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう。
3　次代をになう青少年のため、地域にも職場にも、スポーツの機会をつくりましょう。
4　スポーツを通じて、世界の人々と手をつなぎましょう。

昭和45年６月29日

暴力追放・防犯都市宣言

私たちの日常生活が明るく平穏で、かつ安全であることは、市民の共通の願いであります。

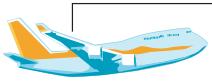
しかしながら、社会情勢の目まぐるしい変化に伴って、犯罪・暴力は一向に減少する傾向が見られません。

千歳市は、国際空港を目ざす新千歳空港と、1,000万人を超える乗降客、そして国立公園支笏湖が所在し、国際観光都市としての機能を有し国際都市を目ざしております。

市民の明るく安全で、かつ暴力のない平和な日常生活を確保するため、市民の総意を結集し、青少年の非行防止、長寿社会に対応した高揚を図り、犯罪・暴力のない明るく住みよい街づくりを決意し、ここに暴力追放・防犯都市を宣言します。

昭和63年３月28日

千歳市管内略図



交通所要時間

（飛行機）
千歳 ― 東京　1時間35分
　　 ― 大阪　1時間50分
　　 ― 福岡　2時間20分

（鉄道）
千歳 ― 函館　3時間23分
　　 ― 釧路　3時間36分



（フェリー）
千歳 ― 苫小牧 ― 八　戸　8時間30分
　　　　　　 ― 大　洗　18時間15分
　　　　　　 ― 名古屋　36時間40分
　　　　　　　（仙台経由）



札幌市

恵庭市

オコタンペ湖

恵庭岳
（1,320m）

ポロピナイ

丸駒温泉

支笏湖温泉

紋別岳
（866m）

第1発電所

フレ岳
（1,046m）

モラップ
キャンプ場

支笏湖

美笛キャンプ場

美笛の滝

風不死岳
（1,102m）

樽前山
（1,041m）

伊達市
大滝区

白老町


由仁町
長沼町
室蘭本線
キウス周堤墓群
千歳線
長都駅
道の駅サーモンパーク千歳
サケのふるさと千歳水族館
陸上自衛隊
東千歳駐屯地
千歳駅
陸上自衛隊
北千歳駐屯地
石勝線
公立千歳科学技術大学
南千歳駅
安平町
市役所
千歳飛行場
航空自衛隊
千歳基地
北海道区水産研究所
千歳さけます事業所
千歳川
新千歳空港駅
美々貝塚
新千歳空港
凡例
市街化区域
苫小牧市
札幌
国道453号
国道36号
美笛の滝
至洞爺湖
国道276号
支笏湖温泉
道道支笏湖公園線
千歳
国道276号
国道36号
苫小牧



利用される皆様へ

1　特に注記しない限り年は暦年、年度は会計年度を示しています。
2　統計表などの番号について、掲載を中止したものは欠番となっています。
3　統計表などは千歳市の行政区域内が原則ですが区域外を含むものもあり、その旨注記しています。
4　個々の数値の計が総数と一致しないものがあるのは、単位未満四捨五入によるものです。
5　表・文中において特に単位表記していない数値は全て実数です。
6　統計表に用いた符号は次のとおりです。
　「０」……表章単位に満たないもの
　「－」……該当数値のないもの
　「…」……不　　詳
　「△」……負　　数
　「X」……数値が秘匿されているもの
7　本書に関する問い合わせ
　総務部総務課文書統計係　　電話（0123）24－0137　Fax（0123）22－8851

総　目　次

第1章 美しい水と豊かな緑 …… 自　然 第1章
第2章 伸びゆく若いまち …… 人　口 第2章
第3章 活力ある事業所 …… 事業所 第3章
第4章 自然が育む豊かな大地 …… 農林水産業 第4章
第5章 最先端企業が集まる工業都市 …… 工　業 第5章
第6章 地域とともに歩む商業 …… 商　業 第6章
第7章 ゆとりのある市民生活 …… 消費生活・金融 第7章
第8章 世界に開かれた国際都市 …… 空港・運輸・通信 第8章
第9章 魅力あふれるまちづくり …… 住宅・土木・建設 第9章
第10章 名水と整備された都市基盤 …… 電気・ガス・上下水道 第10章
第11章 豊かな心と人間性を育む …… 教育・文化・文化財 第11章
第12章 豊かな労働力 …… 労　働 第12章
第13章 快適な都市生活 …… 環境・保健・衛生 第13章
第14章 安心して暮らせるまちづくり …… 防災・防犯 第14章
第15章 信頼とぬくもりあるコミュニティ …… 社会福祉 第15章
第16章 鮮やかに彩る四季折々の風景 …… 観光・レクリエーション 第16章
第17章 開かれたまちづくり …… 選挙・行政 第17章
第18章 伸びゆくまちの財政 …… 財　政 第18章
第19章 地域を守る大きな力 …… 防　衛 第19章
資　料 資　料
千歳略年表 千歳略年表

目　　次

第１章　美しい水と豊かな緑

1　位置と広さ …… 3
2　地目別面積 …… 3
3　最近５か年の気象 …… 4
4　令和７年の気象 …… 4
6　過去の気象記録 …… 5
7　主な河川・山岳・湖沼 …… 5

第２章　伸びゆく若いまち

8　人口・世帯数の推移 …… 8
⑴　国勢調査 …… 8
⑵　住民基本台帳 …… 9
9　町名別人口・世帯数 …… 12
10　年齢階級別人口 …… 14
11　産業別人口 …… 15
12　労働力人口の推移 …… 15
13　労働力状態別・男女別人口 …… 16
14　人口と労働力人口増減の推移 …… 16
15　世帯人員別一般世帯数の推移 …… 16
16　国籍別外国人住民登録者数の推移 …… 17
17　人口動態の推移 …… 17
18　人口の都道府県別移動状況（令和７年） …… 18
19　人口集中地区（DID）の推移 …… 19
20　昼間人口の推移 …… 19
21　北海道に見る千歳市の人口・世帯数 …… 20

第3章　活力ある事業所

22　産業別事業所と従業者（民営事業所）……22

23　事業所と従業者の推移……23

24　産業別・従業者規模別事業所と従業者（民営事業所）……24

25　経営組織別事業所と従業者……25

第4章　自然が育む豊かな大地

27　農家……28

28　農業経営体……29

⑴　総農経営体の推移……29

⑵　個人経営体の種類……29

29　家畜飼養農家……30

30　認定農業者……30

31　耕地面積……31

33　農地転用の推移……31

34　家畜の監視伝染病発生状況……32

35　主要農産物生産量……32

37　市営牧場……33

⑴　施設概要……33

⑵　利用状況の推移……33

38　農業基盤整備事業……34

⑴　国営土地改良事業……34

⑵　道営土地改良事業……36

⑶　補助事業……38

39　森林面積と蓄積量……39

40　国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所さけますセンター千歳さけます事業所……40

⑴ 施設概要 …… 40
⑵ サケ河川捕獲、採卵およびふ化放流の状況 …… 41
⑶ サクラマス河川捕獲、採卵およびふ化放流の状況 …… 41
41 泉沢養魚場 …… 42
42 支笏湖ヒメマスふ化場 …… 43
⑴ 施設概要 …… 43
⑵ ヒメマス親魚捕獲・ふ化の推移 …… 43

第5章 最先端企業が集まる工業都市

43 事業所・従業者と製造品出荷額等の推移 …… 47
44 北海道に見る千歳市の工業出荷額等 …… 47
45 産業別事業所・従業者と製造品出荷額等 …… 48
46 工業団地 …… 49
⑴ 施設概要 …… 49
⑵ 土地利用区分 …… 50
⑶ 第１工業団地立地状況 …… 52
⑷ 第２工業団地立地状況 …… 53
⑸ 第３工業団地立地状況 …… 53
⑹ 第４工業団地立地状況 …… 55
⑺ 臨空工業団地立地状況 …… 56
⑻ 美々ワールド立地状況 …… 59
⑼ 新千歳空港ロジスティクスセンター …… 59
⑽ 工業専用地域内立地状況（除工業団地・製造業のみ） …… 60
47 サイエンスパーク …… 60
⑴ 施設概要 …… 60
⑵ 企業立地状況 …… 60

48 工業系業務団地 …… 61
⑴ 施設概要 …… 61
⑵ 土地利用区分 …… 61
⑶ 流通業務団地立地状況 …… 62
⑷ 根志越業務団地立地状況 …… 63
⑸ オフィス・アルカディア立地状況 …… 64

第6章 地域とともに歩む商業

49 産業別事業所・従業者と商品販売額の推移 …… 66
50 従業者規模別事業所 …… 67
51 公設地方卸売市場 …… 68
⑴ 施設概要 …… 68
⑵ 青果・水産物取扱いの推移 …… 68
⑶ 青果・水産物入荷先の推移 …… 68

第7章 ゆとりのある市民生活

52 消費生活 …… 72
⑴ 内容別相談件数の推移 …… 72
⑵ 計量検査の状況 …… 72
53 市内食料品等小売価格の推移 …… 73
54 たばこ消費量の推移 …… 74
55 金融機関店舗数の推移 …… 74
56 銀行などの預金・貸出金の推移 …… 74
58 農協の貯金・貸付金の推移 …… 75

第８章　世界に開かれた国際都市

59　新千歳空港概要 …… 79
⑴　基本施設 …… 79
⑵　旅客ターミナルビル …… 79
⑶　国内線貨物ターミナルビル …… 81
⑷　ターミナルアネックスビル …… 81
⑸　ケータリング（機内食）施設 …… 81
⑹　車両整備格納庫 …… 81
⑺　ビジネスジェット専用施設 …… 81
60　新千歳空港乗降客数の推移 …… 82
61　新千歳空港乗降客数（令和７年） …… 83
62　新千歳空港貨物取扱量の推移 …… 84
63　千歳飛行場施設概要 …… 85
64　空港除雪車両車種別保有台数 …… 85
65　鉄道旅客輸送人員の推移（乗車人員） …… 85
66　令和６年度道内駅別乗車人員（１日平均） …… 85
67　高速自動車国道 …… 86
⑴　道央自動車道施設概要 …… 86
⑵　道東自動車道施設概要 …… 86
⑶　供用状況（インターチェンジ） …… 86
⑷　千歳インターチェンジ出入車両の推移 …… 87
68　バス輸送人員 …… 87
⑴　バス輸送人員の推移 …… 87
⑵　会社別・路線別輸送人員（令和７年度） …… 87
69　タクシーの輸送状況の推移 …… 88
70　自動車車種別登録台数の推移 …… 88
71　電話加入状況の推移 …… 89
72　郵便施設数の推移 …… 89
73　放送受信契約数の推移 …… 89

第9章　魅力あふれるまちづくり

74　住宅所有形態別世帯数・世帯人員の推移 …… 93

75　市営住宅などの戸数と居住人員 …… 93

76　建築確認用途別件数の推移 …… 94

77　住宅防音施工別実施戸数の推移 …… 94

78　都市計画区域面積 …… 95

79　用途別地域面積 …… 95

80　高度利用地区と準防火地域 …… 96

81　都市計画施設 …… 97

⑴　都市計画道路 …… 97

⑵　都市高速鉄道 …… 98

⑶　都市計画公園 …… 99

⑷　都市計画緑地 …… 102

⑸　都市計画下水道 …… 102

⑹　都市計画河川 …… 103

⑺　その他の都市計画施設 …… 103

82　市街地開発事業 …… 104

⑴　土地区画整理事業の経過 …… 104

⑵　市街地再開発事業 …… 105

⑶　地区計画 …… 105

83　開発行為（宅地造成）許可の推移 …… 106

84　泉沢向陽台 …… 106

⑴　事業概要 …… 106

⑵　土地利用計画面積表 …… 107

85　道路種別延長 …… 108

86　橋梁の道路種別架橋状況 …… 108

87　都市計画道路種別整備状況 …… 109

88　道路工事種別件数・工事費の推移 …… 109

89　公園・緑地 …… 110
⑴　都市公園・緑地の状況 …… 110
⑵　市道樹種別本数 …… 112
90　市発注工事の状況（令和７年度） …… 113

第10章　名水と整備された都市基盤

93　王子製紙千歳川発電所 …… 117
⑴　施設概要 …… 117
⑵　電力需給状況の推移 …… 117
94　一般ガス …… 118
⑴　供給の推移 …… 118
⑵　用途別供給戸数と消費量の推移 …… 118
96　上水道 …… 120
⑴　給水の推移 …… 120
⑵　用途別給水戸数と有収水量の推移 …… 120
97　簡易水道 …… 121
⑴　給水の推移 …… 121
⑵　用途別給水戸数と有収水量の推移 …… 121
98　水道料金表 …… 122
99　下水道事業の推移 …… 123
100　下水道使用料算定表 …… 124
101　個別排水処理施設（合併処理浄化槽） …… 124

第11章　豊かな心と人間性を育む

102　幼稚園の推移 …… 129
103　小学校の推移 …… 129
104　中学校の推移 …… 129
105　小・中学校学年別就学数の推移 …… 130
106　中学校卒業者の推移 …… 130
107　学校給食の推移 …… 130
108　高等学校・高等支援学校の生徒数 …… 131
109　高等学校・高等支援学校別入学者状況（令和８年） …… 131
110　高等学校卒業者数 …… 132
⑴　全日制 …… 132
⑵　職業学科 …… 132
111　専修学校の推移 …… 132
112　各種学校の推移 …… 133
113　大学の推移 …… 133
⑴　公立千歳科学技術大学 …… 133
⑵　北海道千歳リハビリテーション大学 …… 133
114　図書館 …… 134
⑴　施設概要 …… 134
⑵　移動図書館車（愛称「ブッくん」） …… 134
⑶　図書館の推移 …… 134
⑷　蔵書冊数の推移 …… 135
⑸　分類別貸出冊数の推移 …… 135
115　公民館等設置状況 …… 135
116　千歳公民館 …… 136
⑴　施設概要 …… 136
⑵　利用状況の推移 …… 136
117　北ガス文化ホール（千歳市民文化センター） …… 136

⑴　施設概要 …… 136
⑵　利用状況の推移 …… 137
118　市民ギャラリー …… 137
⑴　施設概要 …… 137
⑵　利用状況の推移 …… 137
119　千歳市民活動交流センター「ミナクール」 …… 138
⑴　施設概要 …… 138
⑵　利用状況の推移 …… 138
120　青少年会館 …… 138
⑴　施設概要 …… 138
⑵　利用状況の推移 …… 138
121　スポーツセンター・ダイナックスアリーナ …… 139
⑴　施設概要 …… 139
⑵　利用状況の推移 …… 139
122　開基記念総合武道館 …… 139
⑴　施設概要 …… 139
⑵　利用状況の推移 …… 139
123　温水プール …… 140
⑴　施設概要 …… 140
⑵　利用状況の推移 …… 140
124　埋蔵文化財センター …… 141
125　上長都文化財収蔵施設（旧埋蔵文化財センター） …… 141
126　史跡キウス周堤墓群ガイダンスセンター …… 141
127　社会体育施設利用状況 …… 142
128　学校別学校開放事業の推移 …… 143
129　社会教育関係団体・スポーツ協会加盟団体 …… 144
⑴　社会教育関係団体 …… 144
⑵　千歳市文化団体連絡協議会加盟団体 …… 151

⑶　スポーツ協会加盟団体 …… 154
130　少年団体 …… 155
131　文化財 …… 157
⑴　概況 …… 157
⑵　国指定史跡 …… 157
⑶　国指定重要文化財 …… 158
⑷　国指定重要無形民俗文化財 …… 158
⑸　国指定天然記念物 …… 159
⑹　市指定文化財 …… 159
⑺　主要文化財・遺跡 …… 161
132　宗教法人の概況 …… 162

第12章　豊かな労働力

133　労働力人口の推移 …… 164
134　労働力状態別・男女別人口 …… 164
135　人口と労働力人口増減の推移 …… 164
136　職業紹介状況 …… 164
⑴　新規求職数等の推移 …… 164
⑵　季節労働者の推移 …… 165
137　雇用保険給付額の推移 …… 165
138　産業別人口 …… 165
139　労働会館利用者の推移 …… 166
140　高等学校卒業者数 …… 166
⑴　全日制 …… 166
⑵　職業学科 …… 166
141　自衛隊除隊者数の推移 …… 166

第13章　快適な都市生活

142　自然環境保全地区 …… 169

143　公害苦情の推移 …… 169

144　大気汚染測定結果（令和７年度） …… 169

145　部門別温室効果ガス（二酸化炭素）排出量 …… 170

146　河川水質調査結果（令和７年度） …… 171

147　騒音調査 …… 171

⑴　自動車騒音面的評価結果（令和６年度） …… 171

⑵　航空機騒音測定結果（令和７年度） …… 172

148　医療施設設置状況の推移 …… 172

149　医療従事者の推移 …… 172

150　病院・診療所一覧 …… 173

⑴　病院 …… 173

⑵　一般診療所 …… 173

⑶　歯科診療所 …… 174

151　市立千歳市民病院 …… 175

⑴　施設概要 …… 175

⑵　医療従事者の推移 …… 175

⑶　入院・外来別患者数の推移 …… 175

152　休日夜間急病センター …… 176

⑴　施設概要 …… 176

⑵　従事者数 …… 176

⑶　外来別患者数の推移 …… 176

153　主要死因別死亡数の推移 …… 177

155　予防接種の推移 …… 178

156　結核予防の推移 …… 178

157　結核発生と死亡数の推移 …… 179

158　廃棄物処理実績の推移 …… 179

159　収集回数別世帯数の状況 …… 179
160　し尿処理実績の推移 …… 180
161　畜犬登録・野犬掃討などの推移 …… 180
162　千歳市葬斎場 …… 181
⑴　施設概要 …… 181
⑵　利用状況の推移 …… 181
⑶　小焼却炉利用状況の推移 …… 181
163　霊園区画数 …… 181

第14章　安心して暮らせるまちづくり

164　消防職員数と消防車等設備の推移 …… 185
165　消防水利 …… 185
⑴　施設数 …… 185
⑵　充足状況 …… 185
166　火災発生件数の推移 …… 186
167　原因別火災発生件数（令和７年） …… 186
168　救急出動件数等の推移 …… 186
169　刑法犯罪発生の推移 …… 188
170　交通安全 …… 189
⑴　年・月別発生状況の推移 …… 189
⑵　路線別発生状況（令和７年） …… 189
⑶　交通安全教育施設（交通公園） …… 189
171　非行少年等の推移 …… 190
172　防災学習交流施設 …… 190
⑴　施設概要 …… 190
⑵　利用状況の推移 …… 190

第15章　信頼とぬくもりあるコミュニティ

173　国民健康保険 …… 193

⑴　給付内容の推移 …… 193

⑵　保険料率（令和７年度） …… 196

⑶　加入状況の推移 …… 197

⑷　給付状況の推移 …… 197

⑸　年齢階層別被保険者の状況 …… 198

174　国民年金概要の推移 …… 198

175　社会福祉施設一覧 …… 199

176　民生委員児童委員数 …… 202

177　生活保護 …… 202

⑴　扶助別受給者の推移 …… 202

⑵　扶助別保護費支出の推移 …… 202

178　介護保険 …… 202

⑴　第１号被保険者（65歳以上）の状況 …… 202

⑵　要支援・要介護認定者数の推移 …… 204

⑶　介護保険給付状況の推移 …… 204

⑷　保険料収納状況の推移 …… 204

179　障がい者手帳等所持者数 …… 205

⑴　身体障がい部位別の推移 …… 205

⑵　身体障がい者級別所持者数の推移 …… 205

⑶　療育手帳所持者数の推移 …… 205

⑷　精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移 …… 205

180　後期高齢者医療制度 …… 206

⑴　後期高齢者医療被保険者数の推移 …… 206

⑵　保険料現年度収納状況の推移 …… 206

181　共同募金会 …… 206

⑴　共同募金実績 …… 206

⑵　歳末たすけあい運動実績の推移 …… 206
182　日本赤十字社・社資募金の推移 …… 206
183　コミュニティセンター・町内会館等集会施設一覧 …… 207
184　コミュニティセンター利用の推移 …… 209
185　共同利用施設利用の推移 …… 210
186　児童遊園地一覧 …… 210
187　福祉団体一覧 …… 211
188　社会福祉協議会 …… 216
⑴　組織図 …… 216
⑵　第８次地域福祉実践計画（令和７年度～11年度） …… 216
⑶　重点推進項目 …… 216

第16章　鮮やかに彩る四季折々の風景

189　国立公園支笏湖 …… 221
⑴　支笏湖周辺の概要 …… 221
⑵　風不死岳（1,103m） …… 221
⑶　樽前山（1,041m） …… 221
⑷　恵庭岳（1,320m） …… 221
⑸　紋別岳（866m） …… 222
⑹　苔の洞門 …… 222
⑺　野鳥の森 …… 222
⑻　オコタンペ湖（特別保護地区） …… 222
⑼　キャンプ場 …… 223
190　王子製紙千歳川発電所 …… 223
191　捕魚車（通称インディアン水車） …… 224
192　道の駅サーモンパーク千歳 …… 224
193　サケのふるさと千歳水族館 …… 224

⑴　施設概要 …… 224
⑵　利用状況の推移 …… 225
194　支笏湖遊覧船舶の概要 …… 225
195　観光入込客数 …… 225
⑴　市内観光入込客数の推移 …… 225
⑵　市街地観光入込客数の推移 …… 225
⑶　支笏湖観光入込客数の推移 …… 225
196　市内宿泊施設の概要 …… 226
197　ホテル・旅館の概況（地区別） …… 226
⑴　市街地・周辺地区 …… 226
⑵　支笏湖周辺 …… 227
198　温泉 …… 227

第17章　開かれたまちづくり

199　選挙人名簿登録者数の推移 …… 231
200　投票区別選挙人名簿登録者数 …… 231
201　各種選挙投票概要 …… 232
202　市議会機構図 …… 232
203　議員定数および常任委員会別委員定数 …… 233
204　案件別審議概要（令和７年１月～令和７年12月） …… 233
205　歴代市議会議長 …… 233
206　市議会議員名簿 …… 234
207　歴代市長 …… 235
208　歴代助役 …… 235
209　歴代副市長 …… 235
210　歴代収入役 …… 235
211　監査委員 …… 236

212　行政委員会 …… 236
⑴　教育委員会 …… 236
⑵　選挙管理委員会 …… 236
⑶　公平委員会 …… 237
⑷　固定資産評価審査委員会 …… 237
⑸　農業委員会 …… 237
213　市組織図・職員数 …… 238
214　主要広報広聴活動 …… 240
215　陳情・請願・要望件数の推移 …… 241
216　法律相談件数の推移 …… 241
217　名誉市民 …… 241
218　市功労者 …… 242
219　市民栄誉賞受賞者 …… 245
220　市技能功労者 …… 246
⑴　市技能功労者 …… 246
⑵　千歳市民文化表彰受賞者 …… 247
⑶　市スポーツ賞 …… 249

第18章　伸びゆくまちの財政

221　一般会計決算の推移 …… 252
222　令和６年度決算状況 …… 252
⑴　一般会計 …… 252
⑵　特別会計 …… 253
⑶　企業会計 …… 254
223　予算状況 …… 254
⑴　令和７年度 …… 254
⑵　令和８年度 …… 256

224　市税収入の推移 …… 257
225　市税収入の内訳（令和６年度） …… 257
226　地方債の状況 …… 258
227　財政力指数の推移 …… 258
228　経常収支比率の推移 …… 259
229　将来負担比率の推移 …… 259
230　実質公債費比率の推移 …… 259
231　市有財産の状況 …… 259
⑴　公有財産 …… 259
⑵　評定価格 …… 259

第19章　地域を守る大きな力

232　陸上自衛隊 …… 263
⑴　第７師団編成組織 …… 263
⑵　第１特科団編成組織 …… 264
⑶　第１高射特科団編成組織 …… 264
233　航空自衛隊 …… 265
⑴　千歳基地所在部隊編成組織 …… 265
⑵　第２航空団編成組織 …… 266
⑶　千歳飛行場施設概要 …… 266

資　　料 …… 267

1　千歳市第７期総合計画
2　コンベンション都市　千歳
⑴　施設
⑵　ホテル・旅館の概況（地区別）
⑶　令和７年度スポーツ大会実績
⑷　コンベンションの実績
⑸　国際会議の実績（再掲）
3　姉妹都市交流
⑴　アメリカ合衆国アラスカ州アンカレジ市
⑵　鹿児島県指宿市
4　友好親善都市交流
⑴　ノルウェー王国ヴィッケン県コングスベルグ市
⑵　中華人民共和国吉林省長春市
5　その他の交流
⑴　大韓民国済州特別自治道観光協会
⑵　韓国ソウル空港高等学校

千歳略年表 …… 297

1　ちとせ略年表
2　事業年表
⑴　泉沢開発事業
⑵　水道事業
⑶　清掃事業
⑷　病院事業
⑸　下水道事業
3　資料入手先一覧

市の木　シラカバ

昭和43（1968）年 4 月 1 日制定



（カバノキ科の落葉高木）

外側の樹皮が白色の美しい木です。

市内でも街路樹として見掛けますが、特に支笏湖道路の並木は「白樺街道」として広く知られています。

1

美しい水と豊かな緑

あ ら ま し

北海道の中南部、石狩平野の南端に位置する千歳市は、札幌市や苫小牧市など４市４町に隣接し、札幌市へは北へ40km、ＪＲ快速電車で約30分の至近距離にあります。

市街地の標高は、15m前後の低地となっていて、国内では最も低い25m前後の分水嶺が飛行場の付近にあるほか、江戸期には千歳川などを利用する北海道内部の河川交通の陸上部分・シコツ越えの地として栄えました。

市域の西部は、山岳地帯で国立公園支笏湖地域を形成し、支笏湖を源とする千歳川の沖積地に広がる市街地は、飛行場・空港、工業団地、自衛隊駐屯地・基地などが立地しています。また、東部には、自然豊かな波状丘陵地帯があり、農業が盛んに行われています。

千歳市民の誇りである支笏湖は、約４万年前に支笏火山の大噴火でできたカルデラ湖です。最大水深と貯水量が国内２位、面積が国内８位の大きな湖で、周囲には、世界でも珍しい溶岩円頂丘（ドーム）が北海道の天然記念物に指定された樽前山（1,041m）のほか、昭和47年に開催された冬季五輪札幌大会で滑降競技の会場となった恵庭岳（1,320m）など、1,000m級の山々がそびえています。

また、支笏湖は、昭和62年から始まった環境省の公共用水域水質測定結果において20回も全国１位に輝くなど、高い透明度が自慢で、そこから流れ出る千歳川も、国土交通省による全国一級河川の水質調査で１位を記録したことがあります。

支笏湖には、アイヌの人々がカバチェップ（薄い魚／チップ）と呼ぶヒメマスが生息し、千歳川では、サケマスのふ化・放流が行われています。ヒメマスとサケは、千歳市の魚に指定され、チップ釣りは支笏湖初夏の、また、遡上するサケを捕獲するインディアン水車は設置から120年以上の長きに渡り、千歳川の秋の風物詩として人気を博しています。

千歳市は、太平洋と日本海の気象の影響を受ける分岐点にあり、降水量は道内では少ない地域です。また、夏季の月平均最高気温は

32.8℃程度、年間の平均気温は９℃程度で、避暑地として知られる軽井沢とほぼ同じ内陸型の気候です。

「千歳」という地名は、鶴が多く生息したこの地の自然に由来しており、四季折々に変化する様々な自然環境、優れた都市機能、快適な住環境に恵まれています。



支笏湖畔から樽前山、風不死岳を望む

1　位置と広さ

位置								
方位		町名		経緯度				
極東		東丘		東経	141°	52′	12″
極西		美笛		東経	141°	10′	17″
極南		美笛		北緯	42°	40′	53″
極北		新川		北緯	42°	57′	12″

千歳市役所の位置　東経　141° 39′ 04″　北緯　42° 49′ 18″
広がり　東西　57.20km　南北　30.40km
面積　594.50㎢
隣接市町村　東　由仁町　安平町　西　伊達市
南　苫小牧市　白老町　北　札幌市　恵庭市　長沼町

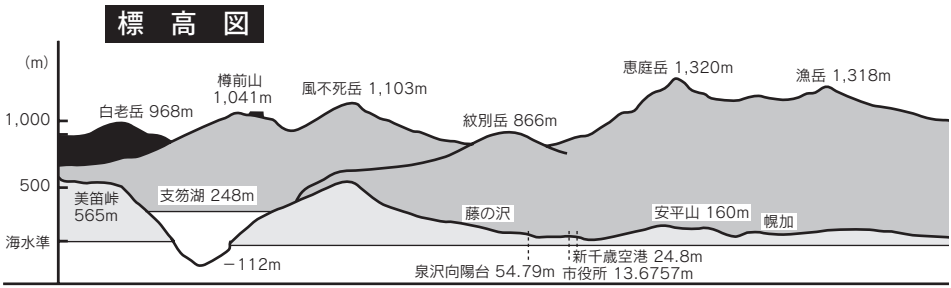
国土交通省国土地理院「令和８年全国都道府県市区町村別面積調」
総務課

2　地目別面積

（単位　ha）

地目	面積			構成比（%）		
	総数	国・公有地	民有地	総数	国・公有地	民有地
総数	**59,450**	**44,726**	**14,724**	**100.0**	**75.2**	**24.8**
宅地	1,837	42	1,795	3.1	0.1	3.0
田	446	—	446	0.8	—	0.8
畑	6,647	454	6,193	11.2	0.8	10.4
山林	31,214	27,492	3,722	52.5	46.2	6.3
原野	3,824	3,789	35	6.4	6.3	0.1
牧場	718	336	382	1.2	0.6	0.6
池沼	9,891	9,881	10	16.6	16.6	0.0
雑種地	3,289	1,569	1,720	5.5	2.6	2.9
その他	1,584	1,163	421	2.7	2.0	0.7

1　令和７年１月１日現在　　※構成比は小数点第二位を調整
税務課



総務課

3　最近５か年の気象

年	気温（℃）			降水量（mm）	雪（cm）		最大風速（m／s）
	平均	最高	最低		降雪の深さの年合計値	年間の最深積雪	
3	8.1	34.1	−23.5	1,051.0	178	27	17.6
4	8.1	31.3	−25.4	1,015.0	320	123	18.5
5	9.0	33.4	−23.0	942.5	150	38	17.1
6	8.7	32.9	−20.0	952.0	238	53	16.3
7	**9.2**	**32.8**	**−19.3**	**908.0**	**220**	**29**	**17.8**

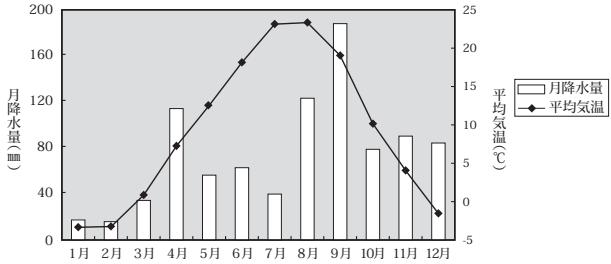
1　降雪の深さの年合計値及び年間の最深積雪は、前年降雪・積雪初日から当該年の降雪・積雪終日までの観測値
新千歳航空測候所観測課
気象庁ホームページ「石狩地方千歳」（環境課）

4　令和７年の気象

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均	気温 ℃	−3.4	−3.3	0.8	7.2	12.5	18.1	23.1	23.3	19.0	10.1	4.0	−1.6
	日最高気温 ℃	1.1	1.8	5.1	12.5	18.6	23.2	27.6	27.8	24.5	15.5	9.5	2.6
	日最低気温 ℃	−8.6	−9.8	−4.1	2.2	6.7	13.9	19.7	19.3	13.5	4.2	−2.0	−7.2
月降水量 mm		17.5	16.0	34.5	114.5	56.5	63.0	40.0	123.5	188.5	79.0	90.5	84.5
極値	最高気温 ℃	5.9	8.2	12.4	19.9	24.2	29.2	32.8	31.6	28.2	24.6	17.3	14.7
	最低気温 ℃	−19.3	−17.9	−11.2	−6.2	0.2	7.9	13.6	14.9	6.1	−4.4	−8.1	−16.8
	最大風速 m/s	12.1	12.8	17.8	15.4	16.2	12.3	11.6	12.5	16.8	11.3	16.7	15.8
	最大瞬間風速 m/s	15.9	17.5	23.7	21.6	22.6	15.4	15.4	17.0	22.6	14.9	23.1	22.1
	降水量 mm	7.0	4.5	14.5	32.0	17.0	31.0	21.0	25.0	74.5	20.0	50.0	22.0
	降雪の深さ cm	9.0	10.0	24.0	—	—	—	—	—	—	—	2.0	30.0
	積雪の深さ cm	15.0	29.0	21.0	—	—	—	—	—	—	—	2.0	37.0
月降雪の深さ cm		46.0	48.0	82.0	—	—	—	—	—	—	—	3.0	67.0

気象庁ホームページ「石狩地方千歳」（環境課）

令和７年の気温と降水量



環境課

6　過去の気象記録

区分	気温		降水量	降雪量	風	
	最高	最低	日最大	日最大	日最大瞬間（風向）	日最大（風向）
年月日	H23.8.11	S41.1.19	S62.8.26	H13.12.11	S49.4.21	S56.8.23
極値	34.2℃	−30.7℃	250.5㎜	60㎝	34.6m/s（南東）	25.5m/s（南南東）

1　昭和63年７月19日までは千歳飛行場、７月20日以降は新千歳空港における観測値を基に参考データとして記載しています（環境課）

7　主な河川・山岳・湖沼

（単位　km）

名称	河川延長	備考
千歳川	100.3	フレ岳～支笏湖～石狩川・普通河川を含む
ママチ川	10.5	
ケヌフチ川	13.7	
祝梅川	4.0	石狩川水系１級河川
長都川	3.8	
ユカンボシ川	5.0	
新ママチ川	0.5	
ナイベツ川	0.5	

（単位　m、㎢）

名称	標高・面積	備考
樽前山	1,041	溶岩円頂丘（那須火山帯）
恵庭岳	1,320	（那須火山帯）
風不死岳	1,103	（那須火山帯）
紋別岳	866	（那須火山帯）
支笏湖	78.4	カルデラ湖
オコタンペ湖	0.4	堰止湖

国土交通省国土地理院「日本の山岳標高一覧－1003山」
「全国都道府県市区町村別面積調」
北海道開発局札幌開発建設部資料（事業庶務課）

市の木　カツラ

昭和61(1986)年４月１日制定



（カツラ科の落葉高木）

昔から交通の手段として丸木舟に使用されるなど交通の要衝千歳と結び付きが深い木です。

また、ユーカラにもうたいこまれ、地名の「蘭越」もカツラの木が多くある所（＝ランコウシ）に由来しているように、蘭越・支笏湖方面にかけて相当数の大木が自生しています。

あらまし

伸びゆく若いまち

2

人口は、まちの発展の原動力です。

令和２年に実施された第21回国勢調査では、千歳市の人口・世帯数は、97,950人・43,809世帯で、平成27年に実施された前回調査と比較して2,302人（2.4％）・3,171世帯（7.8％）の増加となり、道内179市町村のうち、人口が増加したのはわずかに12市町村であるなか、増加数は札幌市に次ぐ２位、増加率は道内市部で１位の伸びとなりました。

市の人口の変遷をみると、大正９年に実施された第１回国勢調査では5,366人で、昭和10年までは横ばいの状況が続き、人口が１万人を超えたのは、千歳村に一級町村制が施行され、日本海軍が北方防衛のための大規模な航空基地を開庁した昭和14年のことでした。その後、基地内に航空機工場を建設するため、多くの技術者などが村内に居住したことにより人口が増加し、昭和17年には待望の町制が施行されました。

戦後に入り、昭和25年に実施された第７回国勢調査では人口が２万人を超え、さらに、昭和26年の米オクラホマ州兵からなる第45歩兵師団が朝鮮戦争出兵のために駐留したことに伴い生じたオクラホマ景気という好況から、町は急速に発展を遂げました。

昭和33年７月１日には、北海道17位の人口で、道内24番目の「市」となる千歳市が誕生。昭和40年の第10回国勢調査では、人口が５万人を超え、道内市部13位の都市となりました。

その後も、市営工業団地への企業誘致や空港旅客ターミナルビルの完成など、都市機能の充実を背景に人口は順調に増加し、平成７年の第16回国勢調査では８万人、平成17年の第18回国勢調査では９万人を超え、令和２年の第21回国勢調査では97,950人（道内市部10位）と増加の一途をたどりました。

現在、千歳市は、令和３年度からスタートした第７期総合計画における基本理念に基づき、新千歳空港を核とした「交通アクセスの優位性」や、良質で豊富な「水資源」、魅力あふれる「観光資源」など、まちの特性を生かし、転入超過や人口の定着などに取り組んでおり、将来にわたり発展し続けるまちを目指します。

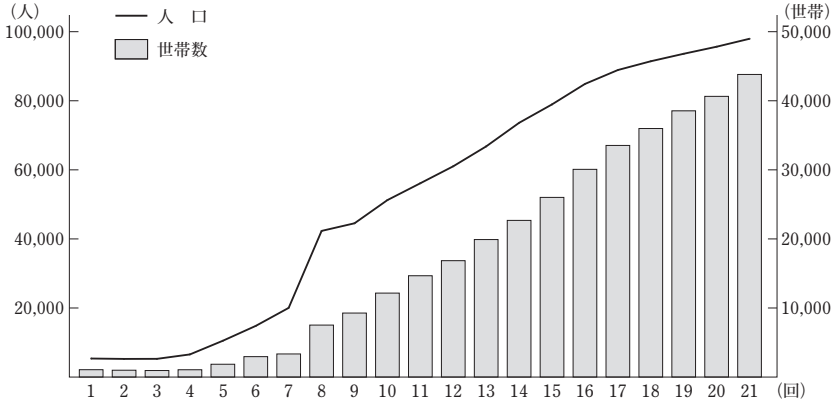
8　人口・世帯数の推移

(1) 国勢調査

回	年	世帯数	人口			対前回との増減率(%)
			総数	男	女	
1	大正９年	1,065	5,366	2,825	2,541	
2	14年	991	5,252	2,881	2,371	△ 2.2
3	昭和５年	947	5,275	2,753	2,522	0.4
4	10年	1,057	6,557	3,713	2,844	24.3
5	15年	1,856	10,512	5,960	4,552	60.3
6	22年	2,956	14,816	7,722	7,094	40.9
7	25年	3,346	20,030	11,974	8,056	35.2
8	30年	7,525	42,317	25,594	16,723	111.3
9	35年	9,267	44,522	25,873	18,649	5.2
10	40年	12,156	51,243	28,623	22,620	15.1
11	45年	14,667	56,118	30,330	25,788	9.5
12	50年	16,849	61,031	32,692	28,339	8.8
13	55年	19,907	66,788	35,544	31,244	9.4
14	60年	22,681	73,610	38,749	34,861	10.2
15	平成２年	26,010	78,946	41,586	37,360	7.2
16	７年	30,071	84,866	44,237	40,629	7.5
17	12年	33,532	88,897	46,155	42,742	4.7
18	17年	35,983	91,437	46,985	44,452	2.9
19	22年	38,541	93,604	47,836	45,768	2.4
20	27年	40,638	95,648	48,588	47,060	2.2
21	**令和２年**	**43,809**	**97,950**	**49,790**	**48,160**	**2.4**

1　各年10月１日調査
2　世帯数が住民基本台帳数値と大きく異なるのは、市内に駐屯する自衛隊営内居住者を中隊等ごとに１世帯としていることなどによる
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

国勢調査世帯・人口の推移



総務課

(2) 住民基本台帳

年	世帯数	人口			備考
		総数	男	女	
明治13	(47	209	…	…)	戸長役場開庁
14	(48	208	121	87)	
16	(51	173	91	82)	
20	(81	371	…	…)	
27	(192	789	447	342)	
39	799	3,084	1,603	1,481	
大正 4	778	3,931	2,074	1,857	2級町村制施行
5	735	3,695	1,896	1,799	
6	812	4,242	2,178	2,064	
7	851	3,895	2,016	1,879	
8	913	4,884	2,563	2,321	
9	1,012	5,297	2,734	2,563	
10	1,038	5,587	2,880	2,707	
12	934	5,441	2,798	2,643	
昭和 元	…	5,045	…	…	鉄道開通・着陸場造成（大正15年）
2	890	4,717	2,590	2,127	
3	…	4,733	…	…	
4	918	4,865	2,671	2,194	
5	965	5,275	2,752	2,523	
6	…	5,056	…	…	
7	928	5,076	2,602	2,474	
8	926	5,273	2,688	2,585	
9	972	5,513	2,805	2,708	飛行場完成
11	1,064	6,580	3,761	2,819	
12	1,190	7,420	4,242	3,178	
13	1,259	8,794	5,064	3,730	
14	…	10,678	…	…	1級町村制施行 海軍航空隊開庁
15	2,113	12,240	7,260	4,980	
16	2,183	12,986	…	…	第2次世界大戦参戦
17	2,250	13,994	…	…	町制施行
18	2,109	16,753	…	…	
19	2,510	17,688	…	…	
20	1,965	10,505	5,394	5,111	終戦
21	2,167	11,479	5,887	5,592	
22	2,956	14,635	7,628	7,007	
23	3,041	15,427	8,054	7,373	
24	3,123	15,757	8,107	7,650	「開基」70年
25	3,345	20,030	11,975	8,055	
26	4,061	20,212	10,432	9,780	民間航空機就航

年	世帯数	人口			備考
		総数	男	女	
昭和27	4,967	25,286	12,900	12,386	自衛隊駐屯開始
28	6,192	29,816	15,118	14,698	
29	6,520	32,942	17,460	15,482	
30	8,501	34,545	17,478	17,067	
31	8,395	35,371	17,863	17,508	
32	9,308	37,017	18,431	18,586	
33	10,245	47,188	27,748	19,440	市制施行
34	10,615	48,963	28,924	20,039	「開基」80年
35	11,155	48,880	28,335	20,545	
36	11,767	49,608	28,340	21,268	
37	11,674	48,554	27,494	21,060	
38	19,893	51,661	29,526	22,135	空港旅客ターミナルビル完成
39	21,376	54,484	31,241	23,243	
40	20,293	53,608	30,028	23,580	
41	20,099	54,942	30,416	24,526	市営工業団地誘致企業操業
42	21,175	57,094	31,614	25,480	
43	22,460	59,658	33,103	26,555	
44	22,477	60,592	33,180	27,412	「開基」90年
45	22,326	60,031	32,626	27,405	
46	21,106	56,748	30,673	26,075	
47	21,660	57,685	31,251	26,434	
48	22,002	58,514	31,588	26,926	
49	22,373	59,206	31,974	27,232	
50	22,724	60,455	32,664	27,791	米軍基地完全閉鎖
51	22,877	61,472	32,983	28,489	
52	23,075	62,171	33,242	28,929	
53	23,184	62,842	33,519	29,323	
54	24,044	64,610	34,403	30,207	「開基」100年
55	24,678	66,021	35,153	30,868	旧空港駅開業
56	25,096	67,040	35,572	31,468	国際定期航空機就航
57	25,882	68,523	36,302	32,221	
58	26,341	69,680	36,782	32,898	
59	26,988	71,009	37,458	33,551	
60	27,858	72,514	38,268	34,246	
61	28,472	73,931	39,022	34,909	
62	28,909	74,810	39,418	35,392	
63	29,558	76,128	40,043	36,085	新空港供用開始
平成 元	30,616	77,306	40,766	36,540	「開基」110 年、テクノポリス承認
2	31,078	77,905	40,915	36,990	
3	31,440	78,599	41,090	37,509	

年	世帯数	人口			備考
		総数	男	女	
平成 4	32,413	80,022	41,808	38,214	新空港旅客ターミナルビル完成
5	33,403	81,632	42,588	39,044	地方拠点都市指定
6	34,000	82,680	43,122	39,558	
7	34,694	84,048	43,741	40,307	千歳命名190年
8	35,232	84,974	44,145	40,829	
9	36,040	86,017	44,548	41,469	
10	36,939	87,208	45,097	42,111	千歳科学技術大学開学
11	37,508	87,742	45,353	42,389	千歳命名195年・開庁120年
12	38,265	88,126	45,623	42,503	
13	38,849	88,472	45,745	42,727	鉄道・飛行場75年　民航50年
14	39,073	88,679	45,576	43,103	
15	39,900	89,477	46,019	43,458	
16	40,444	89,976	46,155	43,821	
17	41,116	90,507	46,476	44,031	（千歳命名200年）
18	41,819	91,242	46,693	44,549	
19	42,348	91,808	47,019	44,789	
20	42,870	92,017	47,059	44,958	市制施行50周年
21	43,320	92,393	47,103	45,290	千歳命名205年・開庁130年
22	43,777	92,785	47,252	45,533	新空港国際線旅客ターミナルビル完成
23	44,210	93,212	47,342	45,870	
24	44,701	93,584	47,464	46,120	
25	45,368	94,172	47,714	46,458	
26	46,002	94,700	48,075	46,625	
27	46,338	94,820	48,027	46,793	
28	47,176	95,413	48,362	47,051	
29	47,780	95,761	48,397	47,364	
30	48,407	96,119	48,601	47,518	
31	49,202	96,565	48,855	47,710	千歳命名215年・開庁140年
令和 2	50,101	97,198	49,183	48,015	
3	50,450	97,103	49,163	47,940	
4	50,716	97,052	49,204	47,848	
5	51,290	96,965	49,182	47,783	
6	51,955	97,173	49,271	47,902	
7	52,098	96,503	48,993	47,510	
8	**52,829**	**96,592**	**49,142**	**47,450**	

1　明治13年～27年の（　）内数値は千歳村の数値
2　昭和36年以降は各年３月31日現在の数値
3　平成９年から千歳市は「開基」を「千歳命名○○年・開庁○○年」に改称したが、過去に実施した事業名までは変更していない
「住民基本台帳」（戸籍住民課）

9　町名別人口・世帯数

町名	世帯数	人口			面積（㎢）	1世帯当たり人口
		男	女	計		
総数	**52,829**	**49,142**	**47,450**	**96,592**	**594.500**	**1.83**
本町	674	577	503	1,080	0.271	1.60
東雲町	433	317	278	595	0.223	1.37
朝日町	628	505	387	892	0.313	1.42
清水町	532	320	368	688	0.162	1.29
幸町	709	511	394	905	0.107	1.28
千代田町	277	168	166	334	0.127	1.21
栄町	556	398	457	855	0.246	1.54
錦町	286	225	170	395	0.111	1.38
春日町	1,053	911	791	1,702	0.230	1.62
緑町	717	547	657	1,204	0.163	1.68
大和	980	879	979	1,858	0.529	1.90
桂木	965	898	866	1,764	0.432	1.83
北栄	1,141	952	864	1,816	0.429	1.59
新富	1,811	1,565	1,725	3,290	0.537	1.82
信濃	2,207	1,961	1,829	3,790	0.531	1.72
富士	1,018	917	851	1,768	0.269	1.74
富丘	1,858	1,675	1,887	3,562	0.816	1.92
真町	—	—	—	—	0.540	—
青葉丘	5	4	1	5	1.014	1.00
青葉	1,394	1,184	1,105	2,289	0.669	1.64
住吉	1,694	1,519	1,297	2,816	0.573	1.66
東郊	621	505	539	1,044	0.255	1.68
日の出丘	2	2	4	6	0.122	3.00
平和	843 (708)	732 (576)	216 (134)	948 (710)	17.687	1.12 1.00
柏台	—	—	—	—	6.202	—
美々	1	1	0	1	10.638	1.00
駒里	163	147	143	290	19.659	1.78
祝梅	1,241 (1,216)	1,153 (1,122)	116 (94)	1,269 (1,216)	10.343	1.02 1.00
根志越	74	58	60	118	12.508	1.59
中央	45	46	41	87	31.660	1.93
泉郷	102	88	79	167	9.735	1.64
北信濃	524 (346)	548 (318)	180 (31)	728 (349)	4.603	1.39 1.01
自由ヶ丘	1,365	1,310	1,394	2,704	0.489	1.98
北斗	1,432	1,271	1,306	2,577	0.522	1.80
上長都	23	15	19	34	9.878	1.48
桜木	962	926	950	1,876	0.410	1.95
都	54	57	49	106	6.565	1.96
長都	88	95	82	177	8.598	2.01
釜加	45	45	44	89	5.906	1.98
泉沢	156	99	57	156	17.039	1.00
藤の沢	—	—	—	—	31.396	—
蘭越	116	68	66	134	9.321	1.16
水明郷	—	—	—	—	15.668	—

町名	世帯数	人口			面積（㎢）	1世帯当たり人口
		男	女	計		
西森	—	—	—	—	22.903	—
紋別	—	—	—	—	40.719	—
幌美内	3	2	1	3	14.359	1.00
奥潭	—	—	—	—	26.320	—
モラップ	2	1	1	2	16.278	1.00
支寒内	—	—	—	—	29.528	—
美笛	—	—	—	—	58.864	—
幌加	27	33	32	65	11.630	2.41
協和	30	36	28	64	17.207	2.13
新川	41	45	44	89	7.761	2.17
東丘	50	62	58	120	13.386	2.40
若草	801	702	773	1,475	0.541	1.84
白樺	861	760	744	1,504	0.471	1.75
里美	622	547	544	1,091	0.382	1.75
真々地	603	637	552	1,189	0.319	1.97
稲穂	885	890	922	1,812	0.365	2.05
高台	1,098	826	1,001	1,827	0.317	1.66
花園	1,158	932	994	1,926	0.385	1.66
末広	1,968	1,410	1,398	2,808	0.353	1.43
梅ヶ丘	633	571	607	1,178	0.224	1.86
弥生	881	791	824	1,615	0.271	1.83
寿	921	886	753	1,639	0.245	1.78
豊里	956	880	910	1,790	0.326	1.87
日の出	757	689	697	1,386	0.287	1.83
支笏湖温泉	106	64	87	151	7.454	1.42
旭ヶ丘	872	816	811	1,627	0.259	1.87
文京	1,513	1,468	1,408	2,876	0.801	1.90
柏陽	582	552	570	1,122	0.432	1.93
福住	346	379	379	758	0.286	2.19
北光	1,001	893	981	1,874	0.738	1.87
北陽	1,642	2,056	2,165	4,221	0.737	2.57
長都駅前	1,260	1,166	1,241	2,407	0.473	1.91
流通	6	9	6	15	0.521	2.50
あずさ	1,072	1,368	1,373	2,741	0.614	2.56
幸福	810	1,031	1,046	2,077	0.290	2.56
柏台南	—	—	—	—	0.404	—
清流	1,648	1,681	1,722	3,403	0.785	2.06
新星	108	114	120	234	0.189	2.17
勇舞	1,530	1,826	1,900	3,726	0.626	2.44
みどり台北	496	757	768	1,525	0.286	3.07
みどり台南	745	1,063	1,070	2,133	0.356	2.86
（支笏湖）	—	—	—	—	78.340	—

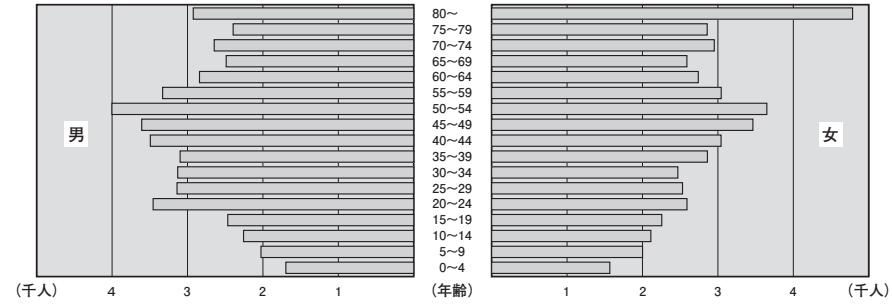
1　令和８年４月１日現在
2　平和、祝梅、北信濃の（　）内は営内自衛官を再掲
3　町名別面積は、庁内各部署の資料から算出した推計値
「住民基本台帳」（戸籍住民課）

10　年齢階級別人口

区　分	人口			構成比（%）		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	**96,592**	**49,142**	**47,450**	**100.0**	**100.0**	**100.0**
年少人口（0～14）	**11,306**	**5,737**	**5,569**	**11.7**	**11.7**	**11.7**
0～4	3,152	1,592	1,560	3.3	3.2	3.3
5～9	3,803	1,910	1,893	3.9	3.9	4.0
10～14	4,351	2,235	2,116	4.5	4.6	4.5
生産年齢人口（15～64）	**61,405**	**32,860**	**28,545**	**63.6**	**66.9**	**60.2**
15～19	4,702	2,475	2,227	4.9	5.0	4.7
20～24	5,926	3,343	2,583	6.1	6.8	5.4
25～29	5,895	3,354	2,541	6.1	6.8	5.4
30～34	5,656	3,162	2,494	5.9	6.4	5.3
35～39	5,928	3,171	2,757	6.1	6.5	5.8
40～44	6,400	3,388	3,012	6.6	6.9	6.0
45～49	6,958	3,557	3,401	7.2	7.2	7.2
50～54	7,663	4,037	3,626	7.9	8.2	7.6
55～59	6,640	3,464	3,176	6.9	7.1	6.7
60～64	5,637	2,909	2,728	5.8	5.9	5.8
老年人口（65以上）	**23,881**	**10,545**	**13,336**	**24.7**	**21.5**	**28.1**
65～69	5,164	2,558	2,606	5.4	5.2	5.5
70～74	5,313	2,506	2,807	5.5	5.1	5.9
75～79	5,574	2,526	3,048	5.8	5.1	6.4
80～	7,830	2,955	4,875	8.1	6.0	10.3

1　令和8年4月1日現在
「住民基本台帳」（戸籍住民課）

年齢別人口ピラミッド



戸籍住民課

11　産業別人口

区　分	人口			構成比（%）		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	**47,913**	**28,274**	**19,639**	**100.0**	**100.0**	**100.0**
第1次産業	**1,606**	**943**	**663**	**3.4**	**3.3**	**3.4**
農業、林業	1,595	937	658	3.3	3.3	3.4
漁業	11	6	5	0.0	0.0	0.0
第2次産業	**8,585**	**6,299**	**2,286**	**17.9**	**22.3**	**11.6**
鉱業、採石業、砂利採取業	21	20	1	0.0	0.1	0.0
建設業	2,424	2,017	407	5.1	7.1	2.1
製造業	6,140	4,262	1,878	12.8	15.1	9.6
第3次産業	**36,424**	**20,363**	**16,061**	**76.0**	**72.0**	**81.8**
電気・ガス・熱供給・水道業	167	137	30	0.3	0.5	0.2
情報通信業	363	229	134	0.8	0.8	0.7
運輸業、郵便業	4,325	2,867	1,458	9.0	10.1	7.4
卸売業、小売業	5,661	2,262	3,399	11.8	8.0	17.3
金融業、保険業	494	164	330	1.0	0.6	1.7
不動産業、物品賃貸業	901	561	340	1.9	2.0	1.7
学術研究、専門・技術サービス業	693	414	279	1.4	1.5	1.4
宿泊業、飲食サービス業	2,958	1,023	1,935	6.2	3.6	9.9
生活関連サービス業、娯楽業	1,988	798	1,190	4.1	2.8	6.1
教育、学習支援業	1,596	632	964	3.3	2.2	4.9
医療、福祉	4,425	915	3,510	9.2	3.2	17.9
複合サービス事業	226	111	115	0.5	0.4	0.6
サービス業（他に分類されないもの）	3,397	2,040	1,357	7.1	7.2	6.9
公務（他に分類されるものを除く）	9,230	8,210	1,020	19.3	29.0	5.2
分類不能の産業	**1,298**	**669**	**629**	**2.7**	**2.4**	**3.2**

1　令和2年10月1日調査
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

12　労働力人口の推移

年	人口総数	15歳以上人口	労働力人口
12	88,897	73,870	47,208
17	91,437	77,015	47,491
22	93,604	79,554	47,639
27	95,648	81,887	47,948
2	**97,950**	**84,756**	**49,732**

1　各年10月1日調査
2　表133に再掲
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

13　労働力状態別・男女別人口

区　　分	人　　口			構　成　比（%）			男女別割合（%）	
	総　数	男	女	総　数	男	女	男	女
15歳以上人口	**84,756**	42,994	41,762	**100.0**	100.0	100.0	50.7	49.3
労働力人口	**49,732**	29,338	20,394	**58.7**	68.2	48.8	59.0	41.0
就　業　者	**47,913**	28,274	19,639	**56.5**	65.8	47.0	59.0	41.0
完全失業者	**1,819**	1,064	755	**2.1**	2.5	1.8	58.5	41.5
非労働力人口	**26,916**	9,257	17,659	**31.8**	21.5	42.3	34.4	65.6
労働力不詳	**8,108**	4,399	3,709	**9.6**	10.2	8.9	54.3	45.7

1　令和2年10月1日調査
2　表134に再掲
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

14　人口と労働力人口増減の推移

年	増　減　数					増　減　率（%）				
	人口総数	15歳以上人口	労働力人口			人口総数	15歳以上人口	労働力人口		
			総　数	男	女			総　数	男	女
12	4,031	4,884	1,360	426	934	4.7	7.1	3.0	1.4	6.0
17	2,540	1,122	283	△ 644	927	2.9	4.3	0.6	△ 2.1	5.7
22	2,167	2,539	148	△ 477	625	2.4	3.3	0.3	△ 1.6	3.6
27	2,044	2,333	309	△ 612	921	2.2	2.9	0.6	△ 2.1	5.1
2	**2,302**	**2,869**	**1,784**	**222**	**1,562**	**2.4**	**3.5**	**3.7**	**0.7**	**8.2**

1　各年10月1日調査
2　表135に再掲
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

15　世帯人員別一般世帯数の推移

年	一　般　世　帯												
	世　帯　数											世帯人員	1世帯当たり人員
	総　数	世帯人員が1人	2	3	4	5	6	7	8	9	10人以上		
12	33,330	9,371	9,235	6,473	5,728	1,920	455	112	25	8	3	83,589	2.51
17	35,786	10,856	10,210	6,863	5,684	1,684	360	101	18	7	3	86,130	2.41
22	38,374	12,567	11,091	7,116	5,615	1,520	346	86	25	4	4	89,113	2.32
27	40,465	14,048	11,872	7,308	5,267	1,501	352	81	28	6	2	91,267	2.26
2	**43,635**	**17,068**	**12,787**	**7,188**	**4,783**	**1,436**	**283**	**62**	**21**	**5**	**2**	**92,889**	**2.13**

1　各年10月1日調査
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

16　国籍別外国人住民登録者数の推移

国　　籍	3　年	4　年	5　年	6　年	**7　年**
総　　数	710	807	1,086	1,319	**1,642**
韓国・朝鮮	134	138	153	163	**184**
中　　国	123	126	129	144	**191**
フィリピン	91	103	128	129	**149**
アメリカ	23	24	26	26	**29**
そ の 他	339	416	650	857	**1,089**

1　各年12月31日現在
「住民基本台帳」（戸籍住民課）

17　人口動態の推移

年・月	人口増減数	自然動態			社会動態				婚姻	離婚
		増減数	出生	死亡	増減数	転入	転出	その他		
27年	393	241	903	662	152	5,942	5,844	54	549	225
28年	489	150	897	747	339	5,921	5,579	△3	535	210
29年	423	85	804	719	338	6,195	5,872	15	548	209
30年	214	△4	776	780	218	6,244	6,051	25	547	191
元年	505	49	812	763	456	6,575	6,134	15	516	201
2年	420	△193	724	917	613	6,186	5,618	45	485	194
3年	△126	△61	736	797	△65	5,783	5,903	55	482	177
4年	△51	△275	676	951	224	6,236	6,028	16	423	188
5年	323	△308	661	969	631	6,565	5,948	14	436	184
6年	△636	△374	608	982	△262	5,891	6,184	31	450	206
7年	**△319**	**△429**	**557**	**986**	**110**	**6,204**	**6,131**	**37**	**432**	**183**
1月	△70	△72	55	127	2	300	303	5	30	15
2月	△108	△40	36	76	△68	310	378	0	34	13
3月	△645	△51	39	90	△594	1,159	1,757	4	53	21
4月	571	△29	50	79	600	1,096	500	4	32	12
5月	1	△43	33	76	44	416	375	3	28	14
6月	△87	△28	45	73	△59	363	424	2	36	12
7月	△71	△28	48	76	△43	496	542	3	47	21
8月	159	△17	48	65	176	521	350	5	44	12
9月	△37	△54	36	90	17	452	436	1	26	21
10月	21	△8	63	71	29	401	377	5	30	13
11月	△26	△29	54	83	3	332	331	2	34	11
12月	△27	△30	50	80	3	358	358	3	38	18

1　社会動態「その他」は職権による登録の抹消及び職権回復等
「住民基本台帳」（戸籍住民課）

18　人口の都道府県別移動状況（令和７年）

区　分	転　入	転　出	超過数	構成比（%）	
				転　入	転　出
総　数	**6,204**	**6,131**	**73**	**100.0**	**100.0**
道内計	3,017	3,539	△ 522	48.6	57.7
道外計	3,187	2,592	595	51.4	42.3
青森県	72	109	△ 37	1.2	1.8
宮城県	92	83	9	1.5	1.4
秋田県	30	24	6	0.5	0.4
山形県	21	26	△ 5	0.3	0.4
福島県	34	26	8	0.5	0.4
茨城県	37	54	△ 17	0.6	0.9
栃木県	19	27	△ 8	0.3	0.4
埼玉県	244	195	49	3.9	3.2
千葉県	182	192	△ 10	2.9	3.1
東京都	294	445	△ 151	4.7	7.3
神奈川県	229	202	27	3.7	3.3
新潟県	29	27	2	0.5	0.4
石川県	41	34	7	0.7	0.6
岐阜県	28	29	△ 1	0.5	0.5
静岡県	111	57	54	1.8	0.9
愛知県	119	102	17	1.9	1.7
京都府	54	33	21	0.9	0.5
大阪府	111	95	16	1.8	1.5
兵庫県	69	62	7	1.1	1.0
広島県	26	18	8	0.4	0.3
福岡県	131	90	41	2.1	1.5
熊本県	55	27	28	0.9	0.4
大分県	17	24	△ 7	0.3	0.4
宮崎県	39	33	6	0.6	0.5
鹿児島県	22	35	△ 13	0.4	0.6
沖縄県	75	78	△ 3	1.2	1.3
その他の県	457	224	233	7.4	3.7
国　外	549	241	308	8.8	3.9

1　全国都道府県順に掲載した
「住民基本台帳」（戸籍住民課）

19　人口集中地区（ＤＩＤ）の推移

区　分	17　年			22　年			27　年			2　年		
	市全域	人口集中地区	市全域比（%）	市全域	人口集中地区	市全域比（%）	市全域	人口集中地区	市全域比（%）	市全域	人口集中地区	市全域比（%）
人　口	91,437	71,940	78.7	93,604	78,977	84.4	95,648	80,072	83.7	**97,950**	**84,325**	**86.1**
面積（㎢）	594.95	31.53	5.3	594.95	32.69	5.5	594.5	33.02	5.6	**594.5**	**34.13**	**5.7**
人口密度	153.7	2,281.6	—	157.3	2,415.9	—	160.9	2,425	—	**164.8**	**2,470.7**	**—**

1　各年10月１日調査
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

20　昼間人口の推移

	17　年		22　年		27　年		2　年	
昼間人口		96,531		98,026		99,138		**101,842**
常住人口		91,388		93,604		95,648		**97,768**
人口差		5,143		4,422		3,490		**4,074**
人口比率（%）		105.6		104.7		103.6		**104.0**
流入人口		13,702		13,681		13,874		**14,922**
通勤者		12,389		12,420		12,777		**13,847**
	恵庭市	5,164	恵庭市	5,085	恵庭市	5,501	恵庭市	**5,918**
	札幌市	3,265	札幌市	3,456	札幌市	3,419	札幌市	**3,915**
	苫小牧市	1,277	苫小牧市	1,336	苫小牧市	1,365	苫小牧市	**1,601**
	その他	2,683	その他	2,543	その他	2,492	その他	**2,413**
通学者		1,313		1,261		1,097		**1,068**
	札幌市	447	札幌市	365	札幌市	293	札幌市	**373**
	恵庭市	445	恵庭市	470	恵庭市	395	恵庭市	**318**
	北広島市	197	北広島市	194	北広島市	153	北広島市	**123**
	その他	224	その他	232	その他	256	その他	**254**
流出人口		8,513		10,106		10,454		**11,030**
通勤者		6,429		7,748		8,200		**9,000**
	恵庭市	1,959	恵庭市	2,211	恵庭市	2,478	恵庭市	**2,734**
	札幌市	1,745	札幌市	1,748	札幌市	1,960	札幌市	**2,117**
	苫小牧市	1,352	苫小牧市	1,602	苫小牧市	1,907	苫小牧市	**2,086**
	その他	1,373	その他	2,187	その他	1,855	その他	**2,063**
通学者		2,084		2,358		2,254		**1,978**
	札幌市	853	札幌市	937	札幌市	998	札幌市	**867**
	恵庭市	561	恵庭市	588	恵庭市	580	恵庭市	**502**
	北広島市	305	北広島市	307	北広島市	255	北広島市	**236**
	その他	365	その他	526	その他	421	その他	**373**

1　各年10月１日調査
2　常住人口＝確定人口－年齢不詳の人口
3　昼間人口（常住人口－流出人口＋流入人口）の算出に際しては、15歳未満通学者を含めているが、流出人口通学者の算出には15歳以上の者のみを集計しているため、必ずしも算式に当てはまらない
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

21　北海道に見る千歳市の人口・世帯数

区　分	人口			世帯数
	男	女	計	
札　幌　市	914,506	1,040,082	1,954,588	1,122,627
旭　川　市	144,629	167,580	312,209	176,464
函　館　市	106,022	126,738	232,760	137,510
苫 小 牧 市	80,663	83,448	164,111	91,558
帯　広　市	75,925	83,369	159,294	90,105
釧　路　市	71,185	80,381	151,566	90,614
江　別　市	55,974	61,787	117,761	60,059
北　見　市	51,574	56,596	108,170	61,018
小　樽　市	46,289	56,096	102,385	59,694
千　歳　市	**49,400**	**47,632**	**97,032**	**53,113**
室　蘭　市	35,348	37,853	73,201	42,557
岩 見 沢 市	33,908	38,863	72,771	40,059
恵　庭　市	34,074	36,085	70,159	36,463
石　狩　市	27,508	29,336	56,844	28,793
北 広 島 市	26,837	29,272	56,109	28,587
登　別　市	20,396	22,331	42,727	23,675
北　斗　市	19,864	22,295	42,159	22,013
滝　川　市	17,002	18,849	35,851	20,482
網　走　市	15,414	16,104	31,518	17,776
伊　達　市	14,146	16,390	30,536	17,228
稚　内　市	14,600	14,892	29,492	16,755
名　寄　市	11,724	12,444	24,168	13,493
根　室　市	10,408	11,510	21,918	11,993
紋　別　市	9,144	10,265	19,409	11,533
富 良 野 市	9,223	10,171	19,394	10,661
美　唄　市	8,525	9,379	17,904	10,364
深　川　市	8,262	9,580	17,842	10,073
留　萌　市	8,550	9,094	17,644	10,306
士　別　市	7,649	8,352	16,001	8,592
砂　川　市	6,965	8,050	15,015	8,373
芦　別　市	5,019	5,840	10,859	6,569
赤　平　市	3,715	4,435	8,150	5,096
三　笠　市	3,237	3,752	6,989	4,262
夕　張　市	2,734	3,032	5,766	3,544
歌 志 内 市	1,185	1,288	2,473	1,560
北　海　道	2,365,632	2,630,860	4,996,492	2,814,047
市　　計	1,951,604	2,193,171	4,144,775	2,353,569
町　村　計	414,028	437,689	851,717	460,478

1　令和８年１月１日現在
北海道総合政策部地域行政局市町村課「市区町村別住民基本台帳人口及び世帯数（１月１日現在）」（総務課）

あ　ら　ま　し

令和３年に実施された経済センサス（活動調査）では、千歳市内の民営事業所数は3,135事業所、従業者数は42,200人で、平成28年に実施された前回調査と比較して、事業所数は22事業所の減少、従業者数は2,632人の増加となりました。

産業別事業所数（構成比）をみると、主に、卸売・小売業が789事業所（25.2%）、宿泊・飲食サービス業が528事業所（16.8%）、生活関連サービス・娯楽業が304事業所（9.7%）を占めています。

また、産業別従業者数（構成比）をみると、卸売・小売業が7,559人（17.9%）、製造業が7,389人（17.5%）、運輸・郵便業が5,151人（12.2%）を占めています。

千歳市の産業別事業所を事業所数と従業者数の市内構成比（括弧内の%は、北海道全体の構成比）でみると、宿泊・飲食サービス業の事業所数が16.8%（12.8%）、従業者数が10.3%（8.6%）、運輸・郵便業の事業所数が5.1%（3.0%）、従業者数が12.2%（6.2%）と、いずれも事業所数と従業者数の両方で北海道全体の構成比を大きく上回る結果となりました。これらの理由として、宿泊・飲食サービス業については、温泉地としても名高い支笏湖地区があることから、宿泊施設などが数多く立地していること。運輸・郵便業については、国際線を有する新千歳空港をはじめ、道央自動車道と道東自動車道の２つの高速道路の結節点となる交通の要衝であり、苫小牧、石狩など各港とのアクセスが良好であるなど「空・陸・海」が有機的に結びつく交通拠点であることが挙げられます。

また、製造業の従業者数についてみると、事業所数の市内構成比が5.0%のところ、従業者数の市内構成比が17.5%と、製造業においては１事業所当たりの従業者数が多い大規模な工場が多く立地していることがわかります。

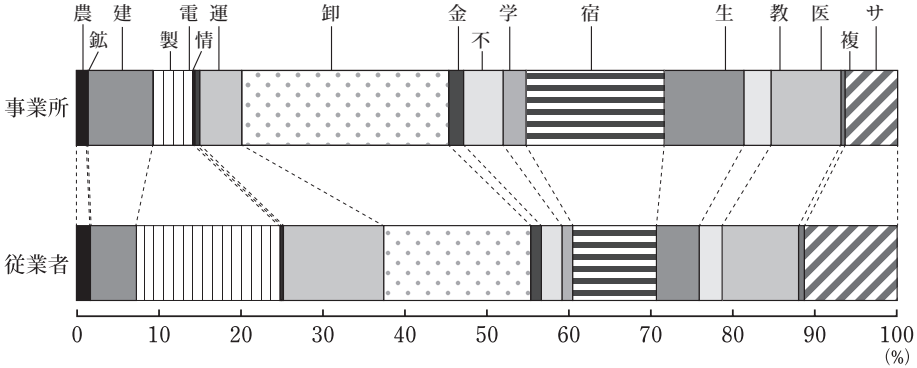
また、新千歳空港から至近距離にある千歳美々ワールドは、国内最大級のレンタカー事業所の集積地域となっているほか、最先端半導体の製造拠点や研究開発機構が立地する先進的な産業エリアとして注目を集めています。

22　産業別事業所と従業者（民営事業所）

産業分類	事業所数	構成比（%）	従業者数	構成比（%）
全産業	**3,135**	**100.0**	**42,200**	**100.0**
農・林・漁業	44	1.4	735	1.7
鉱・採石・砂利採取業	1	0.0	16	0.0
建設業	249	7.9	2,375	5.6
製造業	156	5.0	7,389	17.5
電気・ガス・熱供給・水道業	3	0.1	67	0.2
情報通信業	20	0.6	103	0.2
運輸・郵便業	159	5.1	5,151	12.2
卸売・小売業	789	25.2	7,559	17.9
金融・保険業	56	1.8	539	1.3
不動産・物品賃貸業	152	4.8	1,049	2.5
学術研究、専門・技術サービス業	88	2.8	559	1.3
宿泊・飲食サービス業	528	16.8	4,326	10.2
生活関連サービス・娯楽業	304	9.7	2,186	5.2
教育、学習支援業	102	3.3	1,167	2.8
医療、福祉	268	8.5	3,919	9.3
複合サービス事業	16	0.5	300	0.7
サービス業（他に分類されないもの）	200	6.4	4,760	11.3

1　令和３年６月１日調査
　総務省統計局「経済センサス（活動調査）」（総務課）

事業所産業別構成比



総務省統計局「経済センサス（活動調査）」（総務課）

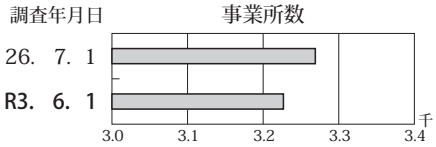
23　事業所と従業者の推移

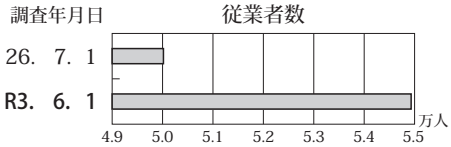
調査年月日	事業所			従業者		
	事業所数	対前回調査との比較		従業者数	対前回調査との比較	
		増減数	増減率（%）		増減数	増減率（%）
（1）全事業所						
26. 7. 1	3,269	△ 125	△ 3.7	50,231	748	1.5
R3. 6. 1	**3,232**	**△ 37**	**△ 1.1**	**54,990**	**4,759**	**9.5**
（2）非農林漁業						
26. 7. 1	3,227	△ 123	△ 3.7	49,792	756	1.5
R3. 6. 1	**3,091**	**△ 136**	**△ 4.2**	**41,465**	**△ 8,327**	**△ 16.7**
（3）民営事業所						
26. 7. 1	3,142	136	4.5	38,058	3,101	8.9
28. 6. 1	3,157	15	0.5	39,568	1,510	4,0
R3. 6. 1	**3,135**	**△ 22**	**△ 0.7**	**42,200**	**2,632**	**6.7**

総務省統計局「経済センサス（基礎調査）」・「経済センサス（活動調査）」（総務課）

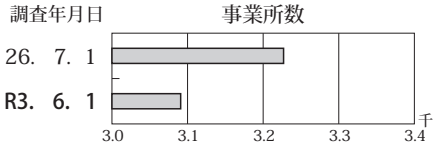
事業所数・従業者数推移

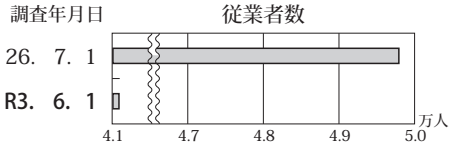
（1）全事業所



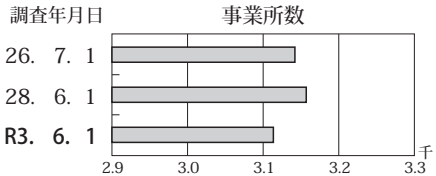


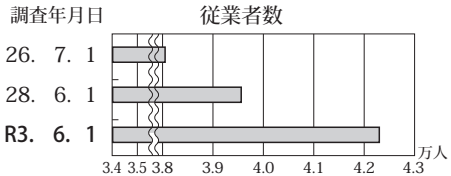
（2）非農林漁業





（3）民営事業所





総務省統計局「事業所・企業統計調査」・「経済センサス（基礎調査）」・「経済センサス（活動調査）」（総務課）

24　産業別・従業者規模別事業所と従業者（民営事業所）

産業分類	民営 総数 事業所数	民営 総数 従業者数	民営 1～4人 事業所数	民営 1～4人 従業者数	民営 5～9人 事業所数	民営 5～9人 従業者数	民営 10～19人 事業所数	民営 10～19人 従業者数
全産業	**3,135**	**42,200**	**1,496**	**3,268**	**659**	**4,446**	**495**	**6,708**
農・林・漁業	44	735	13	39	8	54	13	174
鉱・採石・砂利採取業	1	16	－	－	－	－	1	16
建設業	249	2,375	109	259	64	452	48	640
製造業	156	7,389	40	106	24	167	30	403
電気・ガス・熱供給・水道業	3	67	1	2	－	－	－	－
情報通信業	20	103	14	22	4	21	－	－
運輸・郵便業	159	5,151	48	103	33	224	23	320
卸売・小売業	789	7,559	349	854	202	1,353	155	2,149
金融・保険業	56	539	28	68	13	90	8	112
不動産・物品賃貸業	152	1,049	90	191	21	134	19	251
学術研究、専門・技術サービス業	88	559	65	146	8	49	10	131
宿泊・飲食サービス業	528	4,326	291	609	106	710	73	956
生活関連サービス・娯楽業	304	2,186	207	384	54	357	16	204
教育、学習支援業	102	1,167	66	117	7	48	8	117
医療、福祉	268	3,919	85	194	68	482	66	866
複合サービス事業	16	300	3	9	11	62	－	－
サービス業（他に分類されないもの）	200	4,760	87	165	36	243	25	369

民営 20～29人 事業所数	民営 20～29人 従業者数	民営 30～49人 事業所数	民営 30～49人 従業者数	民営 50～99人 事業所数	民営 50～99人 従業者数	民営 100人以上 事業所数	民営 100人以上 従業者数	民営 派遣従業者のみ 従業者数	産業分類
198	**4,652**	**133**	**5,077**	**76**	**5,175**	**51**	**12,874**	**27**	全産業
3	74	4	149	2	122	1	123	－	農・林・漁業
－	－	－	－	－	－	－	－	－	鉱・採石・砂利採取業
13	293	9	330	3	193	2	208	1	建設業
12	296	19	747	16	1,083	15	4,587	－	製造業
－	－	2	65	－	－	－	－	－	電気・ガス・熱供給・水道業
1	25	1	35	－	－	－	－	－	情報通信業
14	312	21	819	10	609	8	2,764	2	運輸・郵便業
46	1,085	13	478	14	968	3	672	7	卸売・小売業
2	47	3	110	2	112	－	－	－	金融・保険業
11	257	4	163	1	53	－	－	6	不動産・物品賃貸業
2	42	1	30	2	161	－	－	－	学術研究、専門・技術サービス業
29	682	16	608	11	761	－	－	2	宿泊・飲食サービス業
12	277	7	273	6	422	1	269	－	生活関連サービス・娯楽業
11	276	8	293	1	89	1	227	－	教育、学習支援業
29	668	10	369	4	303	5	1,037	1	医療、福祉
1	20	－	－	－	－	1	209	－	複合サービス事業
12	298	15	608	4	299	14	2,778	7	サービス業（他に分類されないもの）

1　令和３年６月１日調査
総務省統計局「経済センサス（活動調査）」（総務課）

25　経営組織別事業所と従業者

区　分	事業所数	構成比（%）	従業者数	構成比（%）
総　　数	**3,232**	**100.0**	**54,990**	**100,0**
民　　営	3,135	97.0	42,200	76.7
個人経営	727	22.5	1,873	3.4
法　　人	2,400	74.3	40,245	73.2
・会社	2,143	66.3	35,425	64.4
・会社以外の法人	257	8.0	4,820	8.8
法人でない団体	8	0.2	82	0.1
国・地方公共団体	97	3.0	12,790	23.3

1　令和３年６月１日調査
総務省統計局「経済センサス（活動調査）」（総務課）

市の花　ツツジ

昭和61(1986)年４月１日制定



（ツツジ科の常緑又は落葉低木）

春から夏にかけ紫・白・紅色などの花が咲きます。

種類が多く、鉢植えや造園用に適し栽培管理もしやすく、家庭での植栽も多く見られます。

あらまし

千歳市の農業は、2020年農林業センサスによると、令和２年２月における農家の総数は214戸、そのうち販売農家は173戸、自給的農家は41戸となっています。

千歳市では、農業基盤整備をもとに大規模経営と近代化が進んでおり、令和７年における作付面積の大きな作物としては、小麦（1,520ha）、大豆（780ha）、てん菜（568ha）と、畑作中心の農業が展開されています（全作付面積5,830haうち田639ha、畑5,200ha）。

また、全国と同様、農業者の高齢化、後継者不足などが課題となっていることから、市では農業経営のさらなる強化を進めるため、令和３年度にスタートした千歳市農業振興計画（第４次）に基づき、各種施策を展開しています。

林業では、令和６年度における市の森林面積は31,809haで、林野率は54％、そのうち83％が市内西部の国立公園支笏湖地域から市街地へと続く国有林野となっています。民有林は、主に市内東部に点在し、森林面積は3,823haで、占有率は12％、人工林率は国有林、民有林とも25％前後となっています。

水産業では、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所さけますセンター千歳さけます事業所が、明治21年から続くサケ・マス増殖のため、千歳川でサケやサクラマスのふ化・放流事業を実施するなど、北海道日本海地域におけるサケ・マス増殖事業の中心的な役割を担っており、令和７年度には、約67千尾のサケが捕獲され、約3,010万尾の稚魚が今春放流されました。

支笏湖では、ヒメマスの資源保護と増殖のために、明治以来100年以上にわたり、ふ化事業が実施されています。平成10年からは、水産庁から市に施設及び事業が引き継がれた千歳市支笏湖ヒメマスふ化場（平成26年12月改築）において、親魚の採捕、採卵、ふ化・放流など、ヒメマス保護事業を実施しています。また、平成20年３月には、支笏湖漁業協同組合が漁業権を取得し、ヒメマスを次の世代に継承するため増殖事業を行っているほか、支笏湖産ヒメマスのブランド名称を「支笏湖チップ」に統一し、令和６年６月には、特許庁の地域団体商標にも登録され、更なるブランドの強化に取り組んでいます。

27　農家

（単位　戸）

年	総　数	販売農家数	自給的農家数
27	223	181	42
2	214	173	41
7	**165**	**143**	**22**

1　各年２月１日調査
2　「農家」とは、経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯または農産物販売金額が年間15万円以上ある世帯をいう
3　「販売農家」とは、経営耕地面積が30a以上または農産物販売金額が年間50万円以上の農家をいう
4　「自給的農家」とは、経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が年間50万円未満の農家をいう
農林水産省「農林業センサス」（農業振興課）



28　農業経営体

(1) 総農経営体の推移

（単位　経営体）

年	総数	法人化している							地方公共団体	法人化していない	
		小計	農事組合法人	会社		農協	その他の各種団体	その他の法人			
				株式会社	その他会社						個人経営体
27	216	42	5	35	－	－	1	1	－	174	173
2	204	41	3	34	2	－	－	2	－	163	163
7	**172**	**41**	**2**	**33**	**4**	**1**	**1**	**－**	**－**	**131**	**130**

1　各年２月１日調査
農林水産省「農林業センサス」（農業振興課）

(2) 個人経営体の種類

（単位　経営体）

年	主業経営体	準主業経営体	副業的経営体
2	111	3	49
7	**95**	**2**	**33**

1　各年２月１日調査
2　「農業経営体」とは、農産物の生産を行うかまたは委託を受けて農作業を行い、経営面積が30a以上あることなど、提示されている基準のいずれかに該当する者をいう
3　「主業経営体」とは、農業取得が主（農家所得の50％以上が農業所得）で、１年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる経営体をいう
4　「準主業経営体」とは、農外取得が主（農家所得の50％未満が農業所得）で、１年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる経営体をいう
5　「副業的経営体」とは、１年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいない経営体をいう
農林水産省「農林業センサス」（農業振興課）

29　家畜飼養農家

（単位　頭、百羽）

年	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏	
	農家数	頭数	農家数	頭数	農家数	頭数	農家数	頭数
27	47	4,503	12	X	6	9,246	5	16,905
2	37	3,964	8	X	4	11,686	4	14,287
7	**29**	**3,946**	**6**	**X**	**3**	**X**	**5**	**X**

1　各年2月1日調査
農林水産省「農林業センサス」（農業振興課）

30　認定農業者

（単位　戸）

年	総数	個人	法人
5	154	110	44
6	157	108	49
7	**163**	**109**	**54**

1　「認定農業者」とは、市町村の農業経営基盤強化促進基本構想に示された農業経営の目標に向けて、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画の認定を受けた農業者をいう
農業振興課



ハスカップの実

美しい青紫色の実に独特の甘酸っぱい風味で、千歳のシンボルになっているハスカップ。最近では一村一品としてジャム、ゼリー、ワインなど約30種の加工品が作られ全国的にも有名です。今では栽培する農家も増えてきましたが、最初の一粒はシベリアから海を越えて渡り鳥が運んできたといわれています。

31　耕地面積

（単位　ha）

年	計	田　耕　地	畑　耕　地
5	5,850	634	5,220
6	5,830	639	5,200
7	**5,830**	**639**	**5,200**

農林水産省「農林水産統計」（農業振興課）

33　農地転用の推移

（単位　ha）

年度	総　　数		住　宅　用　地		工　場　用　地		そ　の　他	
	件　数	面　積	件　数	面　積	件　数	面　積	件　数	面　積
3	9	1.1	9	1.1	－	－	－	－
4	11	5.6	9	5.3	－	－	2	0.3
5	17	8.3	14	3.8	－	－	3	4.5
6	7	4.4	2	0.1	－	－	5	4.3
7	**8**	**2.3**	**5**	**1.5**	**－**	**－**	**3**	**0.8**

1　住宅用地とは一般住宅、農家住宅、倉庫、車庫及び農業用施設を含む
2　火山礫採取等一時転用は含まない
農業委員会事務局

34　家畜の監視伝染病発生状況

年度	区分	牛					豚		馬		
		ヨーネ病	ブルセラ症結核	牛海綿状脳症	牛伝染性リンパ腫	サルモネラ症	サルモネラ症	豚丹毒	破傷風	馬鼻肺炎	高病原性鳥インフルエンザ
5	検査頭数	－	－	29	－	－	－	－	－	－	－
	発生頭数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	687,354
6	検査頭数	921	－	2	－	－	－	－	－	－	－
	発生頭数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
7	検査頭数	1,431	3	－	－	－	－	－	－	－	－
	発生頭数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	456,576

1　発生頭数：疑似患畜を含む
検査頭数：北海道家畜保健衛生所「家畜伝染病予防事業実施成績」
発生頭数：北海道農政部「北海道内における監視伝染病の発生状況」（農業振興課）

35　主要農産物生産量

農産物	作付面積（ha）	生産量（t）又は（玉）
水稲	94	463
小麦	1,520	6,530
大豆	780	2,250
馬鈴薯	169	6,140
てん菜	568	35,500
ブロッコリー	73.8	1,758,419

1　ブロッコリーは令和６年、それ以外は令和７年の値
農業振興課

37　市営牧場

(1) 施設概要

施設名	所在地	面積 (ha)
市営牧場	駒里1032番地の1外	220
育成畜舎	駒里1032番地の1	

牧場　放牧地　131ha　　**放牧期間**　5月15日～10月15日
その他　89ha　　**舎飼期間**　10月16日～ 5月14日
計　220ha

農業振興課

(2) 利用状況の推移

(単位　頭)

年度	放牧		舎飼		計
	牛		牛		
	実頭数	延頭数	実頭数	延頭数	延頭数
2	442	60,991	298	47,438	108,429
3	385	54,898	266	44,697	99,595
4	420	60,355	291	49,308	109,663
5	453	63,746	302	52,484	116,230
6	436	60,485	286	45,769	106,254
7	**406**	**55,881**	**287**	**46,414**	**102,295**

農業振興課

38　農業基盤整備事業

(1) 国営土地改良事業

完了事業（S50年以降完了）

事業名	地区名	受益 面積(ha)	受益 戸数
かんがい排水事業（施設改修）	長都	1,512 （うち千歳市 527）	225 （うち千歳市 52）
直轄明渠排水事業	千歳	450	67
総合かんがい排水事業	ネシコシ	2,878	312
農用地等緊急保全整備事業	石狩川下流左岸	14,470 （うち千歳市 550）	2,185 （うち千歳市 78）
かんがい排水事業	道央	28,823 （うち千歳市 608）	3,417 （うち千歳市 113）
	道央用水（一期）	29,010 （うち千歳市 608）	3,363 （うち千歳市 113）
	道央用水（二期）	29,010 （うち千歳市 608）	3,363 （うち千歳市 113）
	道央用水（三期）	29,010 （うち千歳市 608）	3,363 （うち千歳市 113）

1「ℓ」は延長、「φ」は直径、「Q」は計画排水量、「A」は面積を表す
農村整備課

全体		施工年度	備考
事業費（千円）	事業量		
310,000	第15号幹線排水路鋼矢板 右　岸　ℓ＝618.63m 左　岸　ℓ＝732.63m 計　ℓ＝1,351.26m	S53	千歳市　長沼町
1,349,000	排水機場　φ＝1,000㎜　2台 φ＝　600㎜　2台 Q＝6.5㎥／S 排水路　2条　ℓ＝3.5km	S59～H2	千歳市
特別 （6,285,000） 一般 （5,482,000） 計 11,767,000	大学排水機場　φ＝2,000㎜　2台 〃　φ＝1,350㎜　2台 〃　Q＝27.0㎥／S 中央長都排水機場除塵機及び改修 φ=900㎜　3台　φ=500㎜　1台 Q＝5.25㎥／S 排水路12条　ℓ＝29.6km 道　路 8条　ℓ＝12.6km 農地造成　230ha 防風林　ℓ＝3.28km A＝9.8ha	S61～H6	千歳市　長沼町
長都第２工区 8,469,636	漁太排水機場　φ＝1,500 ㎜　3台 Q＝13㎥／S 漁太第１集水路　ℓ＝5.6 ㎞ 漁太第２集水路　ℓ＝3.1 ㎞ 南18号排水機場　φ＝1,350 ㎜　2台 Q＝8.5㎥／S	S63～H7	千歳市　江別市　恵庭市　岩見沢市 栗沢町　南幌町　長沼町　北村
80,600,000	排水機場　２か所 揚水機場　７か所 用水路16条　ℓ＝112.5km 排水路24条　ℓ＝80.9 ㎞	S55～H16	千歳市　江別市　恵庭市　北広島市 夕張市　栗山町　栗沢町　由仁町 長沼町　南幌町
23,051,000	夕張シューパロダム新設 クォーベツダム改修	H7～H16	千歳市　江別市　恵庭市　北広島市 夕張市　栗山町　栗沢町　由仁町 長沼町　南幌町　早来町　追分町
57,316,827	夕張シューパロダム新設	H14～H26	千歳市　江別市　恵庭市　北広島市 夕張市　栗山町　岩見沢市　由仁町 長沼町　南幌町　安平町
69,290,000	頭首工　４か所 揚水機場　６か所 用水路６条　ℓ＝10.2km	H16～H30	千歳市　江別市　恵庭市　北広島市 夕張市　栗山町　岩見沢市　由仁町 長沼町　南幌町　安平町

(2) 道営土地改良事業

ア　完了事業（S50年以降完了）

事業名	地区名	受益		全
		面積(ha)	戸数	事業費(千円)
圃場整備	上山口	420 (うち千歳市 227)	127 (うち千歳市 47)	1,675,940
一般農道整備 (基幹舗装)	第2中央	754	71	109,400
排水対策特別	中長都	616 (うち千歳市 400)	129 (うち千歳市 71)	1,029,480
一般農道整備 (基幹舗装)	第2東千歳	805	57	392,460
一般農道整備 (基幹舗装)	第2中央2期	574	71	103,920
圃場整備	釜加	227	67	1,932,788
農免農道整備	根志越	370	60	422,070
圃場整備事業	泉郷	198	42	1,830,540
土地改良総合整備事業	中長都	203	31	346,000
開拓地整備事業	南長都	99	12	146,000
農免農道整備事業	東丘北部	483	29	685,580 (2期分含む)
畑地帯総合土地改良事業	都	342	48	1,533,600
畑地帯総合土地改良事業	長都	196	36	1,620,793
畑地帯総合土地改良事業	東丘	1,151	57	4,476,720
畑地帯総合土地改良事業	新幌	1,193	89	6,866,080
土地改良総合整備事業	釜加	92.6	23	154,500
畑地帯総合整備事業	ネシコシ	198	19	253,814
経営体育成基盤整備事業	泉郷	50	7	49,685
水田振興緊急整備事業	中長都第2	51.3	18	91,964
畑地帯総合整備事業	中央	307.7	43	38,500
基幹水利施設補修事業	南21号	605 (うち千歳市 391.7)	122 (うち千歳市 69)	213,063
畑地帯総合整備事業	新川	28.8	12	52,511
かんがい排水事業 (基幹水利施設保全型)	新幌	934.6	60	112,020

1「ℓ」は延長、「φ」は直径、「Q」は計画排水量、「A」は面積を表す

事業量	施工年度	備考
道路（路盤改良） ℓ＝8,996m　道路（舗装） ℓ＝545m 排水路 ℓ＝4,519m　区画整理 A＝420ha 暗渠 A＝420ha	S46～S56	千歳市　恵庭市
道路（舗装） ℓ＝2,993m	S52～S56	千歳市
排水機場（南21号） ϕ＝1,100㎜ 2台 Q＝5.0㎥／S （移設） ϕ＝ 600㎜ 1台 Q＝0.75㎥／S 排水路 ℓ＝3,547m	S54～S59	千歳市　恵庭市
道路（舗装） ℓ＝5,559m	S54～S59	千歳市
道路（舗装） ℓ＝2,152m	S57～S60	千歳市　長沼町
区画整理 A＝226.9ha　暗渠 A＝226.9ha 農道（防塵） ℓ＝2,750m　排水路 ℓ＝650m	S49～S63	千歳市
道路（舗装） ℓ＝3,643m　橋梁 1か所	S60～S63	千歳市
区画整理 A＝ 198.4ha　暗渠 A＝ 197.8ha	S52～H2	千歳市
農道 ℓ＝2,782m　明渠 ℓ＝539m　暗渠 A＝36.4ha	H元～H4	千歳市
道路（改良） ℓ＝1,503m　（舗装） ℓ＝1,503m	H2～H5	千歳市
農道（舗装） ℓ＝5,444m　（改良） ℓ＝5,444m	S63～H7	千歳市　由仁町
農道（舗装） ℓ＝5,916m　（改良） ℓ＝5,916m 明渠 ℓ＝3,525m　暗渠 A＝51.6ha　改良転客土 A＝46.6ha	S61～H8	千歳市
農道（舗装） ℓ＝3,581m　（改良） ℓ＝3,589m 明渠 ℓ＝1,021m　暗渠 A＝33.1ha　排水機場 2か所	S63～H9	千歳市
農道（舗装） ℓ＝12,171m　（改良） ℓ＝14,005m 明渠 ℓ＝13,202m　暗渠 A＝117.8ha　区画 A＝200.5ha 農地造成 A＝44.6ha　営農用水 ℓ＝27,097m　客土 A＝66.2ha	S55～H10	千歳市
農道（舗装） ℓ＝16,559m　（改良） ℓ＝16,559m 明渠 ℓ＝16,061m　暗渠 A＝244.7ha　区画 A＝320.4ha 営農用水 ℓ＝31,425m	S56～H10	千歳市
明渠 ℓ＝236m　暗渠 A＝91.6ha	H11～H14	千歳市
暗渠 A＝197.8ha　心土破砕 A＝158.1ha	H14～H17	千歳市
明渠 ℓ＝80m　暗渠 A＝31.7ha	H15～H17	千歳市
明渠 ℓ＝543m　暗渠 A＝47.7ha	H16～H18	千歳市
明渠 ℓ＝1,262m　暗渠 A＝223.9ha	H16～H19	千歳市
南21号排水機場の施設整備補修	H17～H19	千歳市　恵庭市
暗渠 A＝26.8ha　客土 A＝3.2ha	H20～H22	千歳市
排水路補強・補修 ℓ＝1,371m	H23～H27	千歳市

イ　継続地区

事　業　名	地区名	受　益 面積（ha）	全　体 事　業　内　容
多面的機能 支払事業 （事業開始年度　H26）	釜加・中長都 泉　郷 幌　加 新　川 協　和 東　丘 駒　里 根志越・中央	4,963.87 田　340.16 畑　4,098.22 草地　525.49	農業用排水路や農道などの施設を維持保全する活動や、農村の景観形成など地域共同活動に対する支援

農村整備課

(3) 補助事業

完了地区

事　業　名	地区名	受　益		全　体	
		面積（ha）	戸数	事業費（千円）	事　業　量
ふるさと農道緊急整備事業 （施工年度　H６～H８）	幌加・新川			48,885	農道（舗装）ℓ＝332.8m （改良）ℓ＝332.8m
農業水利施設台帳整備事業 （施工年度　H７～H９）	千　歳			20,640	排水機場、排水路等の農業水利施設台帳の整備
畜産環境整備特別対策事業	千　歳	2,209.01	58	2,812,274	草地整備　A＝181.91ha 暗渠　A＝92.4ha 施設整備　1 式 周辺環境整備　1 式

1 「ℓ」は延長、「A」は面積を表す
農村整備課

令和７年度までの実績	令和８年度の予定
事 業 費（千円）	事 業 費（千円）
726,774	68,668

39　森林面積と蓄積量

所有区分	林野率（%）	面積（ha）					蓄積（千㎥）		
		計	天然林	人工林	無立木地	その他	計	針葉樹	広葉樹
国有林	44.2	26,287	18,203	6,831	7	1,246	4,152	1,715	2,438
その他国有林	2.9	1,700	1,656	44	—	—	116	17	99
市有林	0.5	312	241	70	1	—	44	19	24
その他民有林	5.9	3,511	2,504	772	235	—	403	170	233
計	**53.5**	**31,809**	**22,604**	**7,716**	**243**	**1,246**	**4,715**	**1,921**	**2,794**

1　令和７年４月１日現在
2　林野率とは市総面積59,450haに対する占有率
北海道水産林務部総務課「北海道林業統計」（農村整備課）



40　国立研究開発法人水産研究・教育機構　水産資源研究所さけますセンター千歳さけます事業所

（1）施設概要

所在地　蘭越９番地

第１・第２事業棟（サケ）

ふ化室	ボックス式ふ化器	84台	3,400万粒
養魚池	2,486㎡		3,100万尾
飼育池	3,200㎡		3,000万尾

第３事業棟（サクラマス）

飼育池	120㎡	10万尾

水産研究・教育機構　水産資源研究所さけますセンター千歳さけます事業所

人工ふ化放流を行っているサケ・マス類

▼サケ
chum salmon



体長55～85㎝、体重1.5～7.5㎏。韓国から北米のカリフォルニアまで、北太平洋の広範囲に分布。主にベーリング海およびアラスカ湾で２～５年間索餌回遊した後、９～12月に北日本の沿岸へ来遊し、生まれた河川へそ上して産卵する。翌年の３～５月に体長５㎝程度に成長した稚魚は降海し、北太平洋で索餌回遊する。

北日本の主要な漁業対象種であり、各地で人工ふ化放流が行われている。一般にアキサケ、アキアジと呼ばれ、他のさけ・ます類と区別するためにシロザケとも呼ばれる。

▼サクラマス
masu salmon



体長40～65㎝、体重0.8～3.5㎏。北太平洋西部の日本海からオホーツク海及び北日本東部沿岸の狭い範囲に分布。北日本周辺からオホーツク海で１年間索餌回遊した後、４～６月に生まれた河川へそ上し、河川で越夏した後、９～10月に産卵する。稚魚は１～２年河川で生活し、４～６月に体長13㎝程度に成長してから降海し、夏季にオホーツク海、その後は北太平洋で索餌回遊する。

同じ親から生まれた稚魚のうち、雄の一部に一生を淡水で過ごす河川残留型が出現し、ヤマメ（ヤマベ）と呼ばれる。一般に本マス、ママスと呼ばれ、富山の鱒鮨の原料として有名。

水産研究・教育機構　水産資源研究所さけますセンター千歳さけます事業所

(2) サケ河川捕獲、採卵およびふ化放流の状況

年度	捕獲数			採卵数	収容卵数	ふ化尾数	放流尾数
	雌	雄	計				
	尾	尾	尾	千粒	千粒	千尾	千尾
3	148,659	179,093	327,752	103,552	33,800	31,451	30,289
4	273,141	314,334	587,475	76,464	33,700	30,304	30,245
5	169,156	159,116	328,272	65,426	33,600	30,536	30,252
6	81,762	79,514	161,276	127,798	33,700	30,536	30,250
7	**30,575**	**36,708**	**67,283**	**76,096**	**33,700**	**30,461**	**30,000**

1　令和７年度の放流尾数は推定値
2　放流数は生まれ年
水産研究・教育機構　水産資源研究所さけますセンター千歳さけます事業所

(3) サクラマス河川捕獲、採卵およびふ化放流の状況

年度	捕獲数			採卵数	収容卵数	ふ化尾数	放流尾数
	雌	雄	計				
	尾	尾	尾	千粒	千粒	千尾	千尾
3	468	439	907	130	130	108	102
4	416	387	803	130	130	116	111
5	373	388	761	130	130	117	103
6	419	340	759	314	140	117	100
7	**340**	**276**	**616**	**315**	**140**	**134**	**100**

1　放流尾数は生まれ年
水産研究・教育機構　水産資源研究所さけますセンター千歳さけます事業所

41　泉沢養魚場

施設概要

所在地　泉沢1009番地の19
開　場　昭和57年４月（養魚場休止　平成19年３月）
魚　種　ヒメマス
施設等

最大取水量		7,646㎥／日（5.31㎥／分）
建　物		
ア　管理棟及びふ化室		210.60㎡
イ　稚魚池上屋		141.48㎡
ウ　ポンプ室		18.90㎡
施　設		
ア　養魚池	14面	580㎡
（ア）稚魚池	6面	60㎡
（イ）養魚池	4面	120㎡
（ウ）飼育池	4面	400㎡
イ　導水路その他		一　式
ふ化能力		1,200千粒

現　状
　平成23年３月から施設等は、日本海さけ・ます増殖事業協会がサケの２次飼育施設として活用している。

観光課

42　支笏湖ヒメマスふ化場

(1) 施設概要

所在地　支笏湖温泉番外地
開　場　平成10年８月11日（水産庁から譲渡）
　　平成26年12月25日（事務所及びふ化室建替）

施設等
　最大取水量　　717㎥／日
　建　物
　　ア　事務所及びふ化室等　　405.01㎡
　　イ　倉庫（旧支笏湖ヒメマスふ化場事務所）　　140.24㎡
　施　設
　　ア　養魚池　長さ18m　幅1.5m　３列
　　イ　導水路その他　　一式

観光課

(2) ヒメマス親魚捕獲・ふ化の推移

年度	捕獲数			採卵数	収容卵数	ふ化尾数	放流尾数
	雌	雄	計				
	尾	尾	尾	千粒	千粒	千尾	千尾
3	453	223	676	223	223	210	185
4	464	579	1,043	232	232	196	185
5	1,667	1,313	2,980	592	216	200	185
6	7,825	5,025	12,850	842	220	207	185
7	**1,858**	**1,621**	**3,479**	**843**	**212**	**195**	**185**

観光課

市の花　ハナショウブ

昭和61(1986)年４月１日制定



（アヤメ科の多年草）

新緑を背景に、水辺に紫・白・紫紅色などの花が咲き乱れる風情は日本的情緒にあふれています。

市内でも、ママチ川、勇舞川の河畔などで美しい花が見られます。

最先端企業が集まる工業都市

あらまし

北海道内有数の「工業都市ちとせ」の歴史は、昭和37年に札幌通商産業局（現在の北海道経済産業局）が実施した「工業団地造成調査」に端を発します。

その後、駐留米軍の撤退に伴う離職者対策と生産都市への脱皮を図るため、市では、北信濃地区に北海道の自治体では初めてとなる千歳市第１市営工業団地の造成を昭和39年に、千歳市第２市営工業団地の造成を昭和42年にそれぞれ着手し、両団地ともに昭和47年に分譲を終了。

さらに、昭和47年からは、北海道初の民間デベロッパー方式による千歳第３工業団地が造成され、昭和48年に分譲を終了しています。

また、市では、昭和54年には恵まれた自然が広がる泉沢地区に千歳臨空工業団地を、昭和61年には試験研究用団地として千歳サイエンスパークをそれぞれ造成しました。

このほか、平成４年には千歳市第４工業団地及び物流拠点としての工業系用地の需要に応えるために千歳市根志越業務団地を、平成６年には学術研究・生産・交流・保健休養の機能を有機的に展開する千歳美々ワールドと、24時間対応の機能を持つ広域物流拠点として千歳流通業務団地を、平成８年には国際ビジネス交流拠点として千歳オフィス・アルカディアをそれぞれ造成・分譲し、千歳オフィス・アルカディアについては平成20年に分譲を終了しています。また、平成27年からは北海道空港株式会社が物流拠点として新千歳空港ロジスティクスセンターの分譲を開始しています。

「空・陸・海」の交通ネットワークが有機的に結びつく北海道の一大交通拠点である千歳市は、安価で良質な水資源、天然ガスなどの産業インフラが充実し、理工系の専門知識や技能を有する人材にも恵まれた、企業立地に適した環境が整う北海道屈指の工場適地であり、初期投資の軽減制度や助成金の優遇措置など、企業立地を促進するための様々な制度を充実させ、製造業をはじめ、多業種にわたる企業誘致

に取り組んでいます。

現在、工業団地、工業系団地への進出企業数は280社を超えており、令和３年経済センサス（活動調査）の結果によると、製造品出荷額等は約2,327億円で全道35市中、第５位となっています。

また、千歳美々ワールドでは、国策プロジェクトとして最先端半導体の製造工場が立地したほか、最先端技術を活用したオープンイノベーション拠点として、国等による研究開発施設の整備計画も進められており、世界からも注目を集めています。

43　事業所・従業者と製造品出荷額等の推移

年	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
29	93	7,372	24,554,720
30	94	7,438	25,643,215
元	93	7,846	25,346,872
2	93	7,695	24,370,178
3	**100**	**7,288**	**23,271,419**

1　各年６月１日調査
2　従業者４人以上の事業所を対象としている
3　「製造品出荷額等」とは製造品出荷額、加工賃及びその他の収入額により調査
経済産業省「工業統計調査」（29年～２年）
経済産業省「経済センサス（活動調査）」（３年）（総務課）

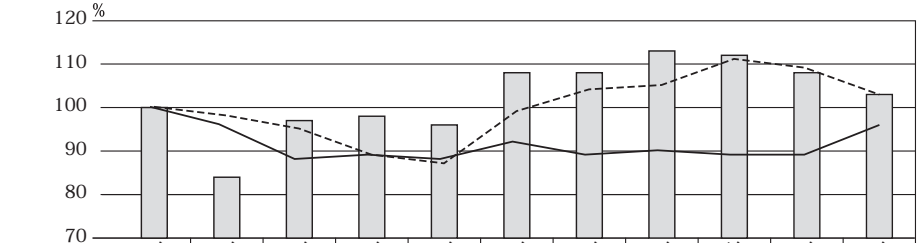
44　北海道に見る千歳市の工業出荷額等

順位	市名	出荷額等（百万円）
1	苫小牧市	1,006,821
2	札幌市	578,019
3	室蘭市	337,978
4	釧路市	234,614
5	**千歳市**	**232,714**

順位	市名	出荷額等（百万円）
6	旭川市	216,068
7	函館市	180,625
8	小樽市	165,412
9	恵庭市	141,833
10	帯広市	128,063

1　令和３年６月１日調査
経済産業省「経済センサス（活動調査）」（総務課）

工場数・従業者数・出荷額等の推移



	20年	21年	22年	24年	25年	26年	29年	30年	元年	2年	3年
出荷額	100	84	97	98	96	108	108	113	112	108	103
工場数	100	96	88	89	88	92	89	90	89	89	96
従業者数	100	98	95	89	87	99	104	105	111	109	103

1　図は平成20年を基準（100）とした推移
経済産業省「工業統計調査」（20年～２年）
経済産業省「経済センサス（活動調査）」（３年）（総務課）

45　産業別事業所・従業者と製造品出荷額等

業種	事業所数	構成比(%)	従業者数	構成比(%)	製造品出荷額等（万円）	構成比(%)
総数	**100**	**100**	**7,288**	**100.0**	**23,271,419**	**100.0**
食料品	24	24	1,755	24.1	5,031,930	21.6
飲料・たばこ・飼料	7	7	259	3.6	1,934,009	8.3
繊維工業品	1	1	5	0.1	X	X
木材・木製品	2	2	28	0.4	X	X
家具・装備品	1	1	6	0.1	X	X
パルプ・紙・紙加工品	2	2	108	1.5	X	X
印刷・同関連品	2	2	138	1.9	X	X
化学工業製品	7	7	414	5.7	1,466,512	6.3
プラスチック製品	5	5	219	3	528,034	2.3
ゴム製品	2	2	56	0.8	X	X
窯業・土石製品	10	10	245	3.4	817,312	3.5
鉄鋼	1	1	54	0.7	X	X
非鉄金属	2	2	30	0.4	X	X
金属製品	13	13	226	3.1	856,346	3.7
はん用機械器具	2	2	161	2.2	X	X
生産用機械器具	4	4	276	3.8	1,033,463	4.4
電子部品・デバイス・電子回路	7	7	2,582	35.4	7,458,147	32.0
電気機械器具	4	4	127	1.7	743,413	3.2
輸送用機械器具	2	2	566	7.8	X	X
その他の製品	2	2	33	0.5	X	X

1　令和３年６月１日調査
2　「X」は、集計対象となる事業所が1又は2で、個々の報告者の秘密が漏れるおそれがあるため秘匿した箇所
経済産業省「経済センサス（活動調査）」（総務課）



46　工業団地

(1) 施設概要

位　　置

第１～４工業団地	千歳市街地の北方約2.5㎞で、北海道縦貫自動車道とＪＲ北海道千歳線の間に位置しています。
臨空工業団地	新千歳空港の西方約５㎞で、北海道縦貫自動車道の西側に位置しています。
美々ワールド	新千歳空港の北東約4.5㎞で、ＪＲ北海道千歳線とＪＲ北海道石勝線の間に位置しています。
新千歳空港ロジスティクスセンター	新千歳空港の西方約3.5㎞で、北海道縦貫自動車道の東側に位置しています。

所 在 地

第１・２工業団地	北信濃　上長都
第３・４工業団地	上長都
臨空工業団地	泉沢
美々ワールド	美々
新千歳空港ロジスティクスセンター	平和

立地条件

交通運輸	鉄　道	ＪＲ北海道千歳線・石勝線
	道　路	国道36号外 道道島松千歳線外
	高速道路	北海道縦貫自動車道 大沼公園－長万部－室蘭－苫小牧－千歳－札幌－旭川－士別 剣淵 小樽 余市 北海道横断自動車道 足寄 千歳－夕張－占冠－清水－音更－本別－阿寒
	空　港	新千歳空港
	港　湾	苫小牧港
上下水道・電気・ガス		完備

地域開発等の指定

新産業都市		昭和39年４月指定
工場適地	北信濃	昭和37年３月指定
	臨空工業団地	昭和53年３月指定
	サイエンスパーク	平成５年３月指定
	美々ワールド	平成６年３月指定
	流通業務団地	平成８年３月指定
	根志越業務団地	平成10年３月指定
工業再配置特別誘導地域		昭和53年４月指定
特例工業団地の認定団地（工場立地法）	臨空工業団地	昭和56年７月指定
テクノポリス		平成元年２月指定
地方拠点都市		平成５年８月指定

都市計画法上の用途指定地域

都市計画法・工業専用地域	第１工業団地（一部を除く）～第３工業団地 臨空工業団地 新千歳空港ロジスティクスセンター(業務施設地区)
都市計画法・工業地域	第１工業団地（一部） 第４工業団地 流通業務団地 美々ワールド（第１期及び第２期の一部） 新千歳空港ロジスティクスセンター(業務補完･交流地区)
都市計画法・準工業地域	サイエンスパーク 根志越業務団地 美々ワールド（第１期及び第２期の一部） オフィス・アルカディア

企業誘致課

(2) 土地利用区分

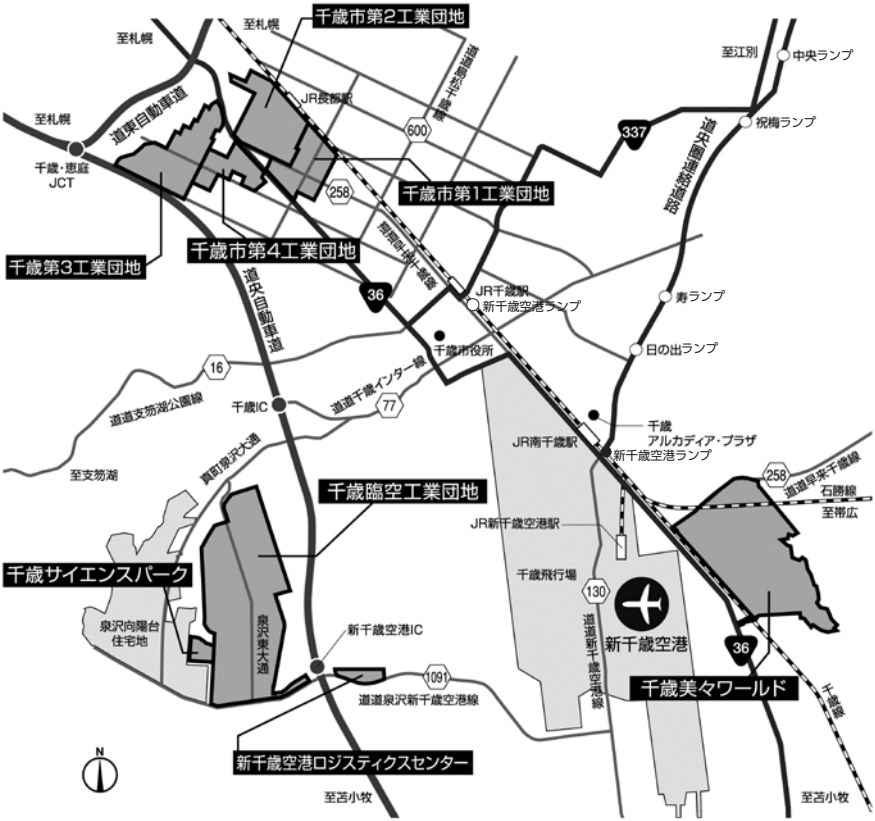
（単位　ha）

区　　分	第１工業団　地	第２工業団　地	第３工業団　地	第４工業団　地	臨空工業団　地	美　々ワールド	新千歳空港ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽｾﾝﾀｰ	計
工業団地総面積	55.66	83.00	94.23	38.42	433.80	147.50	45.75	**898.36**
事業場敷地総面積	47.95	64.59	78.30	31.38	214.27	115.82	33.58	**585.89**
共通施設面積	4.07	9.26	4.11	3.66	168.61	26.55	5.19	**221.45**
うち緑地	2.50	8.43	1.52	1.71	100.20	5.03	4.15	**123.54**
緑地以外の環境施設	0.55	－	2.59	1.95	22.65	21.52	－	**49.26**
その他の共通施設	1.02	0.83	－	－	45.76	－	1.04	**48.65**
その他の施設	3.64	9.15	11.84	3.38	50.92	9.32	6.98	**95.23**

1　工場立地法の規定による

企業誘致課

工業団地位置図



企業誘致課

（3）第１工業団地立地状況

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
フランスベッド㈱	東京都	5,604	S38.11	S42.12	61,010	家具・装備品製造業
㈱エネサンス北海道	札幌市	250	S41. 7	S42. 7	4,225	燃料小売業
日本高圧コンクリート㈱	札幌市	100	S42. 2	S43. 9	116,433	コンクリート製品製造業
鴻池運輸㈱	大阪府	1,723	S42. 3	S42. 3	11,998	貨物自動車運送業
文化シヤッター㈱	東京都	15,051	S42. 3	S42.10	16,719	シャッター製造業
北海道日産自動車㈱	札幌市	50	S42. 4	S54.10	3,974	自動車小売業
㈱ダイヘン	大阪府	10,596	S42. 5	S42.12	20,726	変圧器類製造業
㈱白生舎	千歳市	10	S43. 9	S46.11	8,526	リネンサプライ業
㈱積水化成品北海道	千歳市	100	S43.12	S44. 9	26,127	発泡プラスチック製品製造業
カルビー㈱	東京都	12,046	S44. 3	S44.12	31,539	菓子製造業
未来のアグリ㈱	札幌市	60	S45. 8	S46. 7	13,886	畜産酪農器具製造業
TOPPANパッケージプロダクツ㈱	東京都	100	S45.12	S49. 6	45,197	印刷業
㈱共立鉄工所	千歳市	20	S46.11	S49. 2	3,314	建設用金属製品製造業
ブリヂストンＢＲＭ㈱	埼玉県	9	S54.11	S57. 5	6,596	更生タイヤ製造業
道藤ゴム工業㈱	千歳市	15	S56. 9	S56.10	3,306	工業用ゴム製品製造業
㈱ダスキンプロダクト北海道	千歳市	80	H 2.11	H 3.11	8,019	リース・レンタルサービス業
北海道ガス㈱	札幌市	7,515	H 9. 6	H 9. 6	9,912	ガス供給所
新栄工業㈱	千歳市	20	H15. 4	H15. 4	9,912	管工事業
㈱エヌ・ケーエンジニアリング	千歳市	10	H15. 4	H15. 4	9,912	廃棄物処理業
日本アスパラガス㈱	岩内町	90	H18. 4	H18. 4	71,971	清涼飲料製造業
フォトニック・サイエンス・テクノロジ㈱	千歳市	22	H24.12	H24.12	3,314	非通信分野光ファイバ製造業
大昭倉庫㈱	静岡県	4,800	R 3. 9	R 3. 9	9,705	貨物自動車運送業
㈱北海道ＢＰ	札幌市	10	R 5. 6	R 5. 6	6,612	自動車整備業

1　令和８年４月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　業種欄の（　）は未操業企業の主要業種
6　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

(4) 第２工業団地立地状況

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
㈱ナスタ	東京都	100	S44.12	S45. 5	26,011	工業用プラスチック製品製造業
パナソニックインダストリー㈱	東京都	500	S45. 5	S45.12	99,641	電子部品・デバイス・電子回路製造業
東洋製罐㈱	東京都	1,000	S46.12	S47.10	90,159	金属素形材製品製造業
キリンビール㈱	東京都	30,000	S47. 2	S50. 5	238,908	酒類製造業
千歳市公設地方卸売市場	千歳市	－	S47. 3	S48. 2	44,052	公設地方卸売市場
北海道森紙業㈱	千歳市	310	S47. 3	H 3. 7	27,831	段ボール製造業
道央農業協同組合	恵庭市	－	S57. 4	S57. 4	13,572	農畜産物卸売業
苫小牧埠頭㈱	苫小牧市	876	S60. 7	S61. 3	11,645	倉庫業
三立化工機㈱	愛知県	30	H元. 8	H元.12	35,417	FRP製品製造業
住商アグリビジネス㈱	東京都	250	H 9.10	H 9.11	14,483	化学肥料製造業
東洋インキ㈱	東京都	500	H11. 9	H11. 9	13,029	印刷用インキ卸売業
トーヨーケム㈱	東京都	500	H18.11	H18.11	40,000	食品添加物製造業
藤工業㈱	埼玉県	30	H27. 5	H28. 4	2,495	金属製品製造業
東亜建材工業㈱	千歳市	22	－	－	7,695	土木工事業
㈱北潤ボトリング	千歳市	10	H30. 4	H30. 4	21,206	清涼飲料製造業
千歳相互観光バス㈱	千歳市	31	H30. 6	H30.10	3,780	一般旅客自動車運送業
鴻池運輸㈱	大阪府	1,723	R 2. 6	R 3. 7	11,363	貨物自動車運送業

1　令和８年４月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

(5) 第３工業団地立地状況

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
ブリヂストンＢＲＭ㈱	埼玉県	9	S47. 2	S57. 5	20,265	更生タイヤ製造業
オリオン機械㈱	長野県	100	S47. 8	S48. 9	26,823	農業用機械製造業
㈱ダイナックス	千歳市	500	S47. 8	S49.12	51,177	自動車部分品製造業
タイヨウ㈱	札幌市	97	S47. 9	S50. 4	9,961	貨物自動車運送業
日本ケーブル㈱	東京都	100	S48. 3	－	17,015	（荷役運搬設備製造業）
㈱エンパイアー	札幌市	98	S48. 3	S50. 2	10,978	リネンサプライ業
岩田醸造㈱	札幌市	31	S48. 5	S49. 7	33,058	みそ製造業
山一ピーエスコンクリート㈱	札幌市	50	S48. 6	S49. 5	17,015	コンクリート製品製造業
㈱ＩＨＩアグリテック	千歳市	1,111	S48.11	S53. 6	86,102	農業機械製造業
ジェコス㈱	東京都	4,397	S49. 2	H12. 8	55,790	建設機械器具製造業
札幌日清食品㈱	千歳市	100	S53. 1	S53.10	26,439	めん類製造業

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
三好梱包商事㈲	札幌市	500	S53. 4	S53. 6	86,102	運輸に附帯するサービス業
㈱ケイセイ	千歳市	74	S54.11	S56. 8	24,295	鉄鋼卸売業
千歳市水道局	千歳市	－	S56.10	S59. 4	3,306	高架配水池
北陵ジー・アール・シー工業㈱	千歳市	25	S58. 4	S58. 4	34,034	建築材料卸売業
スガノ農機㈱	茨城県	156	S59. 3	S59. 6	3,810	農業用機械器具卸売業
東名化学工業㈱	愛知県	90	S60.10	S61. 9	9,325	プラスチック製容器製造業
ケィ・マック㈱	大阪府	90	S61. 7	S61.10	9,917	金属加工業
㈱上田商会	登別市	72	S63. 6	H元.10	54,957	コンクリート製品製造業
㈱マテック	帯広市	96	H元. 2	H元. 9	113,208	鉄スクラップ加工処理業
リサイクルファクトリー㈱	札幌市	50	H23.11	－	2,717	（廃棄物処理業）
㈱ニレミックス	札幌市	289	H 4.10	H 5. 3	6,611	生コンクリート製造業
共同配管工業㈱	千歳市	10	H 4.12	H 5. 8	2,900	管工事業
㈱丸畑家具センター	千歳市	10	H 5. 3	H 5.11	1,000	家具・建具卸売業
㈱岡村	東京都	30	H 5. 6	H 5.10	1,985	食品用包装品卸売業
北海道北三㈱	札幌市	41	H 8. 7	H16. 6	10,651	木材・木製品製造業
道央資源開発事業協同組合	千歳市	20	H10. 6	H10. 8	12,807	産業廃棄物処理業
㈱ビコンジャパン	埼玉県	46	H11. 4	H11. 4	4,592	農業用機械器具卸売業
ソフトバンク㈱	東京都	228,162	H13. 6	H13. 8	347	携帯電話中継基地局
日本ドアコーポレーション㈱	札幌市	20	H14.11	H15. 3	6,562	木製品製造業
㈲スカイ物流	千歳市	5	H17.10	H17.12	2,975	一般貨物自動車運送業
㈱杉本運輸	小樽市	35	H18. 4	H18. 4	10,396	建設機械器具賃貸業
共和コンクリート工業㈱	札幌市	300	H18. 4	H18. 5	34,034	コンクリート製品製造業
㈱毛利エンジニアリング	苫小牧市	3	H18. 5	H19. 8	1,305	各種機械・同部品製造修理業
ＨＩＫＡＲＩ・トランス㈱	千歳市	5	H18. 8	H18.12	1,000	一般貨物自動車運送業
㈱ｅｃｏライフ	千歳市	8	H18. 9	H19. 4	363	再生資源卸売業
㈱かんきょう	千歳市	10	H21. 5	H21. 5	9,918	廃棄物処理業
㈱ホシボデー	千歳市	1	H23. 1	H23. 1	3,462	自動車整備業
㈲塩田機械	札幌市	300	H23. 7	H23. 7	992	機械等修理業
苫小牧ヂーゼル機器㈱	苫小牧市	10	H23. 7	H23. 7	1,653	自動車整備業
北海道建設サービス㈱	千歳市	35	H24. 8	H24. 8	9,918	廃棄物処理業
㈱滑川商店	札幌市	－	－	－	6,980	野菜卸売業
久健興業㈱	千歳市	20	H27.12	H27.12	2,277	とび工事業
㈱ＹＳマシナリー	千歳市	300	H28.10	H28.10	1,653	各種機械製造業
㈱共成レンテム	帯広市	500	H30. 3	R 5.10	55,801	建設機械器具賃貸業
千翔建設㈱	千歳市	－	－	－	11,455	（建設業）
東札幌日通輸送㈱	札幌市	49	R 2. 2	R 2. 2	13,223	一般貨物自動車運送事業

1　令和８年４月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　業種欄の（　）は未操業企業の主要業種
6　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

(6) 第４工業団地立地状況

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
㈱ダイナックス	千歳市	500	S47. 8	S49.12	16,763	自動車部分品製造業
地崎商事㈱	札幌市	93	S48. 7	－	39,154	建築工事業
北興自動車工業㈱	千歳市	10	H 4.10	H13. 3	4,353	自動車整備業
千歳市管工事業協同組合	千歳市	4	H 4.10	H 6. 3	1,500	管工事業
㈱長崎工業	千歳市	10	H 4.10	H 6. 6	1,000	管工事業
北海道電力㈱	札幌市	114,291	H 4.10	H 7.10	6,658	変電所
北海産業㈱	苫小牧市	50	H 4.11	H 6. 7	8,304	産業用機械器具賃貸業
千歳液化石油ガス協同組合	千歳市	6	H 5. 6	H 7. 4	1,200	燃料小売業
㈱ｅｃｏａハウス	千歳市	40	H 5.12	H 6. 4	1,459	住宅建築工事業
㈱ミツウロコヴェッセル北海道	北広島市	20	H 6. 8	H 6.11	1,487	燃料小売業
堺商事㈱	大阪府	820	H 6. 8	H 7.10	2,479	化学製品卸売業
㈱ウインテム	千歳市	20	H 6.10	H 7. 2	1,036	建具卸売業
近藤電設工業㈱	千歳市	20	H 6.12	H19. 4	1,036	一般電気工事業
生活協同組合コープさっぽろ	札幌市	89,229	H 7.12	H 8. 8	7,827	各種商品小売業
菅原興業㈱	千歳市	20	H19. 1	H19. 4	3,306	とび工事業
㈱ケーエス北の星観光バス	函館市	13	H21. 5	H21. 5	2,077	一般旅客自動車運送業
北海道千歳ハム㈱	千歳市	8	H21.11	H21.11	10,000	肉加工品製造業
フジッコ㈱	兵庫県	6,566	H24. 1	H25. 1	33,983	乳製品・惣菜製造業
㈱ウッドベル	北広島市	10	H25. 5	H25. 7	2,143	一般貨物自動車運送業
㈱ボンタイム北海道	千歳市	5	H26. 3	H26. 7	3,306	菓子製造業
㈲カトウ住設	千歳市	3	H27. 7	H27. 7	5,714	管工事業
旭新運輸開発㈱	大阪府	40	H29. 6	H30.12	5,938	一般貨物自動車運送業
千歳市環境整備事業協同組合	千歳市	17	H31. 1	R 3. 4	4,397	土木事業
㈱サンエイタイヤ産業	千歳市	10	－	－	5,714	自動車中古部品卸売業
㈱ＥＶＥＮＴ ＯＮＥ	千歳市	－	－	－	5,714	物品賃貸業
㈱ソーラークリーニング	茨城県	12	R 2. 3	R 2.11	23,783	太陽光発電事業
茂野設備㈱	千歳市	5	R 2. 7	R 2. 7	5,714	管工事業
㈱ザイマックスカレス北海道	千歳市	100	R 3. 5	R 4. 6	14,062	リネンサプライ業
Ｏｎｅｆｌｏｗｅｒ㈱	千歳市	5	R 3.11	－	1,211	（不動産業）
㈱ＤＡＤＡＣＡ	夕張市	30	R 4. 6	R 4. 6	7,033	菓子製造業
㈱エスコン	東京都	16,519	R 5. 9	－	26,141	倉庫業
岐阜工業㈱	岐阜県	60	R 5.12	R 5.12	19,834	機械器具設置工事業
エスアールエス㈱	東京都	285	R 6. 9	－	11,263	物品賃貸業
㈱ゼンショーホールディングス	東京都	47,497	R 7. 5	－	19,834	（食料品製造業）

1　令和８年４月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　業種欄の（　）は未操業企業の主要業種
6　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

(7) 臨空工業団地立地状況

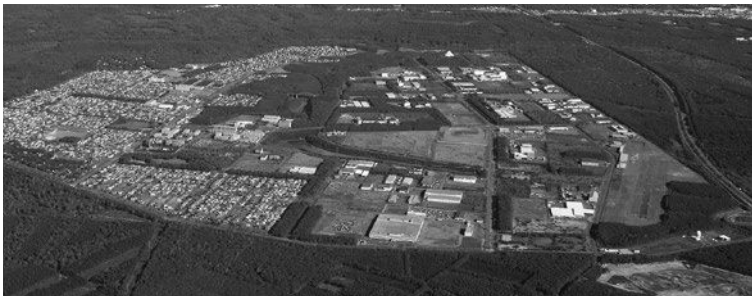
企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
(一社) 日本血液製剤機構	東京都	—	S56. 4	S58. 6	54,898	医薬品製造業
鹿島建設㈱	東京都	81,400	S56.10	—	57,102	(総合建設)
田中製餡㈱	東京都	100	S56.12	S58. 8	24,766	製餡業
臼井国際産業㈱	静岡県	100	S57. 3	—	5,827	(電機部品製造業)
三甲㈱	岐阜県	100	S57. 8	H 3.10	47,906	プラスチック製品製造業
北海道キッコーマン㈱	千歳市	350	S58. 3	S61. 8	88,822	調味料製造業
エア・ウォーター・ガスプロダクツ㈱	大阪府	100	S58. 5	H 5.12	40,286	圧縮ガス・液化ガス製造業
㈱セロテック	札幌市	98	S58. 8	S59. 9	13,278	医薬品製造業
㈱モダン化成	札幌市	16	S58. 9	S62. 3	5,186	プラスチック製容器製造業
北海道電力㈱	札幌市	114,291	S58.12	S59. 7	9,584	変電所
㈱北海道シーアイシー研究所	千歳市	35	S59. 6	S59.12	4,849	特殊クリーニング業
㈱巴商会	東京都	75	S59.11	S60. 4	2,735	燃料卸売業
㈱ヤング・ライン	千歳市	8	S60. 9	S62.11	23,120	清涼飲料製造業
㈱北のアトリエ	千歳市	10	S61. 3	S61. 9	45,668	パン・菓子製造業
㈱星光社	東京都	98	S61. 7	S62.10	2,425	電気通信機械器具製造業
多治見無線電機㈱	東京都	50	S61. 8	H 6.10	10,499	通信機部品製造業
㈱ムトウ	札幌市	501	S62. 2	H 4. 2	6,975	医療機器卸売業
北海道北港運輸㈱	千歳市	33	S62.12	H 4. 4	10,311	貨物自動車運送業
㈱日本サーモエナー	東京都	491	S63. 9	H 4.10	3,500	機械器具設置工事業
北興昭和㈱	千歳市	60	H元. 2	H元. 9	10,839	金属製品製造業
㈱技研製作所	東京都	8,958	H元. 8	—	7,200	(建設用機械製造業)
北海道日興電気通信㈱	千歳市	30	H元.10	H 3.11	16,016	電子・通信機器用部品製造業
㈱北泉	千歳市	30	H元.10	H 5. 9	14,350	青果物卸売業
㈱アーキビジョン21	千歳市	50	H元.11	H 5. 1	108,783	木造建築工事業
㈱エルス	千歳市	24	H 2. 2	H 2. 8	2,406	ソフトウエア業
岩塚製菓㈱	新潟県	1,634	H 2. 2	H 2.11	19,008	菓子製造業
㈱ワイム	山形県	50	H 2. 2	H 3. 3	8,748	電気機械器具製造業
北宝運輸㈱	旭川市	10	H 2. 6	H 2. 6	3,324	貨物自動車運送業
アベテック㈱	札幌市	100	H 2.11	—	9,918	(洗浄機器製造業)
フルサト工業㈱	大阪府	400	H 3. 3	H 4. 6	9,899	建築用金属製品製造業
㈱カネショー	埼玉県	50	H 3. 9	H 4. 9	6,611	荷役運搬設備製造業
㈱SUMCO	東京都	199,000	H 3.12	H 5. 6	70,000	半導体用シリコンウエーハ製造業

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
ヤマト運輸㈱	東京都	50,000	H 4. 3	H10.12	29,245	貨物自動車運送業
フタバ食品㈱	栃木県	492	H 4. 5	－	8,974	（冷菓製造業）
㈱友和	東京都	100	H 7. 3	H 8.12	37,624	各種商品卸売業
㈱ケイシイシイ	千歳市	80	H 8. 4	H 8. 4	19,560	菓子製造業
建装設備北海道㈱	札幌市	70	H11. 3	－	2,400	（設備工事業）
大虎運輸㈱	大阪府	70	H12. 5	H12.12	15,701	一般貨物自動車運送業
ミツミ電機㈱	東京都	20,000	H16.12	H16.12	95,367	集積回路製造業
㈱トランシス	千歳市	35	H17. 5	H17. 6	13,223	一般貨物自動車運送業
㈱ホンダユーテック	埼玉県	480	H17. 5	H17.11	20,519	中古自動車販売業
㈱北海道シルバーサービス	札幌市	40	H18. 5	H18. 9	5,743	リネンサプライ業
理工協産㈱	東京都	60	H18. 5	H18.10	5,270	食品工業用洗浄剤製造業
溝端紙工印刷㈱	和歌山県	50	H18.10	H20. 2	4,971	紙製品製造業
㈱エコフィールド	千歳市	33	H19. 1	H19. 5	7,904	飼料・有機質肥料製造業
㈱岩井プラントサービス	千歳市	50	H19. 4	H19.11	9,973	食品製造機械整備業
㈱デンソー北海道	千歳市	2,600	H19. 6	H21. 4	163,484	自動車部分品製造業
㈲ゴールデンモーター	千歳市	20	H19. 9	H20. 1	4,003	自動車中古部品卸売業
㈱トヨタユーゼック	千葉県	6,830	H19.10	H20.10	65,786	中古自動車販売業
千歳市水道局	千歳市	－	H20.10	－	5,850	高架配水池
㈱メビウス	千歳市	1	H21. 1	H21. 1	2,721	リネンサプライ業
㈱アルファテック	山梨県	10	H21. 9	H21.10	3,000	半導体装置製造業
㈱フルヤ金属	東京都	10,662	H21.12	H22.12	5,551	工業用貴金属製品製造業
㈲大成工業	三重県	3	H22.12	H26. 7	3,308	機械組立・加工業
KDDI㈱	東京都	141,852	H23. 3	H23. 3	1,113	携帯電話中継基地局
佐藤水産鮨㈱	千歳市	10	H23. 4	H23.12	2,969	弁当製造業
旭川通運㈱	旭川市	50	H24. 4	H24. 7	11,570	一般貨物自動車運送業
㈲恒和配送	千歳市	12	H24. 4	H24. 8	3,347	一般貨物自動車運送業
佐藤水産㈱	札幌市	60	H25. 2	H25. 2	2,969	水産食料品製造業
浜理PFST㈱	大阪府	100	H25. 4	H25. 4	56,760	医薬品製造業
㈱ほくうん	札幌市	45	H25. 8	H25. 8	23,141	一般貨物自動車運送業
京葉ガスエナジーソリューション㈱	千葉県	80	H26. 6	H26. 9	59,883	太陽光発電事業
セイノースーパーエクスプレス㈱	東京都	100	H26. 6	H26. 6	7,200	一般貨物自動車運送業
学校法人淳心学園	千歳市	－	H26. 9	H27. 9	6,375	教育機関
グリーンロジスティクス㈱	滋賀県	55	H26.10	－	18,364	（一般貨物自動車運送業）

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
不二電子工業㈱	静岡県	675	H27. 1	H28. 9	9,917	工業用プラスチック製品製造業
㈱横森製作所	東京都	60	H28. 2	H29. 1	6,720	金属製品製造業
㈱ＭＭＣフードサービス	千歳市	10	H29. 6	H29. 6	11,554	飲食料品卸売業
㈱ＲＩＳＥ	東京都	100	H30. 2	－	48,850	（不動産賃貸業）
北海ケミー㈱	札幌市	30	H30. 4	H30. 4	10,535	薬品卸売業
㈲すけっと運輸	千歳市	3	－	－	2,989	（運送業）
㈱ジオコン	神奈川県	10	H30.10	H30.10	1,322	総合工事業
スカパーＪＳＡＴ㈱	東京都	10,172	R元.12	R元.12	19,363	情報提供サービス業
㈱Ｌｏｏｏｐ	東京都	6,680	R 2. 5	R 2. 5	51,580	太陽光発電事業
Genova Biopharmaceuticals㈱	千歳市	－	R 2. 6	－	64,000	（医療品製造業）
岡谷エコ・アソート㈱	苫小牧市	98	R 2. 9	R 2. 9	5,439	鉄スクラップ等加工処理業
パワーホールドジャパン㈱	帯広市	－	－	－	9,918	太陽光発電事業
源清田商事㈱	千葉県	30	R 4.10	－	13,390	（野菜卸売業）
㈱ＦＪコンポジット	千歳市	30	R 5. 6	R 6. 4	9,948	半導体素子部品製造業
㈱テクノウェル	山口県	20	R 5. 9	－	5,007	（半導体製造装置製造業）
戸田建設㈱	東京都	23,000	R 6. 1	－	20,085	（建設業）
千歳蒸留所(同)	東京都	－	R 6. 3	－	164,146	（酒類製造業）
クリーンテクノ㈱	福井県	10	R 6. 4	R 6. 7	1,699	管工事業
㈱フジタ	東京都	14,000	－	－	66,712	（不動産賃貸業）
㈱高橋管機工業	千歳市	25	－	－	9,944	管工事業
カゴメ㈱	愛知県	19,985	R 7.11	－	32,614	

1　令和８年４月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　業種欄の（　）は未操業企業の主要業種
6　資本金は百万円未満を切り捨てた

企業振興課



企業振興課

(8) 美々ワールド立地状況

企業名	本社所在地	資本金(百万円)	立地年月	操業年月	面積(㎡)	業種
オリックス自動車㈱	東京都	500	H10. 6	H10. 6	33,057	自動車賃貸業
ニッポンレンタカー北海道㈱	札幌市	20	H10. 6	H10. 7	28,099	自動車賃貸業
㈱トヨタレンタリース札幌	札幌市	15	H13. 1	H13. 7	35,632	自動車賃貸業
㈱トヨタレンタリース新札幌	札幌市	20	H13. 1	H13. 7	32,397	自動車賃貸業
セイコーエプソン㈱	長野県	53,204	H13. 3	H17. 4	160,528	電子デバイス製造業
ブリヂストンタイヤセンター北日本㈱	東京都	10	H20. 6	H20. 6	4,960	自動車部分品卸売業
㈲ウイングサービス	千歳市	7	H21. 4	—	1,798	(一般旅客自動車運送業)
ワールドネット㈱	札幌市	55	H25. 4	H26. 1	10,087	自動車賃貸業
エネワンソーラーパーク千歳共同事業体	東京都	—	H26.10	H27.12	53,536	太陽光発電事業
㈱エバーグリーンモビリティ	沖縄県	100	H28.11	H29. 4	19,946	自動車賃貸業
㈱イデックスオート・ジャパン	福岡県	100	H29. 2	H29. 9	26,739	自動車賃貸業
㈱田方自動車学校	静岡県	30	H29. 3	H30. 4	11,327	自動二輪車賃貸業
㈱石狩モーターコンサルタント	千歳市	18	H29. 4	H29. 4	2,646	自動車賃貸業
㈱トランスウェブ	千葉県	20	H30.10	H30.12	21,655	一般貨物自動車運送業
Rapidus㈱	東京都	274,950	R 5. 4	—	680,195	(電子デバイス製造業)

1 令和8年4月1日現在
2 本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3 企業名には千歳市における事業所名(工場名等)を省いている
4 業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5 業種欄の( )は未操業企業の主要業種
6 資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

(9) 新千歳空港ロジスティクスセンター

企業名	本社所在地	資本金(百万円)	立地年月	操業年月	面積(㎡)	業種
エア・ウォーター物流㈱	札幌市	177	H30. 9	R元.12	34,062	一般貨物自動車運送業
トランスパック㈱	福島県	10	R元. 8	R 2. 1	3,606	一般旅客自動車運送業
㈱インポート・プラス	札幌市	90	R 2.12	R 3. 9	28,407	自動車サービス業
ジー・オー・ピー㈱	東京都	30	R 6. 2	—	16,726	(建設機械器具賃貸業)
DHLeコマースジャパン㈱	東京都	—	R 6. 5	—	14,238	(倉庫業)
東西海運㈱	東京都	42	—	—	44,297	利用運送業
㈱サン建築設計	札幌市	20	—	—	3,600	建設業

1 令和8年4月1日現在
2 本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3 企業名には千歳市における事業所名(工場名等)を省いている
4 業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5 業種欄の( )は操業予定業種
6 資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

⑽ 工業専用地域内立地状況（除工業団地・製造業のみ）

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
千歳ブロック工業㈱	千歳市	10	S27. 4	S27. 4	13,530	ブロック製造業
㈱三晄プレコンシステム	札幌市	72	S42. 5	S42. 8	30,400	コンクリート製品製造業
太陽生コン㈱	江別市	80	S57.11	H 2. 5	10,678	コンクリート製品製造業
新生飼料㈱	東京都	100	S60. 6	S62. 5	7,591	飼料製造業

1　令和８年４月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

47　サイエンスパーク

⑴ 施設概要

位　　置　新千歳空港の西方約６㎞で、千歳臨空工業団地と泉沢向陽台住宅地の中間に位置しています。

所 在 地　文京２丁目

土地利用区分

団地総面積　12.38ha　　分譲可能面積　8.95ha
道　　路　2.22ha　　緑　　地　1.22ha

立地条件　都市計画法上の用途指定地域は、**46　工業団地 (1) 施設概要**を参照してください。
上下水道・電気・ガスは完備しています。

企業誘致課

⑵ 企業立地状況

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
(一財)日本食品分析センター	東京都	－	H 2. 3	H14. 6	38,966	食品関連試験研究
㈱奈良機械製作所	東京都	40	H 3.11	H11. 4	9,917	化学機械・同装置製造業
㈲ダイケー	愛知県	10	H28.11	－	4,277	（中古自動車販売業）
スカパーＪＳＡＴ㈱	東京都	10,172	R 7. 3	－	22,948	（情報提供サービス業）

1　令和８年４月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　業種欄の（　）は未操業企業の主要業種
6　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

48　工業系業務団地

(1) 施設概要

位　置　流通業務団地　千歳市中心部から北東約３㎞で、ＪＲ北海道千歳線の東側に位置しています。
根志越業務団地　ＪＲ千歳駅の北方約2.3㎞で、国道337号の西0.1㎞に位置しています。
オフィス・アルカディア　ＪＲ南千歳駅及び道央圏連絡道路日の出ランプに直結し、新千歳空港の北方約３㎞に位置しています。

所在地　流通業務団地　流通　旭ヶ丘
根志越業務団地　清流
オフィス・アルカディア　柏台南

立地条件　都市計画法上の用途指定地域、**46　工業団地 (1) 施設概要**を参照してください。
上下水道・電気・ガスは完備しています。

企業誘致課

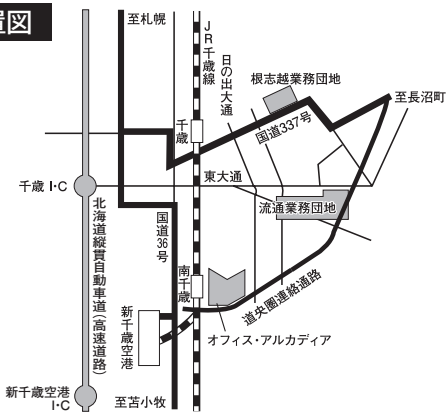
(2) 土地利用区分

（単位　ha）

区　分	流通業務団地	根志越業務団地	オフィス・アルカディア	計
工業団地総面積	52.67	6.96	39.44	**99.07**
事業場敷地総面積	30.21	6.45	29.82	**66.48**
共通施設面積	18.40	0.51	8.68	**27.59**
うち緑地	3.59	—	2.00	**5.59**
緑地以外の環境施設	2.45	—	—	**2.45**
その他の共通施設	12.36	0.51	6.68	**19.55**
その他の施設	4.06	—	1.05	**5.11**

1　工場立地法の規定による
企業誘致課

工業系業務用地位置図



企業誘致課

（3）流通業務団地立地状況

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
㈱協栄土建	千歳市	55	H 7. 8	H 8. 4	2,670	土木建築工事業
㈱クリーン開発	千歳市	30	H 7. 9	H 7. 9	10,530	ビルメンテナンス業
㈱共進ダクト工業	千歳市	10	H 7. 9	H 7. 9	1,051	管工事業
㈱電材重機	室蘭市	100	H 7.10	H 8. 4	12,039	土木工事業
石油資源開発㈱	東京都	14,288	H 7.11	H 8. 4	3,770	天然ガス供給所
㈲野村運送	千歳市	3	H 8.12	H 9. 2	1,125	貨物自動車運送業
千歳市温水プール	千歳市	－	H 9. 1	H10. 7	7,712	スポーツ施設
北海道電力㈱	札幌市	114,291	H10. 3	H14.11	3,657	変電所
祝梅在宅介護支援センター	千歳市	－	H10. 6	H12. 4	2,590	老人福祉事業
国際空輸㈱	東京都	91	H13. 4	H13.10	2,253	航空運送業
越智建設㈱	苫小牧市	94	H13. 5	H13. 5	1,038	一般建設業
東洋コンクリート㈱	北広島市	48	H13. 5	H13. 9	4,836	生コンクリート製造業
㈱ＨＡＬサーブ	千歳市	10	H14. 5	H14. 6	5,544	リネンサプライ業
㈱肉の山本	千歳市	5	H15. 8	H15.11	5,881	肉加工品製造業
㈱ＮＴＴドコモ	東京都	949,680	H17. 8	H18. 3	497	携帯電話中継基地局
㈱札幌ビケ足場	札幌市	30	H18.10	H19. 5	3,497	建設機械器具賃貸業
田辺商事㈱	神奈川県	90	H19.10	H22. 1	2,337	各種商品卸売業
ＫＤＤＩ㈱	東京都	141,852	H20. 8	H20.12	275	携帯電話中継基地局
㈱ドッグゾーン	千歳市	0.5	H23. 3	H23. 5	992	ペットホテル・ペット用品販売業
ふらのバス㈱	富良野市	50	H23. 9	H23.12	2,391	一般旅客自動車運送事業
あぼじ食品㈱	札幌市	10	H25. 9	H26.11	3,062	調味料製造業
㈱つたい	帯広市	100	H26. 5	H29. 6	958	一般旅客自動車運送事業
ヤマト運輸㈱	東京都	50,000	H27. 6	H27.10	3,419	貨物自動車運送業
㈱友愛観光バス	大阪府	75	H27.10	H28. 4	3,870	一般旅客自動車運送事業
札幌エムケイ㈱	札幌市	8	H27.11	H27.11	1,082	一般旅客自動車運送事業
㈱メデック	函館市	23	H28. 2	H28. 8	4,094	生産用機械器具製造業
札幌空輸㈱	千歳市	10	H28. 6	H28.11	5,577	貨物自動車運送業
北海道トラベルサービス㈲	千歳市	－	H28.11	H29. 1	5,072	自動車賃貸業
ほくしょう運輸㈱	苫小牧市	30	H29. 5	H29. 8	977	一般旅客自動車運送事業
北海道拓殖バス㈱	音更町	27	H30. 5	H30. 8	506	一般旅客自動車運送事業
㈱フジカーズジャパン	東京都	10	R元. 8	－	7,508	（自動車賃貸業）
㈱育未	千歳市	2	R元. 8	R 2. 4	3,602	児童福祉事業
㈱カーポイントビック	札幌市	62	R 2. 4	R 2.12	18,019	自動車賃貸業
㈱ＭＡＭＯＲＵ	千歳市	1	R 2. 8	－	1,332	（板金加工事業）

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
㈱じょうてつ	札幌市	200	—	—	1,706	（不動産業）
㈱アルル・ファクトリー	江別市	5	R 3.12	R 4.11	1,379	菓子製造業
住友商事㈱	東京都	221,600	R 4. 5	R 5. 9	10,827	発電所
Ｊネットレンタカー北海道㈱	愛知県	60	R 4. 6	R 5.12	12,081	自動車賃貸業
㈲ピットロード	千歳市	3	R 4.11	—	991	貨物自動車運送業
㈱ＭＩＤ ＡＬＦＡ	札幌市	50	R 5. 3	R 5. 5	1,843	自動車賃貸業
㈱グローバルエンジニアリング	福岡県	378	R 6. 1	—	1,021	（発電所）
オルガノ㈱	東京都	8,225	R 6. 4	R 7. 7	8,270	（エンジニアリング業）
㈱フルヤ金属	東京都	10,662	R 6. 5	—	15,061	（工業用貴金属製品製造業）
能美防災㈱	東京都	13,302	R 6. 5	—	1,503	（機械器具設置工事業）
新千歳運輸㈱	千歳市	5	R 6. 6	R 6. 7	3,317	一般貨物自動車運送業
シービーアールイー㈱	東京都	771	R 6. 9	—	14,238	（倉庫業）
㈱エヌ・ケーエンジニアリング	千歳市	10	R 6.10	—	4,996	（廃棄物処理業）
鹿島建設㈱	東京都	81,400	R 6.10	—	19,699	（倉庫業）
伊藤忠商事㈱	大阪府	253,448	R 6.12	—	17,365	（倉庫業）
伊藤忠都市開発㈱	東京都	10,698	R 6.12	—	17,365	（倉庫業）
ジャパンマテリアル㈱	三重県	1,318	R 6.12	R 6.12	6,331	サービス業
大和エナジー・インフラ㈱	東京都	1,000	R 7. 2	—	6,513	（発電所）

1　令和８年４月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　業種欄の（　）は未操業企業の主要業種
6　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

（4）根志越業務団地立地状況

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
㈲日勝建設工業	千歳市	3	H 9. 3	H 9. 6	1,295	土木建築工事業
清流町内会館	千歳市	—	H10. 5	H10. 9	991	集会場
㈲いまむら	千歳市	10	H10. 9	H11. 3	8,794	冠婚葬祭業
せいりゅう児童館	千歳市	—	H13. 8	H14. 4	1,396	その他の児童福祉事業
いずみワークセンター	千歳市	—	H14. 4	H15. 4	3,233	その他の社会保険・社会福祉・介護事業
宗谷バス㈱	稚内市	27	H23.12	H24. 4	1,858	一般旅客自動車運送事業
㈱トライアルカンパニー	福岡県	2,123	H25. 2	H26. 7	13,940	飲食料品小売業
地崎道路㈱	東京都	350	H26.12	H27.12	5,193	総合工事業

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
ヨシオカ商事㈱	札幌市	10	H28. 4	H28. 4	4,429	建築金物小売業
八千代工業㈱	札幌市	40	H30. 4	H30. 5	2,810	電気工事業
菅原興業㈱	千歳市	20	R 3.10	—	2,348	（とび工事業）
㈱TARUO	千歳市	1	—	—	1,652	就労継続支援B型事業所
㈱SIZUKA	千歳市	8	R 6. 6	R 6.11	3,298	ペット用品開発及び販売事業

1　令和８年４月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　業種欄の（　）は未操業企業の主要業種
6　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

(5) オフィス・アルカディア立地状況

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
㈱日産カーレンタルソリューション	神奈川県	90	H10.11	H11. 6	13,221	自動車賃貸業
タイムズモビリティ㈱	東京都	100	H12. 7	H12.11	29,999	自動車賃貸業
㈱千歳国際ビジネス交流センター	千歳市	1,757	H12. 7	H13. 4	8,598	不動産賃貸業
ジョーンズラングラサール㈱	東京都	195	H15. 4	H17. 4	135,245	不動産管理業
千歳市駒里農業協同組合	千歳市	2	H17. 9	H18. 6	4,442	飲食店
㈱ディーサプライ	神奈川県	3	H19. 9	H22. 9	4,254	歯科材料製造業
㈱FJコンポジット	千歳市	30	H20. 6	H27. 4	5,794	半導体素子部品製造業
札幌バルナバフーズ㈱	札幌市	280	H22.12	H23. 4	4,663	弁当製造業
㈱JR北海道ソリューションズ	札幌市	100	H24. 4	H24. 5	4,177	自動車賃貸業
㈱スカイレンタカー北海道	東京都	30	H29. 5	H29. 5	19,496	自動車賃貸業
㈱ホンダカーズ南札幌	札幌市	30	H29. 5	H29. 5		自動車賃貸業
㈱MIC	神奈川県	50	H29. 6	H29. 6		自動車賃貸業
大和ハウスパーキング㈱	東京都	100	H30. 7	H30. 7	8,648	駐車場業
㈱SQUEEZE	北広島市	100	—	—	16,890	宿泊業
㈱大成	千葉県	50	R 5. 7	—	5,267	（不動産管理業）
SHOWA GROUP㈱	兵庫県	200	R 6.11	—	6,035	（不動産管理業）
ラムリサーチ（同）	神奈川県	160	R 6.12	R 6.12	25,992	半導体装置製造業

1　令和８年４月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　業種欄の（　）は未操業企業の主要業種
6　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

地域とともに歩む商業

あらまし

令和３年に実施された経済センサス（活動調査）の結果によると、千歳市の卸売・小売業の事業所数は789事業所、従業者数は7,559人となっています。

市内には20を超える大型小売店舗が立地しているほか、新千歳空港旅客ターミナルビルは、国内外の観光客のみならず市内、近郊の消費者を幅広く集客する一大商業集積施設となっています。

個人商店などから成る商店街については、商店街振興組合連合会に６つの商店街振興組合と１つの振興会が加入しています。各商店街は組合員数も大きな変動はない状況にあり、空き店舗の利用促進などの対策が行われ、一定の効果を上げています。

近年、少子高齢化の進展やライフスタイルの変化に伴うオンライン消費の拡大などにより、買い物の形態や機会が多様化しているほか、半導体関連産業等の集積やインバウンド需要の増加などにより商業を取り巻く環境は大きく変化しています。

これらの環境変化に対応した商業の展開が求められていることから、市では令和８年度から令和12年度までを計画期間とする「第４期千歳市商業振興プラン」を策定しています。

このプランに掲げる「市民に寄り添う商業」「持続可能な経営と挑戦する商業」「つながりが魅力を高める商業」「市民が理解し、参加する商業」「にぎわいを生み、地域内外の力を取り込む商業」の５つの方針のもと、社会環境の変化などを踏まえ、市民に寄り添い地域全体で支え合う商業を目指します。

49　産業別事業所・従業者と商品販売額の推移

（単位　万円）

区　　分	事業所数	従業者数	売場面積（㎡）
26　　年	857	7,717	…
28　　年	847	8,050	…
3　　年	**789**	**7,559**	**120,654**
卸　売　業	**147**	**1,062**	**…**
小　売　業	**642**	**6,497**	**120,654**

（単位　人）　　（単位　人）

卸　売　業	**147**	**1,062**	小　売　業	**642**	**6,497**
各　種　商　品	2	8	各　種　商　品	2	14
繊　維　・　衣　服　等	1	3	織物・衣服・身の回り品	91	482
飲　食　料　品	26	276	飲　食　料　品	222	3,436
建築材料・鉱物・金属材料等	40	249	機　械　器　具	79	588
機　械　器　具	46	337	そ　の　他	221	1,722
そ　の　他	32	189	無　店　舗	27	255

1　各年６月１日調査
経済産業省「経済センサス（基礎調査）」（26年）
経済産業省「経済センサス（活動調査）」（28年,３年）（総務課）

50　従業者規模別事業所

区　　分	総　数	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上	派遣従業者のみ	従業者数
総　　数	**789**	**349**	**202**	**155**	**46**	**13**	**14**	**3**	**7**	**7,559**
卸　売　業	**147**	**71**	**42**	**25**	**3**	**2**	**2**	**－**	**2**	**1,062**
各種商品	2	1	1	－	－	－	－	－	－	8
繊維・衣服等	1	1	－	－	－	－	－	－	－	3
飲食料品	26	16	3	2	2	1	2	－	－	276
建築材料･鉱物･金属材料等	40	22	10	8	－	－	－	－	－	249
機械器具	46	17	18	10	1	－	－	－	－	337
そ　の　他	32	14	10	5	－	1	－	－	2	189
小　売　業	**642**	**278**	**160**	**130**	**43**	**11**	**12**	**3**	**5**	**6,497**
各種商品	2	－	2	－	－	－	－	－	－	14
織物･衣服･身の回り品	91	52	27	6	2	1	－	－	3	482
飲食料品	222	63	52	66	26	3	8	3	1	3,436
機械器具	79	44	11	18	4	2	－	－	－	588
そ　の　他	221	107	62	34	10	4	3	－	1	1,722
無　店　舗	27	12	6	6	1	1	1	－	－	255

1　令和３年６月１日調査
経済産業省「経済センサス（活動調査）」（総務課）

51　公設地方卸売市場

(1) 施設概要

所在地	上長都958番地の1
開設	昭和48年２月28日
開設者	千歳市
卸売業者	丸一苫小牧中央青果㈱千歳支店（青果部） ㈱恵千フーズ（水産物部）
仲売業者	道南青果㈱
面積	敷地　49,461㎡ 建物　3,732㎡
市場施設	売場　倉庫　業者事務所　管理事務所　買受人控室 定温庫（冷却能力５℃）×４　冷凍庫（冷却能力－25℃）×２　買荷保管及び積込所
場外売場施設	千歳市食料品卸センター　434㎡ 青果２社
その他施設	パッケージセンター　406㎡

1　令和８年３月31日現在
公設卸売市場

(2) 青果・水産物取扱いの推移

（単位　t、千円）

区分	年度	青果			水産物			
		総数	野菜	果物	総数	生鮮	加工	その他
数量	5	4,813	4,485	328	193	111	81	1
	6	4,785	4,451	332	232	134	95	2
	7	**4,018**	**3,843**	**175**	**240**	**136**	**102**	**1**
金額	5	1,346,250	1,176,835	169,415	399,310	205,996	191,455	1,859
	6	1,481,048	1,308,007	173,042	432,123	204,512	225,819	1,792
	7	**1,199,693**	**1,096,770**	**102,923**	**488,410**	**219,166**	**267,954**	**1,290**

公設卸売市場

(3) 青果・水産物入荷先の推移

（単位　t）

年度	青果入荷量				水産物入荷量					
	野菜		果物		生鮮		加工		その他	
	道内(割合)	道外(割合)	道内(割合)	道外(割合)	道内(割合)	道外(割合)	道内(割合)	道外(割合)	道内(割合)	道外(割合)
5	2,879.4 (64%)	1,605.4 (31%)	183.8 (56%)	144.6 (44%)	86.1 (77%)	25.3 (23%)	30.6 (38%)	50.4 (62%)	0.7 (47%)	0.8 (53%)
6	3,030.8 (68%)	1,422.1 (32%)	184.6 (56%)	147.4 (44%)	110.0 (82%)	24.1 (18%)	40.9 (43%)	54.2 (57%)	**0.2** (100%)	－ (－)
7	**2,540.3** **(66%)**	**1,302.4** **(34%)**	**84.1** **(48%)**	**91.5** **(52%)**	**111.9** **(82%)**	**24.2** **(18%)**	**48.5** **(47%)**	**53.7** **(53%)**	**1.6** **(100%)**	**－** **(－)**

公設卸売市場



新千歳空港国内線ターミナルビル　ショッピングワールド内

あらまし

千歳市民を取り巻く消費生活は、情報化の進展や規制緩和、流通形態の多様化に伴い大きく変化しています。

このため、市では、消費者保護のため、昭和42年から消費生活モニター制度を開始し、消費者物価の監視を行うとともに、消費生活相談室の開設日を週５日に拡充し、現在は千歳市消費生活センターとして、消費者が相談しやすい環境の整備に努めるとともに、消費生活に関する苦情やトラブル解決のためのアドバイスを行っています。

千歳市消費生活センターに寄せられた令和７年度の相談件数は、668件で、前年度から73件（約12％）増加しており、内容別でみると、賃貸アパート、屋根工事、塗装などの土地・建物・設備に関連するトラブルが最も多くなっています。また近年は、ＳＮＳをきっかけとしたトラブルが増加しており、特に、ＳＮＳ上の広告から意図しない定期購入の契約をしてしまう事案が多く発生しています。

市内には、令和８年４月１日現在、２行５店舗の地方銀行の支店・出張所があります。また、身近な金融機関として、千歳郵便局を始めとする14局の郵便局が市街地を中心に開局されています。さらに、勤労者の福祉の増進を目的とした労働金庫のほか、中小企業金融機関が４信用金庫５店舗と１信用組合２店舗、農業協同組合も１組合２店舗営業しています。

年々人口が増加している千歳市は、工業団地進出企業や空港関連などの安定した事業所が多く、また、給与所得者に占める公務員の割合が全国的に見ても高いことから、比較的安定した市場といわれています。

52　消費生活

（1）内容別相談件数の推移

分類項目	主な内訳	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
商品一般	架空請求・不正請求	39	34	57	49	78
食料品	健康食品、食品全般	37	43	40	41	41
住居品	布団、台所用品	26	30	24	25	24
光熱水品	ガス、電気、石油、水道	13	7	15	9	17
被服品	衣服、財布、バッグ、アクセサリー	34	17	39	25	42
保健衛生品	化粧品、シャンプー、除毛剤	39	68	48	43	53
教養娯楽品	新聞、趣味娯楽品	51	44	60	35	49
車両・乗り物	自動車（新車・中古車）	19	22	30	22	21
土地・建物・設備	賃貸アパート、屋根工事、塗装	57	63	69	74	88
他の商品		1	1	1	2	0
役務一般	複合サービス会員	2	2	2	4	1
金融・保険サービス	借金、保険、投資	44	49	45	45	51
運輸・通信サービス	ネット接続、携帯電話、固定電話	59	58	66	73	84
教育サービス	学習塾、家庭教師	5	1	1	1	2
教養・娯楽サービス	各種サイト、ネットゲーム、配信サービス	40	42	54	45	25
保健・福祉サービス	エステ、医療サービス	10	24	24	24	24
他の役務	申請代行サービス、パソコン偽警告	22	16	25	52	43
内職・副業・ネズミ講		5	5	7	11	11
その他行政サービス	世論調査、給付金	4	12	2	2	6
その他の相談	個人間貸借	12	11	14	13	8
総数		519	549	623	595	668

市民生活課
※PIO-NET（全国消費生活情報ネットワークシステム）上の分類項目と整合を図った

（2）計量検査の状況

（単位　台）

区分	検査対象戸数	検査数
大型はかり	4	4
小型はかり	54	272

1　令和6年定期検査結果
2　検査は偶数年に受検
北海道計量検定所（市民生活課）



53　市内食料品等小売価格の推移

（単位　円）

品　名	銘柄・規格		平均価格 6年度	平均価格 **7年度**	対前年度増減率（%）
野　菜					
キャベツ		100g	40.0	**25.5**	△36.3
ほうれん草		100g	129.0	**126.7**	△1.8
白　菜		100g	38.9	**32.7**	△15.9
玉ねぎ		100g	32.9	**42.4**	28.9
大　根		100g	23.9	**22.1**	△7.5
きゅうり		100g	82.9	**77.8**	△6.2
トマト		100g	92.1	**96.9**	5.2
馬鈴しょ		100g	43.7	**49.7**	13.7
長ねぎ		100g	95.1	**93.7**	△1.5
鮮　魚					
まぐろ	赤　身	100g	384.0	**437.9**	14.0
さ　ば		100g	171.0	**186.0**	8.8
ほっけ	開　き	100g	151.9	**170.8**	12.4
さんま		100g	164.5	**160.7**	△2.3
い　か		100g	590.7	**565.3**	△4.3
さ　け	切り身	100g	249.2	**269.6**	8.2
たらこ		100g	397.4	**370.2**	△6.8
かれい		100g	115.1	**118.6**	3.0
畜産物					
豚　肉	ロースｽﾗｲｽ	100g	224.1	**227.4**	1.5
牛　肉	外国産ｽﾗｲｽ	100g	343.1	**420.1**	22.4
鶏　肉	もも肉	100g	117.0	**132.7**	13.4
ハ　ム	ロースハム	100g	218.8	**219.9**	0.5
鶏　卵	普通品10個入		270.3	**296.4**	9.7

品　名	銘柄・規格	平均価格 6年度	平均価格 **7年度**	対前年度増減率（%）
日用食品				
牛　乳	紙容器入り1ℓ	234.1	**251.6**	7.5
マーガリン	普通品300ｇ	271.9	**288.1**	6.0
バター	箱入り200ｇ､加塩	521.1	**576.8**	10.7
食パン	6枚スライス	197.5	**187.2**	△5.2
豆　腐	もめん350g程度	154.7	**124.8**	△19.3
納　豆	普通品･3～4個パック	112.3	**111.4**	△0.8
米(ななつぼし)	精米5kg袋入り	3,149.3	**4,395.3**	39.6
米(こしひかり)	精米5kg袋入り	3,017.7	**4,243.2**	40.6
調味料				
上白糖	1kg袋入り	298.4	**299.9**	0.5
グラニュー糖	1kg袋入り	318.4	**316.5**	△0.6
サラダ油	ペットボトル1000㎖	357.3	**380.7**	6.5
マヨネーズ	400～500g	343.1	**351.7**	2.5
ﾄﾏﾄｹﾁｬｯﾌﾟ	500g	262.1	**256.4**	△2.2
しょうゆ	本醸造､濃口1ℓ	362.2	**360.6**	△0.4
み　そ	750g	320.3	**321.3**	0.3
小麦粉	1kg	343.6	**331.2**	△3.6
日用品				
洗濯用洗剤	箱入り1.0kg粉末	420.6	**464.3**	10.4
台所用洗剤	ポリ容器入り250㎖	158.3	**157.8**	△0.3
ﾄｲﾚｯﾄﾍﾟｰﾊﾟｰ	12ロール	555.9	**491.7**	△11.5
ﾃｨｯｼｭﾍﾟｰﾊﾟｰ	160組5箱	372.7	**351.2**	△5.8
家庭用燃料				
灯　油	現金売り1ℓ	120.90	**125.20**	3.6
プロパンガス	体積売り5㎥	6,192.40	**6,339.80**	2.4
ガソリン	ﾚｷﾞｭﾗｰ現金売り1ℓ	169.63	**163.23**	△3.8
軽　油	現金売り1ℓ	152.23	**147.83**	△2.9

1　年度中の平均価格を掲載した
2　消費税込みの価格
消費生活モニター調査（市民生活課）

54　たばこ消費量の推移

区　　分	3　年　度	4　年　度	5　年　度	6　年　度	**7　年　度**
消　費　本　数	131,281,873	140,102,444	142,541,452	150,260,389	**152,397,859**
1日当たりの消費本数	359,676	383,842	390,525	411,672	**417,528**
市民1人1日当たり消費本数	4.5	4.8	4.9	5.1	**5.2**

1　市民1人とは各年4月1日現在20歳以上の者をいう
税務課

55　金融機関店舗数の推移

年	総　数	地方銀行	信用金庫	信用組合	労働金庫	郵便局	農業協同組合
4	29	5	4	3	1	14	2
5	29	5	4	3	1	14	2
6	29	5	5	2	1	14	2
7	29	5	5	2	1	14	2
8	**29**	**5**	**5**	**2**	**1**	**14**	**2**

1　各年4月1日現在
2　店舗数には支店のほか、代理店・出張所を含む
千歳金融協会（北洋銀行千歳中央支店内）・日本郵便㈱北海道支社・道央農業協同組合千歳支店

56　銀行などの預金・貸出金の推移

（単位　百万円）

年度	預　　金	貸　出　金
3	359,738	263,820
4	384,505	264,714
5	401,768	270,555
6	407,576	275,197
7	**396,776**	**256,724**

1　各年度末現在
2　市内普通銀行・信用金庫・労働金庫・信用組合の状況（令和7年3月に北海道労働金庫が退会）
千歳金融協会（北洋銀行千歳中央支店内）

58　農協の貯金・貸付金の推移

（単位　百万円）

年度	貯　金　残　高	貸 付 金 残 高
3	40,196	8,562
4	39,456	10,207
5	39,515	11,689
6	38,058	13,012
7	**35,865**	**14,100**

1　各年度末現在
道央農業協同組合千歳支店

市の鳥　コウライキジ

昭和61(1986)年４月１日制定



（キジ科の留鳥）

平地や草原など地上に営巣し、市内でもよく見られます。

本来、北海道には分布していませんでしたが、昭和初期、朝鮮半島から移入し放鳥されてきたものです。

あ ら ま し

世界に開かれた国際都市

千歳市における空港の歴史は、現在の国道36号と千歳川が交通手段であった千歳村において、大正15年に鉄道が開通したことと一本の着陸場が造成されたことに端を発し、今年、100年の節目を迎えます。

新千歳空港は、２本の3,000m滑走路を有する北海道の基幹空港です。北米・欧州に至近という地理的優位性を生かし、国際拠点空港化を目指しており、平成６年には日本初の24時間空港として運用を開始し、平成22年３月には国際線旅客ターミナルビルが供用を開始しました。また、令和２年６月からは、民間委託により、北海道エアポート株式会社による滑走路などの空港関連施設とターミナルビル等の上下一体運営が開始されました。今後、民間の経営能力を活用した戦略的な運営によって、就航路線の拡大、利用者利便の向上など、さらなる発展が期待されます。

新千歳空港の乗降客数は、令和２年以降、新型コロナウイルス感染症拡大により大きく落ち込みましたが、令和４年からは増加に転じ、令和７年度では、国内線が約2,148万7千人、国際線が約452万8千人の合計約2,601万5千人で、インバウンド需要の増大などにより、国内線・国際線ともに年度実績として過去最高を記録しました。

航空路は、令和７年度実績で国内各地30都市、海外では韓国、台湾、中国など東アジアを中心に21都市と結ばれています。中でも、１日57往復（令和８年４月現在）が運航する新千歳－羽田線は、世界有数の輸送人員を誇る路線です。

市内には千歳駅、南千歳駅、新千歳空港駅、長都駅の４つの旅客駅が設置されています。令和６年度の新千歳空港駅と千歳駅における乗車人数は、それぞれ道内２位、８位と多く、まさに交通の拠点であることを示しています。都市間輸送を担うＪＲ千歳線は市街地において高架化されたＪＲ北海道の最大幹線で、道内主要都市からの空港連絡鉄道のほか、本州連絡鉄道としての性格を帯びています。

国道36号は、札幌－千歳－苫小牧－室蘭を結ぶ道内の幹線で、ほかに国道５路線と道道14路線や鉄道とともにネットワークを構成す

ることで、物流の合理化など北海道の発展に大きく寄与しています。

また、北海道を縦横断する高速自動車国道の「北海道縦貫自動車道」と「北海道横断自動車道」では、道内における連絡機能の強化や地域間交流の活性化、新千歳空港等への物流の効率化等の支援を目的として、各道路の拠点となる道内主要都市へ向けた整備が進められています。市内では、千歳ＩＣ、千歳東ＩＣ及び新千歳空港ＩＣが接続されています。また、新千歳空港と石狩湾新港を結ぶ道央圏連絡道路についても、令和２年３月には千歳－長沼間を結ぶ泉郷道路、令和７年３月には南幌－江別を結ぶ中樹林道路が開通するなど整備が進んでいます。

千歳は、国際拠点港湾を有する苫小牧・室蘭と鉄道や道路で直結しており、北海道における「空・陸・海」をジョイントする一大交通拠点として、成長を続けています。



59　新千歳空港概要

(1) 基本施設

面　　積　728万㎡
滑 走 路　A滑走路　延長3,000m　幅60m（アスファルトコンクリート舗装）
　　B滑走路　延長3,000m　幅60m（アスファルトコンクリート舗装）
誘 導 路　延長17,174m　幅23m～58m
エプロン　面積826,504㎡　大型航空機用53バース　中型航空機用３バース
　　小型航空機用８バース

北海道エアポート㈱

(2) 旅客ターミナルビル

ア　床面積・用途

（単位　㎡）

区　分	国内線ターミナルビル	用　途
地下1階	23,807	
1　階	43,972	バゲージクレーム　到着ロビー等
2　階	57,582	出発ロビー　搭乗待合室　ショッピングワールド等
3　階	36,624	グルメワールド　有料待合室　ホテル等
4　階	16,815	温泉施設　映画館　有料待合室　ホテル等
5　階	4,722	ホテル等
塔　屋	610	
計	**184,132**	

区　分	国際線ターミナルビル	用　途
地下1階	821	
1　階	27,302	車寄せロビー　ホテル等
2　階	41,510	到着ロビー　到着コンコース　ホテル等
3　階	42,807	出発ロビー　出発コンコース　ホテル等
4　階	16,259	有料待合室　ホテル等
5　階	4,146	ホテル等
6　階	3,580	ホテル等
7　階	3,580	ホテル等
8　階	3,580	ホテル等
塔　屋	53	
計	**143,638**	

区　分	連絡施設	用　途
地下1階	224	
1　階	1,815	ホール
2　階	8,072	連絡通路等
3　階	8,072	エンターテイメント施設
4　階	2,942	機械室等
5　階	－	
塔　屋	3	
計	**21,128**	

イ　機械設備

（ア）国内線旅客ターミナルビル

機械設備	ボーディングブリッジ	26基
	旅客用エスカレーター	82基
	旅客用（身障者兼用）エレベーター	24基
	ホテル客用エレベーター	2基
	人荷用エレベーター	10基
	出発・到着ベルトコンベア	28基　（出発18　到着10）
	ダムウェーター	1基
フライトインフォメーション	一式　制御操作装置・表示ボード129台・自動放送装置	
デジタルメディア設備	43台	
構内電話交換設備	一式　大容量デジタル式交換機	

（イ）国際線旅客ターミナルビル

機械設備	ボーディングブリッジ	15基
	旅客用エスカレーター	31基
	ムービングサイドウォーク（動く歩道）	6基
	旅客用（身障者兼用）エレベーター	27基
	ホテル客用エレベーター	2基
	人荷用エレベーター	11基
	出発・到着ベルトコンベア	37基　（出発26　到着11）
フライトインフォメーション	一式　制御操作装置・表示ボード193台・自動放送装置	
デジタルメディア設備	29台	
構内電話交換設備	一式　大容量デジタル式交換機（国内線配下装置）	

（ウ）連絡施設

機械設備	旅客用エスカレーター	10基
	ムービングサイドウォーク（動く歩道）	8基
	旅客用（身障者兼用）エレベーター	3基
	人荷用エレベーター	1基
フライトインフォメーション	表示ボード20台	
デジタルメディア設備	20台	

北海道エアポート㈱





(3) 国内線貨物ターミナルビル

ア　航空会社棟

（単位　㎡）

区　分	日本航空棟	ＡＮＡ棟	用　途
地下1階	484	236	荷捌場・事務室等
1　階	7,990	5,618	
2　階	965	369	
計	**9,439**	**6,223**	

イ　代理店棟（日通棟を含む）

（単位　㎡）

区　分	代理店上屋	用　途
地下1階	245	荷捌場・事務室等
1　階	4,645	
2　階	1,269	
計	**6,159**	

北海道エアポート㈱

(4) ターミナルアネックスビル

（単位　㎡）

区　分	ターミナルビル付属棟	用　途
地下1階〜5階（塔屋含む）	7,602	事務室等

北海道エアポート㈱

(5) ケータリング（機内食）施設

（単位　㎡）

区　分	ケータリング施設	用　途
1階〜2階	10,160	機内食工場・食品調整工場等

北海道エアポート㈱

(6) 車両整備格納庫

（単位　㎡）

区　分	A　棟	B　棟	用　途
1階〜2階	2,653	4,614	航空機支援車両整備車庫

北海道エアポート㈱

(7) ビジネスジェット専用施設

（単位　㎡）

区　分	ビジネスジェット専用施設	用　途
1　階	592	専用待合室等

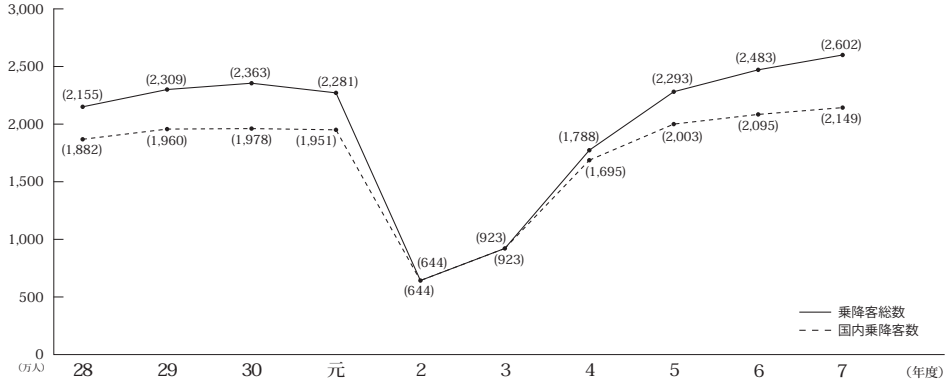
北海道エアポート㈱

60　新千歳空港乗降客数の推移

年　別	総　　数	乗　　客	降　　客
2　年	(634,398) 9,299,961	(328,474) 4,704,722	(305,924) 4,595,239
3　年	(25) 8,233,438	(17) 4,122,890	(8) 4,110,548
4　年	(257,382) 15,227,741	(119,563) 7,645,938	(137,819) 7,581,803
5　年	(2,597,316) 22,257,362	(1,273,736) 11,171,669	(1,293,580) 11,085,693
6　年	(3,524,565) 23,961,045	(1,750,318) 12,019,225	(1,774,247) 11,941,820
7　年	**(4,342,861)** **25,836,515**	**(2,160,110)** **12,955,482**	**(2,182,751)** **12,881,033**
2年度	(10) 6,436,345	(1) 3,234,650	(9) 3,201,695
3年度	(101) 9,229,270	(95) 4,639,278	(6) 4,589,992
4年度	(929,509) 17,876,335	(456,608) 8,974,192	(472,901) 8,902,143
5年度	(2,902,433) 22,933,723	(1,443,044) 11,514,832	(1,459,389) 11,418,891
6年度	(3,875,359) 24,825,918	(1,930,138) 12,455,859	(1,945,221) 12,370,059
7年度	**(4,527,903)** **26,015,370**	**(2,250,789)** **13,045,334**	**(2,277,114)** **12,970,036**

1　（　）内は国際線乗降客数で再掲である
2　令和７年・令和７年度の数値は速報値
国土交通省「空港管理状況調書」、北海道エアポート㈱新千歳空港事業所（空港政策課）

乗降客の推移



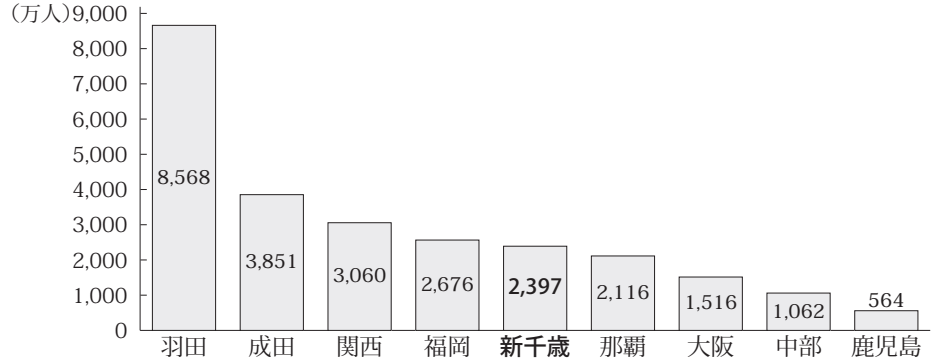
1　令和７年度の数値は速報値
国土交通省「空港管理状況調書」、北海道エアポート㈱新千歳空港事業所（空港政策課）

61　新千歳空港乗降客数（令和７年）

種別		路線	乗降客数
総数			**25,836,515**
国内線総数			**21,493,654**
拠点空港	空港会社管理	成田	1,956,711
		中部	1,461,583
		関西	1,380,573
		大阪	1,435,958
	国管理空港	稚内	62,049
		釧路	87,991
		函館	79,763
		仙台	909,506
		新潟	181,710
		東京	10,446,323
		広島	207,771
		福岡	1,007,441
		沖縄	121,710
	特定地方管理空港	秋田	78,845
		山形	41,126
地方管理空港		利尻	27,149
		中標津	103,289
		女満別	227,500
		青森	193,725
		花巻	85,815
		福島	42,695
		富山	89,070
地方管理空港		松本	57,108
		静岡	120,947
		神戸	687,631
		岡山	89,122
		出雲	5,684
共用空港		茨城	198,311
		小松	99,730
		徳島	3,989
その他			2,829
国際線総数			**4,342,861**
韓国（ソウル、釜山、大邱、済州、清州）			1,843,815
台湾（台北、高雄）			887,672
香港			431,573
中国（北京、上海、天津、西安、深圳）			554,507
その他定期路線（バンコク、シンガポール、チェンマイ、クアラルンプール、マニラ、シドニー）			624,072
チャーター便等			1,222

1　数値は速報値
北海道エアポート㈱新千歳空港事業所（空港政策課）

主要空港乗降客数（令和６年）



国土交通省「空港管理状況調書」（空港政策課）

62　新千歳空港貨物取扱量の推移

（単位　t）

区　分	総数		積荷		降荷	
	6　年	7　年	6　年	7　年	6　年	7　年
総　数	**(7,640)**	**(9,877)**	**(4,780)**	**(5,173)**	**(2,860)**	**(4,704)**
	152,048	**157,564**	**77,433**	**73,991**	**74,615**	**83,573**
1　月	(474)	(703)	(329)	(365)	(145)	(338)
	8,600	10,907	3,703	4,698	4,897	6,209
2　月	(637)	(568)	(505)	(329)	(132)	(238)
	8,867	10,588	3,773	4,410	5,094	6,178
3　月	(608)	(667)	(459)	(358)	(149)	(309)
	10,509	11,787	4,480	4,808	6,029	6,980
4　月	(542)	(637)	(417)	(388)	(125)	(250)
	10,669	12,157	4,851	5,429	5,818	6,728
5　月	(571)	(709)	(420)	(423)	(151)	(286)
	10,397	11,854	4,983	5,411	5,414	6,443
6　月	(596)	(571)	(407)	(368)	(189)	(203)
	11,650	12,004	6,097	5,723	5,553	6,281
7　月	(588)	(622)	(393)	(373)	(195)	(249)
	14,260	15,320	8,195	8,355	6,065	6,965
8　月	(571)	(646)	(409)	(373)	(162)	(273)
	14,212	14,500	8,319	7,859	5,893	6,641
9　月	(735)	(649)	(437)	(370)	(298)	(278)
	15,094	13,906	8,714	7,489	6,380	6,418
10　月	(625)	(886)	(314)	(418)	(311)	(468)
	16,111	15,035	9,321	7,791	6,790	7,245
11　月	(677)	(1,607)	(290)	(640)	(387)	(967)
	14,813	13,772	7,517	5,942	7,296	7,830
12　月	(1,016)	(1,613)	(400)	(767)	(616)	(846)
	16,866	15,733	7,480	6,077	9,386	9,657

1　（　）内は国際貨物量で再掲である
2　令和７年の数値は速報値
国土交通省「空港管理状況調書」、北海道エアポート㈱新千歳空港事業所（空港政策課）

63　千歳飛行場施設概要

千歳飛行場は、防衛省が設置・管理する航空法第56条の４による共用飛行場です。

面　積　約1,060万㎡

滑走路　東側滑走路　延長3,000m　幅60m（セメントコンクリート舗装）
西側滑走路　延長2,700m　幅45m（アスファルトコンクリート舗装）

1　**表233（3）**に再掲
航空自衛隊千歳基地
※基地全体　1,054万㎡
飛 行 場　621万㎡

64　空港除雪車両車種別保有台数

車　種	新千歳空港
プラウ除雪車	21
スイーパ除雪車	20
ロータリ除雪車	9

車　種	新千歳空港
凍結防止剤散布車	3
計	**53**

北海道エアポート㈱

65　鉄道旅客輸送人員の推移（乗車人員）

（単位　千人）

駅　名	2　年　度	3　年　度	4　年　度	5　年　度	**6　年　度**
総　数	5,203	5,981	8,440	10,642	**11,718**
千　歳　駅	2,485	2,520	2,904	3,227	**3,466**
南千歳駅	329	349	449	580	**666**
新千歳空港駅	2,389	3,112	5,086	6,835	**7,587**

1　長都駅は無人駅のため不詳
2　美々駅は平成29年３月４日廃止
北海道旅客鉄道㈱経営企画部

66　令和６年度道内駅別乗車人員（１日平均）

（単位　人）

順　位	駅　名	乗車人員
1（1）	札　幌	86,042
2（2）	**新千歳空港**	**20,785**
3（3）	新札幌	14,949
4（4）	手　稲	13,549
5（5）	桑　園	10,508
6（6）	琴　似	9,962
7（7）	北広島	9,575
8（8）	**千　歳**	**9,496**
9（9）	小　樽	9,037
10（10）	白　石	7,470

順　位	駅　名	乗車人員
11（11）	恵　庭	7,366
12（12）	苗　穂	6,101
13（13）	大　麻	5,318
14（14）	野　幌	5,266
15（15）	星　置	4,826
16（17）	発　寒	4,156
17（16）	発寒中央	4,109
18（18）	稲積公園	4,012
19（22）	旭　川	3,814
20（19）	岩見沢	3,763

1　（　）内は前年度順位
北海道旅客鉄道㈱経営企画部

67　高速自動車国道

(1) 道央自動車道施設概要

路　線　名　北海道縦貫自動車道　函館名寄線
区　　間　茅部郡森町－士別市
延　　長　443.5㎞（千歳市域9.5㎞）
車　線　数　４車線（一部暫定２車線）
設計速度　120㎞／時、100㎞／時及び80㎞／時
規制速度　最高速度100㎞／時（一部区間80㎞／時又は70㎞／時）
　　最低速度50㎞／時
サービスエリア　４か所（有珠山　樽前　岩見沢　砂川）
パーキングエリア　11か所（八雲 静狩 豊浦噴火湾 富浦 萩野 美沢 輪厚 野幌 茶志内 音江 比布大雪）

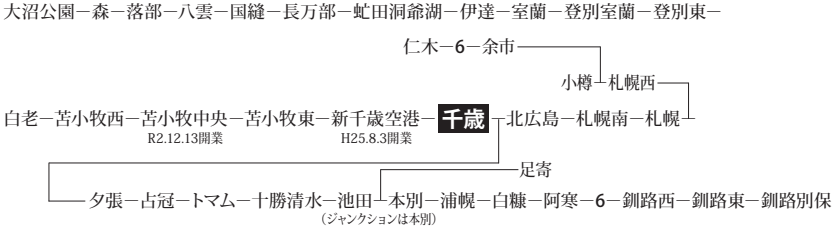
1　令和８年３月31日現在
NEXCO 東日本北海道支社・北海道開発局

(2) 道東自動車道施設概要

路　線　名　北海道横断自動車道　黒松内釧路線・黒松内北見線
区　　間　千歳市－釧路市、足寄町（国　直轄区間（本別～釧路別保）を含む）
延　　長　254.1㎞（千歳市域18.4㎞）
車　線　数　暫定２車線
設計速度　100㎞／時及び80㎞／時
規制速度　最高速度70㎞／時（一部区間80㎞／時）
サービスエリア　１か所（十勝平原）
パーキングエリア　５か所（キウス　由仁　占冠　長流枝　上浦幌）

1　令和８年３月31日現在
NEXCO 東日本北海道支社・北海道開発局

(3) 供用状況（インターチェンジ）



1　令和８年３月31日現在
2　供用状況欄のインターチェンジ間の数字は、令和６年度供用開始を示す
3　千歳－阿寒・足寄間は道東自動車道を示す（ジャンクションは千歳恵庭）
4　札幌－小樽間は札樽自動車道を示す（ジャンクションは札幌）
5　小樽－余市間は後志自動車道を示す（ジャンクションは小樽）
北海道開発局

(4) 千歳インターチェンジ出入車両の推移

（単位　台）

年度	総　数	日平均
3	3,054,766	8,369
4	3,924,311	10,752
5	4,359,306	11,911
6	4,771,129	13,072
7	**4,855,036**	**13,301**

NEXCO東日本北海道支社



68　バス輸送人員

(1) バス輸送人員の推移

（単位　千人）

年度	3	4	5	6	**7**
輸送人員	2,027	2,316	2,552	2,635	**2,684**

1　千歳市内に路線を持つ会社６社の合計である
北海道中央バス㈱・道南バス㈱・千歳相互観光バス㈱・あつまバス㈱・十勝バス㈱・富士交通㈱

(2) 会社別・路線別輸送人員（令和７年度）

（単位　千人）

会社名	路線	輸送人員
北海道中央バス		**1,840**
	千歳	599
	千歳空港支笏湖	61
	苫小牧	287
	千歳市内	893
道南バス		**383**
	苫小牧千歳空港	218
	室蘭千歳空港	59
	勇舞千歳空港	84
	登別千歳空港	22
千歳相互観光バス		**349**
	泉沢	259
	勇舞空港	90
あつまバス	千歳	**30**
十勝バス	青葉	**61**
富士交通	市民病院プール	**21**

北海道中央バス㈱・道南バス㈱・千歳相互観光バス㈱・あつまバス㈱・十勝バス㈱・富士交通㈱

69　タクシーの輸送状況の推移

年	会社数（社）	登録台数（台）	実車走行距離（千㎞）	乗車人員（千人）
4	6	201	3,627	1,621
5	6	192	5,425	2,008
6	6	189	6,040	1,927
7	6	189	6,547	1,872
8	**6**	**206**	**6,733**	**1,761**

1　各年度末現在
千歳地区ハイヤー事業協同組合

70　自動車車種別登録台数の推移

（単位　台）

車種		3年度	4年度	5年度	6年度	**7年度**
貨物用	普通車	2,859	2,876	2,931	2,922	**2,906**
	小型車	3,264	3,356	3,669	3,726	**3,825**
	被けん引車	332	334	369	390	**418**
	計	6,455	6,566	6,969	7,038	**7,149**
乗合用	普通車	211	220	237	258	**278**
	小型車	214	208	230	262	**263**
	計	425	428	467	520	**541**
乗用	普通車	20,220	22,159	23,681	24,748	**26,994**
	小型車	23,232	23,853	23,284	23,811	**24,345**
	計	43,452	46,012	46,965	48,559	**51,339**
特種(殊)用途	特種車	1,335	1,350	1,372	1,441	**1,480**
	大型特殊車	738	759	781	801	**811**
	計	2,073	2,109	2,153	2,242	**2,291**
小型二輪車		1,469	1,555	1,603	1,628	**1,606**
軽自動車		27,024	27,522	28,194	28,633	**29,334**
総数		80,898	84,192	86,351	88,620	**92,260**

1　各年度末現在
北海道運輸局札幌運輸支局ホームページ「市町村別保有車両数年報（札幌運輸支局管内）」、一般社団法人全国軽自動車協会連合会（総務課）

71　電話加入状況の推移

（単位　台）

年度	加入電話					公衆電話	
	総数	区分		100人当たり普及台数	住宅用電話比率（%）	総数	1,000人当たり普及台数
		事務用	住宅用				
3	11,409	3,425	7,984	11.7	70.0	128	1.3
4	10,563	3,204	7,359	10.9	69.7	117	1.2
5	10,373	3,541	6,832	10.7	65.9	110	1.1
6	9,189	2,833	6,356	9.5	69.2	99	1.0
7	**8,447**	**2,718**	**5,729**	**8.7**	**67.8**	**90**	**0.9**

1　各年度末現在（INSネット回線含む）
2　INSネット1500は10回線換算とした
NTT東日本（株）北海道支店

72　郵便施設数の推移

年	郵便局数		郵便切手類販売所及び印紙売りさばき所	郵便ポスト
	総数	簡易郵便局（再掲）		
3	15	1	112	109
4	15	1	113	107
5	15	1	111	105
6	15	1	101	104
7	15	1	98	103
8	**15**	**1**	**82**	**101**

1　各年4月1日現在
日本郵便㈱北海道支社
※郵便局総数には、千歳郵便局新千歳空港内分室を含む

73　放送受信契約数の推移

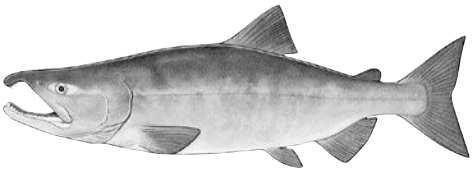
（単位　件）

年度	契約数	衛星契約数（再掲）
2	37,307	17,416
3	37,121	17,366
4	37,214	17,348
5	37,147	17,256
6	**37,569**	**17,049**

1　各年度末現在
2　ＮＨＫホームページ「受信料・受信契約数に関するデータ」（総務課）

市の魚　サケ

平成８(1996)年11月１日制定



（サケ科の海産硬骨魚）

「千歳」という地名が生まれる以前から川にはたくさんのサケがそ上し、この地に住む人々の貴重な食糧でした。

今も千歳川をそ上するサケは、捕魚車「インディアン水車」とともに秋の風物詩となっています。

地下観察室で川中のサケのそ上が見られる「サケのふるさと千歳水族館」などサケを主役とした施設が市内観光の一大ポイントとなっています。

あ ら ま し

千歳市の住宅の状況は、進出企業や航空会社、自衛隊などに勤務する市民の転出入が多いことから、令和２年に実施された国勢調査によると、持家率は52.5％で北海道全体の持家率55.7％と比較して3.2ポイント低くなっています。

公営住宅等については、令和７年度末現在で2,412戸を管理し、3,092人が生活しています。これらの住宅の整備にあたっては、公営住宅等の効率的かつ円滑な更新を行い、需要に的確に対応することを目的に策定した「千歳市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化した市営住宅の改善工事を行うほか、民間の賃貸集合住宅を借り上げ、市営住宅として転貸する借上型市営住宅の提供などを行っています。

また、千歳飛行場周辺の航空機騒音を軽減するため、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律に基づき、昭和49年から、国が住宅の防音工事を実施しており、令和７年度までに20,708戸の本体工事が行われています。

都市計画では、都市の発展を計画的に誘導し、個性的で潤いのあるまちづくりを行うとともに、市民の健康で文化的かつ機能的な活動を確保することを目的に、土地利用、都市施設、市街地開発事業などの計画を定めて実施しています。市では、昭和46年に市街化区域と市街化調整区域、平成８年には現行12種の用途地域を決定しており、現在の市街化区域面積は3,239haとなっています。

都市公園の状況をみると、102haに及ぶ総合公園である青葉公園を始め、231か所の公園があります。１人当たりの公園面積は44㎡と、国や北海道の平均及び国土交通省令の基準を大きく上回っており、環境に恵まれた住み良いまちづくりを進めています。

道路では、市道の実延長は750km・舗装率は86.0％と北海道内有

数の高い水準で、国道、道道の舗装率はほぼ100％と、交通の拠点都市にふさわしい整備状況となっています。また、市道には10万本以上の街路樹が植栽され、緑あふれる千歳市の景観を作っています。

公共交通については、国が平成12年２月から交通サービスの質の向上を目的として需給調整規制を廃止したのち、平成19年の法整備により、地域が主体となった公共交通の維持・確保の取組が促進されました。このことから、市においては、市民の日常生活に欠かせないバス路線を維持していくため、協議会を設置し、千歳駅の交通結節機能を強化するなど、抜本的な路線の見直しを行いました。現在は、令和３年11月に策定した「千歳市地域公共交通計画」に基づき、６社15路線のバスを運行しています。

74　住宅所有形態別世帯数・世帯人員の推移

区分	年	総　数	持ち家	公営借家	民営借家	給与住宅	間借り	寄宿舎その他
世帯数	12	33,330	17,021	2,367	9,640	2,979	503	820
	17	35,786	18,729	2,369	10,959	2,825	491	413
	22	38,374	20,148	2,437	12,217	2,548	603	421
	27	40,465	21,687	2,261	13,229	2,139	449	700
	2	**43,635**	**22,906**	**2,022**	**14,625**	**2,520**	**755**	**807**
構成比（%）	12	100.0	51.1	7.1	28.9	8.9	1.5	2.5
	17	100.0	52.3	6.6	30.6	7.9	1.4	1.2
	22	100.0	52.5	6.4	31.8	6.6	1.6	1.1
	27	100.0	53.6	5.6	32.7	5.3	1.1	1.7
	2	**100.0**	**52.5**	**4.6**	**33.5**	**5.8**	**1.7**	**1.8**
世帯人数	12	83,589	49,925	5,606	18,505	7,645	1,036	872
	17	86,130	52,367	5,210	20,645	6,391	1,030	487
	22	89,113	54,466	5,070	22,229	5,506	1,287	555
	27	91,267	57,038	4,429	23,595	4,407	849	949
	2	**92,889**	**58,066**	**3,627**	**24,645**	**4,271**	**1,251**	**1,029**
構成比（%）	12	100.0	59.7	6.7	22.1	9.2	1.2	1.1
	17	100.0	60.8	6.0	24.0	7.4	1.2	0.6
	22	100.0	61.1	5.7	24.9	6.2	1.4	0.6
	27	100.0	62.5	4.9	25.9	4.8	0.9	1.0
	2	**100.0**	**62.5**	**3.9**	**26.5**	**4.6**	**1.3**	**1.1**

1　各年10月１日調査
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

75　市営住宅などの戸数と居住人員

（単位　戸）

区　分	戸　数	居住人数
総　数	**2,412**	**3,092**
市営住宅	**2,340**	**3,052**
公営住宅	2,300	3,028
改良住宅	24	6
単独住宅	16	18
給与住宅	**72**	**40**
貸付住宅	2	3
教職員住宅	70	37

1　令和７年度末現在
市営住宅課

76　建築確認用途別件数の推移

（単位　件）

年度	総数	市確認	道振興局確認	指定確認検査機関	用途別内訳										
					専用住宅	併用住宅	長屋共同住宅	学校	工場	倉庫	病院診療所	旅館ホテル	店舗	事務所	その他
3	529	79	14	436	402	3	34	－	10	11	－	1	9	12	47
4	470	71	11	388	369	2	18	1	12	11	3	－	7	7	40
5	437	65	11	361	286	3	51	1	9	6	1	2	15	19	44
6	549	77	17	455	300	8	117	－	10	17	1	9	9	16	62
7	**466**	**59**	**16**	**391**	**228**	**8**	**75**	**1**	**5**	**19**	**－**	**2**	**13**	**18**	**97**

1　用途別内訳では新築、増改築の区別はしていない
2　その他には工作物、建築設備を含む
建築政策課

77　住宅防音施工別実施戸数の推移

（単位　戸）

工事区分		S49～R元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	**7年度**
本体工事		20,409	97	55	62	26	25	**34**
機能復旧工事	空調機器復旧工事	9,150	170	129	209	190	179	**167**
	建具復旧工事	5,638	23	33	73	115	59	**76**

1　工事区分　空調機器復旧工事－防音工事後、10年を経過し故障若しくは使用不能となった空調機器は、1割の自己負担で復旧する工事（平成19年度から新たに住宅防音工事の助成を希望する居室に暖房機が設置されている場合、当該居室への暖房機の補助はありません）
建具復旧工事－外部開口部に設置した防音建具（窓などの部品）で、その機能の全部又は一部を保持していないものを復旧する工事
北海道防衛局（基地政策課）

78　都市計画区域面積

（単位　ha）

区　　域	千歳・恵庭圏	千歳市	恵庭市	計画変更年月日
都市計画区域	42,348	25,890	16,458	令和 3. 3.23
市街化区域	5,111	3,239	1,872	令和 7.10.24
市街化調整区域	37,237	22,651	14,586	令和 7.10.24

まちづくり推進課

79　用途別地域面積

種　　類	面　積	建築物の延べ面積の敷地面積に対する割合	建築物の建築面積の敷地面積に対する割合	外壁の後退距離の限度	建築物の高さの限度	構成比
	ha			m	m	%
第1種低層住居専用地域	約　773	6／10 以下	4／10 以下	1.0	10	23.9
第2種低層住居専用地域	約　26	8／10 以下	5／10 以下	1.0	10	0.8
第1種中高層住居専用地域	約　144	20／10 以下	6／10 以下	－	－	4.4
第2種中高層住居専用地域	約　221	20／10 以下	6／10 以下	－	－	6.8
第1種住居地域	約　285	20／10 以下	6／10 以下	－	－	8.8
第2種住居地域	約　45	20／10 以下	6／10 以下	－	－	1.4
準住居地域	約　37	20／10 以下	6／10 以下	－	－	1.1
近隣商業地域	**約　73**					**2.3**
	約　16	20／10 以下	8／10 以下	－	－	
	約　16	30／10 以下	8／10 以下	－	－	
	約　41	40／10 以下	8／10 以下	－	－	
商業地域	約　26	40／10 以下	8／10 以下	－	－	0.8
準工業地域	約　599	20／10 以下	6／10 以下	－	－	18.5
工業地域	約　233	20／10 以下	6／10 以下	－	－	7.2
工業専用地域	**約　777**					**24.0**
	約　388	20／10 以下	5／10 以下	－	－	
	約　389	20／10 以下	6／10 以下	－	－	
総数	**約　3,239**					**100.0**

1　計画変更年月日　令和8年3月19日
まちづくり推進課

80　高度利用地区と準防火地域

（単位　ha）

区　　分	面　積	建築物の延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度及び最低限度		建築物の建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度	建築物の建築面積の最低限度	計画決定年月日
		最高限度	最低限度			
高度利用地区						
駅前地区Bブロック	約 0.55	$\frac{50}{10}$ 以下	$\frac{20}{10}$ 以上	$\frac{7}{10}$ 以下	200㎡以上	H13. 6.22（変更）
準防火地域	約 166	－	－	－	－	H 4. 4. 3（変更）

1　建築物の建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度は、建築基準法第53条第３項第２号に該当する建築物にあっては、10分の１を加えた数値とする

まちづくり推進課

81　都市計画施設

(1) 都市計画道路

（単位　m）

名称		区域延長	幅員	車線数
番号	路線名			
3・1・ 1	北大通	約 530	55	2
3・1・ 2	南大通	約 370	55	2
3・2・ 3	国道36号	約 13,810	30	4
3・2・ 4	住吉通	約 1,100	30	2
3・2・ 8	真町泉沢大通	約 6,550	30	4
3・2・26	美々駒里大通	約 1,580	30	4
3・2・40	泉沢東大通	約 3,370	30	4
3・2・54	空港泉沢大通	約 5,550	30	4
3・2・63	道央新道	約 2,660	31	4
3・3・ 5	祝梅大通	約 1,720	25	4
3・3・ 6	東大通	約 3,750	22	4
3・3・ 7	中央大通	約 5,050	22	4
3・3・ 9	川南通	約 2,980	25	4
3・3・10	駅大通	約 770	22	4
3・3・11	末広大通	約 1,050	25	4
3・3・12	日の出大通	約 3,480	22	4
3・3・14	7線大通	約 2,810	26	4
3・3・15	4線大通	約 3,020	22	2
3・4・13	33号通	約 3,370	18	2
3・4・16	川北通	約 2,870	20	2
3・4・17	29号通	約 6,390	18	2
3・4・18	支笏湖通	約 3,520	18	2
3・4・19	末広高台通	約 2,620	18	2
3・4・20	北新通	約 2,740	18	2
3・4・21	9線通	約 2,780	18	2
3・4・22	30号通	約 4,200	18	2
3・4・23	8線通	約 1,080	18	2
3・4・24	ひばりヶ丘通	約 1,310	21	2
3・4・25	32号通	約 2,740	18	2
3・4・27	6線通	約 900	18	2
3・4・28	長都駅通	約 830	18	2
3・4・29	市場通	約 1,580	18	2
3・4・30	5線通	約 540	18	2
3・4・31	祝梅北通	約 430	18	2
3・4・32	旭ヶ丘通	約 1,030	18	2
3・4・39	美々西通	約 1,840	20	2
3・4・41	泉沢中央通	約 2,740	20	2
3・4・42	泉沢西通	約 2,430	20	2
3・4・44	泉沢学園通	約 2,200	20	2
3・4・45	美々南通	約 960	20	2

（単位　m）

名称		区域延長	幅員	車線数
番号	路線名			
3・4・46	6線中通	約 370	16	2
3・4・47	7線中通	約 600	16	2
3・4・48	8線中通	約 560	16	2
3・4・49	30号中通	約 1,850	16	2
3・4・50	28号通	約 2,190	15.5	2
3・4・55	美々東通	約 770	16	2
3・4・56	美々学園通	約 1,660	16	2
3・4・60	南千歳駅通	約 1,180	21	2
3・4・61	柏台旭ヶ丘通	約 1,100	21	2
3・4・62	柏台1号通	約 570	18	2
3・4・65	北信濃通	約 2,540	21	2
3・4・69	みどり台通	約 750	18	2
3・5・33	鉄北通	約 6,300	13.5	2
3・5・34	仲の橋通	約 2,850	15	2
3・5・35	公園通	約 1,380	15	2
3・5・36	黄金通	約 910	14	2
7・4・52	29号中通	約 720	18	2
7・5・51	11線中通	約 1,070	12	2
7・5・53	28号中通	約 720	12	2
7・5・59	9線中通	約 1,090	14	2
7・5・66	北信濃中通	約 2,650	14	2
7・5・67	6線新中通	約 550	14	2
7・5・68	7線新中通	約 550	14	2
7・5・70	栄通	約 100	15	2
7・5・71	8線新中通	約 530	14	2
7・5・72	北信濃新中通	約 540	14	2
7・6・64	27号通	約 740	11.5	2
7・7・37	川北側道	約 280	6	—
7・7・38	川南側道	約 510	6	—
8・7・ 1	千歳駅1号連絡歩道	約 70	7	—
8・7・ 2	千歳駅2号連絡歩道	約 50	7	—
9・6・ 1	千歳駅バス専用道	約 150	11	—

まちづくり推進課

（2）都市高速鉄道

（単位　m）

名称	位置	延長	計画決定年月日
日本国有鉄道千歳線	北信濃－美々	約 10,130	昭和51.12.21

まちづくり推進課

（3）都市計画公園

（単位　ha）

種別	名称		位置	面積
	番号	公園名		
街区公園	2・2・ 1	春日公園	春日町１丁目	約 0.53
	2・2・ 2	末広中公園	末広４丁目	約 0.20
	2・2・ 3	末広西公園	末広８丁目	約 0.20
	2・2・ 4	末広東公園	末広３丁目	約 0.94
	2・2・ 5	花園第２公園	花園６丁目	約 0.29
	2・2・ 6	むつみ公園	高台３丁目	約 0.42
	2・2・ 7	花園公園	花園４丁目	約 0.17
	2・2・ 8	新町東公園	花園２丁目	約 0.17
	2・2・ 9	しなの公園	信濃２丁目	約 0.22
	2・2・ 10	しんとみ公園	新富３丁目	約 0.15
	2・2・ 11	しなの第２公園	信濃４丁目	約 0.28
	2・2・ 12	とみおか公園	富丘４丁目	約 0.46
	2・2・ 13	とみおか２号公園	富丘３丁目	約 0.24
	2・2・ 14	すみよし１号公園	住吉５丁目	約 0.27
	2・2・ 15	桂木５号公園	桂木４丁目	約 0.33
	2・2・ 16	東郊１号公園	東郊１丁目	約 0.46
	2・2・ 17	東郊２号公園	東郊２丁目	約 0.25
	2・2・ 18	すみよし３号公園	住吉１丁目	約 0.14
	2・2・ 19	東１号公園	青葉５丁目	約 0.40
	2・2・ 20	とみおか３号公園	富丘２丁目	約 0.19
	2・2・ 21	北栄１号公園	北栄１丁目	約 0.22
	2・2・ 22	真町公園	真々地１丁目	約 0.05
	2・2・ 23	栄町公園	栄町２丁目	約 0.06
	2・2・ 24	桂木１号公園	桂木５丁目	約 0.29
	2・2・ 25	桂木２号公園	桂木６丁目	約 0.22
	2・2・ 26	桂木３号公園	桂木３丁目	約 0.33
	2・2・ 27	桂木４号公園	桂木２丁目	約 0.20
	2・2・ 28	北斗１号公園	北斗１丁目	約 0.07
	2・2・ 29	北斗２号公園	北斗２丁目	約 0.11
	2・2・ 30	北斗３号公園	北斗３丁目	約 0.10
	2・2・ 31	北斗４号公園	北斗３丁目	約 0.11
	2・2・ 32	ひまわり公園	自由ヶ丘２丁目	約 0.07
	2・2・ 33	白樺公園	自由ヶ丘１丁目	約 0.25
	2・2・ 34	自由ヶ丘公園	自由ヶ丘４丁目	約 0.13
	2・2・ 35	からまつ公園	自由ヶ丘３丁目	約 0.10
	2・2・ 36	なかよし公園	自由ヶ丘６丁目	約 0.25
	2・2・ 37	桜木１号公園	桜木１丁目	約 0.13
	2・2・ 38	桜木２号公園	桜木４丁目	約 0.15
	2・2・ 39	新富おおぞら公園	新富１丁目	約 0.30
	2・2・ 40	富士１号公園	富士４丁目	約 0.23
	2・2・ 41	富士２号公園	富士４丁目	約 0.09
	2・2・ 42	長都１号公園	長都駅前３丁目	約 0.09
	2・2・ 43	長都２号公園	長都駅前４丁目	約 0.14

（単位　ha）

種別	名称		位置	面積
	番号	公園名		
街区公園	2・2・ 44	長都３号公園	長都駅前２丁目	約 0.11
	2・2・ 45	ひばりヶ丘１号公園	北光４丁目	約 0.14
	2・2・ 46	ひばりヶ丘２号公園	北光６丁目	約 0.08
	2・2・ 47	ひばりヶ丘３号公園	北光３丁目	約 0.12
	2・2・ 48	静和公園	北光１丁目	約 0.07
	2・2・ 49	とみおか４号公園	富丘４丁目	約 0.21
	2・2・ 50	とみおか５号公園	富丘２丁目	約 0.10
	2・2・ 51	とみおか６号公園	富丘１丁目	約 0.03
	2・2・ 52	稲穂公園	稲穂２丁目	約 0.16
	2・2・ 53	稲穂第２公園	稲穂４丁目	約 0.25
	2・2・ 54	日の出丘１号公園	青葉６丁目	約 0.19
	2・2・ 55	日の出丘２号公園	日の出５丁目	約 0.11
	2・2・ 56	祝梅１号公園	旭ヶ丘４丁目	約 0.13
	2・2・ 57	祝梅２号公園	旭ヶ丘４丁目	約 0.13
	2・2・ 58	祝梅３号公園	旭ヶ丘３丁目	約 0.32
	2・2・ 59	梅ヶ丘公園	梅ヶ丘１丁目	約 0.23
	2・2・ 60	弥生公園	弥生３丁目	約 0.23
	2・2・ 61	寿１号公園	寿１丁目	約 0.23
	2・2・ 62	寿２号公園	寿２丁目	約 0.28
	2・2・ 63	桜木３号公園	桜木５丁目	約 0.25
	2・2・ 64	若草ゴリラ公園	若草１丁目	約 0.63
	2・2・ 65	若草ゾウ公園	若草３丁目	約 0.26
	2・2・ 66	白樺パンダ公園	白樺５丁目	約 0.26
	2・2・ 67	里美キリン公園	里美２丁目～３丁目	約 0.23
	2・2・ 68	稲穂やすらぎ公園	稲穂３丁目	約 0.20
	2・2・ 69	稲穂フレンド公園	稲穂３丁目	約 0.20
	2・2・ 70	豊里ハスカップ公園	豊里２丁目	約 0.70
	2・2・ 71	豊里くるみ公園	豊里５丁目	約 0.55
	2・2・ 72	りんごちゃん公園	北光５丁目	約 0.08
	2・2・ 73	北斗かおり公園	北斗６丁目	約 0.10
	2・2・ 74	北斗ルンルン公園	北斗５丁目	約 0.20
	2・2・ 75	若草ヒツジ公園	若草４丁目	約 0.27
	2・2・ 76	白樺ライオン公園	白樺１丁目	約 0.13
	2・2・ 77	里美ラッコ公園	里美１丁目	約 0.26
	2・2・ 78	里美コアラ公園	里美４丁目～５丁目	約 0.23
	2・2・ 79	ウサギ公園	柏陽５丁目	約 0.25
	2・2・ 80	タヌキ公園	柏陽３丁目	約 0.24
	2・2・ 81	リス公園	福住３丁目	約 0.21
	2・2・ 82	カバ公園	福住１丁目	約 0.25
	2・2・ 83	シマウマ公園	文京１丁目	約 0.25
	2・2・ 84	北斗すみれ公園	北斗４丁目	約 0.17
	2・2・ 85	長都４号公園	長都駅前１丁目	約 0.17
	2・2・ 86	長都５号公園	北陽３丁目	約 0.20

（単位　ha）

種別	名称		位置	面積
	番号	公園名		
街区公園	2・2・ 87	クワガタ公園	清流2丁目	約 0.43
	2・2・ 88	コオロギ公園	清流8丁目	約 0.17
	2・2・ 89	カタツムリ公園	清流5丁目	約 0.27
	2・2・ 90	さくらぎ4号公園	桜木2丁目	約 0.14
	2・2・ 91	スズラン公園	長都駅前4丁目	約 0.14
	2・2・ 92	ラクダ公園	文京4丁目	約 0.32
	2・2・ 93	ペンギン公園	文京6丁目	約 0.35
	2・2・ 94	シカ公園	文京3丁目	約 0.32
	2・2・ 95	北陽公園	北陽1丁目	約 0.20
	2・2・ 96	あずさ1号公園	あずさ2丁目	約 0.25
	2・2・ 97	あずさ2号公園	あずさ3丁目	約 0.25
	2・2・ 98	セミ公園	幸福4丁目	約 0.21
	2・2・ 99	ミツバチ公園	幸福3丁目	約 0.21
	2・2・100	ホタル公園	幸福2丁目	約 0.24
	2・2・101	アカトンボ公園	清流6丁目	約 0.14
	2・2・102	あけぼの公園	日の出3丁目	約 0.17
	2・2・103	みどり台1号公園	みどり台南4丁目	約 0.15
	2・2・104	みどり台2号公園	みどり台南2丁目	約 0.15
	2・2・105	みどり台3号公園	みどり台北4丁目	約 0.15
	2・2・106	みどり台4号公園	みどり台北2丁目	約 0.15
	2・2・107	北信濃1号公園	北陽5丁目	約 0.25
	2・2・108	北信濃2号公園	北陽6丁目	約 0.25
	2・2・109	北信濃3号公園	北陽8丁目	約 0.20
	2・2・110	北信濃4号公園	北陽7丁目	約 0.25
	2・2・111	あずさ4号公園	あずさ5丁目	約 0.28
	2・2・112	新星公園	新星2丁目	約 0.17
	2・2・113	あずさ5号公園	北信濃	約 0.14
	2・2・114	あずさ6号公園	北信濃	約 0.14
	2・2・115	あずさ7号公園	北信濃	約 0.19
	2・2・116	あずさ8号公園	根志越	約 0.13
	2・2・117	あずさ9号公園	根志越	約 0.15
近隣公園	3・3・ 1	桜ヶ丘公園	高台5丁目	約 1.0
	3・3・ 2	すみよし2号公園	住吉2丁目	約 1.7
	3・3・ 3	しゅくぷ公園	梅ヶ丘2丁目	約 1.6
	3・3・ 4	上長都公園	上長都	約 2.5
	3・3・ 5	若草公園	若草5丁目	約 2.1
	3・3・ 6	もみじ公園	泉沢	約 1.6
	3・3・ 7	つばさ公園	泉沢	約 3.9
	3・4・ 8	ハヤブサ公園	泉沢	約 4.1
	3・3・ 9	太陽公園	柏陽1丁目	約 3.1
	3・3・ 10	上長都明星公園	上長都	約 1.0
	3・4・ 11	せせらぎさわやか公園	桜木2丁目、自由ヶ丘5・6丁目、北信濃	約 4.8
	3・3・ 12	空港公園	柏台南1丁目	約 1.0

（単位　ha）

種　別	名称		位　置	面　積
	番　号	公　園　名		
近隣公園	3・3・13	勇舞公園	勇舞６丁目	約　2.5
	3・3・14	北光公園	北光２丁目	約　1.0
	3・3・15	指宿公園	大和４丁目	約　3.0
	3・3・16	みどり台公園	みどり台南３丁目	約　2.0
地区公園	4・4・1	臨空公園	泉沢	約　5.4
	4・4・2	向陽台公園	文京３丁目	約　4.9
	4・4・3	遺跡公園	清流２丁目	約　6.8
	4・4・4	勇舞すこやか公園	桜木３丁目	約　4.8
	4・3・5	メムシ公園	根志越	約　3.5
総合公園	5・6・1	青葉公園	真町、泉沢	約　102.3
	5・6・2	美々公園	美々	約　75.0
運動公園	6・5・1	青空公園	あずさ１丁目	約　10.7
特殊公園	8・2・1	開拓記念公園	北信濃	約　0.5

まちづくり推進課

（4）都市計画緑地

（単位　ha）

種　別	名称		位　置	面　積
	番　号	公　園　名		
都市緑地	1	北栄緑地	北栄２丁目	約　1.3
	2	泉沢つつじヶ丘緑地	泉沢	約　5.2
	3	里美ターザン緑地	里美３丁目	約　0.8
	4	里美ジャングル緑地	里美４丁目	約　0.6
	5	ママチ川緑地	青葉２丁目 朝日町２・６・８丁目 本町４丁目 真々地１・４丁目	約　5.4
	6	長都川緑地	みどり台北１・２丁目 みどり台南３丁目	約　1.6
	7	ゴセン川緑地	長都駅前５丁目 みどり台南１・４丁目	約　3.6
	8	新千歳空港インターチェンジ緑地	平和	約　3.2

まちづくり推進課

（5）都市計画下水道

名　称	排水区域	下水管渠	処理施設敷地面積
千歳公共下水道	約3,263ha	延長　1,400m	千歳市浄化センター　約54,900㎡ 千歳市スラッジセンター　約19,800㎡

まちづくり推進課

(6) 都市計画河川

（単位　m）

区　分	位置		区域		構　造	備　考
	起　点	終　点	幅　員	延　長		
千歳川	右岸　豊里１丁目地先 左岸　根志越地先	右岸　住吉１丁目地先 左岸　花園１丁目地先	73～175	約1,390	掘込式 複断面	一級河川
ママチ川	青葉１丁目	真々地１丁目	12～35	約1,960	掘込式 単断面	一級河川

まちづくり推進課

(7) その他の都市計画施設

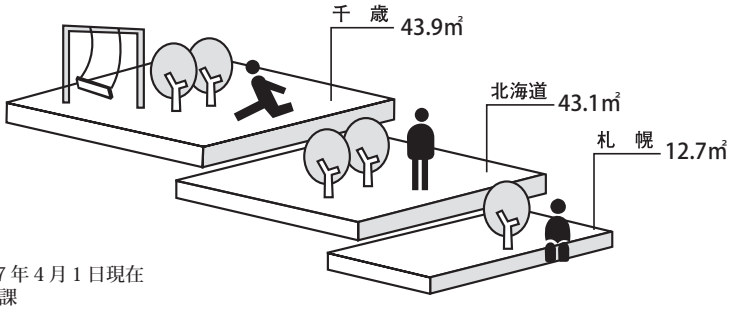
（単位　ha）

区　分	名　称	位　置	面　積	計画決定年月日
墓　園	千歳墓園	都、根志越	約 18.1	平成27. 3.11
ごみ処理場	千歳市廃棄物再資源化施設	美　々	約 2.8	平成20.10.31
ごみ焼却場	道央廃棄物処理組合焼却施設	根志越	約 4.3	平成31. 3.18
市　場	千歳市公設地方卸売市場	上長都	約 4.9	昭和47. 7. 3
火　葬　場	千歳市火葬場	根志越	約 2.5	昭和48. 5.17

まちづくり推進課

1人当たり都市公園面積

都市計画区域内



1　令和７年４月１日現在
都市整備課

82　市街地開発事業

(1) 土地区画整理事業の経過

（単位　ha）

地区	施行者	施行区域面積	区域決定年月日	施行認可年月日	施行年度
千歳第1地区	組合	147.7	昭和16. 5.10	昭和17. 7. 2	昭和17～ 24
末広第1地区	市	38.2	28. 3.20	33. 2.20	32～ 35
末広第2地区	市	58.8	28. 3.20	39. 4.10	39～ 42
東郊地区	組合	107.8	－	43. 3.28	42～ 50
上長都地区	個人	94.6	－	47. 5.12	47～ 48
北信濃地区	共同	3.6	－	48.11.21	48～ 51
蘭越地区	市	34.8	49. 7.13	49. 8.30	49～ 52
祝梅地区	市	76.1	49. 7.13	49.11. 5	49～ 56
末広第3地区	組合	13.3	－	53. 8. 1	53～ 59
根志越地区	市	35.3	54.12.22	55. 4. 4	55～ 58
稲穂地区	組合	13.0	－	59.10. 8	59～平成 2
おさつ駅前地区	組合	58.3	63. 3.31	63. 7.11	63～ 10
第四工業団地地区	市	38.5	平成 3. 3.11	平成 3. 9.27	平成 3～ 5
根志越第2地区	市	63.5	3. 9.27	3.12.27	3～ 11
北信濃第2地区	個人	16.6	－	6. 1.26	5～ 8
北陽地区	組合	6.5	－	7. 1.23	6～ 9
根志越第3地区	組合	22.3	－	8. 9.26	8～ 13
桜木3丁目地区	個人	2.8	－	10. 5. 7	10～ 11
静和地区	個人	4.7	－	10. 7.22	10～ 11
勇舞地区	組合	53.6	10. 5. 6	10. 9.21	10～ 18
おさつ駅みどり台地区	組合	72.7	11.11. 5	12. 8.16	12～ 31
蘭越エコタウン地区	組合	5.7	－	12. 1.21	11～ 19
北信濃第3地区	共同	5.3	－	12. 5. 8	12～ 13
勇舞第2地区	組合	9.5	－	13.11. 5	13～ 18
北陽高校前地区	組合	31.6	20. 3.28	20. 6.19	20～ 令和元
あずさ地区	組合	9.2	20.10.31	20.12. 8	20～ 25
あずさ西地区	個人	4.8	令和 5. 3.24	令和 5. 4. 7	令和 5～ 6

事業庶務課

(2) 市街地再開発事業

（単位　ha）

地　　区	施 行 者	施行区域 面　　積	計画決定 年 月 日	事業計画認可 年　月　日	施 行 年 度
中 心 街 C 地 区	組　合	約0.9	昭和 56. 8.10	昭和 56.10.22	昭和 56～57

まちづくり推進課

(3) 地区計画

（単位　ha）

地　　区	位　　置	面　積	計画決定・変更年月日	建築条例
根 志 越 第 2 地 区	清流1丁目の一部、清流2～5・7・8丁目	64.0	平成30. 4. 1	平成 5.10. 1
サイエンスパーク地区	文京２丁目の一部	11.8	29. 1. 4	5.10. 1
北 信 濃 地 区	北陽1丁目の一部、あずさ2・3丁目	23.1	29. 1. 4	6. 4. 1
美 々 地 区	美々の一部	192.2	令和 5.12.15	17. 4. 1
根 志 越 第 3 地 区	幸福２・３・４丁目	22.3	令和 3.11. 1	8. 4. 1
オフィスアルカディア地区	柏台南１・２丁目	39.9	平成30. 4. 1	8. 4. 1
根 志 越 第 4 地 区	清流6丁目、稲穂3丁目の一部	4.7	10. 5. 6	10. 7. 1
桜 木 地 区	桜木3丁目、自由ヶ丘7丁目の一部	2.7	10. 5. 6	10. 7. 1
勇 舞 地 区	勇舞１～８丁目	63.1	30. 4. 1	11. 6.16
蘭 越 第 2 地 区	新星１・２丁目 蘭越、泉沢の一部	18.3	12.10. 5	12.12.15
み ど り 台 地 区	みどり台北１～５丁目 みどり台南１～４丁目 長都駅前４丁目の一部 長都駅前５丁目	73.3	30. 4. 1	14. 6.20
臨 空 地 区	泉沢の一部	30.2	29. 1. 4	12. 4. 1
北 信 濃 第 3 地 区	あずさ５丁目の一部 あずさ４丁目の一部	5.7	12. 3.31	12. 8. 1
北 陽 高 校 前 地 区	北陽５～８丁目	31.6	30. 4. 1	21.10.22
あ ず さ 地 区	あずさ5丁目の一部、あずさ4丁目の一部	9.2	21. 9.18	20.12.17
平 和 地 区	平和の一部、泉沢の一部	50.0	令和 6. 6.21	令和 6.10.15
あ ず さ 西 地 区	あずさ４丁目の一部	16.7	令和 5. 3.24	令和 5. 6.20
北 信 濃 第 6 地 区	北信濃の一部	10.6	令和 7. 5.28	令和 6. 6.19
根 志 越 第 5 地 区	根志越の一部	6.1	令和 7.10.24	令和 7.12.15

まちづくり推進課・建築政策課

83　開発行為（宅地造成）許可の推移

（単位　ha）

区　　分	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
許 可 件 数	2	1	2	2	－
許 可 面 積	1.26	1.18	5.95	6.76	－
宅 地 面 積	1.09	0.91	3.55	4.17	－
区 画 数	54	45	117	194	－
公共施設面積	0.18	0.27	1.91	2.01	－
公 園 面 積	－	－	0.14	0.19	－
道 路 面 積	0.18	0.27	1.58	1.53	－
遊水池面積	－	－	0.19	0.29	－
そ の 他	－	－	－	－	－
そ の 他	－	－	－	－	－

1　都市計画法に基づく開発許可制度による開発行為

まちづくり推進課

84　泉沢向陽台

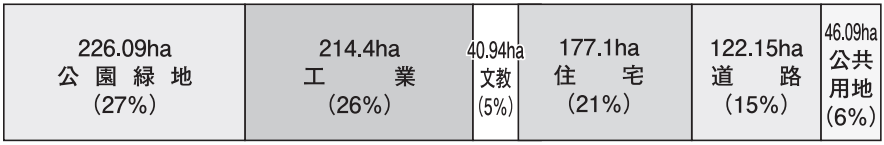
(1) 事業概要

区　　分	第 1 期 計 画	第 2 期 計 画	計
計 画 面 積（ha）	432.7	394.07	825.28
計 画 人 口（人）	7,700	7,300	15,000
計 画 戸 数（戸）	2,150	1,750	3,900
開 発 年	昭和53～60年度	昭和61～平成８年度	
開 発 方 式	都市計画法第29条による開発行為許可		
事 業 主 体	千歳市土地開発公社		

1　計画面積で第１期と第２期では1.49haが重複している

企業振興課

泉沢の土地利用計画（割合）



企業振興課

(2) 土地利用計画面積表

（単位　ha）

土地利用計画			第1期 面積	第2期 面積	第2期 比率（%）	面積
住宅地区	住宅用地	独立住宅	55.97	31.04	16.94	**87.01**
		集合住宅	12.55	14.80	8.08	**27.35**
		特別分譲	8.14	5.98	3.26	**14.12**
		業務施設	—	8.95	4.88	**8.95**
		商業施設	5.20	2.39	1.30	**7.59**
		住宅用地（市）	—	32.08	17.51	**32.08**
		小計	81.86	95.24	51.97	**177.10**
	教育用地	中学校	2.91	—	—	**2.91**
		小学校	2.56	3.20	1.75	**5.76**
		保育園	0.37	0.40	0.22	**0.77**
		幼稚園	0.55	0.39	0.21	**0.94**
		その他	—	0.37	0.20	**0.37**
		小計	6.39	4.36	2.38	**10.75**
	公共用地	道路	45.65	29.80	16.26	**75.45**
		公園	10.09	9.26	5.05	**19.35**
		緑地	97.71	40.33	22.01	**138.04**
		水道・ガス用地	—	0.65	0.35	**0.65**
		雨水貯留池	—	3.63	1.98	**3.63**
		小計	153.45	83.67	45.65	**237.12**
	合計		**241.70**	**183.27**	**100.00**	**423.48**
工業地区	工業用地		100.52	113.88	63.05	**214.40**
	公共用地	道路	23.26	23.44	12.98	**46.70**
		公園	6.97	8.00	4.43	**14.97**
		緑地	28.41	25.32	14.02	**53.73**
		雨水貯留池	31.84	9.90	5.48	**41.74**
		その他	—	0.07	0.04	**0.07**
		小計	90.48	66.73	36.95	**157.21**
	合計		**191.00**	**180.61**	**100.00**	**371.61**
準工地区	文教施設		—	30.19	100.00	**30.19**
	合計		**—**	**30.19**	**100.00**	**30.19**
総合計			**432.70**	**394.07**	**—**	**825.28**

1　住宅用地（市）は千歳市が主体として分譲
2　住宅地区面積で第1期と第2期では1.49haが重複している
企業振興課

85　道路種別延長

（単位　km）

種別	総数		舗装道		砂利道延長
	路線数	延長	延長	舗装率（%）	
総数	**1,915**	**947.2**	**836.8**	**88.3**	**110.3**
国道	6	88.6	88.6	100.0	—
道道	13	108.0	102.6	95.0	5.4
市道	1,896	750.6	645.6	86.0	104.9

1　令和８年４月１日現在
2　国道　36号　234号　274号　276号　337号　453号
3　道道　島松千歳線　早来千歳線　舞鶴追分線　支笏湖公園線　丸駒線　千歳インター線　馬追原野北信濃線　泉沢新千歳空港線　支笏湖線　南千歳停車場線　支笏湖公園自転車道線　幌内三川停車場線　新千歳空港インター線

北海道開発局札幌開発建設部・北海道空知総合振興局札幌建設管理部・道路管理課

86　橋梁の道路種別架橋状況

（単位　m）

種別	総橋梁		永久橋		木橋	
	数	延長	数	延長	数	延長
総数	**265**	**8,896**	**264**	**8,861**	**1**	**24**
国道	75	4,534	75	4,534	—	—
道道	33	958	33	958	—	—
市道	157	3,404	156	3,369	1	24

1　令和８年４月１日現在
2　国道　36号　234号　274号　276号　337号　453号
3　道道　島松千歳線　早来千歳線　舞鶴追分線　支笏湖公園線　丸駒線　千歳インター線　馬追原野北信濃線　泉沢新千歳空港線　支笏湖線　支笏湖公園自転車道線　幌内三川停車場線

北海道開発局札幌開発建設部・北海道空知総合振興局札幌建設管理部・道路管理課



87　都市計画道路種別整備状況

（単位　km）

種別	計画道路		整備状況			
	本数	延長 (A)	改良済延長 (B)	改良率 (B/A)（%）	舗装済延長 (C)	舗装率 (C/A)（%）
総数	**75**	**147.96**	**132.38**	**89.47**	**131.64**	**88.97**
国道	5	20.03	19.76	98.65	19.76	98.65
道道	8	20.95	19.00	90.69	19.00	90.69
市道	67	106.98	93.62	87.51	92.88	86.82

1　令和８年３月31日現在
2　計画道路「本数・延長」　構造物（橋梁、立体交差、トンネルなど）を含めた都市計画決定済延長
　　本数の総数は、道路種別の重複により各種別の合計値より少なくなっている
3　整備状況「改良済」　道路用地が計画決定どおり確保されており、自動車交通に供用開始されている区間（暫定断面を含む）
　　「舗装済」　改良済区間のうち車道部分が本舗装されている区間

道路建設課

88　道路工事種別件数・工事費の推移

（単位　千円）

道路		
年度	件数	工事費
3	32	753,005
4	34	735,283
5	30	887,370
6	28	1,323,212
7	**26**	**1,116,232**
工事区分		
本舗装	15	520,494
改良	11	595,738
歩道	0	0

橋梁		
年度	件数	工事費
3	3	218,823
4	3	115,599
5	6	230,571
6	1	9,878
7	**3**	**156,618**

1　道路管理課・道路建設課分を掲載した
契約管財課

89　公園・緑地

(1) 都市公園・緑地の状況

（単位　ha）

種別	公園数	面積	うち開設済公園		
			公園数	面積	名称
総数	**231**	**512.34**	**209**	**421.49**	
住区基幹公園	178	98.48	170	95.73	
街区公園	156	33.65	149	32.34	真町　栄町　春日　末広中　末広西　末広東　花園第２　むつみ　花園　しなの　しんとみ　しなの第２　とみおか　とみおか２号　すみよし１号　桂木５号　東郊１号　すみよし３号　東１号　とみおか３号　北栄１号　白樺　桜木２号　青葉丘　桂木４号　日の出丘１号　梅ヶ丘　北斗２号　桂木１号　自由ヶ丘　河畔　寿１号　北斗ルンルン　なかよし　富士２号　長都１号　北斗４号　ひばりヶ丘１号　ひばりヶ丘３号　とみおか４号　とみおか５号　稲穂　稲穂第２　日の出丘２号　祝梅１号　若草ゴリラ　若草ゾウ　白樺パンダ　里美キリン　新富おおぞら　稲穂やすらぎ　稲穂フレンド　豊里くるみ　りんごちゃん　北斗かおり　希望　若草ヒツジ　白樺ライオン　里美コアラ　弥生　東郊２号　しののめ　桜木３号　桂木３号　静和　からまつ　かぜのこ　里美ラッコ　富士１号　祝梅２号　寿２号　ひまわり　長都３号　豊里ハスカップ　タヌキ　春日２号　スズラン　桂木２号　長都２号　北斗すみれ　長都４号　ウサギ　リス　北斗１号　北斗３号　長都５号　祝梅３号　カバ　シマウマ　白樺たこ　ひばりヶ丘２号　さくらぎ４号　とみおか６号　桜木１号　ちびっこ　自由ヶ丘東　自由ヶ丘西　さくらんぼ　ふなっこ　ちょうちょう　とんぼ　ひばりヶ丘４号　流通団地　北斗やすらぎ　富丘ワンパク　上長都バンビ　信濃草笛　長都６号　流通団地１号　大和　富士３号　ラクダ　ペンギン　シカ　北陽　クワガタ　カタツムリ　ねしこし　コオロギ　あずさ１号　あずさ2号　ハルニレ　柏台北部　セミ　あけぼの　新町東　アカトンボ　青葉丘南　朝日町東　うぐいす　すずめ　きのっこ　あずさ3号　勇舞1号　ミツバチ　長都7号　勇舞2号　新星　みどり台１号　みどり台２号　ホタル　勇舞３号　みどり台３号　みどり台４号　北信濃２号　あずさ４号　北信濃１号　北信濃３号　北信濃４号
近隣公園	17	39.26	16	37.82	桜ヶ丘　上長都　すみよし２号　しゅくぷ　太陽　もみじ　若草　つばさ　上長都明星　せせらぎさわやか　ハヤブサ　北光　勇舞　指宿　空港　みどり台

（単位　ha）

種別	公園数	面積	うち開設済公園		
			公園数	面積	名称
地区公園	5	25.57	5	25.57	臨空　向陽台　勇舞すこやか　遺跡　メムシ
都市基幹公園	3	187.94	2	108.74	
総合公園	2	177.28	1	102.31	青葉
運動公園	1	10.66	1	6.43	青空
都市緑地公園	49	225.37	36	216.47	南大通　市民庭園　泉沢つつじケ丘　里美ターザン　北栄　里美ジャングル　林東　泉沢自然の森　長都駅前　旭ヶ丘　泉沢　美々ママチ川　ランコウシ　北陽・あずさ　千歳川河川　柏陽　福住　文京　富丘３丁目　柏台南　美々南　流通１号・２号・３号　第４工業団地１号・２号・３号・４号　泉沢東　勇舞　みどり台　清流　長都川　北信濃　新千歳空港インターチェンジ
特殊公園	1	0.55	1	0.55	開拓記念

1　令和７年４月１日現在
2　１人当たりの公園緑地面積は、（421.49ha×10,000）÷9.6万人＝43.9㎡
都市整備課

（2）市道樹種別本数

樹種	本数
総数	**99,976**
イチョウ	2,149
エゾムラサキツツジ	3,608
エゾヤマツツジ	2,590
エリカ	2,645
カツラ	1,146
ギンフミズキ	1,414
サラサドウダンツツジ	4,586
タマオンコ	2,726
タマドウダン	5,981
ドウダンツツジ	21,126
ナナカマド	1,728
ニシキギ	16,243
ハルニレ	1,140
ベニウツギ	1,199
モンタナハイマツ	8,450
ヨドガワツツジ	3,713
リュウキュウツツジ	2,628
レンギョ	4,404
その他	12,500

1　千本以上の樹種名を掲載した
道路管理課

90　市発注工事の状況（令和７年度）

（単位　千円）

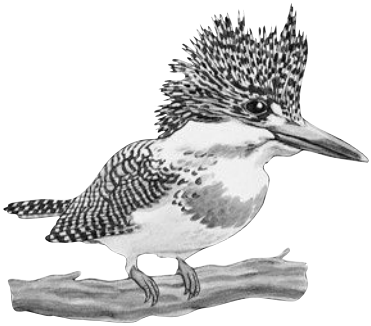
種　別	工　事　概　要	件　数	工　事　費
総　数		**81**	**3,575,770**
道路施設	道路維持補修整備等	6	118,943
	道路舗装整備等	29	1,374,039
住宅施設	公営住宅整備等	5	259,864
文教施設	公園整備等	13	291,888
	小中学校整備等	20	958,750
その他	国指定史跡整備等	1	83,314
	廃棄物処理施設整備等	3	265,617
	河川整備等	1	11,627
	共同受信施設整備等	2	128,205
	グリーンベルト地下駐車場整備等	1	83,523

1　廃棄物管理課・道路建設課・道路管理課・都市整備課・建築課・建築設備課分を掲載した
契約管財課



市の鳥　ヤマセミ

昭和61(1986)年４月１日制定



（カワセミ科の留鳥）

翼の色は、白と黒のまだら模様で頭に冠のような羽のある美しい鳥です。雌雄（つがい）で暮らし、切り立った崖に穴を掘って営巣します。

清流に生息する鳥で、千歳川の上流や青葉公園などで見られます。

あらまし

千歳市の発電所は、千歳川上流部に、王子製紙苫小牧工場へ電力を供給する王子製紙千歳川発電所が５か所あり、そこで発電された電気の一部は、支笏湖地区に特定供給されています。

千歳市内の都市ガスは、全て天然ガスで、北海道ガスが供給し、令和７年度末の一般ガス普及率は43.9％、供給区域内の47.3％となっています。

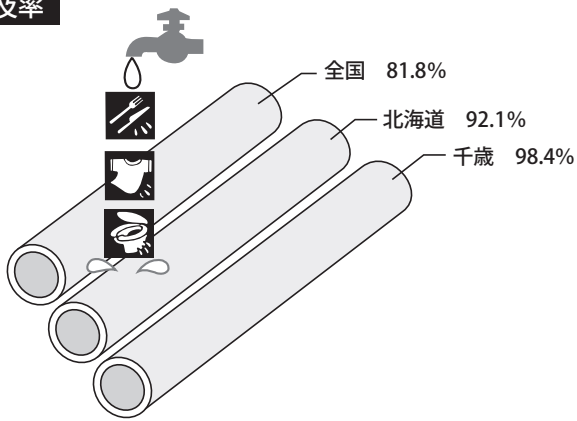
千歳市の水道事業は、昭和30年に春日町の浄水場から給水を開始したのが始まりです。その後、人口が増加し、浄水施設の能力が限界に近づいたため、昭和39年以降は、蘭越浄水場から給水を行っています。蘭越浄水場は、環境省の「名水百選」に選ばれた「ナイベツ川湧水」を主水源としているほか、昭和59年からは石狩東部広域水道企業団の漁川浄水場、平成27年からは千歳川浄水場から水道水の供給を受けています（受水）。また、支笏湖温泉地区では、シリセツナイ川の伏流水を主水源として、簡易水道による給水を行っています。千歳市の令和７年度末における上水道普及率は、99.9％と高い水準になっています。

下水道事業は、昭和35年に都市下水路として計画を策定し、昭和36年に着工したのが始まりで、昭和39年には公共下水道事業認可を受けて本格的な整備に着手しています。その後、急速な市街地の開発に対応するため、昭和46年に終末処理場の建設に着手し、昭和51年から運転を開始しています。

現在の公共下水道事業計画では、予定処理面積を約3,465ha、想定区域人口を95,540人、終末処理能力を92,500㎥／日とし、令和10年度までに計画区域内の整備を完了する予定です。また、下水道処理区域以外については、全市的な生活環境の向上を目的に、合併処理浄化槽による個別排水処理施設整備事業により水洗化を進めています。千

歳市の令和７年度末における下水道普及率は98.4％と高い水準になっています。また、水洗化率は99.9％、浄化槽による汚水処理を含めた汚水衛生処理率は99.8％で、市民の快適な生活環境と千歳川の清流を守っています。

下水道普及率



1　令和８年３月31日現在（全国及び北海道の下水道普及率は令和６年度末の数値）
水道局下水道整備課

93　王子製紙千歳川発電所

(1) 施設概要

発電所	出力(kw)		採水方式	貯水容量(千㎥)	使用水量(㎥/s)		発電機			
	最大	常時			最大	常時	種類	台数	型式	台数
千歳第1	25,800	11,000	暗渠	215,323.9	18.10	11.1	3相交流同期	5	縦軸回転界磁 横軸回転界磁	1 4
第2	2,700	1,530	隧道	34.0	19.4	7.03	3相交流同期	1	縦軸回転界磁	1
第3	3,300	1,250	ダム	483.4	23.5	6.85	3相交流同期	1	横軸回転界磁	1
第4	3,600	1,600	ダム	337.8	25.5	9.57	3相交流同期	2	横軸回転界磁	2
第5	1,600	1,000	隧道	15.9	19.9	6.83	3相交流同期	1	縦軸回転界磁	1

1　令和8年4月1日現在
王子製紙㈱苫小牧工場

(2) 電力需給状況の推移

（単位　MWH）

年度	計	発電電力量					消費電力量		
		発電所内訳					自家用		販売用
		第1	第2	第3	第4	第5	工場	その他	
3	153,310	104,444	14,084	13,147	12,697	8,938	146,724	1,068	5,516
4	154,612	105,813	14,192	13,377	12,424	8,806	147,479	1,276	5,855
5	143,286	96,257	11,541	12,129	12,032	8,327	136,189	1,189	5,907
6	134,642	92,408	11,961	10,719	11,785	7,770	127,869	1,001	5,772
7	**141,728**	**97,572**	**12,743**	**10,721**	**12,514**	**8,177**	**134,830**	**1,074**	**5,824**

1　自家用「工場」は千歳発電所から苫小牧工場へ送電された電力（苫受電量）
2　自家用「その他」は発電所内消費及び送電損失量
3　「販売用」は支笏湖地区への特定供給
王子製紙㈱苫小牧工場

94　一般ガス

(1) 供給の推移

区　　分		3年度	4年度	5年度	6年度	**7年度**
供給戸数	一般ガス	17,639	17,801	17,941	18,408	**19,181**
計量器取付数	一般ガス	20,856	21,065	21,346	22,076	**22,971**
普及率	区域内(%)	45.3	45.3	45.2	46.4	**47.3**
	市全域(%)	41.5	41.4	41.5	42.8	**43.9**

1　各年度末現在
2　普及率は各年度末現在の住民基本台帳世帯数に対する計量器取付数の割合
3　供給戸数は各年度末現在の調定数
北海道ガス㈱千歳支店

(2) 用途別供給戸数と消費量の推移

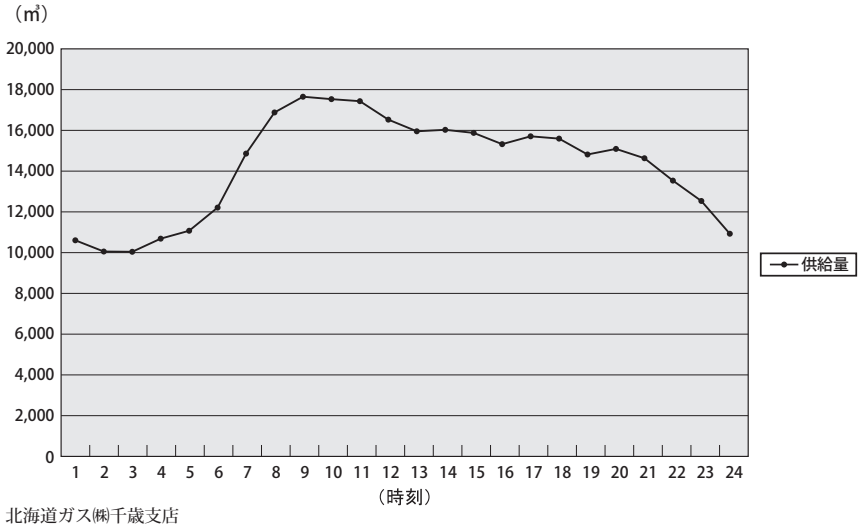
(単位　千kcal)

区　分	総　数	家　庭	商　業	医　療	公　用	工　業
一般ガス						
供給戸数						
3年度	17,639	16,976	443	30	160	30
4年度	17,801	17,143	429	33	165	31
5年度	17,941	17,310	429	31	137	34
6年度	18,408	17,770	435	31	137	35
7年度	**19,181**	**18,532**	**445**	**30**	**140**	**34**
消費量						
3年度	509,898,257	94,959,158	182,015,345	8,027,874	14,149,279	210,746,601
4年度	498,686,788	95,697,393	182,289,961	7,689,403	15,264,807	197,745,224
5年度	529,350,054	98,244,218	198,268,150	7,689,403	14,055,515	211,107,547
6年度	484,797,539	104,075,677	160,912,162	7,445,280	13,808,684	198,555,736
7年度	**561,866,089**	**113,767,177**	**179,115,586**	**7,500,839**	**15,078,834**	**246,403,653**

1　供給戸数は各年度末現在
2　数値は全て天然ガス（一般ガス）
3　標準熱量は45メガジュール／㎥
北海道ガス㈱千歳支店

時間別供給推移

年度中最大供給日 （令和８年１月16日） 340,148㎥N/日



北海道ガス㈱千歳支店

96　上水道

(1) 給水の推移

区　　分	3年度	4年度	5年度	6年度	**7年度**
給水区域内戸数（戸）	47,656	48,252	49,045	49,299	**50,301**
給水区域内人口（人）	96,903	96,822	97,021	96,346	**96,436**
給水人口（人）	96,796	96,715	96,914	96,308	**96,399**
普及率（%）	99.9	99.9	99.9	99.9	**99.9**
配水管延長（m）	702,098	702,833	706,828	712,256	**714,500**
総配水量（㎥）	12,033,227	11,978,254	12,145,560	12,388,208	**13,932,195**
1日平均給水量（㎥）	32,968	32,817	33,185	33,940	**38,170**
1日最大給水量（㎥）	37,783	36,562	39,144	38,209	**45,329**
1人1日平均給水量（ℓ）	341	339	342	352	**396**
1人1日最大給水量（ℓ）	390	378	404	397	**470**
料金収入（千円）	1,925,376	1,928,095	1,972,461	2,029,028	**2,300,496**

1　給水区域内戸数、給水区域内人口、給水人口は各年度末現在の住民基本台帳（区域内）により算出した
2　料金収入は消費税加算後の調定額
水道局総務課・水道整備課

(2) 用途別給水戸数と有収水量の推移

（単位　㎥）

区　分	総　数	家　庭	公　用	営　業	工　業	浴　場	医　療	部　隊	その他
給水戸数									
3年度	44,193	41,782	267	1,872	169	3	95	3	2
4年度	44,654	42,234	266	1,877	171	2	95	3	6
5年度	45,728	43,268	266	1,912	168	2	96	3	13
6年度	46,834	44,347	272	1,933	170	2	95	3	12
7年度	**47,840**	**45,307**	**276**	**1,955**	**171**	**2**	**96**	**3**	**30**
有収水量									
3年度	11,574,260	7,296,636	253,716	1,314,088	1,679,228	7,522	185,270	832,909	4,891
4年度	11,573,675	7,139,408	256,960	1,464,782	1,721,401	7,659	175,875	804,156	3,434
5年度	11,819,746	7,170,903	269,431	1,548,925	1,794,179	7,303	168,511	802,740	57,854
6年度	12,136,359	7,251,816	278,687	1,630,248	1,883,271	7,546	174,582	797,679	112,530
7年度	**13,664,381**	**7,271,752**	**304,124**	**1,746,754**	**3,298,327**	**7,802**	**162,418**	**791,253**	**81,951**

1　給水戸数は各年度末現在
水道局総務課

97　簡易水道

(1) 給水の推移

区　　分	3年度	4年度	5年度	6年度	**7年度**
給水区域内戸数（戸）	98	99	102	109	**106**
給水区域内人口（人）	145	139	147	152	**151**
給水人口（人）	145	139	147	152	**151**
普及率（%）	100	100	100	100	**100**
配水管延長（m）	3,496	3,496	3,496	3,496	**3,496**
総配水量（㎥）	62,720	69,807	76,199	84,137	**78,568**
1日平均給水量（㎥）	172	191	208	231	**215**
1日最大給水量（㎥）	421	265	307	393	**344**
1人1日平均給水量（ℓ）	1,185	1,376	1,420	1,517	**1,426**
1人1日最大給水量（ℓ）	2,903	1,906	2,088	2,586	**2,278**
料金収入（千円）	11,042	12,313	13,231	14,365	**13,214**

1　給水区域内戸数、給水区域内人口、給水人口は各年度末現在の住民基本台帳（区域内）により算出した
2　料金収入は消費税加算後の調定額
水道局総務課・水道整備課

(2) 用途別給水戸数と有収水量の推移

（単位　㎥）

区　分	総　数	家　庭	公　用	営　業	医　療	その他
給水戸数						
3年度	144	102	18	23	1	－
4年度	151	108	18	24	1	－
5年度	155	111	18	25	1	－
6年度	154	112	18	23	1	－
7年度	**154**	**111**	**19**	**22**	**1**	**1**
有収水量						
3年度	58,263	9,437	4,445	44,154	49	178
4年度	65,292	9,309	6,215	49,721	47	－
5年度	70,479	9,697	6,727	54,000	55	－
6年度	76,678	10,274	7,868	58,476	60	－
7年度	**70,315**	**10,679**	**8,006**	**50,599**	**56**	**975**

1　給水戸数は各年度末現在
水道局総務課

98　水道料金表

（単位　円）

種　類	用途区分	口径区分	基本料金（1か月当たり）		1㎥従量料金（1か月当たり）	
			基本水量	料　金		
上水道	一般用	25㎜以下		830	使用水量8㎥まで	10
		40㎜		1,140	使用水量8㎥を超えるもの	159
		50㎜		3,240		
		75㎜		5,710		
		100㎜		10,030		
		150㎜		29,060		
		200㎜		48,550		
	浴場用			6,430	使用水量100㎥まで	5
					使用水量100㎥を超えるもの	90
簡易水道	一般用		使用水量8㎥まで	1,110	使用水量8㎥を超え50㎥まで	161
					使用水量50㎥を超え1,000㎥まで	163
					使用水量1,000㎥を超えるもの	165
	臨時用		使用水量8㎥まで	1,900	使用水量8㎥を超えるもの	165

1　令和8年4月1日現在
2　上表により算定した合計額に消費税等相当額を加えた額を料金とする
水道局総務課

99　下水道事業の推移

区　　分	3年度	4年度	5年度	6年度	**7年度**
行政区域内人口（人）	97,052	96,965	97,173	96,503	**96,592**
処理区域内人口（人）	95,414	95,314	95,572	94,949	**95,090**
水洗化人口（人）	95,349	95,243	95,504	94,903	**95,067**
普及率					
下水道普及率（%）	98.3	98.3	98.4	98.4	**98.4**
水洗化率（%）	99.9	99.9	99.9	99.9	**99.9**
管渠施設延長（km）	1,019.23	1,021.00	1,028.64	1,026.44	**1,062.40**
市街地汚水管（km）	556.91	557.99	561.97	560.75	**576.78**
市街地雨水管（km）	455.82	456.51	460.17	459.19	**479.13**
支笏湖汚水管（km）	4.15	4.15	4.15	4.15	**4.15**
支笏湖温泉管（km）	2.35	2.35	2.35	2.35	**2.35**
総処理水量（㎥）	19,292,489	19,759,634	19,012,508	19,296,178	**20,930,084**
雨水処理水量（㎥）	1,605,924	1,835,562	1,293,873	1,314,972	**1,298,753**
汚水処理水量（㎥）	17,686,565	17,924,072	17,718,635	17,981,206	**19,631,331**
晴天時平均処理水量（㎥/日）	48,508	49,079	48,500	49,285	**53,982**
晴天時最大処理水量（㎥）	55,966	58,292	55,204	56,457	**60,332**
雨天時最大処理水量（㎥）	114,272	134,522	114,115	96,939	**99,432**
総汚泥処分量（㎥）	4,203.240	4,411.060	4,732.950	11,508.700	**10,318.420**
個別排水処理施設（合併処理浄化槽）					
処理人口（人）	1,025	1,055	1,063	1,074	**1,085**
設置済基数（基）	298	306	309	310	**314**
汚水衛生処理率（%）	99.5	99.5	99.6	99.7	**99.8**

1　下水道普及率＝処理区域内人口/行政区域内人口
2　水洗化率＝水洗化人口/処理区域内人口
3　管渠施設延長の汚水管は合流管を含む
4　汚水衛生処理率(%)＝単独浄化槽を除く現在水洗便所設置済人口/行政区域内人口
水道局下水道整備課

100　下水道使用料算定表

（単位　円）

区域	汚水の種類	終末処理場に接続するもの			終末処理場に接続しないもの		
		基本使用料	1㎥の従量使用料		基本使用料	1㎥の従量使用料	
			汚水量	金額		汚水量	金額
処理区域内	一般汚水	550	汚水量8㎥まで	9	100	汚水量8㎥まで	1
			汚水量8㎥を超え50㎥まで	95		汚水量8㎥を超えるもの	14
			汚水量50㎥を超え1,000㎥まで	99			
			汚水量1,000㎥を超えるもの	103			
	公衆浴場の汚水	5,100	汚水量300㎥まで	1			
			汚水量300㎥を超えるもの	25			
	温泉水の汚水	13,000	汚水量8㎥まで	3			
			汚水量8㎥を超えるもの	11			
処理区域外	一般汚水	860	汚水量8㎥まで	10	170	汚水量8㎥まで	1
			汚水量8㎥を超え50㎥まで	101		汚水量8㎥を超えるもの	22
			汚水量50㎥を超え1,000㎥まで	105			
			汚水量1,000㎥を超えるもの	109			

1　令和8年4月1日現在
2　上表により算定した合計額に消費税等相当額を加えた額を使用料とする
3　汚水量は水道の使用水量とする
4　温泉水の汚水は、支笏湖温泉地区のみの適用とする
5　一般家庭で地下水を使用し揚水量測定器具が取り付けられていない場合は、4人までを8㎥とし、1人増すごとに2㎥、浴槽は1個につき3㎥、水洗式大便器は1個につき2㎥、水洗式小便器は1個につき1㎥を加えたものを汚水量とする

水道局総務課

101　個別排水処理施設（合併処理浄化槽）

個別排水処理施設使用料金表

（単位　円）

区分	月額料金
5人槽	2,125
6人槽	2,295
7人槽	2,550
8人槽	2,720
10人槽	3,315

1　令和8年4月1日現在
2　上記料金表の額に消費税等相当額を加えた額を使用料とする

水道局下水道整備課

マンホールふたデザイン

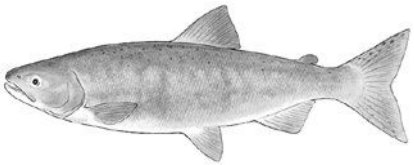
下水道30周年記念公募作品



水道局総務課

市の魚　ヒメマス

平成８(1996)年11月１日制定



（サケ科の淡水魚。ベニザケの湖沼残留型：陸封型）

もともと支笏湖には生息しておらず、明治27(1894)年に阿寒湖から支笏湖に移殖されたのが始まりでした。

ヒメマスは「チップ」と呼ばれ、毎年６月から８月までのチップ釣りは初夏の風物詩となっています。

豊かな心と人間性を育む

11

あらまし

千歳市内には、令和８年５月現在、小学校18校、中学校９校の27校（併置２校）があり、7,441人の児童・生徒が伸び伸びと学んでいます。

高等学校には、道立２校に1,231人の生徒が学び、大学等の進学率は76.0％で、就職先の産業別では、第３次産業が71.8％と最も多くなっているほか、日本航空高等学校北海道には、189人が在籍しています。

そのほか、北海道千歳高等支援学校に72人、航空技術を学ぶ日本航空大学校北海道新千歳空港キャンパスに624人が在籍するほか、各種学校として千歳速算学校が１校あり14人が学んでいます。

公立千歳科学技術大学には、理工学部に1,043人、大学院理工学研究科（博士前期・後期課程）に88人の学生が在籍し、教育環境の充実したキャンパスで学んでいます。

また、理学・作業療法士を養成する北海道千歳リハビリテーション大学は、健康科学部リハビリテーション学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻）に375人の学生が在籍し、緑豊かな学習環境の中で学んでいます。

市は、約29万冊の蔵書がある市立図書館や、大・中ホールにデジタル音響・照明設備を導入した市民文化センター（北ガス文化ホール）などの社会教育施設の充実に力を入れ、市民が生きがいと潤いのある人生を送ることができるよう様々な学習機会を提供しています。

また、市民活動交流センター「ミナクール」は、市民活動の場を提供するほか、市民活動に関する情報提供や、活動に関する相談の場として、市民の自主的な活動や交流を積極的に支援しています。

社会体育施設では、四季を通して多くの市民が心地よい汗を流して健康づくりができる生涯スポーツの振興を図っています。

青葉公園には、日本陸上競技連盟の第３種公認陸上競技場を始め、スポーツセンター（ダイナックスアリーナ）、野球場や庭球場などがあります。

青空公園には、総合武道館のほか、屋内テニスやゲートボールができるふれあいセンター、スケート場などがあります。

また、温水プールには、連盟公認の競泳コースのほか、ウォータースライダーなどの遊具もあり、幼児から高齢者まで幅広い市民に利用されています。さらに、学校体育館及び校庭並びに武道場を市民のスポーツ場として開放しています。

市の埋蔵文化財については、国指定史跡２か所、市指定史跡１か所が所在し、市内出土遺物の中から、国重要文化財３件、市有形文化財３件が指定されており、旧石器時代から近世にかけての遺跡が370か所見つかっています。とりわけ、国指定史跡の「キウス周堤墓群」は、世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する資産の一つであり、市では保存と活用の取組を進めています。

アイヌ文化については、市が平成５年に「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」を無形文化財に指定したほか、平成６年には千歳アイヌ文化伝承保存会が重要無形民俗文化財「アイヌ古式舞踊」の保護団体を構成する団体として国から指定を受けるなど、伝承保存が図られています。令和元年には「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」が施行され、市ではアイヌ施策推進地域計画を策定して、アイヌ文化の保存・継承やアイヌの伝統等に関する理解の促進に資する取組などを進めています。

また、千歳市は北海道犬発祥の地の一つとしても知られています。

近・現代の文化財では、「泉郷獅子舞」、「山線鉄橋」などが市の文化財に指定されています。

102　幼稚園の推移

年	園　数	学級数	園　児　数				前年度修了者数	就園率（%）	教員数
			総　数	3歳児	4歳児	5歳児			
3	8	53	1,228	366	414	448	441	51.2	98
4	8	55	1,120	349	371	400	445	49.6	111
5	8	55	1,067	342	349	376	399	47.1	102
6	8	48	977	285	342	350	375	47.3	99
7	**8**	**46**	**893**	**296**	**262**	**335**	**353**	**41.8**	**116**

1　各年5月1日調査
2　年齢は各年4月1日現在の満年齢である
3　就園率は前年度修了者数を小学校1年生総数で除した割合である
4　教員数は本務者のみである
5　幼稚園型認定こども園を含む
「学校基本調査」（総務課）

103　小学校の推移

年	学校数	学級数	児　童　数			教　員　数			1学級当たり児童数	教員1人当たり児童数
			総　数	男	女	総　数	男	女		
4	18	233	5,313	2,765	2,548	363	169	194	22.8	14.6
5	18	238	5,265	2,675	2,590	379	176	203	22.1	13.8
6	18	238	5,146	2,608	2,538	392	178	214	21.6	13.1
7	18	230	5,007	2,529	2,478	389	181	208	21.8	12.9
8	**18**	**229**	**4,850**	**2,444**	**2,406**	**398**	**185**	**213**	**21.1**	**12.2**

1　各年5月1日調査
2　教員数は本務者のみである
「児童・生徒数調べ」（教育委員会学校教育課）

104　中学校の推移

年	学校数	学級数	生　徒　数			教　員　数			1学級当たり生徒数	教員1人当たり生徒数
			総　数	男	女	総　数	男	女		
4	9	98	2,669	1,361	1,308	189	127	62	27.2	14.1
5	9	100	2,668	1,425	1,243	191	122	69	26.7	14.0
6	9	96	2,621	1,399	1,222	203	129	74	27.3	12.9
7	9	100	2,581	1,336	1,245	203	128	75	25.8	12.7
8	**9**	**110**	**2,591**	**1,319**	**1,272**	**215**	**134**	**81**	**23.6**	**12.0**

1　各年5月1日調査
2　教員数は本務者のみである
「児童・生徒数調べ」（教育委員会学校教育課）

105　小・中学校学年別就学数の推移

年	小学校							中学校			
	総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総数	1年	2年	3年
4	5,313	898	869	901	867	904	874	2,669	872	929	868
5	5,265	847	887	867	899	864	901	2,668	858	881	929
6	5,146	792	837	889	867	894	867	2,621	885	858	878
7	5,007	762	794	822	877	863	889	2,581	844	886	851
8	**4,850**	**764**	**744**	**802**	**819**	**867**	**854**	**2,591**	**864**	**847**	**880**

1　各年5月1日調査
「児童・生徒数調べ」（教育委員会学校教育課）

106　中学校卒業者の推移

年	卒業者総数	高等学校等進学者		就職者							その他
		総数	進学率（%）	総数	産業別				就職地別		
					第1次	第2次	第3次	左記以外	道内	道外	
4	894	886	99.1	1	1	－	－	－	1	－	7
5	866	853	98.5	1	－	－	1	－	1	－	12
6	928	911	98.2	－	－	－	－	－	－	－	17
7	877	869	99.1	－	－	－	－	－	－	－	8
8	**850**	**800**	**98.6**	**3**	**2**	**－**	**1**	**－**	**3**	**－**	**9**
男	465	444	98.5	2	2	－	－	－	2	－	5
女	385	356	98.7	1	－	－	1	－	1	－	4

1　各年5月1日調査
2　産業別・就職地別就職者数は、就職進学者を含んでいるため就職者総数とは一致しない
「児童・生徒数調べ」（教育委員会学校教育課）

107　学校給食の推移

年	学校数			学級数			給食人員数			
	総数	小学校	中学校	総数	小学校	中学校	総数	小学校	中学校	教職員等
4	27	18	9	330	232	98	8,556	5,313	2,669	574
5	27	18	9	338	238	100	8,527	5,265	2,668	594
6	27	18	9	334	238	96	8,385	5,147	2,624	614
7	27	18	9	331	231	100	8,182	5,007	2,581	594
8	**27**	**18**	**9**	**338**	**228**	**110**	**8,238**	**4,850**	**2,591**	**797**

1　各年5月1日現在
2　令和8年以降の「教職員等」欄は、教職員以外に喫食する人員数も含む
教育委員会学校給食センター

108　高等学校・高等支援学校の生徒数

区分	学級数	生徒数			教員数			1学級当たり生徒数	教員1人当たり生徒数	創設年月
		総数	男	女	総数	男	女			
4　年　度	40	1,375	650	725	114	89	25	34.4	12.1	
5　年　度	40	1,355	634	721	111	85	26	33.9	12.2	
6　年　度	42	1,421	667	754	133	100	33	33.8	10.7	
7　年　度	44	1,440	659	781	127	93	34	32.7	11.3	
8　年　度	**45**	**1,466**	**700**	**766**	**130**	**95**	**35**	**32.6**	**11.3**	
全日制										
千歳	24	920	434	486	65	49	16	38.3	14.1	昭和25.4
千歳北陽	12	311	182	129	37	27	10	25.9	8.4	昭和48.4
日本航空北海道	5	189	66	123	19	11	8	37.8	9.9	令和 6.4
定時制										
千歳	4	46	18	28	9	8	1	11.5	5.4	昭和23.10
職業学科										
千歳高等支援	9	72	40	32	31	18	13	8.0	2.32	平成25.4
通信制										
日本航空北海道	6	87	44	43	6	3	3	14.5	14.5	平成11.4

北海道千歳高等学校・千歳北陽高等学校・千歳高等支援学校・日本航空高等学校北海道
※各学校の数値は８年度の数値
※千歳北陽高等学校は、「アンビシャススクール」のため少人数クラス編成を実施
※日本航空高等学校北海道通信は、学年×通学区分を学級数として算出

109　高等学校・高等支援学校別入学者状況（令和８年）

区分	定数	当初出願者数			入学者数				最終競争率（倍）
		総数	市内生	市外生	総数	市内生	市外生	市外生の割合（%）	
千歳高等学校									
全日制普通科	**200**	**254**	155	99	**200**	125	75	37.5	**1.3**
全日制国際教養科	**40**	**36**	13	23	**37**	12	25	67.6	**1.1**
全日制国際流通科	**80**	**83**	52	31	**80**	50	30	37.5	**0.9**
定時制普通科	**40**	**15**	14	1	**14**	14	—	—	**0.35**
千歳北陽高等学校									
全日制総合学科	**160**	**121**	92	29	**115**	87	28	32.2	**0.7**
日本航空高等学校北海道									
全日制航空科	**80**	**112**	9	103	**76**	4	72	94.7	**1.4**
通信制普通科	**—**	**17**	9	8	**14**	8	6	42.9	**—**
通信制航空科	**—**	**4**	—	4	**3**	—	3	100	**—**
千歳高等支援学校									
生産技術科	**8**	**8**	4	9	**8**	2	6	75.0	**—**
環境・流通サポート科	**16**	**16**	4	13	**16**	4	12	75.0	**—**

北海道千歳高等学校・千歳北陽高等学校・千歳高等支援学校・日本航空高等学校北海道

110　高等学校卒業者数

（1）全日制

区　分	卒業者総数	進学者			就職者					その他
		総数	進学志望者	進学率（%）	総数	産業別			就職先別		
				対志望者	対卒業者		第1次	第2次	第3次	道内	道外	
4　年	502	407	418	97.4	81.1	74	1	16	57	73	1	10
5　年	414	300	308	97.4	72.5	96	－	20	76	93	3	17
6　年	416	322	332	97.0	77.4	76	－	12	64	74	2	8
7　年	426	320	336	95.2	75.1	82	－	21	61	81	1	24
8　年	**416**	**316**	**328**	**96.3**	**76.0**	**85**	**－**	**24**	**61**	**77**	**8**	**15**
千歳	310	261	273	95.6	84.2	34	－	4	30	27	7	15
千歳北陽	106	55	55	100.0	51.9	51	－	20	31	50	1	－

1　各年5月1日現在
2　**表140（1）**に再掲
北海道千歳高等学校・千歳北陽高等学校

（2）職業学科

学校名	4年			5年			6年			7年			**8　年**					
	卒業者総数	進学者	就職	卒業者総数	進学者	就職	卒業者総数	進学者	就職	卒業者総数	進学者	就職	卒業者総数	進学者	就職			
															総数	就労継続支援A型	就労継続支援B型	その他
千歳高等支援	9	－	9	9	3	6	8	－	8	15	－	15	**22**	**－**	**22**	**2**	**13**	**7**

1　各年5月1日現在
2　**表140（2）**に再掲
千歳高等支援学校

111　専修学校の推移

学　校　名	4年	5年	6年	7年	**8　年**			
					総　数	男	女	教職員数
専門学校 日本航空大学校	545	502	590	648	**624**	**340**	**284**	**83**

1　各年5月1日現在
2　教職員数は本務者のみ
総務課

112　各種学校の推移

学　校　名	4年	5年	6年	7年	8　年			
					総　数	男	女	教職員数
千歳速算学校	61	50	21	15	**14**	**3**	**11**	**2**

1　各年5月1日現在
2　教職員数は本務者のみ
総務課

113　大学の推移

(1) 公立千歳科学技術大学

年度	学　生　数			理工学部（総合光科学部）				大学院理工学研究科		教　員　数		
	総数	男	女	教養課程	応用化学生物学科	電子光工学科	情報システム工学科	博士前期課程	博士後期課程	総数	本務教員	兼務教員
4	1,154	961	193	532	168	196	198	52	8	97	49	48
5	1,179	977	202	538	157	209	199	69	7	95	51	44
6	1,179	975	204	520	170	198	190	95	6	93	52	41
7	1,146	939	207	494	184	193	178	91	6	80	55	25
8	**1,131**	**924**	**207**	**508**	**185**	**176**	**174**	**82**	**6**	**82**	**58**	**24**

1　各年5月1日現在
公立千歳科学技術大学

(2) 北海道千歳リハビリテーション大学

年度	学　生　数			健康科学部リハビリテーション学科		教　員　数		
	総数	男	女	理学療法学専攻	作業療法学専攻	総数	本務教員	兼務教員
4	454	284	170	347	107	57	27	30
5	426	275	151	333	93	57	25	32
6	396	248	148	311	85	62	28	34
7	408	254	154	324	84	60	28	32
8	**375**	**226**	**149**	**303**	**72**	**60**	**27**	**33**

1　各年5月1日現在
2　平成29年4月1日大学開設
北海道千歳リハビリテーション大学

114 図 書 館

(1) 施設概要

所 在 地　真町2196番地の１
構　　造　鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造の併用構造　地上２階地下１階
面　　積　敷地 13,062㎡　建築 2,234㎡　延床 2,816㎡
開　　館　昭和63年２月１日
主要施設　一般閲覧室（90席） 新聞雑誌コーナー（35席）　AVコーナー（25席）
児童閲覧室（30席） AV室（100席） 会議室（60席） ラウンジ（60席）

教育委員会文化施設課

(2) 移動図書館車（愛称「ブッくん」）

車　　種　３人乗改造トラック（４WD）
積載図書　約2,600冊（内架）
巡回周期　月２回（隔週）
ステーション　42か所

教育委員会文化施設課

(3) 図書館の推移

区分		３年度	４年度	５年度	６年度	**７年度**
人口		97,103	97,052	96,965	97,173	**96,503**
開館日数		266	336	337	336	**322**
貸出人数		80,703	99,769	100,576	103,126	**100,471**
１日平均貸出人員		303	297	298	307	**312**
貸出冊数		470,753	552,912	538,003	527,372	**497,370**
１日平均貸出冊数		1,770	1,646	1,596	1,570	**1,545**
蔵書冊数		289,774	289,951	289,604	290,346	**288,328**
図書・資料購入費		21,743,142	21,675,090	21,335,399	21,199,748	**20,515,308**
蔵書回転率（貸出冊数／蔵書冊数）		1.62	1.91	1.86	1.82	**1.73**
市民１人当たり	蔵書冊数	2.98	2.99	2.99	2.99	**2.99**
	図書購入費	224	223	220	218	**213**
	貸出冊数	4.85	5.70	5.55	5.43	**5.15**

1　館内貸出、団体貸出を含む
教育委員会文化施設課

（4）蔵書冊数の推移

年度	合　計	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業技術	産業	芸術	語学	文学	ＡＶ資料	その他
3	289,774	5,609	7,392	17,383	28,298	17,011	16,885	6,667	17,416	3,401	99,301	12,207	58,204
4	289,951	5,537	7,525	17,495	28,454	17,021	16,673	6,735	17,117	3,443	99,090	12,272	58,589
5	289,604	5,541	7,454	17,513	28,548	16,938	16,537	6,666	17,064	3,435	99,120	12,326	58,462
6	290,346	5,452	7,540	17,524	28,519	16,989	16,488	6,717	17,033	3,454	99,178	12,414	59,038
7	**288,328**	**5,345**	**7,457**	**17,202**	**28,447**	**16,871**	**16,266**	**6,625**	**16,869**	**3,396**	**99,219**	**12,462**	**58,169**

1　各年度末現在
教育委員会文化施設課

（5）分類別貸出冊数の推移

年度	合　計	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業技術	産業	芸術	語学	文学	ＡＶ資料	その他
3	470,753	5,973	13,321	21,131	26,708	32,283	49,911	8,860	25,488	4,184	146,012	2,116	134,766
4	552,912	6,557	16,809	26,864	29,977	39,860	57,660	10,991	28,906	4,886	171,239	2,850	156,313
5	538,003	6,526	16,133	26,274	30,708	37,785	55,110	10,266	27,657	5,343	164,380	2,564	155,257
6	527,372	7,083	17,049	27,408	30,186	38,762	54,058	10,224	26,449	5,303	162,935	2,121	145,794
7	**497,370**	**6,641**	**15,535**	**24,207**	**28,357**	**38,839**	**49,915**	**9,673**	**24,931**	**4,696**	**155,934**	**1,873**	**136,769**

1　館内貸出団体貸出含む
教育委員会文化施設課

115　公民館等設置状況

（単位　㎡）

施設名	所在地	延面積	開館年月日
千歳市民文化センター	北栄２丁目２－11	13,016	S 59. 4. 1
千歳公民館	真町176－３	1,574	S 46. 4.10
長都分館	長都239－６	358	S 25. 5.10
中央分館	中央539－３	610	H11. 4. 1
泉郷分館	泉郷289－17	353	S 24. 4.10
協和分館	協和842－６	109	S 24.10. 1
新川分館	新川225－49	215	S 28. 8.18
幌加分館	幌加170－15	124	S 36.11. 1
根志越分館	根志越19－27	224	S 37. 9.24
東丘分館	東丘1363－２	150	S 37.11. 1
釜加分館	釜加362－３	609	H 9. 4. 1
駒里分館	駒里2231－２	269	S 43.10. 1
長都開拓分館	北陽８丁目13－11	169	H 7. 4. 1

教育委員会文化施設課

116　千歳公民館

(1) 施設概要

所 在 地　真町176番地の３
構　　造　鉄筋コンクリート造　地上２階
面　　積　敷地 2,931㎡　建築 750㎡　延床 1,574㎡
開　　館　昭和46年４月10日
主要施設　会議室（５室）　和室　大集会室　ステージ

教育委員会文化施設課

(2) 利用状況の推移

区　分	3 年 度		4 年 度		5 年 度		6 年 度		**7 年 度**	
	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員	**件 数**	**人 員**
総　数	963	13,179	1,712	24,901	1,953	28,872	2,073	28,766	**2,137**	**28,991**
青少年関係	7	146	19	162	23	214	11	131	**27**	**274**
文化関係	441	3,703	891	8,287	971	9,020	1,057	9,662	**914**	**8,173**
スポーツ関係	331	6,197	607	12,331	761	15,162	783	14,041	**862**	**15,387**
集会・会議	81	1,165	120	2,473	121	2,280	116	3,156	**171**	**3,115**
一　般	101	1,968	75	1,648	77	2,196	106	1,776	**163**	**2,042**

教育委員会文化施設課

117　北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）

(1) 施設概要

所 在 地　北栄２丁目２番11号
構　　造　鉄骨鉄筋コンクリート造　地上４階地下２階
面　　積　敷地 16,654㎡　建築 6,870㎡　延床 13,016㎡
開　　館　昭和59年４月１日
主要施設　大ホール（1,275席）　中ホール（412席）　大会議室（１室）　中会議室（２室）
小会議室（２室）視聴覚室　調理教室　美術工芸教室　陶芸教室　窯場　リハーサル室
多目的室　和室　プラネタリウム　展示ホール

教育委員会文化施設課

(2) 利用状況の推移

年度	特別集会施設		コミュニティ供用施設		計	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員
3	646	33,835	1,613	40,959	2,259	74,794
4	1,049	58,121	2,600	65,811	3,649	123,932
5	1,070	71,250	2,976	81,345	4,046	152,595
6	1,093	79,344	3,005	95,445	4,098	174,789
7	**1,063**	**73,926**	**2,989**	**95,921**	**4,052**	**169,847**

教育委員会文化施設課

118 市民ギャラリー

(1) 施設概要

所在地 千代田町5丁目7番地の1
構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上4階地下1階
面積 敷地 746㎡ 建築 587㎡ 延床 2,418㎡
開館 平成7年4月15日
主要施設 展示ホール1（260㎡） 展示ホール2（261㎡）
研修室1（67㎡） 研修室2（85㎡） 研修室3（180㎡）

教育委員会文化施設課

(2) 利用状況の推移

年度	展示ホール		研修室等		計	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員
3	85	4,219	148	1,239	233	5,458
4	224	13,728	341	2,767	565	16,495
5	226	14,631	327	3,064	553	17,695
6	191	13,041	312	3,308	503	16,349
7	**190**	**14,295**	**301**	**3,275**	**491**	**17,570**

教育委員会文化施設課

119　千歳市民活動交流センター「ミナクール」

(1) 施設概要

所 在 地　千代田町５丁目７番地の１　市民ギャラリー４階
開　　館　平成18年８月１日
主要施設　打合せコーナー1・2（約35人）、交流スペース（約30人）
談話室兼児童室（約15人）、情報コーナー（パソコン設置）、掲示コーナー、
図書コーナー、作業コーナー（印刷機等設置）、展示コーナー、案内（相談窓口）

教育委員会生涯学習課

(2) 利用状況の推移

区　　分	3　年　度	4　年　度	5　年　度	6　年　度	**7　年　度**
利用者数（人）	3,420	5,505	7,178	7,286	**8,026**
利用団体数（団体）	1,159	1,809	2,015	1,850	**1,925**

教育委員会生涯学習課

120　青少年会館

(1) 施設概要

所 在 地　東雲町１丁目10番地
構　　造　鉄骨造　地上２階
面　　積　敷地 704.60㎡　建築 367㎡　延床 499㎡
開　　館　昭和44年12月１日

教育委員会文化施設課

(2) 利用状況の推移

年　度	総　数	入　館　者　数			室　別　利　用　者　数			
		勤労青少年	児童・生徒	一　般	体育場	研修室1号(集会室)	和　室	研修室2号(研修室)
3	7,046	22	5,088	1,936	5,166	2,295	1,055	4,645
4	7,793	133	5,318	2,342	5,726	2,310	920	4,553
5	8,528	156	5,916	2,456	6,382	1,819	616	4,893
6	7,683	82	5,048	2,553	5,877	1,366	419	4,282
7	**6,765**	**6**	**3,850**	**2,909**	**6,012**	**1,039**	**476**	**2,695**

1　室別利用者数は延べ人数
教育委員会文化施設課

121　スポーツセンター・ダイナックスアリーナ

（1）施設概要

所 在 地　真町176番地の２
構　　造　鉄筋コンクリート造　一部鉄骨造　地上２階
面　　積　敷地 20,700㎡　建築 3,847㎡　延床 5,992㎡
開　　館　昭和53年７月１日
主要施設　アリーナ（1,680㎡）　第２体育館　トレーニング室　幼児室　会議室
ランニングコース（165m）

スポーツ振興課

（2）利用状況の推移

区　　分	3　年　度	4　年　度	5　年　度	6　年　度	**7　年　度**
総　　数	61,624	89,824	105,711	122,156	**120,285**
小・中・高校生	9,347	11,151	13,011	16,311	**18,659**
一　　般	25,253	32,859	36,621	41,403	**42,103**
団　　体	26,090	45,199	55,211	63,116	**58,168**
そ　の　他	934	615	868	1,326	**1,355**

スポーツ振興課

122　開基記念総合武道館

（1）施設概要

所 在 地　あずさ１丁目３番１号
構　　造　鉄骨鉄筋コンクリート造　一部鉄骨及び鉄筋コンクリート造　地上２階
面　　積　敷地 28,037㎡　建築 6,567㎡　延床 7,299㎡
開　　館　平成５年６月１日
主要施設　アリーナ（1,553㎡）　剣道場（２面）　柔道場（２面）　弓道場（２面）
トレーニング室　幼児室　会議室　相撲場（屋外）

スポーツ振興課

（2）利用状況の推移

区　　分	3　年　度	4　年　度	5　年　度	6　年　度	**7　年　度**
総　　数	74,172	115,896	160,336	131,017	**136,157**
小・中・高校生	14,508	20,022	19,929	25,741	**26,891**
一　　般	24,817	34,848	33,441	41,723	**44,186**
団　　体	34,820	60,997	106,931	63,516	**65,039**
そ　の　他	27	29	35	37	**41**

スポーツ振興課

123　温水プール

(1) 施設概要

所 在 地　流通３丁目１番９号
構　　造　鉄筋コンクリート造　一部鉄骨造　地上２階地下１階
面　　積　敷地 7,713㎡　建築 2,809㎡　延床 3,644㎡
開　　館　平成10年７月20日
主要施設　競泳プール〔(公財) 日本水泳連盟公認25m・８コース〕
流水プール〔周回距離：44.9m〕、幼児・低学年プール
ウォータースライダー〔滑走路全長：101.04m〕

スポーツ振興課

(2) 利用状況の推移

区分		３年度	４年度	５年度	６年度	**７年度**
総数		47,730	74,589	101,930	117,332	**127,907**
一般利用	未就学児	1,746	3,220	3,995	4,367	**5,284**
	小・中学生	9,239	23,197	24,954	24,919	**23,747**
	高校生	153	1,518	412	366	**379**
	一般	8,342	15,620	22,327	22,520	**22,157**
	65歳以上	2,620	5,611	6,877	7,440	**8,891**
	障がい者	1,862	3,858	3,879	3,844	**4,027**
	計	23,962	53,024	62,444	63,456	**64,485**
講習会	未就学児	3,264	285	392	640	**1,019**
	小・中学生	14,753	17,149	30,632	40,990	**48,494**
	一般	2,243	3,428	5,792	7,775	**8,829**
	計	20,260	20,862	36,816	49,405	**58,342**
その他の事業		2,046	703	2,670	4,124	**4,693**
専用利用	全館貸切	―	―	―	347	**387**
	会議室等	1,462	―	―	―	**―**

スポーツ振興課



温水プール

124　埋蔵文化財センター

施設概要

所 在 地　長都42番地の１
面　　積　敷地 12,431.80㎡　建築1,742.00㎡　延床 2,590.34㎡
開　　館　平成22年４月１日
主要施設　常設展示室　企画展示室　レクチャールーム　体験学習室

教育委員会埋蔵文化財センター

125　上長都文化財収蔵施設（旧埋蔵文化財センター）

施設概要

所 在 地　上長都958番地の１
面　　積　敷地 49,461.00㎡　建築 1,286.85㎡　延床 1,535.17㎡
開　　館　平成22年４月１日

教育委員会埋蔵文化財センター

126　史跡キウス周堤墓群ガイダンスセンター

施設概要

所 在 地　中央1473番地の１
面　　積　敷地 4,486.75㎡　建築 270.50㎡　延床 204.87㎡
開　　館　令和７年４月25日
主要施設　展示室　多目的スペース

教育委員会埋蔵文化財センター



埋蔵文化財センター

127　社会体育施設利用状況

施設名	開設年月	面積（㎡）	利用期間	7年度利用者数（人）
ふれあいセンター	H 元.10	1,153	通年	10,537
青葉陸上競技場	S 29. 6	31,889	4～10月	34,728
青葉球場	S 32. 8	21,000	〃	13,222
千歳市民球場	S 62. 4	25,000	〃	10,127
青葉公園庭球場（硬式テニス）	S 35. 5	5,610	〃	17,572
〃（軟式テニス）	S 37. 4	5,933	〃	7,025
青葉公園ラグビー場	H 元. 6	15,000	〃	2,260
〃サッカー場	H 3. 6	21,000	〃	4,283
青空公園サッカー場	S 61.10	9,800	4～10月	5,426
〃スケート場	S 61.12	1周 400m	4~10月・12~2月	11,376
千歳市市民スキー場	S 53.12	52,000	12～3月	2,225
若草公園野球場	H 4. 3	21,475	4～10月	6,796
臨空公園ソフトボール場	H 4. 3	8,250	〃	364
つばさ公園庭球場	H 5. 3	2,730	〃	2,765
向陽台公園庭球場	H 6. 4	2,730	〃	4,397
上長都公園野球場	S 55. 6	7,868	〃	9,457
上長都明星公園庭球場	H 6. 4	300	〃	1,042
しゅくぶ公園庭球場	H 2. 1	300	〃	700
すみよし2号公園庭球場	S 59. 1	1,380	〃	472
住吉ソフトボール場	S 52.12	18,000	〃	5,046
あずまソフトボール場	H 6. 5	6,092	〃	—
末広東公園庭球場	S 61.10	800	〃	508
青葉少年野球場	H 6. 5	6,870	〃	6,727
青葉多目的広場	H 6. 5	894	〃	15,582
青葉陸上競技場（サッカー場）	H 8. 4	10,800	〃	—
臨空公園サッカー場	H 8. 4	15,914	4～10月	2,956
青葉水泳プール	S 34. 9	1,388	6～9月	3,050
北栄水泳プール	S 45. 7	1,073	〃	1,179
日の出水泳プール	S 47.10	1,090	〃	3,482
東水泳プール	S 51. 7	370	〃	285
末広水泳プール	S 54. 8	1,203	〃	4,735
北斗水泳プール	S 59. 7	756	〃	1,711
向陽台水泳プール	S 60. 8	756	〃	1,912
信濃水泳プール	H 2.11	756	〃	5,236
駒里水泳プール	H 7. 4	602	〃	278
北陽水泳プール	H 12. 6	848	〃	5,019
祝梅スケートリンク	S 52.12	1周 200m	1～2月	1,191
日の出スケートリンク	S 52.12	〃	〃	4,065
高台スケートリンク	S 52.12	〃	〃	1,526
桜木スケートリンク	S 53.12	〃	〃	1,859
信濃スケートリンク	S 53.12	〃	〃	2,805
北栄スケートリンク	S 54.12	〃	〃	762
千歳スケートリンク	S 55.12	〃	〃	1,623
緑スケートリンク	S 57.12	〃	〃	2,718
向陽台スケートリンク	S 57.12	〃	〃	1,832
北陽スケートリンク	H 6.12	〃	〃	3,079
泉沢スケートリンク	H 9.12	〃	〃	2,297
千歳第二スケートリンク	H 8.12	〃	〃	3,783
みどり台スケートリンク	R 4.12	〃	〃	3,800
計				**233,820**

スポーツ振興課

128　学校別学校開放事業の推移

学校名		5年度						6年度						7年度					
		体育館		校庭		武道場		体育館		校庭		武道場		体育館		校庭		武道場	
		回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人
小学校	千歳	280	5,685	111	1,665			349	7,986	−	−			378	7,972	1	20		
	北栄	159	2,588	−	−			109	2,006	2	20			233	3,348	3	117		
	末広	287	5,350	−	−			266	5,066	−	−			352	5,902	−	−		
	緑	412	8,033	99	1,385			351	9,135	55	1,283			256	6,321	81	2,270		
	千歳第二	180	3,188	−	−			262	4,153	−	−			344	4,535	−	−		
	支笏湖	38	380	−	−			28	280	−	−			22	220	−	−		
	日の出	107	3,085	22	660			156	4,545	18	540			174	4,068	17	360		
	信濃	255	5,388	151	3,325			292	7,086	113	2,586			277	5,644	116	2,668		
	高台	265	3,912	−	−			331	4,513	−	−			354	4,725	−	−		
	祝梅	175	2,794	173	3,305			150	2,785	173	3,460			244	4,144	171	4,135		
	桜木	463	11,588	134	3,423			528	13,355	150	5,204			496	13,407	147	4,887		
	向陽台	169	2,205	−	−			209	3,210	1	30			211	3,203	−	−		
	北陽	259	5,637	144	4,755			281	6,369	147	5,071			341	6,451	114	4,560		
	泉沢	367	9,333	−	−			321	8,477	−	−			300	8,646	−	−		
	みどり台	260	4,559	71	2,370			298	5,474	86	2,592			341	6,720	82	2,460		
小出張校	北進	142	2,474	−	−			130	2,584	−	−			171	2,452	−	−		
	駒里	18	180	−	−			2	20	−	−			4	62	−	−		
中学校	千歳	157	2,443	15	504			168	2,796	20	692			240	3,639	28	863		
	青葉	163	2,179	−	−			154	2,249	−	−			167	3,310	−	−		
	東千歳	−	−	−	−			−	−	−	−			−	−	−	−		
	富丘	248	1,343	8	260			158	1,977	10	350			165	2,487	7	196		
	北斗	134	2,504	−	−			165	5,133	−	−			182	6,820	−	−		
	向陽台	67	970	−	−			47	911	−	−			112	1,786	−	−		
	勇舞	89	1,962	−	−	53	653	126	3,059	−	−	123	1,436	212	4,185	−	−	124	1,266
計		4,407	83,221	857	19,282	53	653	4,881	103,169	775	21,828	123	1,436	5,526	110,047	767	22,536	124	1,266

スポーツ振興課

129　社会教育関係団体・スポーツ協会加盟団体

（1）社会教育関係団体

団　体　名　等	代　表　者
文化・芸術活動	
文芸	
同人誌「ぷと」	加　藤　正　男
千歳市民文芸の会	本　宮　輝　久
千歳短歌会	渡　辺　敏　子
語学	
白樺英会話サークル	井　上　美津子
放課後イングリッシュ千歳	井　上　美津子
初めての英会話	浦　辻　由美子
詩吟・吟舞	
聖月流日本吟剣詩舞道会　千歳支部	松　田　禮　子
日本國風流詩吟吟舞会道央千歳支部	佐　藤　國　靖
北海道樽前岳風会千歳支部	渕　上　勝　己
音楽（合唱）	
ちとせ混声合唱団	本　多　昭　治
千歳童謡わたげの会	児　玉　国　男
コーラス　星の会	杉　山　真　弓
コールちとせ	田　中　怜　子
HOPE（ハート・オブ・プレジャー）	舘　山　　愛
千歳女声合唱団	長　手　幸　江
「歌のつばさ」合唱サークル	桜　田　富　子
音楽（合奏）	
千歳ジュニアオーケストラ	野　村　　聡
くれしぇんど	鶴　喰　美　鶴
千歳フィルハーモニーオーケストラ	中　川　伸　明
千歳吹奏楽団	宮　森　大　和
カプリチオ	山　田　孝　子
ちとせ・スカイシティコンサート実行委員会	坂　井　　治
ミュージック　パル	伊　藤　美どり
Music Wave	斉　藤　真佐子
もみじの会	桑　島　昌　子
ベラ・ムジカ	今　井　桂　香
千歳市吹奏楽連絡協議会	杉　本　祐　治
ひつじの会	蠣　崎　泰　昭
サックスの森	坂　井　亮　介
音楽（ピアノ）	
フォルティシモの会	岸　田　千佳子
バラの会	成　澤　真　希
おんぷの会	駒　沢　貴　志
ラ・カントゥータ	道　場　広　美
花の音会	佐　藤　沙　織
そらの音会	林　　みよ子
音楽（その他）	
千歳音楽協会	野　村　　聡
ハワイアン　ミュージック　クラブ	廣　瀬　映　子
レヴェールの会	飯　田　菜穂美
すずらんの会	山　崎　栄美子
PTNA千歳はすかっぷステーション＆音楽研究会（音研会）	楠　　雅　子
ムジークの会	竹　形　貴　之
音楽工房～atelier music～	今　井　洋　子

団　体　名　等	代　表　者
クレア・デ・ルネ	松　並　由紀子
ポプリの会	柏　本　千　鶴
ひまわりの会	真　浦　暢　子
まゆの会	金　澤　嘉　子
琉球音楽愛好会	座喜味　　強
民謡	
千歳民謡連合会　栄春会	山　本　芳　郎
千歳民謡連合会	山　本　芳　郎
邦楽・邦舞	
三絃勇舞	小　柳　　隆
千歳楽風会	南　雲　秀　叡
西川流　鯉智恵会	西　川　鯉智恵
大正琴サークル　キーハープくらぶ	大　沼　洋　子
すみれ	西　野　正　美
千歳尺八会	米　田　輝　満
千歳藤の蕾会	渡　辺　由美子
千歳音頭保存会	齊　藤　元　彦
さつま琵琶「楽岳塾」	畠　山　錦　香
千歳邦楽邦舞協会	西　川　鯉智恵
ダンス洋舞（社交ダンス）	
勇舞ダンスサークル	松　木　清三郎
サタデーダンス・アイ	澤　田　ひとみ
ダンスサークルウィーブ	中　原　　広
千幸会ダンス愛好会	山　中　茂　司
若返り・寿ダンス同好会	信　太　裕　二
フラワーダンスサークル	渡　邉　健　作
ステップ　舞	長　瀬　伸　一
フライデーダンスサークル	長　渡　晴　美
千歳ボールルームダンスアスリート協会	杉　原　充　夫
ヤマセミ同好会	深　川　輝　夫
テディーベアダンスサークル	菊　池　一　仁
ダンス洋舞（フラダンス）	
ハワイアンダンスサークル	木　島　久美子
フラサークル　ケハウ　ケアナニ　オカラ	竹　本　照　代
ハラウ　フラ　オ　カフアリイ	廣　瀬　映　子
フラサークルモアナ会	小　林　喜　子
フラサークル　ウルヴェヒラニ	小　林　ミツエ
ダンス洋舞（ジャズダンス）	
ちとせジャズダンス連盟	中　島　勝　己
ミセスジャズダンス＆ストレッチ	田　宮　貴　子
ダンス洋舞（ヨサコイ）	
公立千歳科学技術大学よさこいソーラン部　光一天	中　越　　歩
千歳YOSAKOIソーラン振興会	坂　野　　智
ダンス洋舞（その他）	
千歳フォークダンスハートフル	及　川　美津子
N～ネクサス～	岩　筋　真　梨
マインド千歳SHOKOクラス	村　上　聡　美
studio FIT	房　立　成　美
スタジオ・ヴィエント　千歳支部	吉　田　睦　子
フラメンコ同好会アマポーラ	浦　川　博　子
久光喬子バレエ千歳教室	佐　藤　めぐみ
千歳真下クラシックバレエグループ	向　井　奈　津
ダンスサークル　NOSTYLE	高　島　理　沙

団　体　名　等	代　表　者
プティバレエ	清　本　寧　子
ペルシェンベ	石　崎　紀　子
華道	
千歳華道連盟	長　尾　歌　子
千篁会	國　政　和　代
千歳華道池坊会	佐々木　康　子
一般財団法人小原流札幌支部千歳支所	羽　豆　久仁子
着付け	
千歳着付けサークル	長　手　幸　江
NPO法人　尚美流全日本和装協会 北海道千歳南学園	簇　山　律　子
書道	
千歳習字教育連盟	伊　阪　春　美
隆光書道会	山　口　紫　蘭
博心書道同好会	田　中　博　之
千歳地区書道協会	山　田　静　洸
春咲書道会	中　尾　愛　美
自然芸術	
千歳愛石同好会	中　山　源　七
手工芸	
ステンドグラス.アトリエOIDEN	中　村　博　子
四季彩ステンドグラス&パンアートフラワー	廣　瀬　映　子
籐工芸「バスケットウィーヴィング」	井　上　美津子
千歳手工芸協会	成　瀬　千香子
千歳バードカービングクラブ	石　渡　由美子
和紙ちぎり絵「こうぞの会」	伊　藤　宏　美
長谷川籐工芸グループ籐華会	中　村　美智子
レザークラフト研究所	藤　田　令　子
陶芸	
ロクロ会	小　林　ひとみ
千歳陶芸会	工　藤　順　子
陶遊会	橋　爪　あや子
絵画	
MOA美術館千歳児童作品展実行委員会	梅　尾　要　一
水彩画グループ“彩(IRO)”の会	川　瀬　重　雄
パレットの会	武　田　忠　雄
スイス・メグロー派グラスリッツェン千歳教室	熊　本　晶　子
水彩“遥”	川　口　富　子
映像	
千歳写真集団	五十嵐　壽　秋
囲碁・将棋	
（公財）日本棋院千歳支部	小　島　正　善
料理	
美・食・農育ネットワーク	圓　山　吉　子
くらしにスパイスを	川　﨑　孝　利
ジョイベジ優しい菜食	座喜味　孝　美
千歳パン・料理教室	吉　田　理　恵
ICT	
ちとせITボランティアの会	川　端　洋　一
文化・芸術（その他）	
日本の伝統と文化を守る会	森　田　　弘
千歳美術協会	竹　津　　昇

団　体　名　等	代　表　者
千歳アマチュア無線協会	齋　藤　　俊
北海道鉄道模型運転クラブ	澁　谷　広　明
千歳道新文化センター講師会	南　雲　秀　叡
創造集団　抱土舎	三　上　禮　子
千歳市文化団体連絡協議会	太　田　憲　之
千歳歌謡文化連盟	鴨　林　三　枝
千歳ユネスコ協会	伊　藤　　博
アルス？テクネ展覧会実行委員会	青　木　広　宙
まちづくり・地域活動	
ボランティア	
千歳要約筆記の会「やませみ」	打　矢　郁　子
千歳ボランティア通訳クラブ	野　崎　幸　一
子育て・家庭教育	
インクルーシブキッズ	吉　崎　美　紀
千歳市子ども会育成連合会	四　方　信　次
ベビーヨガ＆ママヨガ　Roomy	南　雲　優　美
千歳友の会	松　岡　美由紀
うしとらさん	河　田　尚　子
カラフルの会	阿　保　　徹
ねずことねずた	丸　山　晴　香
ママのかけこみ寺＠ちとせ	梶　原　己　叶
青少年活動	
ボーイスカウト千歳第１団	小　林　幸　治
しこつ湖自然体験クラブ　トゥレップ	中　川　　晃
Jr.Chitose実行委員会	米　田　大　樹
公益財団法人　千歳青少年教育財団	入　口　博　美
千歳航空少年団	岸　田　真知子
女性活動	
新日本婦人の会千歳支部	佐々木　八重子
千歳更生保護女性会	寺　内　多寿子
高齢者活動	
千歳市老人クラブ連合会	佐々木　昭　男
県人会	
千歳宮城県人会	佐々木　雅　宏
千歳市肥後モッコス会	霍　田　隆　良
ちとせ福岡県人会	湊　　修　一
地域活動（その他）	
千歳市家庭生活カウンセラークラブ	坂　野　睦　実
千歳市防災マスターリーダー会	北　原　偉　男
千歳アイヌ協会	中　村　吉　雄
千歳市民の飲み水を守る会	大　山　益　巳
普通科友の会	斗賀山　信　美
NPO法人千歳ひと・魅力まちづくりネットワーク	三　上　禮　子
「美しい街づくり」千歳ネットワーク	後藤田　格　布
千鷲会	佐　藤　敏　博
みんなをつなげる会～すべての人が心のかよう社会を！～	坂　井　　治
ちとせ・まち魅力検定実行委員会	山　本　　豊
なごみの会	大　橋　さとみ
笑顔にひらく花実行委員会	田　川　むつ美
千修会	雷　　修　司
FPスペース千歳	北　原　三津代
千歳市PTA連合会	小　倉　郁　美
フードバンク千歳　すまいるはーと	根　本　幸　枝

団　体　名　等	代　表　者
NPO法人もったいないわ・千歳	岩本　典子(野利子)
みんなの椅子	井　倉　奈津夫
キウス周堤墓群を守り活かす会	大　江　晃　己
千歳ライオンズクラブ　千歳子育て支援支部	押　見　尚　子
千歳トラベル実行委員会	高　木　克　祉
チトセコ	角　谷　日花里
千歳文化財保護協会	鈴　木　昭　廣
一般社団法人　千歳青年会議所	斉　藤　　創
特定非営利活動法人　ビューティフルライフ・サポート	五十嵐　かおり
千歳市ロコモ予防協会	國　保　雄　祐
特定非営利活動法人ちとせ＆BEYOND	亀　井　　淳
一般社団法人ちとせタウンネット	野　崎　幸　一
たのしく学び隊	上　山　輝　員
スポーツ活動	
野球・ソフトボール	
千歳朝野球リーグ	山　崎　昌　則
千歳ソフトボール協会	山　崎　昌　則
千歳軟式野球連盟	太　田　憲　之
千歳リトルシニア球団	土　居　弘　志
千歳ちびっ子野球クラブ	野　畑　了　裕
PBS	高　倉　優　奈
BC千歳	中　斉　亮　太
春日ライオンズ	鈴　木　丈　弘
北陽レッドイーグルス	半　藤　昭　男
サッカー・フットサル	
ニコニコF.C	田　代　兼　一
リベルタFC	山　元　孝　宏
FC Bellator	石　黒　武　裕
Soin（ソワン）	福　田　敦　史
FC.PLUS	野　田　佳　男
千歳サッカー協会	松　倉　美　加
稲穂サッカー少年団	土　門　勝由紀
ミラグロ	安　田　貴代美
千歳市サッカースポーツ少年団本部	中　村　　登
menina	飛　山　真由美
フォルトゥーナ	橘　直　樹
サッカーテクニックスクール千歳	白　木　龍　一
FOS千歳	見　上　史　隆
田中製餡フットボールクラブ	黒　田　　薫
Aleglazo（アレグラッソ）	中　谷　要　幹
アスール千歳SC	小　林　章太郎
千歳市役所サッカー部	吉　見　幹　春
AC.craque	池　田　一　樹
BIG 1サッカークラブ	畠　山　　治
LSS	三　宮　翔　太
FC Alpaca	千　葉　祐　子
親子フットサルクラブ	野　澤　裕　裕
IRIE	松　浦　貴　裕
テニス	
千歳テニス協会	梅　尾　要　一
カント・レラJrクラブ	渡　部　文　昌
千歳ジュニアテニス少年団	日　原　克　久
日本女子テニス連盟千歳地区	中　垣　明　子
千歳ソフトテニス連盟	城　畑　恭　子

団体名等	代表者
千歳ソフトテニス少年団	倉重祐泰
バレーボール・ミニバレー	
千歳市役所バレーボール部	浦川栄吾
千歳バレーボール少年団	東谷美香
千歳ミニ・バレーボール協会	太田憲之
千歳地区ママさんバレーボール連盟	所留美
かれん	大西由季乃
NOAH	住吉広康
千歳バレーボール協会	梅尾要一
ふじクラブ	田中裕子
球遊会	渡辺剛
本町南婦人バレーボール部	田中裕子
BLUE STAGE	飯塚貴久
ちとせハッピー	山本正子
北陽小PTA有志ミニバレー	田中初恵
NEXT	五十嵐かおり
日の出はまなす	鈴木明奈
千歳連合ソフトバレーボールクラブ	高田政治
千歳ソフトバレーボール連盟	高田政治
ディオーネ千歳	山田啓惣
Ascent	本田大貴
勇舞バレー	田郷千晶
バスケットボール	
Bad boys	亀谷博貴
Amuse	新納義紀
アース	藤根登
Chitose_Salmons	新川良太
A-BASE	本間嵩弘
オリーブ	中川恵
ルーボ	畠山直貴
Nuts（ナッツ）	國丹直斗
末広ミニバスの会	佐藤暁子
千歳市役所バスケットボール部	細貝貴生
アベンジャーズ	宮本麻衣
REAL	松田時来
Camellia-W	島倉海哉
Nexus	中村文美
B.C glico RKY	阿部愛
バドミントン	
MBC	沼山将
千歳レディースバドミントン連絡会	岡田美幸
千歳バドミントン協会	松倉美加
EPTON	石村大樹
千歳バドミントン　白羽会	寺本英司
千歳バドミントン倶楽部	菅井信吾
向陽バドミントン	北澤舞
武道	
千歳太極拳愛幸会	髙橋時春
千歳柔道連盟	稲村政彦
空手道輝瑤舘千歳	松田雄輝
国際護身武道協会	両角訓孝
極真会館千歳支部	駒澤剛
松濤館流空手道教育会	柴田雄一郎
千歳少林寺拳法協会	本宮輝久

団　体　名　等	代　表　者
和道流空手スポーツ少年団	多　加　　学
スポーツ（その他）	
公益財団法人　千歳市スポーツ協会	伊　賀　宗　徳
千歳スケート連盟	梅　尾　要　一
千歳ラグビースクール	佐　藤　雅　敏
千歳パークゴルフ協会	力　示　武　文
千歳一輪車クラブ	吉　田　真　理
千歳スキー連盟	太　田　憲　之
フィットネスサークルジョイフル	東　　友　子
桜クラブ卓球	竹　林　日出雄
千歳気功の会	尾　本　理　恵
千歳卓球スポーツ少年団	唐　澤　　亨
SHINANO DBC	沢　村　隆　太
M&M's CLUB Sky FAIRIES	大　畠　佳奈子
WLB	斎　藤　文　太
小町会	嶋　津　あ　き
MMソフト・エアロ	酒　井　勝　子
千歳市レクリエーション協会	佐久間　良　和
千歳スナッグゴルフ協会	太　田　憲　之
千歳スキースポーツ少年団	久　野　倫　郎
千歳綱引連盟	坂　野　　智
千歳ヨガサークル	佐　藤　登美子
卓悠会	小野寺　知　子
笑いヨガクラブ　ハーモニー	木　村　祥　子
JJSS	三　宮　　治
千歳トランポリン少年団	赤　坂　有希子
BILLIKEN BOXING CLUB	志　賀　紀　史
バレトン部	佐　藤　千　春
フィットネスサークル　マトリクス	田　中　富士子
フィットネスサークル　ランボ	田　中　富士子
フィットネスサークル　ロッキー	田　中　富士子
千歳ゲートボール協会	伊　東　ミツ子
ヨガ教室　トリーニ	藤　森　憲　雄
YOGA CLASS	溝　辺　理　恵
Eriko Enjoy Exercise	吉　岡　恵里子
千歳卓球協会	山　崎　昌　則
モシリコロカムイ	佐　藤　好　則
ストレッチ体操そら	武　田　みさ子
DODGE×DODGE	中　本　有　紀

※掲載団体との連絡を希望される場合は、千歳市教育委員会生涯学習課までお問い合わせください
（直通 24-3153）

1　令和８年４月15日現在
教育委員会生涯学習課

(2) 千歳市文化団体連絡協議会加盟団体

◎印は加盟文化団体　　無印は加盟文化団体に所属する単位団体

団体名等	代表者
文化・芸術活動総括	
◎千歳市文化団体連絡協議会	太田憲之
民謡・民舞	
◎千歳民謡連合会	山本芳郎
鳳友会	大谷文男
栄春会	山本芳郎
正調江差追分千歳支部北優会	福士厚子
詩吟・剣詩舞	
◎吟道連絡会	渕上勝己
北海道樽前岳風会千歳支部	渕上勝己
日本國風流詩吟吟舞会道央千歳支部	佐藤清一
東峰流千歳灯吟舎	横山勝也
踊翠流剣詩舞鶴双会千歳支部	本間陽子
八千穂流剣詩舞道会	成田けい子
聖月流日本吟剣詩舞道会千歳支部	松田禮子
邦楽・邦舞	
◎千歳邦楽邦舞協会	南雲秀叡
西川流　鯉智恵会	西川鯉智恵
千歳楽風会	南雲秀叡
千歳藤の会　村林社中	村林満詠
千歳藤の会　折笠社中	折笠由美江
さつま琵琶楽岳塾	畠山錦香
ミュージックウエーブ箏和	斎藤真佐子
◎櫻川流江戸芸かっぽれ	太田憲之
音楽（合唱・カラオケ）	
◎千歳童謡わたげの会	児玉国男
◎千歳歌謡文化連盟	鴨林三枝
千歳カラオケ愛好会	鴨林三枝
千歳ゆきなよ会	畑山庸一
◎スコップ縁歌	辻山春樹

団　体　名　等	代　表　者
音楽（合奏）	
◎ハワイアンミュージッククラブ	廣　瀬　映　子
◎千歳三味線愛好会	小　柳　　隆
ダンス洋舞（フラ・バレエ・レクダンスなど）	
◎フラサークル　ケハウ　ケアナニ　オカラ	竹　本　照　代
◎マイレ本間フラスクール千歳支部	清　水　征　子
◎ハラウ・フラ・オ・カフアリイ	廣　瀬　映　子
◎フラサークル　ケアロヒイカラー　ウルヴェヒ	小　林　ミツエ
◎千歳真下クラシックバレエグループ	向　井　奈　津
◎スタジオ　ヴィエント千歳支部	平　　稔　子
◎千歳市レクリエーション協会（レッツⅡ）	畑　山　久美子
ダンス洋舞（タイチダンス）	
◎FUJIKOフィットネス	田　中　富士子
ダンス洋舞（ジャズダンス）	
◎ちとせジャズダンス連盟	中　島　勝　己
Studio FIT	房　立　成　美
Studio AWAKE ！	宮　下　ル　ミ
千歳一輪車クラブ	佐々木　夕起子
M & M'S club	星　　真　衣
Dance Studio mind Chitose	岡　本　晶　子
Studio ONWARD 千歳スタジオ	相　馬　祐香子
バトントワリングチーム　LALA	山　本　加奈絵
dance circle L'U	川　江　芽　依
文芸	
◎千歳市民文芸の会	本　宮　輝　久
華道	
◎千歳華道連盟	佐々木　康　子
池坊会	佐々木　康　子
工芸・手工芸	
◎千歳工芸協会	廣　瀬　映　子

団　体　名　等	代　表　者
四季彩ステンドグラス	廣　瀬　映　子
工房　野の花	成　冨　恵以子
パンアートサークル	二ツ川　マキ子
染織工房アート・ゆう	鷲　見　孝　子
スイス・メグロー派グラスリッツェン	熊　本　晶　子
パーチメントクラフト　アトリエ　NIHO	市　東　保　子
ぬくもり窯	野　村　郁　子
◎レザークラフト研究所	藤　田　令　子
◎千歳手工芸協会	松　浦　一　明
染織工房　糸音	三　浦　千津子
籐工芸　バスケット　ウィービング	井　上　美津子
工房　楓	松　浦　一　明
陶花舒	藤　井　由紀子
絵画・書道・写真	
◎千歳美術協会	竹　津　　昇
◎隆光書道会	山　口　紫　蘭
◎千歳写友会	佐々木　保　彦
自然芸術・その他	
◎千歳愛石同好会	中　山　源　七
◎千歳菊友会	阿　部　一　秀
◎日本盆栽協会千歳支部	都　築　亮　一
◎千歳圏人会	瀧　澤　順　久

※掲載団体との連絡を希望される場合は千歳市文化団体連絡協議会までお問い合わせください
（電話：22-7170、火・水・木・金（毎月最終金曜日は休み）のみ）

1　令和８年４月23日現在
千歳市文化団体連絡協議会

（3）スポーツ協会加盟団体

団体名等	代表者	連絡先	
㈶ **千歳市スポーツ協会**	伊賀宗徳	24－2100	小島一則
千歳剣道連盟	大塩　満	090-2051-8386	豊島猛志
千歳軟式野球連盟	太田憲之	090-5073-1137	菊地智彦
千歳柔道連盟	稲村政彦	080-4503-2672	木原誠治
千歳陸上競技協会	古川昌俊	090-9437-5664	保井　亨
千歳スケート連盟	飯田盛好	090-7052-7177	當房　満
千歳ソフトテニス連盟	城畑恭子	090-1300-0193	山下敦子
千歳スキー連盟	太田憲之	090-8901-9596	松井善行
千歳山岳会	本宮敬士	090-3468-1092	伊藤隆宏
千歳銃剣道連盟	梅尾要一	090-9510-4401	六鎗俊昭
千歳卓球協会	山崎昌則	080-5584-4239	沼達希望
千歳バレーボール協会	梅尾要一	090-9529-9247	髙橋信利
千歳バスケットボール協会	大山益巳	090-8635-7145	松山雄馬
千歳市ラグビーフットボール協会	佐藤雅敏	090-6211-5279	佐藤尚史
千歳テニス協会	梅尾要一	080-6092-4303	主計敏夫
千歳サッカー協会	松倉美加	090-6448-2941	林　博樹
千歳弓道連盟	豊澤直美	090-4873-0745	植村章司
千歳空手道連盟	鈴木建三	090-9528-7645	柴田雄一郎
千歳バドミントン協会	松倉美加	090-1520-9796	三宅健司
千歳少林寺拳法協会	本宮輝久	080-3230-0653	政岡孝明
千歳アーチェリー協会	楢木浩行	090-3893-2091	茂木健二
千歳居合道連盟	江口和夫	090-9435-6559	奥山憲輔
千歳ソフトボール協会	山崎昌則	090-9759-6226	高橋勝之
千歳ゲートボール協会	伊東ミツ子	090-3892-9566	佐藤則昭
千歳ミニバレーボール協会	太田憲之	090-2072-5482	久米田博之
千歳合気会	村田清貴	090-6215-0201	村田清貴
千歳ボウリング協会	土生　毅	090-8900-4232	廣瀬達夫
千歳パークゴルフ協会	力示武文	080-1883-0278	小林敏昭
千歳スポーツチャンバラ協会	池田治幸	090-9431-7971	池田治幸
千歳ゴルフ協会	山本歳勝	23－4411	大山益巳
千歳綱引連盟	坂野　智	090-4874-7950	藤井和彌
日本スポーツウエルネス吹矢協会 千歳やませみ支部	金浜哲朗	28－3003	金浜哲朗
千歳スナッグゴルフ協会	太田憲之	090-7059-0480	小林　智

1　令和８年６月１日現在
㈶ 千歳市スポーツ協会

130　少年団体

団体名等	代表者	連絡先	
千歳市子ども会育成連合会	四方信次	42－3030	（公財）千歳青少年教育財団、荒金利佳
千歳市シニア・リーダー「つばさ」	野上由愛	42－3030	（公財）千歳青少年教育財団、髙木優風花
千歳修心館剣道スポーツ少年団	小幡幸光	090-3468-2130	田爪幸夫
千歳剣道スポーツ少年団	北嶋健一	090-6003-1097	敷町幸司
千歳ガッツ野球スポーツ少年団	鍋島祥広	090-3774-5627	
桜木メッツ野球スポーツ少年団	藤野克二	090-7510-6528	
千歳タイガース野球スポーツ少年団	岩崎隆弘	22－4860	竹村忠之
向陽台ヒーローズスポーツ少年団	及川誠	090-8907-5492	菅原亜弥
千歳ブラックバード野球スポーツ少年団	石橋雄一朗	090-8009-1631	
春日ライオンズ野球スポーツ少年団	鈴木丈弘	090-5989-3385	
C.Sライズスポーツ少年団	花見仁	090-9512-1259	
北陽レッドイーグルススポーツ少年団	宮越正希	090-9752-2922	
千歳リトルシニア球団スポーツ少年団	石黒武美	090-8706-2569	
千歳柔道スポーツ少年団	本村宏文	080-5588-1192	安部恒太
千歳スピードスケートスポーツ少年団	當房満	090-7052-7177	
千歳スキースポーツ少年団	久野倫郎	090-9437-5644	
千歳卓球スポーツ少年団	唐澤亨	090-1380-9216	
千歳ミニバススポーツ少年団	佐々木健介	090-6264-4742	
桜木ミニバスケットボールスポーツ少年団	宮澤朋法	tomo23miya@outlook.com	
日の出ミニバススポーツ少年団	武田信明	23－2670	（日の出小学校）
千歳向陽台ミニバスケットボールスポーツ少年団	高玉昌昭	090-7644-2598	
稲穂サッカースポーツ少年団	土門勝由紀	26－8805	
千歳市少年消防クラブ育成連絡協議会	内山雅夫	23－0420	消防本部予防課
FC Bellator	小田悟	22－1642	福田博志
AOBA空手道スポーツ少年団	柴田雄一郎	090-9528-7645	
日本空手協会千歳支部スポーツ少年団	小幡国宏	42－8959	
北信濃バドミントンスポーツ少年団	阿保広	090-7053-0500	
千歳北陽バドミントンスポーツ少年団	松浦富士夫	090-8371-9901	
千歳陸上競技スポーツ少年団	保井亨	090-9437-5664	
少林寺拳法千歳スポーツ少年団	後藤正人	090-5984-9506	
少林寺拳法千歳向陽台スポーツ少年団	政岡孝明	080-3230-0653	
千歳ジュニアテニススポーツ少年団	日原克久	090-3112-2332	
千歳ソフトテニススポーツ少年団	倉重祐泰	42－2287	

団　体　名　等	代　表　者	連　絡　先
文京テニススポーツ少年団	池　田　堅　壱	28－3970
スポーツチャンバラ千歳スポーツ少年団	池　田　治　幸	090-9431-7971
千歳バレーボール少年団	東　谷　美　香	chitosejvc12345@yahoo.co.jp
千歳富丘中学校陸上スポーツ少年団	浜　崎　隆　行	24－1188　石　田　敬　司
向陽台みらくるJrバドミントンスポーツ少年団	橋　本　繁　年	090-8908-6176
千歳少年銃剣道クラブスポーツ少年団	小　林　順　一	42－3265
千歳一輪車クラブスポーツ少年団	吉　田　真　理	080-6092-2071
カント・レラJr. クラブスポーツ少年団	渡　部　文　昌	080-4509-0837
千歳空手道スポーツ少年団	伊　阪　正　行	090-9085-7535
勇舞中学陸上スポーツ少年団	西　田　　翔	40－0051
ボウリング・スポーツ少年団　フジジュニアクラブ	長　岡　和　弘	23－4542　（フジボウル）
千歳トランポリンスポーツ少年団	北　構　孝　悦	24－9106
千歳みどり台シャークススポーツ少年団	菊　地　邦　仁	090-8962-8148
SHINANO DBCスポーツ少年団	沢　村　隆　太	080-1894-2450
千歳中陸上スポーツ少年団	川　村　龍　彦	090-8901-7827
空手道輝瑤館千歳スポーツ少年団	松　田　雄　輝	090-5987-3083
勇舞ジュニアJUDOクラブスポーツ少年団	田　中　裕　也	080-6097-4394　城　戸　真　貴
Dione千歳	山　田　啓　惣	090-1304-0727
ＹＡＭＡＮＯ　ジュニア	山　野　滋　久	23－8341

1　令和８年４月１日現在
千歳市スポーツ少年団本部（千歳市スポーツ協会振興課）・消防本部・㈶千歳青少年教育財団

131 文 化 財

(1) 概況

先人が時代とともに築いてきた文化は、現在の私たちの生活の基礎となっています。千歳には豊かな自然とともに数多くの文化財が残され、時を超えたメッセージを伝えてくれます。

特に埋蔵文化財は豊富で、令和８年３月までに確認した遺跡数は370か所に上り、国指定史跡２か所、国指定重要文化財３件、市指定史跡１か所、市指定有形文化財３件があります。

埋蔵文化財以外では、近代・現代の歴史と文化を伝える有形文化財３件、無形文化財１件と、アイヌの人々が伝承してきた無形文化財１件がそれぞれ市の文化財に指定されています。

また、アイヌの古式舞踊は国の重要無形民俗文化財にも指定されています。

教育委員会埋蔵文化財センター

(2) 国指定史跡

ウサクマイ遺跡群　　千歳市蘭越（昭和54年５月23日指定）

市街地から約５㎞、支笏湖に向かう途中に、全国の「名水百選」に選ばれた内別川があります。全長2.5㎞の小河川ですが、ここを中心に人々が暮らし始めたのは約7,000年前の縄文時代早期からです。以後、続縄文、擦文、アイヌ文化期から近代に至るまで、川辺には先人たちの足跡が数多く残されてきました。21か所の遺跡を中心に146haの範囲が史跡として保護されています。

キウス周堤墓群　　千歳市中央（昭和54年10月23日指定）

周堤墓とは、今から約3,200年前の縄文時代後期に造られた、北海道固有の集団墓です。地面を円形に掘り下げ、周囲に環状に土を盛った区画の中に墓穴を掘り、遺体を埋葬しました。キウス周堤墓群には全部で９基の周堤墓があります。大きなものは直径が83mもあり、他に例のない規模を誇る縄文時代最大級の集団墓です。現在でも地表からその形を見ることができるまとまった周堤墓はここにしかない貴重なものとして、昭和54（1979）年に4.9haが国の史跡に指定され、令和元（2019）年には追加指定により10.9haになりました。また、令和３（2021）年７月、キウス周堤墓群を構成資産に含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されました。

教育委員会埋蔵文化財センター



キウス周堤墓群　１号周堤墓
（現在は史跡保護のため、周堤内は立入禁止となっております。）

（3）国指定重要文化財



土面



動物形土製品

動物形土製品　　昭和51年美々４遺跡出土　市所有（昭和54年６月６日指定）

頭・首・胴そして指の刻まれた手足を持ち、カメ・水鳥・ムササビ・アザラシなどの海獣にも見える不思議な姿をしています。全長31.5㎝、最大幅16.2㎝、最大厚9.8㎝、中は空洞で全身に美しい模様が描かれています。約3,000年前の縄文時代晩期に作られたものです。複製品を埋蔵文化財センターに展示しています。

土面　　昭和61年ママチ遺跡出土　国所有（昭和63年６月６日指定）

ママチ川のほとりで、約2,400年前の縄文時代晩期のお墓から見つかりました。縦横18㎝で、お祭りの露店で売っているお面とほぼ同じ大きさです。口と目の部分がくりぬかれ、静かな死の表情を表しています。当時この土面は墓標に付けられていたという説があります。複製品を埋蔵文化財センターに展示しています。実物は江別市の北海道立埋蔵文化財センターに展示されています。

北海道美々８遺跡出土品　　千歳市美々　道所有（平成17年６月９日指定）

新千歳空港の滑走路建設工事に先立ち、美沢川左岸の美々８遺跡（低湿部）の発掘調査によって見つかったアイヌ文化の木製品を中心とする1,164点の出土品です。

噴出年代が判明している樽前ａ火山灰（1739年噴出）と樽前ｂ火山灰（1667年噴出）に挟まれた泥炭層から主に見つかりました。年代が明確であること、土中では残らない木製品が水に浸かっていたことから腐らずに出土したことは、当時の文化内容を考える上で貴重です。

出土品は、北海道立埋蔵文化財センターに保管され一部が展示されています。

教育委員会埋蔵文化財センター

（4）国指定重要無形民俗文化財

アイヌ古式舞踊　（昭和59年１月21日指定）　千歳アイヌ文化伝承保存会（平成６年12月21日構成団体に指定）

「アイヌ」とは、アイヌ語で「人間」という意味を持つ言葉です。アイヌの人々は、豊かで厳しい大自然の中で独自の生活を営んでいました。自然から学び取った知恵や工夫、習慣や信仰は、親から子へと大切に伝えられてきました。その一つに「舞踊」があります。千歳地方で伝承されている「ホリッパ」「ハラルキ」「ヤィサマ」などの歌と踊りの中には、素朴な形のものや他の地方には見られない千歳独自のものも残されています。

教育委員会埋蔵文化財センター

(5) 国指定天然記念物

北海道犬　（昭和12年12月21日指定）

北海道犬は、北海道においてアイヌの人々が古来から狩猟の良きパートナーとして大切に飼ってきた犬です。千歳では、千歳川流域を中心に広がる良好な狩猟場に恵まれ、鹿や熊を捕る猟師たちが優秀な狩猟犬を数多く育ててきました。

この犬たちを先祖に持つ北海道犬は、現在千歳系と称され天然記念物『北海道犬』の主流を占めています。特に昭和２年に生まれた「阿久」（オス）は、千歳系の祖犬とされています。

現在は、道内外の一般家庭でも飼われている中型犬で天然記念物として特定の地域を定めずに指定されています。

教育委員会埋蔵文化財センター

(6) 市指定文化財

千歳神社境内釜加神社弁財天御厨子　有形文化財　民間所有（昭和52年４月23日指定）

かつて千歳一帯は、アイヌ語で「大きなくぼ地、谷」という意味の「シコツ」と呼ばれていました。文化２（1805）年、シコツ場所担当の箱館奉行調役並山田鯉兵衛嘉充が箱館奉行の羽太正養（はぶと　まさやす）に新しい地名を付けたいと願い出ました。そこで当時シコツにたくさんいた鶴にちなみ、「鶴は千年」の「千年」をとって「千歳」と改名されました。その由来が弁財天を収めていた厨子の後ろに次のように記されています。複製品を埋蔵文化財センターに展示しています。

あきらけき御代の御ひかりは、至らぬくまもなく、こさ吹（く）蝦夷が島までも御恵（み）をかしこみ、たびまつる事になん。その島のうちに、ゆうふつてふ所に、しこつ河となんいへる川有（り）、この河何とやらん、とのふるひびきのよからねば、山田嘉充が云うよりて、それは鶴のあまたをり居る所なれば、千と世河ともいうべきやなと、たはぶれしに、夫（れ）なんよかめりとて、嘉充其（の）河のほとりに弁財天を勧請し、なお其（の）ことのあらましをしるさまほし、というにまかせて、遂に禿筆とりてつたなき言の葉かきつけ待るものなるかし。

末ひろきめぐみもしるし河の名の千とせをかけてしむる宮居は

干時文化二年乙丑春三月　　従五位下藤原朝臣正艮謹誌

美々貝塚　史跡　千歳市美々758番地（昭和52年４月23日指定）

本州ではおよそ1万6千年前から「縄文土器」が作られるようになりますが、当時はまだ寒冷な気候でした。その後、徐々に温暖化し、氷河の溶けた水が海に流れ込むことで海水面が高くなります。その結果、海岸線は平野の奥まで入り、最も暖かかった頃の千歳では太平洋が美々の環境センターの辺りまできていました。暖かな気候は山々を豊かな狩りの場に変え、海辺には多くの入り江ができ、良い漁場を形成しました。海岸だった美々には、約6,000年前の縄文時代前期の人々がシジミを採集・調理し、貝殻を直径15m程、高さ1.1mも積み上げた貝塚を残しました。昭和51年より公開展示していましたが、貝層保護措置を行ったため、現在は一時閉鎖しております（期間未定）。

磨製石棒　有形文化財　市所有（昭和52年４月23日指定）

キウス周堤墓群のお墓から見つかった石の棒です。長さ57㎝、重さ710ｇで、全体が丁寧に磨かれ、両端には繊細な線によって模様が彫られています。約3,200年前の縄文時代後期に作られたものです。４月下旬～11月下旬は史跡キウス周堤墓群ガイダンスセンターに展示し、12月上旬～４月中旬は埋蔵文化財センターに展示しています。



石棒

男性土偶　有形文化財　市所有（昭和52年４月23日指定）

蘭越のウサクマイＡ遺跡付近で見つかった板状の人形（＝土偶）です。眉や鼻などの顔の表現がママチの土面とよく似ています。縄文時代の土偶は、ほとんどが女性をモデルにしているので男性とはっきり分かる例として全国的にも大変珍しいものです。全長14.5㎝、厚さ0.9㎝、縄文時代晩期に作られたと考えられています。埋蔵文化財センターに展示しています。



男性土偶



蕨手刀

蕨手刀　有形文化財　市所有（昭和55年7月21日指定）

昭和38年、蘭越の内別川右岸のウサクマイＡ遺跡付近から見つかった二振りの鉄製の刀です。柄部の形が山菜のワラビに似ていることから「蕨手刀」と呼ばれています。この種の刀は、約1,300年前の東北地方の遺跡から多く発見されており、古代の北海道と東北の交流を示す大切な資料です。一振りは鞘（さや）が残っており、埋蔵文化財センターに展示しています。

駅逓看板　有形文化財　個人所有（昭和52年４月23日指定）

明治５（1872）年、北海道開拓使は函館と札幌の間に郵便事業を始め、毎月６回ずつ郵便物を運びました。その時に千歳で郵便局（郵便取扱所）となったのが新保旅館でした。当時の様子を伝える縦120㎝、横94㎝の看板２枚が保存されています。明治末から昭和初期の間に作製されたと考えられます。

泉郷獅子舞　無形文化財　泉郷獅子舞保存会（昭和54年10月25日指定）

市街地から北東へ車で15分ほど行くと、泉郷の農村地帯があります。原野だった泉郷は明治20（1887）年に開拓が始まりますが、獅子舞は富山県から入植した人により29年頃に伝えられたとされています。富山の古い舞と千歳で生まれた新しい舞は、毎年９月に泉郷神社に奉納されます。

アイヌの伝統的芸能と工芸技術　無形文化財　千歳アイヌ文化伝承保存会（平成５年５月20日指定）

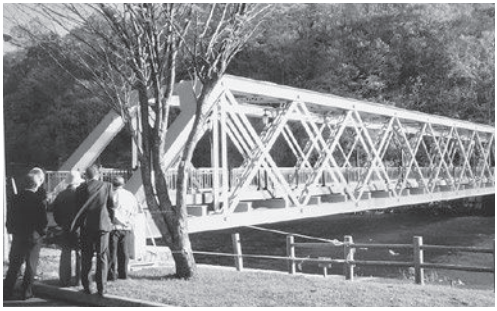
千歳地方のアイヌの人々によって古くから伝承されてきた古式舞踊、ユカラやウェペケレの語りなどの伝統的芸能、イナウ作り・イカルカル（刺しゅう）・チタルペ（ゴザ編み）などの工芸技術の伝承保存活動が行われています。

山線鉄橋　有形文化財　市所有（平成11年８月24日指定）

北海道で現在使われている最古の鋼橋（イギリス型ピン結合トラス橋）で、日本の橋梁史においても希少かつ重要な資料と評価されています。

明治32（1899）年にイギリスから輸入され、北海道官設鉄道上川線（空知太－旭川）の砂川－妹背牛間に「第一空知橋」として架けられていましたが、その後重輸送に耐えられなくなり、用途廃止されました。昭和２（1927）年、払い下げを受け支笏湖の王子製紙苫小牧工場専用鉄道（山線・王子軽便鉄道）の鉄橋として移設されましたが、昭和26（1951）年の山線廃止後は、道路橋として利用されていました。平成７年から９年までの間、本来の技術や姿を保つための大規模な解体修復工事を行い、近代土木遺産として恒久的な保存が図られました。

現在は、「山線鉄橋」の名で歩道橋として支笏湖の新たなシンボルになっています。



教育委員会埋蔵文化財センター

山線鉄橋

（7）主要文化財・遺跡

千歳で最も古い遺跡

今からおよそ３万年前、市内流通に残された祝梅下層遺跡が、現在千歳で最も古い遺跡です。この遺跡から出土した石器は、多方向から打ち割った小形で不定形のカケラの縁辺に細かな加工が施されたものです。本州で出土する石器と類似する特徴を持っていることから、南からやって来た人々かあるいは影響を受けた人々が残したモノと考えられています。その頃千歳は噴火を続けていた支笏火山（今の支笏湖）が静かになり、初めて人間生活ができる舞台になりました。その後、氷河期の中でも最も寒い２万５千年前になると、海岸線が低くなり陸続きになった大陸からマンモスやオオツノジカなどが北海道にわたり、やがて動物を追って人間も細石刃を埋め込んだ植刃器という特殊な槍を携えてやって来ました。市内柏台にある柏台１遺跡からは約２万４千年前の現在日本で最も古い細石刃が出土しています。

美沢川流域の遺跡群

新千歳空港は、平成４（1992）年７月の新旅客ターミナルビルの完成で本格的な運用が始まりましたが、新空港の建設に伴って昭和51年から平成７年までの20年間にわたって発掘調査が行われました。美沢川流域の調査面積は約23.3万㎡に達し、古代の人たちの暮らした集落跡・周堤墓群・貝塚、国重要文化財の指定を受けた動物形土製品や、美々８遺跡の木製品を中心とする出土品を始め、１歳前後の男児の右足跡の付いた土版などの珍しい遺物を含む多くの資料が発見されました。

教育委員会埋蔵文化財センター

132　宗教法人の概況

系統区分	包括団体名	法人名
神道	神社本庁	千歳神社
仏教	本門仏立宗	千歳寺
仏教	日蓮宗	日宣寺
仏教	日蓮宗	日蓮宗　妙法教会
仏教	日蓮宗	日詳寺
仏教	日蓮宗	妙蓮寺
仏教	真宗大谷派	真光寺
仏教	真宗大谷派	極楽寺
仏教	真宗大谷派	龍音寺
仏教	曹洞宗	大禅寺
仏教	曹洞宗	妙心寺
仏教	高野山真言宗	光明寺
仏教	浄土真宗本願寺派	千正寺
仏教	浄土真宗本願寺派	秀法寺
仏教	日蓮正宗	法涌寺
基督教	日本基督教団	日本基督教団
		千歳栄光教会
諸教	天理教	天理教　祝梅分教会
諸教	天理教	天理教　東千歳分教会
諸教	天理教	天理教　八十梅分教会
諸教	天理教	天理教　北千道分教会
諸教	天理教	天理教　都千歳分教会
諸教	天理教	天理教　漁分教会
諸教	八大龍王大自然愛信教団	八大龍王
		大自然愛信教団千歳教会
基督教	単立	千歳福音
		キリスト教会
基督教	単立	エホバの証人
		千歳会衆
諸教	単立	栗嶋教会

1　令和７年12月31日現在
2　北海道に宗教法人として申請があり認証したもの
北海道石狩振興局総務課

あ ら ま し



豊かな労働力

令和２年に実施された国勢調査による千歳市の産業別人口は、公務員が最も多く、次いで製造業、卸売・小売業、医療・福祉の順となっています。

雇用情勢については、新規求人数が増加傾向にあり、ハローワーク千歳における令和８年３月の千歳・恵庭地域の有効求人倍率は前年同月を0.07ポイント下回る0.86倍となっています。

新規高等学校卒業者については、就職内定率が100％となるなど、企業の採用意欲の向上が見受けられます。

近年、少子高齢化による労働人口の減少により、様々な業種での人手不足が懸念されるほか、職種や年齢、勤務地などの条件面で求職者側と企業側の希望が一致しない、雇用のミスマッチによる離職が問題視されています。このような中、さらなる雇用の創出や安定を図るため、市ではハローワーク千歳と連携し、正規雇用や新規学卒者の求人要請活動を実施しています。また、地域の将来を担う高校生が、地元企業や地元で働くことの魅力を理解し、卒業後の進路として市内就職を選択できるよう支援する市内企業見学バスツアーなどを開催しており、市内の高等学校全日制における令和８年３月の卒業者416人のうち、20.4％に当たる85人が就職し、その多くが市内及び道内に就職しています。

さらに、市の産業を支える人材の確保と移住・定住人口を拡大するため、地元の求人企業の魅力を市内外に発信するポータルサイト「ちとせの仕事」を運営し、情報提供の機会創出を図り、市内求職者やＵＩＪターン希望者などの就職活動を支援するほか、就職相談やセミナー、合同企業説明会など、求職者と企業の総合的な支援を行う地元就職・人材確保支援事業を実施しています。

このほか、千歳市季節労働者通年雇用促進協議会では、国の委託事業として技能資格取得支援事業を実施するなど、季節労働者の通年雇用化を支援しています。

また、市内の自衛隊各部隊における令和７年度の除隊者数は330人であり、自衛隊除隊者は、市内に立地、進出する企業等の貴重な労働力となっています。

133　労働力人口の推移

年	人口総数	15歳以上人口	労働力人口
12	88,897	73,870	47,208
17	91,437	77,015	47,491
22	93,604	79,554	47,639
27	95,648	81,887	47,948
2	**97,950**	**84,756**	**49,732**

1　各年10月１日調査
2　表12に再掲
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

134　労働力状態別・男女別人口

区　分	人口			構成比（%）			男女別割合（%）	
	総数	男	女	総数	男	女	男	女
15歳以上人口	**84,756**	42,994	41,762	**100.0**	100.0	100.0	50.7	49.3
労働力人口	**49,732**	29,338	20,394	**58.7**	68.2	48.8	59.0	41.0
就業者	**47,913**	28,274	19,639	**56.5**	65.8	47.0	59.0	41.0
完全失業者	**1,819**	1,064	755	**2.1**	2.5	1.8	58.5	41.5
非労働力人口	**26,916**	9,257	17,659	**31.8**	21.5	42.3	34.4	65.6
労働力不詳	**8,108**	4,399	3,709	**9.6**	10.2	8.9	54.3	45.7

1　令和２年10月１日調査
2　表13に再掲
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

135　人口と労働力人口増減の推移

年	増加数					増加率（%）				
	人口総数	15歳以上人口	労働力人口			人口総数	15歳以上人口	労働力人口		
			総数	男	女			総数	男	女
12	4,031	4,884	1,360	426	934	4.7	7.1	3.0	1.4	6.0
17	2,540	1,122	283	△ 644	927	2.9	4.3	0.6	△ 2.1	5.7
22	2,167	2,539	148	△ 477	625	2.4	3.3	0.3	△ 1.6	3.6
27	2,044	2,333	309	△ 612	921	2.2	2.9	0.6	△ 2.1	5.1
2	**2,302**	**2,869**	**1,784**	**222**	**1,562**	**2.4**	**3.5**	**3.7**	**0.7**	**8.2**

1　各年10月１日調査
2　表14に再掲
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

136　職業紹介状況

（1）新規求職数等の推移

年	新規求職数	新規求人数	紹介件数	就職件数
3	6,256	8,594	4,117	1,321
4	6,234	9,837	3,911	1,336
5	5,963	9,315	3,623	1,293
6	5,980	9,377	3,602	1,298
7	**5,803**	**11,198**	**3,608**	**1,269**

1　パートタイマーを含む
千歳公共職業安定所

(2) 季節労働者の推移

年	季節労働者数			事業所別		
	総数	千歳市	恵庭市	管内の事業所	道内の事業所	道外の事業所
3	1,070	542	528	690	376	4
4	1,048	514	534	691	352	5
5	1,016	514	502	667	346	3
6	966	489	477	644	320	2
7	**922**	**468**	**454**	**614**	**306**	**2**

1　管内は千歳公共職業安定所管内（千歳・恵庭）である
千歳公共職業安定所

137　雇用保険給付額の推移

（単位　千円）

区分	3年度	4年度	5年度	6年度	**7年度**
一般労働者	1,396,402	1,066,289	1,129,551	1,067,407	**1,121,605**
季節労働者	224,239	214,457	214,387	208,844	**204,763**

1　一般労働者には高齢求職者給付を含む
千歳公共職業安定所

138　産業別人口

区分	22年	27年	2年
総数	**44,762**	**50,687**	**47,913**
農業・林業	1,184	1,339	1,595
漁業	6	10	11
鉱業・採石業・砂利採取業	22	10	21
建設業	2,417	2,368	2,424
製造業	5,589	6,859	6,140
電気・ガス・熱供給・水道業	155	180	167
情報通信業	265	223	363
運輸業・郵便業	3,593	4,231	4,325
卸売業・小売業	5,409	6,343	5,661
金融業・保険業	515	525	494
不動産業・物品賃貸業	807	1,161	901
学術研究、専門・技術サービス業	663	718	693
宿泊業・飲食サービス業	2,738	3,156	2,958
生活支援サービス業・娯楽業	1,957	2,034	1,988
教育・学習支援業	1,249	1,656	1,596
医療・福祉	3,221	3,767	4,425
複合サービス事業	161	253	226
サービス業（他に分類されないもの）	2,760	3,282	3,397
公務（他に分類されるものを除く）	9,398	10,138	9,230
分類不能の産業	2,653	2,434	1,298

1　各年10月1日調査
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

139　労働会館利用者の推移

区　分	3　年　度	4　年　度	5　年　度	6　年　度	**7　年　度**
官　公　庁	265	104	103	250	**290**
労　働　団　体	46	35	195	230	**180**
研修講習関係	234	1,208	1,374	2,411	**2,593**
そ　の　他	1,880	2,480	1,678	295	**656**
計	2,425	3,827	3,350	3,186	**3,719**

市民生活課

140　高等学校卒業者数

(1) 全日制

区　分	卒業者総数	進学者			就職者					その他
		総数	進学志望者	進学率(%) 対志望者	進学率(%) 対卒業者	総数	産業別 第1次	産業別 第2次	産業別 第3次	就職先別 道内	就職先別 道外	
4　年	502	407	418	97.4	81.1	74	1	16	57	73	1	10
5　年	414	300	308	97.4	72.5	96	－	20	76	93	3	17
6　年	416	322	332	97.0	77.4	76	－	12	64	74	2	8
7　年	426	320	336	95.2	75.1	82	－	21	61	81	1	24
8　年	**416**	**316**	**328**	**96.3**	**76.0**	**85**	**－**	**24**	**61**	**77**	**8**	**15**
千歳	310	261	273	95.6	84.2	34	－	4	30	27	7	15
千歳北陽	106	55	55	100.0	51.9	51	－	20	31	50	1	－

1　各年5月1日現在
2　**表110（1）**に再掲
北海道千歳高等学校・千歳北陽高等学校

(2) 職業学科

学校名	4年			5年			6年			7年			**8　年**					
	卒業者総数	進学者	就職	卒業者総数	進学者	就職	卒業者総数	進学者	就職	卒業者総数	進学者	就職	卒業者総数	進学者	就職 総数	就職 就労継続支援A型	就職 就労継続支援B型	就職 その他
千歳高等支援	9	－	9	9	3	6	8	－	8	15	－	15	**22**	**－**	**22**	**2**	**13**	**7**

1　各年5月1日現在
2　**表110（2）**に再掲
千歳高等支援学校

141　自衛隊除隊者数の推移

年度	総　数	陸上自衛隊 東千歳駐屯地	陸上自衛隊 北千歳駐屯地	航空自衛隊千歳基地
3	352	164	76	112
4	364	187	59	118
5	281	143	36	102
6	233	90	51	92
7	**330**	**137**	**50**	**143**

1　各年度末現在
千歳・恵庭地域就職援護センター（東千歳駐屯地常駐組・北千歳駐屯地常駐組）、航空自衛隊千歳基地援護室
（商業労働課）

あらまし

令和７年度に千歳市が受理した公害等に係る苦情件数は52件で、そのうち騒音が44件と８割以上を占め、次いで悪臭と振動が３件ずつとなっています。

市では、良好な生活環境と豊かな自然を保全するため、日頃から様々な調査や対策を実施しています。公害などの防止については、市内８か所に航空機騒音測定局を設置しているほか、自動車騒音については、測定計画に基づき状況の変化を把握しています。大気の状態については、市内２か所の観測局において常時監視を行っています。

千歳川に代表される市内の河川では、サケが遡上し、渡り鳥なども生息するほか、流域の貴重な水道水源にもなっています。このことから、千歳市では、定期的な採水と分析により水質調査を行っているほか、豊かな自然環境を将来へ引き継いでいくため、自然環境保全条例に基づき、特に保全が必要な地区を自然環境保全地区に指定し、自然環境監視員による監視を行っています。

また、豊かな自然に親しみ、理解を深め、環境保全に対する意識を育むことを目的に、各種市民参加型行事を実施しています。

市では、独自の環境マネジメントシステムである「エコアクション」を推進し、自ら率先して省エネルギーや環境負荷の低減に努めており、さらに令和４年２月には、2050年のカーボンニュートラル達成を目指す「千歳市ゼロカーボンシティ宣言」を表明するなど、市民や事業者、行政が一体となって、カーボンニュートラルを目指す取組を進めています。

市民の健康を守る病院・診療所は52院で、病床数は1,119床、歯科診療所は41院となっています。

市立千歳市民病院は、救急特例病床19床を含む190床を有し、「より質の高い心あたたまる医療の実現」という理念のもと、千歳市や恵庭市、安平町、由仁町などを含む地域の基幹病院として、救急・高度医療はもとより小児・周産期医療の中核的な役割を担っています。そのため、最新鋭の高度医療機器を導入するなど、基幹病院としての機能及び施設の充実を図っています。

また、平成29年７月からは、地域の医療機関等と診療情報を共有

する地域連携ネットワークシステム「ちえネット」の運用を開始し、地域包括ケアシステムの構築や地域完結型医療の実現に向けた取組を行っているほか、令和元年10月には緩和ケア病床を開設し、令和６年４月には地域の医療機関と連携・連絡調整を行う地域医療連携課と入院手続きや説明を一括して行う入院支援課を合わせた「患者サポートセンター」を開設するなど、患者サービスの向上を図っています。

千歳市休日夜間急病センター（ささえーる）は、急な発熱や腹痛などに対応する内科系の初期救急医療機関として平成29年９月に開設しました。本センターの開設により、休日や夜間の内科系初期救急を１年を通して実施できるようになりました。

市内における令和７年度の廃棄物総排出量（一般廃棄物と産業廃棄物の総量）は38,235tであり、このうち家庭廃棄物の排出量は21,241tで、１人１日当たりの排出量は601.1gとなっています。家庭廃棄物と事業系一般廃棄物を合わせた一般廃棄物のリサイクル量は7,980tで、リサイクル率は21.1％となっています。

市では、４種資源物・プラスチック製容器包装の分別収集や、使用済み小型家電の回収のほか、公益財団法人ちとせ環境と緑の財団が実施する集団資源回収事業への支援など、ごみの減量やリサイクルの推進に取り組んでいます。

千歳市環境センターでは、破砕処理場・リサイクルセンター・最終処分場等の各種施設において、廃棄物の資源化及び適正処理を行っています。また、令和６年度から千歳市、北広島市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町の２市４町による道央廃棄物処理組合焼却施設が供用開始しており、広域的な連携による効率的かつ安定的なごみ処理を行っています。



千歳市環境センター（手前は破砕処理場）

142　自然環境保全地区

名　称	区　分	面　積	指　定 年月日	所　在　地	所有者
千歳川河川区域	第１種 自然環境 保全地区	18.4ha	H12.11.1	千歳市蘭越９番地先 （ふ化場橋から烏柵舞橋までの 河川区域）	国
青葉公園	第２種 自然環境 保全地区	102.3ha	H12.11.1	千歳市真町５番地１外	市
千歳川河川区域	第１種 自然環境 保全地区	13.6ha	H15.7.22	千歳市蘭越85番８地先 （烏柵舞橋から内別川合流地点 までの河川区域）	国
ウサクマイ遺跡群 及び内別川流域	第１種 自然環境 保全地区	143.3ha	H15.7.22	千歳市蘭越・ウサクマイ遺跡群 及び内別川流域 （取水堰堤の下流30mまで）	国・市
千歳川河川区域ほか	第１種 自然環境 保全地区	4.3ha	H24.1.27	千歳市蘭越９番１地先 （王子製紙千歳川第四発電所の 下流400mからふ化場橋までの 河川区域ほか）	国・(独) 水産総合研 究センター
ウサクマイ遺跡群 及び内別川流域 （南北隣接地）	第１種 自然環境 保全地区	62.0ha	H27.1.19	千歳市蘭越28番１外	市

1　第１種自然環境保全区：厳格に保護・保存する地区
　第２種自然環境保全区：市民が利用・活用しながら保全する地区
環境課

143　公害苦情の推移

年度	総　数	ばい煙・粉塵	水質汚濁	騒　音	振　動	悪　臭	その他
3	68	2	1	50	1	13	1
4	82	－	－	73	1	7	1
5	61	4	－	46	5	6	－
6	74	－	－	68	2	4	－
7	**52**	**2**	**－**	**44**	**3**	**3**	**－**

1　苦情内容が複数の種類に該当した場合は、各１件として集計
環境課

144　大気汚染測定結果（令和７年度）

区　分	一般環境大気測定局	
	富丘観測局	若草観測局
二酸化硫黄（ppm）	0.001	0.001
一酸化窒素（ppm）	0.002	0.001
二酸化窒素（ppm）	0.008	0.005
浮遊粒子状物質（㎎/㎥）	0.012	0.011
微小粒子状物質（μg/㎥）	9.5	－

1　自動測定機による年度中平均測定結果
環境課

145　部門別温室効果ガス（二酸化炭素）排出量

部門・分野	2013年度（千t－CO_2）	2019年度（千t－CO_2）	2020年度（千t－CO_2）	2021年度（千t－CO_2）	2022年度（千t－CO_2）	2023年度（千t－CO_2）
合計	1,303	1,229	1,127	1,139	1,113	1,092
産業部門	636	618	542	549	511	513
製造業	608	593	500	509	475	473
建設業・鉱業	7	5	7	7	6	6
農林水産業	21	19	36	33	29	34
業務その他部門	245	191	198	202	206	194
家庭部門	248	243	226	224	224	206
運輸部門	168	170	152	152	162	165
自動車	161	164	146	147	156	159
旅客	112	111	95	93	102	103
貨物	49	53	51	53	54	56
鉄道	7	6	6	6	6	6
船舶	－	－	－	－	－	－
廃棄物分野（一般廃棄物）	6	8	9	13	10	14

1　千歳市は、温室効果ガスの排出量を2030年度までに46％（2013年度比）削減、2050年までに実質ゼロにすることを目指しています
環境省「自治体排出量カルテ」（ゼロカーボン推進課）

146　河川水質調査結果（令和７年度）

区分	測定地点		類型	pH 水素イオン濃度	SS 浮遊物質量 (mg/L)	DO 溶存酸素量 (mg/L)	BOD 生物化学的酸素要求量 (mg/L)	大腸菌数 (CFU/100mL)
千歳川	山線鉄橋		AA	7.8 (0/6)	1 (0/6)	11 (0/6)	0.5 (0/6)	2 (0/6)
	第一烏柵舞橋		AA	7.7 (0/6)	1 (0/6)	11 (0/6)	0.5 (0/6)	8 (1/6)
	日の出橋		A	7.7 (0/6)	1 (0/6)	11 (0/6)	0.5 (0/6)	36 (0/6)
	根志越橋		A	7.6 (0/6)	1 (0/6)	11 (0/6)	0.8 (0/6)	9 (0/6)
	長都大橋		A	7.6 (0/6)	4 (0/6)	11 (0/6)	1.4 (1/6)	27 (0/6)
長都川		上流	－	7.5 (－/6)	5 (－/6)	11 (－/6)	0.5 (－/6)	62 (－/6)
		下流	－	7.2 (－/6)	12 (－/6)	10 (－/6)	27 (－/6)	150 (－/6)
ママチ川		上流	－	7.4 (－/6)	2 (－/6)	11 (－/6)	0.5 (－/6)	76 (－/6)
		下流	－	7.2 (－/6)	8 (－/6)	8.9 (－/6)	0.7 (－/6)	17 (－/6)
蝦淵川		下流	－	7.4 (－/5)	19 (－/5)	9.7 (－/5)	1.2 (－/5)	320 (－/5)
祝梅川		下流	－	7.1 (－/6)	6 (－/6)	10 (－/6)	0.5 (－/6)	20 (－/6)
美々川	千歳湖出口		A	7.2 (0/6)	2 (0/6)	11 (0/6)	1.0 (0/6)	41 (0/6)
	美々橋		A	7.1 (0/6)	2 (0/6)	8.3 (2/6)	1.0 (0/6)	140 (0/6)
	御前水橋（松美々橋）		A	7.1 (0/6)	3 (0/6)	7.6 (2/6)	0.8 (0/6)	170 (0/6)

1　有効数字を２桁とし３桁目以下を切り捨て、pH は少数第２位を切り捨てし小数点以下１桁までとする
　報告下限値を下回る桁は切り捨てることとして、報告下限値未満の数値は、（例）「＜１」のように表す
2　結果は年度中平均値であり（　）内は（環境基準を超えた回数／測定回数）を表す
3　pH：水中の水素イオンの濃度（酸性・アルカリ性を表す指標）
　SS：水中に懸濁している水に溶けない物質の量（濁りの指標）
　DO：水中に溶け込んでいる酸素の量
　BOD：水中の有機物が、微生物によって分解されるときに消費される酸素の量（有機物による汚濁の指標）
　大腸菌数：ふん便汚染を捉えることができる指標

環境課

147　騒音調査

(1) 自動車騒音面的評価結果（令和６年度）

路線名	評価区間	評価区間延長（km）	評価対象数（戸）	評価結果（戸）				環境基準達成率（%）
				基準値以下			基準値超過	
				昼夜とも	昼のみ	夜のみ	昼夜とも	
道道 千歳インター線	本町～ 真々地４丁目	1.0	225	204	－	21	－	90.7
道道 泉沢新千歳空港線	泉沢～ 文京６丁目	1.9	80	80	－	－	－	100.0
市道 真町泉沢大通	若草１丁目～ 福住１丁目	2.7	510	510	－	－	－	100.0
市道 東大通	本町～ 祝梅	3.8	806	806	－	－	－	100.0

1　令和７年６月末現在
2　自動車騒音面的評価とは、幹線道路に面した地域で道路端から50mの範囲にあるすべての住居等の騒音レベルについて、実測や推計によって環境基準に適合している戸数及び割合を算出し評価する手法

環境課

（2）航空機騒音測定結果（令和７年度）

局舎名	所在地	測定結果（Lden）	環境基準（Lden）	最大値 dB(A)	日平均測定回数		
					90dB以上	80dB以上90dB未満	70dB以上80dB未満
青葉丘局	青葉丘2015	65	62	114	7	3	20
住吉局	住吉１丁目	63	62	112	6	8	8
東雲局	東雲町３丁目	61	62	109	4	2	9
寿局	寿１丁目	61	62	106	0	10	153
北斗局	北斗１丁目	51	57	101	0	3	5
里美局	里美３丁目	40	57	92	0	0	2
駒里東局	駒里849	47	62	106	0	0	15
根志越南局	根志越19	57	62	102	1	3	17

1　結果は年度中平均値
2　Lden：時間帯補正等価騒音レベル
　容易に測定ができ、かつ、エネルギー積分により騒音の総暴露量を評価できる等価騒音レベルのひとつで、夕方や夜間の騒音に重み付けをして評価するもの
環境課

148　医療施設設置状況の推移

年	総数		公立						私立					
			保健所		病院		診療所		病院		一般診療所		歯科診療所	
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数
4	110	1,127	1	－	1	190	10	30	6	844	48	63	44	－
5	106	1,127	1	－	1	190	10	30	6	844	48	63	40	－
6	108	1,127	1	－	1	190	10	30	6	844	49	63	41	－
7	105	1,227	1	－	1	190	10	30	6	944	47	63	40	－
8	**105**	**1,149**	**1**	**－**	**1**	**190**	**10**	**30**	**6**	**866**	**46**	**63**	**41**	**－**

1　令和８年４月１日現在
北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室

149　医療従事者の推移

年	総数	医師	歯科医師	薬剤師	助産師	看護師	保健師	准看護師
28	1,188	123	63	140	26	575	43	218
30	1,356	129	68	143	32	674	52	258
2	1,354	128	60	134	31	743	49	209
4	1,420	145	62	135	29	783	61	205
6	**1,509**	**149**	**64**	**150**	**36**	**881**	**62**	**167**

1　隔年12月31日現在
北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室

150　病院・診療所一覧

(1) 病院

名　　称	病床数
市立千歳市民病院	190
千歳桂病院	170
医療法人同仁会千歳第一病院	82
医療法人社団豊友会千歳豊友会病院	134
医療法人資生会千歳病院	280
医療法人社団いずみ会北星病院	140
医療法人同仁会向陽台病院	60

1　令和８年４月１日現在
北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室

(2) 一般診療所

名　　称	病床数
矢尾外科胃腸科	19
医療法人社団幸樹会千歳脳神経外科	19
マミーズクリニックちとせ	10
医療法人社団尾谷内科	15

名　　称
医療法人社団誠仁会梅ヶ丘クリニック
医療法人社団新千歳眼科
医療法人社団さくら女性クリニック
医療法人社団髙橋整形外科クリニック
医療法人社団加藤内科クリニック
市立千歳市民病院支笏湖診療所
市立千歳市民病院泉郷診療所
医療法人社団北斗会北斗内科小児科医院
医療法人社団廣仁会浅沼皮膚科医院
医療法人社団平仁会こにし小児科医院
医療法人社団同仁会新千歳空港クリニック
医療法人社団開耳会松浦耳鼻咽喉科
医療法人社団住吉こどもクリニック
医療法人社団開耳会千歳耳鼻咽喉科
千歳循環器クリニック
新千歳クリニック
社会医療法人北腎会坂泌尿器科千歳クリニック
北陽ファミリークリニック
医療法人ミライエ緑町診療所
ちとせおひさまこどもクリニック
千歳駅北クリニック

名　　称
医療法人社団恵聖会クリニック
千歳アイクリニック
医療法人社団廣仁会千歳皮膚科形成外科クリニック
医療法人社団三上内科呼吸器科クリニック
医療法人社団くみたこどもクリニック
医療法人社団鎌田眼科
医療法人社団たけやま腎・泌尿器科クリニック
千歳インター消化器・内科
はせがわ内科クリニック
医療法人社団古泉循環器内科クリニック
ペウレ耳鼻咽喉科
千歳しなの内科
千歳まつもと眼科
向陽台ファミリークリニック
しののめクリニック
千歳市休日夜間急病センター
髙橋整形外科リハビリテーションクリニック
医療法人社団創成千歳駅前乳腺クリニック
ほりえ眼科
きたむら皮膚科クリニック

1　令和８年４月１日現在
2　診療所登録はされているが、一般に利用できない施設内の医務室等については記載していない
北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室

(3) 歯科診療所

名称	名称
医療法人社団北楡会ファミリー歯科クリニック	すもり歯科・矯正歯科クリニック
医療法人社団ささき歯科医院	だんじょう歯科医院
医療法人社団尾島歯科医院	たかぎ歯科
渡辺歯科クリニック	川端デンタルオフィス
医療法人社団わかつき歯科医院	医療法人社団白歯会スマイルデンタルクリニック
医療法人社団北楡会青葉公園歯科	ポプラ歯科クリニック
医療法人社団マナベ矯正歯科	医療法人社団健志会リーフ歯科
医療法人社団弘仁会住吉歯科医院	医療法人社団律英会ペウレ歯科クリニック
第1歯科	あずさ歯科クリニック
おがわ歯科医院	おさつ歯科クリニック
富丘歯科医院	みどり台歯科医院
池田歯科クリニック	たむら歯科クリニック
宮川歯科医院	ちとせモール歯科クリニック
佑愛歯科医院	医療法人社団口福会清流デンタルクリニック
菅野歯科医院	やよい歯科クリニック
みぞぐち歯科クリニック	あすなろ歯科クリニック
栗山歯科クリニック	ほくよう歯科クリニック
なんぶ歯科医院	かしま歯科
おおはし歯科医院	千歳自由ヶ丘歯科クリニック
ユー歯科	やじま歯科クリニック
いなば歯科医院	

1　令和８年４月１日現在
北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室



市立千歳市民病院

151　市立千歳市民病院

(1)　施設概要

所　在　地　北光２丁目１番１号
構　　造　SRC造　地上４階（免震構造）
面　　積　敷地 35,165㎡
　　建築 8,994㎡
　　延床 18,755㎡
開　　設　平成14年９月
附属診療所　泉郷・支笏湖

市立千歳市民病院事務局総務課

(2)　医療従事者の推移

年	総数	医師	助産師	保健師	看護師	准看護師	薬剤師	放射線技師	臨床検査技師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	臨床工学技士	視能訓練士	管理栄養士	事務局職員等
4	295	37	18	1	158	1	8	8	9	6	3	1	7	2	3	33
5	290	35	19	2	153	1	8	8	9	5	3	1	7	2	3	34
6	288	35	16	2	155	1	8	8	8	6	4	1	6	3	2	33
7	299	37	16	2	160	1	9	7	8	7	3	1	7	3	3	35
8	**311**	**34**	**19**	**2**	**167**	**1**	**9**	**8**	**9**	**10**	**5**	**1**	**7**	**3**	**3**	**33**

1　各年４月１日現在
市立千歳市民病院事務局総務課

(3)　入院・外来別患者数の推移

診療区分	5　年　度		6　年　度		**7　年　度**	
	入　院	外　来	入　院	外　来	入　院	外　来
総　数	46,510	141,289	43,652	138,955	**46,007**	**135,429**
内　科	10,009	23,549	9,631	23,456	**10,725**	**23,306**
循環器科	3,807	13,609	3,847	13,416	**4,170**	**13,912**
消化器科	8,748	12,489	8,939	13,306	**7,910**	**13,124**
小　児　科	3,798	10,751	3,358	10,719	**3,076**	**10,021**
外　科	2,814	4,171	3,683	4,411	**3,326**	**4,187**
脳神経外科	1,884	4,134	1,256	3,437	**1,333**	**3,221**
整形外科	8,952	19,746	7,190	19,328	**9,026**	**16,909**
産婦人科	3,601	11,027	2,752	10,590	**2,801**	**10,792**
眼　科	221	10,413	188	9,308	**160**	**9,294**
耳鼻咽喉科	1,435	8,545	1,478	8,788	**1,394**	**8,519**
皮　膚　科	109	9,877	141	8,836	**74**	**8,770**
泌尿器科	1,132	10,870	1,189	11,230	**2,012**	**11,289**
麻　酔　科	－	2,108	－	2,130	**－**	**2,085**

市立千歳市民病院事務局経営戦略室医事課

152　休日夜間急病センター

(1)　施設概要

所　在　地　東雲町１丁目８番地の１
構　　造　木造平屋建
面　　積　敷地 1,702.53㎡
　　建築 571.23㎡
　　延床 493.70㎡
開　　設　平成29年９月

救急医療課

(2)　従事者数

総　数	医　師	看　護　師
14	**2**	**12**

1　令和７年度末現在
救急医療課

(3)　外来別患者数の推移

診　療　区　分	４　年　度	５　年　度	６　年　度	**７　年　度**
総　　数	4,140	6,171	5,932	**5,312**
内　　科	2,642	4,209	4,266	**3,767**
そ　の　他	1,498	1,962	1,666	**1,545**

1　各年度末現在
救急医療課

153　主要死因別死亡数の推移

死因	元年	2年	3年	4年	5年
総数	755	915	791	952	**970**
結核	－	1	－	－	**－**
悪性新生物（癌）	217	274	263	280	**281**
糖尿病	10	19	11	12	**11**
脳血管疾患	54	67	49	67	**72**
心疾患	113	117	121	129	**133**
高血圧性疾患	…	…	…	…	**…**
肺炎	53	56	27	34	**48**
腎不全	…	…	…	…	**…**
肝疾患	…	…	…	…	**…**
老衰	35	60	20	54	**64**
不慮の事故	32	27	27	22	**30**
（交通事故）	(5)	(2)	(4)	(2)	**(2)**
自殺	12	12	19	17	**14**
上記以外の全ての疾患	229	280	254	337	**317**

1　交通事故は不慮の事故の再掲
北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室

155　予防接種の推移

区　分	3年度	4年度	5年度	6年度	**7年度**
総数	33,000	35,005	33,480	34,293	**31,918**
ロタウイルス感染症	1,690	1,566	1,452	1,335	**1,288**
B型肝炎	2,137	2,056	1,914	1,768	**1,664**
Hib感染症	2,851	2,749	2,615	748	**19**
小児の肺炎球菌感染症	2,866	2,755	2,598	2,391	**2,224**
百日ぜき・ジフテリア・破傷風・急性灰白髄炎混合	2,881	2,708	2,773	856	**216**
百日ぜき・ジフテリア・破傷風・急性灰白髄炎・Hib混合	—	—	—	1,639	**2,246**
ジフテリア・破傷風	784	747	800	781	**732**
麻しん・風しん混合ワクチン	1,547	1,516	1,402	1,343	**1,300**
水痘	1,412	1,318	1,338	1,233	**1,135**
日本脳炎	3,008	4,397	3,234	3,026	**2,644**
ヒトパピローマウィルス感染症	193	619	1,039	2,731	**839**
インフルエンザ	12,693	13,674	13,431	12,571	**12,827**
高齢者の肺炎球菌感染症	779	824	864	266	**389**
新型コロナウイルス感染症	—	—	—	3,549	**1,620**
風しん5期	159	76	20	56	**1**
帯状疱疹ワクチン	—	—	—	—	**2,774**

1　帯状疱疹ワクチンは令和7年度から実施
母子保健課

156　結核予防の推移

区　分	3年度	4年度	5年度	6年度	**7年度**
BCG接種者数	682	705	671	575	**575**
精密検査実施者数	1	—	2	—	**11**
直接撮影実施者数	—	—	—	—	**—**
エックス線撮影実施者数	—	—	—	—	**—**

母子保健課・学校教育課

157　結核発生と死亡数の推移

区　分	3年度	4年度	5年度	6年度	**7年度**
発　生	13	26	19	17	**18**
死　亡	0	0	0	1	**1**

北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室

158　廃棄物処理実績の推移

区　分		3年度	4年度	5年度	6年度	**7年度**
人　口	全市域（人）	97,766	97,665	98,015	97,545	**97,039**
	収集区域（人）	97,449	97,394	97,817	97,316	**96,810**
	対全市域比（%）	99.7	99.7	99.8	99.8	**99.8**
世帯数	全市域（戸）	51,042	51,406	52,181	52,472	**52,758**
	収集区域（戸）	50,725	51,135	51,983	52,243	**52,529**
	対全市域比（%）	99.4	99.5	99.6	99.6	**99.6**
排出量	家庭廃棄物（t）	23,442	23,199	22,104	21,629	**21,241**
	1人1日当たり（g）	659.1	652.6	617.4	609.0	**601.1**
	事業系一般廃棄物（t）	19,529	17,146	16,605	18,920	**16,588**
	一般廃棄物計（t）	42,971	40,345	38,709	40,548	**37,829**
	リサイクル量（t）	13,727.9	10,579.1	9,157.8	10,549.0	**7,980**
	リサイクル率（%）	31.9	26.2	23.7	26.0	**21.1**
	産業廃棄物（t）	541	564	506	420	**406**
	廃棄物総排出量（t）	43,512	40,909	39,216	40,968	**38,235**
収集車両数	直営（台）	—	—	—	—	**—**
	委託（台）	24	24	24	24	**24**
	計（台）	24	24	24	24	**24**
収集員	直営（人）	—	—	—	—	**—**
	委託（人）	60	60	60	60	**60**
	計（人）	60	60	60	60	**60**

1　人口及び世帯数は各年度10月1日現在（環境省実態調査基準日）
2　端数処理により、内訳と総量が一致しない場合がある
3　令和2年度から事業系廃棄物処理量に民間処理施設での処理量を追加している
廃棄物業務課・廃棄物施設課

159　収集回数別世帯数の状況

（単位　戸、%）

区　分	週4回	週3回	週2回	月6回	未収集区域	計
世帯数	51,443	111	※5か所	975	229	**52,758**
構成比	97.51	0.21		1.85	0.43	**100.00**

1　令和6年10月1日現在（環境省実態調査基準日）
2　※は東部支所前・旧中央保育所前・泉郷公民館前・駒里小中学校前・釜加公民館（北コミセン）
廃棄物業務課・廃棄物施設課

160　し尿処理実績の推移

区分			3年度	4年度	5年度	6年度	**7年度**
家庭	全世帯	(戸)	51,042	51,406	52,181	52,472	**52,758**
	収集世帯	(戸)	879	879	878	877	**877**
	対全市域比	(%)	2	2	2	2	**2**
事業所	収集事業所数	(件)	355	355	355	355	**355**
仮設トイレ	収集件数	(件)	1,528	1,456	1,551	2,031	**2,021**
処理量	総量	(kℓ)	1,812	1,824	1,900	1,917	**1,877**
	家庭・事業所	(kℓ)	1,356	1,364	1,350	1,323	**1,308**
	仮設トイレ	(kℓ)	456	460	550	594	**570**
	稼働日数	(日)	243	245	246	249	**251**
収集車両数	委託車	(台)	2	2	2	2	**2**
職員数	管理職員	(人)	1	1	1	1	**1**
	委託	(人)	3.5	3.5	3.5	3.5	**3.5**
	計	(人)	4.5	4.5	4.5	4.5	**4.5**

1　世帯は各年度10月1日現在
廃棄物業務課・廃棄物施設課

161　畜犬登録・野犬掃討などの推移

年度	畜犬登録数	野犬掃討数	モラル推進員の業務報告件数	狂犬病予防注射実施数
3	363	4	185	3,007
4	454	8	292	3,034
5	418	3	271	3,037
6	471	5	280	3,145
7	**488**	**10**	**246**	**3,174**

1　畜犬登録数は新規登録数である
環境課

162　千歳市葬斎場

(1)　施設概要


葬斎場

所 在 地　根志越1365番地の甲
構　　造　鉄筋コンクリート造　地上２階
面　　積　敷地 24,728㎡
　　建築 2,593㎡（火葬棟1,676㎡ 待合棟917㎡）
炉　　数　人体炉５基・汚物炉１基・動物炉１基
使用開始　平成10年４月

環境課

(2)　利用状況の推移

年度	死　　体	肢　　胎	胞　　胎
3	864	28	715
4	1,006	19	652
5	1,025	16	575
6	1,030	11	550
7	**1,006**	**23**	**484**

環境課

(3)　小焼却炉利用状況の推移

年度	総　数	イ　ヌ	ネ　コ	ウサギ	ハムスター	フェレット	チンチラ	モモンガ	インコ	カ　メ	その他
3	341	174	150	6	8	－	－	1	－	1	1
4	292	159	114	7	4	－	－	2	1	－	5
5	280	142	121	4	4	－	1	－	4	－	4
6	254	129	110	4	10	－	－	－	－	－	1
7	**242**	**115**	**105**	**6**	**5**	**－**	**－**	**1**	**3**	**2**	**5**

環境課

163　霊園区画数

総数	末広霊園								
	末広第一霊園			末広第二霊園			計		
	A 地区	B 地区	計	A 地区	B 地区	計			
6,644	297	1,249	1,546	472	1,005	1,477	**3,023**		
	千歳霊園								
	A 地区	B 地区	C 地区	D 地区	E 地区	F 地区	G 地区	H 地区	計
	412	402	424	237	461	415	708	562	**3,621**

1　令和７年度末現在（未分譲含）
2　末広霊園の区画は全て４㎡
3　千歳霊園の区画は４㎡、６㎡、８㎡の３区分
4　末広第一霊園内　合葬墓（千縁塚）１基（区画数に含まず）
環境課

あらまし

令和７年の火災件数は39件で、建物火災25件（うち住宅火災13件)、車両火災９件、その他の火災４件が発生し、損害額は175,098千円でした。

原因別では、排気管が５件、こんろが４件、溶接機・切断機が２件、たばこ、かまど・炉、ストーブ、電灯電話等の配線、電気機器、煙突・煙道、焼却炉、ボイラー、配線器具、火遊び、灯火、放火・放火の疑いが各１件、その他が12件、不明が４件で、死者は９名発生しています。

現在、市では、住宅火災の発生防止や被害軽減を目的に、住宅用火災警報器の全戸設置を目標として、防火指導や広報活動を強く推進しています。

千歳市では、中高層化する建築物の火災をはじめ、航空機災害、鉄道事故、高速道路等における多重衝突事故など様々な災害の発生が危惧されています。このため、指揮車及び支援車の導入や公設消火栓等の更新を行うなど消防施設や装備の計画的な整備・更新を継続しており、現在、１署５出張所と１消防団８分団により24時間体制で災害に備えています。

また、緊急消防援助隊に登録し、平成23年３月に発生した東日本大震災では13隊29人の消防隊員を宮城県へ派遣しました。今後も各種災害を想定した消防隊員の技術及び活動能力向上に努めながら、関係機関との連携を図っていきます。

救急業務については、令和７年の救急出動は4,973件、１日当たりの平均出動は約13.6件で、急病が64.0％を占めており、一般負傷などを含め、3,926人の患者を搬送しました。12誘導心電図伝送システムを搭載した２台を含む４台の高規格救急自動車を配備するとともに、救命処置範囲の拡大に伴い、気管挿管、薬剤投与、処置拡大２行為などができる救急救命士を配置し、高度救命処置を行っています。このほか、一刻を争う救命や幹線道路における事故現場の安全確保が必要な場合などには、消防車と救急車が同時に出動する救急活動を展

開しており、出動件数は258件となっています。また、心肺停止者に対するＡＥＤを使用した救命処置等を指導する救命講習を通年で開催し、応急手当の普及啓発活動による救命率向上に力を注いでいます。

市には、常時観測火山である樽前山や直下型地震の原因となる石狩低地東縁断層帯が存在します。また、近年は、地震や台風、集中豪雨などの自然災害が頻発・激甚化しています。市では、災害等に強いまちづくり・ひとづくりのため、関係機関と連携した防災訓練等を実施するとともに、自主防災組織への訪問を継続し、諸課題の把握に努めています。

令和７年度は、令和５年度から継続実施してきた国民保護検討会及び近隣市町村との勉強会を踏まえ、市境界付近への弾道ミサイルの偶発的な落下を想定した「千歳市・恵庭市合同国民保護（図上）訓練」を実施しました。また、土砂災害に伴う自主避難所開設を含めた初動対応の円滑化に資する観点から、土砂災害初動対処要領を策定、千歳市地域防災計画の改訂を行うなど、地域防災・減災対策のさらなる充実に努めています。

また、防災の拠点施設となる防災学習交流施設（そなえーる）では、「学ぶ・体験する・備える」をキーワードに防災・減災に対する意識向上に取り組んでおり、令和７年度は23,533人の利用がありました。

千歳警察署では、市内にある本署、５つの交番、２つの駐在所と空港警備派出所のほか、恵庭市内に３交番・１駐在所を置き、地域の安全を維持するため、警備体制の充実・強化を図っています。

交通安全は、市民一人ひとりの切実な願いですが、依然として交通事故が後を絶ちません。市内では令和７年に173件の交通事故が発生し、死亡者７人、負傷者176人の被害が生じました。市では、交通安全教育を実施するとともに、交通マナー等の普及啓発活動を行い、交通安全に対する意識の向上に努めています。

市内に所在する陸上及び航空自衛隊の各部隊は、災害発生時における様々な災害派遣活動を担っています。また、第１管区海上保安本部の千歳航空基地は、海上における警備救難及び200海里海洋秩序維持のほか、流氷観測などを行い、海上の安全と治安の確保を図っています。

164　消防職員数と消防車等設備の推移

年	消防署（本部を含む）													消防団				
	職員数	自動車台数											無線（基）	分団数	団員数	自動車台数			可搬式小型ポンプ
		タンク車	ポンプ車	化学車	はしご車	指揮車	広報車	救助工作車	資機材搬送車	救急車	大型水槽車	人員輸送車				タンク車	ポンプ車	積載車	
4	130	6	1	1	1	1	7	1	1	4	1	1	147	8	180	2	2	4	6
5	131	6	1	1	1	1	7	1	1	4	1	1	147	8	178	2	2	4	6
6	132	6	1	1	1	1	7	1	1	4	1	1	147	8	175	2	2	4	6
7	134	6	1	1	1	1	7	1	1	4	1	1	147	8	176	2	2	4	6
8	**139**	**6**	**1**	**1**	**1**	**1**	**7**	**1**	**1**	**4**	**1**	**1**	**147**	**8**	**168**	**2**	**2**	**4**	**6**

1　各年４月１日現在
消防本部総務課・警防課

165　消防水利

(1) 施設数

総数	消火栓				貯水槽（40ｔ以上）			用水路（マンホール）	池・その他
	計	公設		私設	計	公設	私設		
		双口	単口						
1,749	1,416	156	1,005	255	192	49	143	141	－

1　令和７年12月31日現在
消防本部警防課

(2) 充足状況

水利	現有数	A	1,080基
	基準数	B	949基
	充足率	A／B×100	87.9%

	区分	総数	内訳	
			常備	非常備
ポンプ	現有台数C（台）	12	7	5
	基準台数D（台）	13	7	6
	充足率 C/D×100（%）	92.3	100	83.3

1　令和７年４月１日現在
2　水利の現有数は、消防水利の基準に適合した消火栓数である
3　ポンプ現有台数、基準台数、充足率は消防力の整備指針に基づき算出
消防本部総務課・警防課

166　火災発生件数の推移

年・月	件数	焼損面積		焼損棟数	り災数		死傷者数		損害額（千円）
		建物（㎡）	林野（a）		世帯数	人員	死者	傷者	
3年	26	2,034	－	11	6	13	1	－	77,795
4年	37	899	86	28	14	28	5	14	130,481
5年	29	1,053	8	23	8	12	1	－	58,301
6年	31	1,479	－	27	11	20	－	2	46,546
7年	**39**	**886**	**－**	**40**	**23**	**45**	**9**	**6**	**175,098**
1月	3	8	－	2	1	1	－	－	20
2月	5	244	－	10	8	19	2	3	63,336
3月	2	187	－	2	－	－	－	－	19,874
4月	2	3	－	1	－	－	－	－	11,162
5月	4	98	－	4	2	2	1	－	1,085
6月	4	31	－	2	1	2	1	1	10,357
7月	3	1	－	1	1	2	－	1	9,099
8月	2	－	－	－	－	－	－	－	15
9月	3	7	－	2	1	2	－	－	4,431
10月	2	－	－	1	－	－	－	－	343
11月	3	168	－	8	5	9	4	－	38,495
12月	6	139	－	7	4	8	1	1	16,881

消防本部予防課

167　原因別火災発生件数（令和７年）

順位	原因	件数	順位	原因	件数
1	排気管	5	4	煙突・煙道	1
2	こんろ	4	4	焼却炉	1
3	溶接機・切断機	2	4	ボイラー	1
4	たばこ	1	4	配線器具	1
4	かまど・炉	1	4	火遊び	1
4	ストーブ	1	4	灯火	1
4	電灯電話等の配線	1	4	放火・放火の疑い	1
4	電気機器	1	－	その他・不明	16

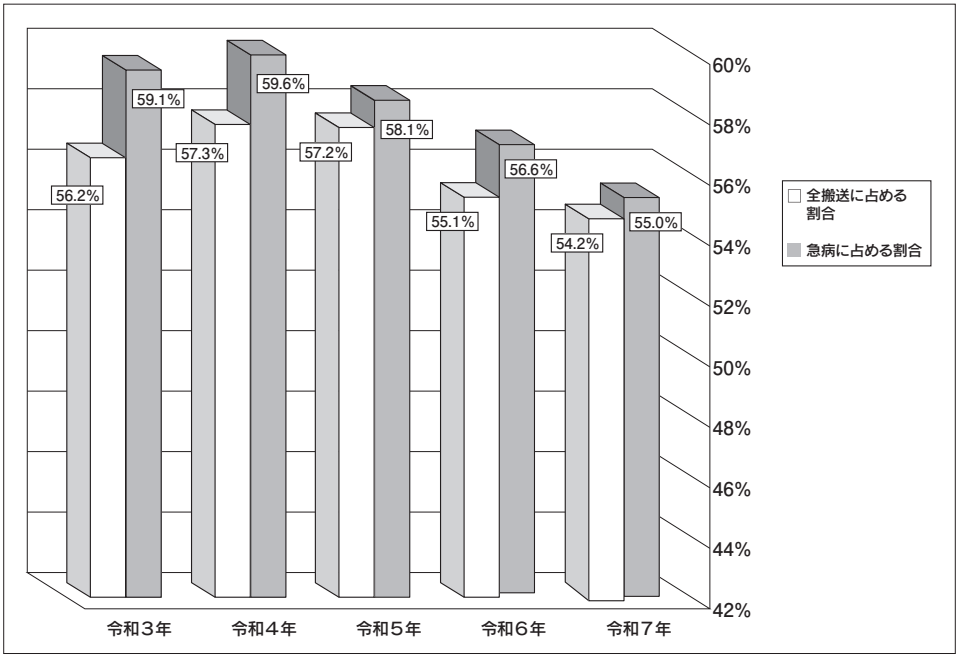
消防本部予防課

168　救急出動件数等の推移

年	総件数	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	搬送人員
3	3,392	21	－	12	179	43	8	489	15	57	2,154	414	2,734
4	4,351	36	1	6	223	42	9	615	12	57	2,909	441	3,304
5	4,751	22	－	3	249	41	18	730	14	48	3,175	451	3,581
6	4,697	21	－	5	249	52	17	735	12	60	3,023	523	3,460
7	**4,973**	**31**	**－**	**3**	**249**	**99**	**18**	**786**	**10**	**62**	**3,184**	**531**	**3,926**

消防署救急運用課

高齢者（65歳以上）の搬送割合の推移



消防署救急運用課

169　刑法犯罪発生の推移

区　　分	3　年	4　年	5　年	6　年	7　年
総　　数	763	851	724	801	894
凶　悪　犯	2	3	5	6	4
殺　　人	1	1	1	2	1
強　　盗	－	1	1	－	1
放　　火	－	－	1	－	－
不同意性交等	1	1	2	4	2
粗　暴　犯	99	96	91	88	86
暴　　行	73	74	64	50	53
傷　　害	20	14	27	24	21
脅　　迫	5	7	－	7	10
恐　　喝	1	1	－	7	2
窃　盗　犯	516	568	502	577	629
知　能　犯	27	51	25	30	21
詐　　欺	22	44	22	21	19
横　　領	4	2	1	5	1
汚　　職	－	－	－	1	－
偽　　造	1	5	2	3	－
背　　任	－	－	－	－	1
そ　の　他	－	－	－	－	－
風　俗　犯	11	8	9	17	34
そ　の　他	108	125	92	83	120

1　千歳警察署管内（千歳市・恵庭市）の件数
北海道札幌方面千歳警察署

170　交通安全

(1) 年・月別発生状況の推移

年・月	発生件数	死亡者	負傷者
3年	134	1	150
4年	154	2	172
5年	173	4	211
6年	160	1	186
7年	**173**	**7**	**176**
1月	18	1	20
2月	10	2	8
3月	8	－	8
4月	10	－	10
5月	19	－	19
6月	14	1	14
7月	11	－	12
8月	12	－	13
9月	11	2	11
10月	24	－	25
11月	17	1	16
12月	19	－	20

1　千歳市内における件数（高速道を除く）
北海道札幌方面千歳警察署

(2) 路線別発生状況（令和7年）

路線	発生件数	死亡者	負傷者
総数	173	7	176
国道36号	26	－	27
国道337号	5	1	4
他国道(36.337以外)	3	－	4
道道支笏湖公園線	6	－	7
その他の道道	33	1	35
市道・その他道路	100	5	99

1　千歳市内における件数（高速道を除く）
北海道札幌方面千歳警察署

(3) 交通安全教育施設（交通公園）

所在地　花園1丁目6番1号
面　積　20,625.08㎡
主要施設　管理棟　定周式信号機（1交差点）　押しボタン式信号機（1か所）
開　場　昭和53年10月20日（令和4年5月1日リニューアルオープン）
開園期間　毎年5月1日から10月31日まで
ただし、毎週月曜日は閉園日（月曜日が国民の祝日又は振替休日に当たるときはその翌日）

利用状況の推移

年度	総数	幼児	小学生	一般	団体
3	5,316	1,612	868	2,075	761
4	18,497	5,482	3,507	7,814	1,694
5	18,549	5,056	4,222	7,342	1,929
6	21,424	7,028	4,983	8,104	1,309
7	**28,057**	**8,681**	**7,437**	**9,880**	**1,934**

1　一般に中学生を含む
市民生活課

171　非行少年等の推移

区分			3　年	4　年	5　年	6　年	**7　年**
総数			271	415	373	673	**721**
非行少年	刑法犯少年	犯罪少年	31	38	26	26	**36**
		触法少年	11	10	15	9	**7**
		小計	42	48	41	35	**43**
	特別法少年		4	1	2	2	**5**
	ぐ犯少年		－	－	－	－	**－**
	合計		46	49	43	37	**48**
不良行為少年			225	366	330	636	**673**

1　千歳警察署管内（千歳市・恵庭市）の件数
北海道札幌方面千歳警察署

172　防災学習交流施設

(1)　施設概要

所在地　あずさ４丁目22番1号　外
敷地総面積　8.4ha
主要施設　防災学習交流センター「そなえーる」（展示・体験コーナー等）　防災訓練広場　学びの広場（消火体験・救出体験）　防災の森（野営生活訓練広場・サバイバル広場・河川災害訓練広場）

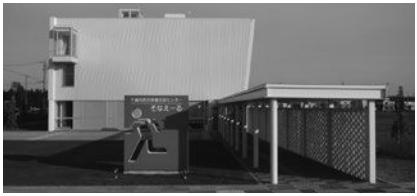
〔防災学習交流センター「そなえーる」〕
構造　Ｓ造及びＲＣ造の併用構造　地上３階塔屋１階
面積　建築1,443.81㎡　延床2,037.19㎡
開館　平成22年４月24日

防災学習交流施設

(2)　利用状況の推移

年度	総数	そなえーる・学びの広場利用者数				防災の森利用者数	
		見学・体験	有料施設	訓練・防災	自主事業	宿泊	日帰り
3	12,074	3,242	1,499	1,511	910	1,384	3,528
4	19,226	6,478	2,223	2,039	551	1,573	6,362
5	20,571	7,671	1,593	2,558	387	1,736	6,626
6	21,989	7,801	1,241	2,736	252	1,545	8,414
7	**23,533**	**7,094**	**1,628**	**4,222**	**271**	**1,273**	**9,045**

防災学習交流施設



防災学習交流施設（そなえーる）

信頼とぬくもりあるコミュニティ

15

あらまし

千歳市の令和６年度末の国民年金被保険者数は15,228人、年金受給者数は24,700人であり、国民健康保険被保険者数は12,857人、加入割合は13.32％となっています。また、高齢化率は令和８年１月１日現在で、24.6％となっており、北海道の33.3％を8.7ポイント下回っています。

市では、令和７年３月に「第５期千歳市地域福祉計画」を策定し、福祉サービスの充実に努めています。

子ども・子育て支援では、「子育てするなら、千歳市」をキャッチフレーズに多様な事業を推進しています。

保育環境の整備については、就学前の子どもの施設として幼保連携型認定こども園などの普及と、併せて保育定員を拡大し、令和８年４月現在の保育定員を計1,877人としています。

子育て支援については、アリス子育て支援センター、ちとせっこセンター及びげんきっこセンターを中心に各種事業を実施しているほか、子育てコンシェルジュを配置し、サービス利用の支援や、子育ての孤立化や不安・悩みの解消を目指す「傾聴」と「協働」による寄り添い型の支援を行っています。

また、放課後の子どもの居場所づくりのため、学童クラブを18か所整備しているほか、児童館では、ランドセル来館や中高生タイムの実施など市独自の事業を展開しています。

さらに、妊産婦を対象とする産前・産後ケアの充実を図るなど、妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援を提供し、子育て世代がしあわせを実感できる「子育てのまち」を目指しています。

障がいのある子への支援では、千歳市児童発達支援センターを中核的な機関と位置づけ、民間の障害児通所支援事業所や関係機関と連携して、障がいのある子が地域ですこやかに生活できるよう支援を行っています。

障がい者福祉では、障がいのある人に対する理解促進に向けた取組や生活支援ニーズの変化に応じた障害福祉サービスの充実、就労支援など各種施策の推進に努めています。

高齢者福祉については、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）及び介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の整備を進めています。

生活困窮者の支援では、生活困窮者自立支援法に基づき、さまざまな困難の中で生活に困窮している方に対して包括的な支援を行うため、自立相談支援事業、住居確保給付金、家計改善支援事業、学習支援事業及び就労準備支援事業を実施しています。

千歳市しあわせサポートセンターでは、千歳市介護予防センター、千歳市障がい者基幹相談支援センター、千歳市障がい者総合支援センターChip（チップ）、千歳市更生保護サポートセンター、千歳市老人クラブ連合会事務局、千歳市在宅医療・介護連携支援センターの６つの事務所を設置し、支援を必要とする市民に対して相互に連携しながら相談に応じるなど、地域の支援体制づくりを進めています。

千歳市社会福祉協議会では、令和７年３月に「第８次地域福祉実践計画」を策定し、第５期千歳市地域福祉計画と連携して地域福祉の推進に努めています。また、地域福祉を実践する中心的な組織として、ボランティアや各種福祉団体の地域福祉活動への支援、権利擁護の取組、高齢者の介護サービスや地域包括支援センターの運営による在宅福祉サービスの充実などに努めています。

市は、地域コミュニティの充実を図り、地域的な連携意識を高めることを目的として、昭和47年に道内初の旧自治省のモデルコミュニティ地区に指定されて以来、市内11か所にコミュニティセンターを設置しています。



ちとせっこセンター



げんきっこセンター



千歳市しあわせサポートセンター

173　国民健康保険

(1) 給付内容の推移

（単位　円）

年月	負担割合	高額療養費 自己負担限度額	入院時食事療養費 標準負担額減額	薬剤に係る 一部負担額	出産育児 一時金	葬祭費 支給額
S35年４月	5割				500	1,000
44年９月	3割				10,000	2,500
49年４月	〃				20,000	5,000
10月	〃	30,000			〃	〃
50年７月	〃				40,000	〃
51年８月	〃	39,000			〃	〃
52年４月	〃				〃	10,000
53年４月	〃				60,000	〃
54年12月	〃				80,000	20,000
57年３月	〃	※非課税：市民税非課税			100,000	25,000
９月	〃	・一　般　45,000			〃	〃
		（非課税　39,000）				
58年１月	〃	・一　般　51,000			〃	〃
		（非課税　39,000）				
59年10月	一　般　3割	・一　般　51,000			〃	〃
	退職本人　2割	（非課税　30,000）			〃	〃
	退職扶養者	・多回数　30,000				
	入　院　2割	（非課税　21,000）				
	入院外　3割	・難病長期　10,000				
61年５月	〃	・一　般　54,000			〃	〃
		（非課税　30,000）				
63年４月	〃				130,000	30,000
H元年６月	〃	・一　般　57,000			〃	〃
		（非課税　31,800）				
		・多回数　33,000				
		（非課税　22,200）				
３年５月	〃	・一　般　60,000			〃	〃
		（非課税　33,600）				
		・多回数　34,800				
		（非課税　23,400）				
４年４月	〃				240,000	〃
５年４月	〃	・一　般　63,000			〃	〃
		（非課税　35,400）				
		・多回数　37,200				
		（非課税　24,600）				
６年10月	〃		非課税　450		300,000	〃
			（長期入院　300）			
８年６月	〃	・一　般　63,600			〃	〃
		（非課税　35,400）				
８年10月	〃		非課税　650		〃	〃
			（長期入院　500）			

（単位　円）

年月	負担割合	高額療養費 自己負担限度額	入院時食事療養費 標準負担額減額	薬剤に係る 一部負担額	出産育児 一時金	葬祭費 支給額
H９年９月	退職 扶養者 入院 2割 入院外 3割	(ア)頓服薬及び外用薬以外の薬剤(1日分につき) 2・3種類　30　4・5種類　60 6種類以上　100 (イ)頓服薬　1種類につき　10 (ウ)外用薬　1種類　50　2種類　100 3種類以上　150 「薬剤に係る一部負担」9年9月から適用			300,000	30,000
13年１月	〃	一　般　63,600 4回目以降(37,200) 非課税 35,400(24,600) 上位所得者121,800(70,800) ※一般・上位所得者：別途加算あり ※上位所得者：総所得670万以上(基礎控除後)			〃	〃
14年10月	一　般　3割 退職本人　2割 退職扶養 入　院　2割 入院外　3割 3歳未満乳幼児　2割 70 歳 以 上　1割 (一定以上所得者 2割)	70歳未満 一　般 72,300(40,200) 非課税 35,400(24,600) 上位所得者139,800(77,700) ※一般・上位所得者：別途加算あり 70歳以上　入　院　外　来 一　般　40,200　12,000 非課税Ⅰ　15,000　8,000 非課税Ⅱ　24,600　8,000 一定以上所得者 72,300 (40,200) 42,000 ※一定以上所得者（入院）：別途加算あり (　) は4回目以降	1日 非課税 非課税Ⅱ　650 (70歳以上) (長期入院　500) 非課税Ⅰ (70歳以上) 300		〃	〃
15年４月	一般・退職　3割 3歳未満乳幼児　2割 70 歳 以 上　1割 (一定以上所得者 2割)	〃	〃	廃　止	〃	〃
18年４月	〃	〃	１食 非課税 非課税Ⅱ　210 (70歳以上) (長期入院　160) 非課税Ⅰ (70歳以上) 100		〃	〃
18年10月	一般・退職　3割 3歳未満乳幼児　2割 70 歳 以 上　1割 (現役並み所得者 3割)	70歳未満 一　般　80,100(44,400) 非課税　35,400(24,600) 上位所得者 150,000(83,400) ※一般・上位所得者:別途加算あり	１食 非課税 非課税Ⅱ　210 (70歳以上) (長期入院　160) 非課税Ⅰ		350,000	〃

（単位　円）

年月	負担割合	高額療養費自己負担限度額	高額介護合算療養費自己負担限度額	入院時食事療養費標準負担額減額	出産育児一時金	葬祭費支給額
			（70歳以上）100			
H18年10月	一般・退職　3割 3歳未満乳幼児　2割 70歳以上　1割 （現役並み所得者　3割）	70歳以上 入院　外来 一　般 44,400 12,000 非課税Ⅰ 15,000 8,000 非課税Ⅱ 24,600 8,000 現役並み所得者 80,100（44,400）44,400 ※現役並み所得者（入院）： 別途加算あり （　）は4回目以降		1食　210 非課税 非課税Ⅱ （70歳以上） （長期入院　160） 非課税Ⅰ （70歳以上）100	350,000	30,000
20年4月	一般・退職　3割 義務教育就学前　2割 70歳以上75歳未満　1割 （現役並み所得者　3割）		年額〈8月～翌年7月〉 所得区分　70歳未満 一般　67万（89万） 上位所得者　126万（168万） 非課税世帯　34万（45万） 所得区分　70歳以上75歳未満 一般　56万※（75万） 現役並み所得者　67万（89万） 非課税Ⅱ　31万（41万） 非課税Ⅰ　19万（25万） ※22年8月からは62万に変更 ○20年4月から7月までの分は、20年8月から21年7月までの分と合算して（　）内の限度額を適用		〃	〃
21年1月	〃				380,000	〃
10月					420,000	〃
26年4月	一般・退職　3割 義務教育就学前　2割 70歳以上75歳未満 （誕生日が 昭和19年4月1日までの方 1割 昭和19年4月2日以降の方 2割 ただし、現役並み所得者　3割）				〃	〃
27年1月		70歳未満 上位所得者ア 252,600（140,100） 上位所得者イ 167,400（ 93,000） 一　般　ウ 80,100（ 44,400） 一　般　エ 57,600（ 44,400） 非課税オ 35,400（ 24,600） ※上位所得者ア、イ・一般ウ：別途加算あり （　）は4回目以降	年額〈8月～翌年7月〉 所得区分　70歳未満 旧ただし書所得　901万越　212万（176万） 〃　600万越 901万以下　141万（135万） 〃　210万越 600万以下　67万（67万） 〃　210万以下　60万（63万）		〃	〃

（単位　円）

年月	負担割合	高額療養費自己負担限度額	高額介護合算療養費自己負担限度額	入院時食事療養費標準負担額減額	出産育児一時金	葬祭費支給額
H27年1月			非課税 ○26年8月から翌年7月までの分は、経過措置により()内の限度額を適用 所得区分 一般 現役並み所得者 非課税Ⅱ 非課税Ⅰ	34万(34万) 70歳以上75歳未満 56万 67万 31万 19万	420,000	30,000
28年4月				1食 一般 360	〃	〃
29年8月		70歳以上 入院 外来 現役並み所得者 80,100（44,400）57,600 一般 57,600（44,400）14,000 非課税Ⅱ 24,600 8,000 非課税Ⅰ 15,000 8,000 一般所得者 年間限度額 外来144,000			〃	〃
30年4月				1食 一般 460	〃	〃
8月		70歳以上（入院＋外来） 現役並み所得者(Ⅲ) 252,600 現役並み所得者(Ⅱ) 167,400 現役並み所得者(Ⅰ) 80,100 （入院）（外来） 一般 57,600（44,400）18,000 非課税（区分Ⅱ） 24,600 8,000 非課税（区分Ⅰ） 15,000 8,000 一般所得者 年間限度額 外来144,000			〃	〃
R5年4月					500,000	〃
6年6月				1食 一般 490	〃	〃
7年4月				1食 一般 510	〃	〃

1　昭和59年10月より「高額療養費支給制度」において世帯合算を実施している
2　薬剤に係る一部負担額は平成15年4月に廃止
3　高額介護合算療養費自己負担限度額は平成20年4月に新設
4　上位所得者ア：総所得金額等901万円超、上位所得者イ：総所得金額等600万円超901万円以下
　一般ウ：総所得金額等210万円超600万円以下、一般エ：総所得金額210万円以下（住民税非課税世帯除く）
国保医療課

(2) 保険料率（令和7年度）

（単位　円）

区分	賦課割合			料率			賦課限度額
	応能50%	応益50%					
	所得割	均等割	平等割	所得割	均等割	平等割	
基礎賦課額	50.00%	30.00%	20.00%	9.50%	27,400	27,900	660,000
後期高齢者支援金等賦課額	50.00%	30.00%	20.00%	2.85%	7,900	8,100	260,000
介護納付金賦課額	50.00%	30.00%	20.00%	2.11%	9,200	6,600	170,000

1　賦課期日は4月1日
2　納期は普通徴収が9期（6.7.8.9.10.11.12.1.2月）、特別徴収が6回（4.6.8.10.12.2月）
国保医療課

(3) 加入状況の推移

(単位　千円)

年度	被保険者		加入割合		保険料(現年度)		
	世帯	人員	世帯	人員	調定額	収納額	収納率(%)
2	10,445	15,330	20.70	15.79	1,334,006	1,276,586	95.7
3	10,314	14,934	20.34	15.39	1,366,059	1,310,608	95.9
4	10,085	14,393	19.66	14.84	1,339,452	1,275,493	95.2
5	9,884	13,838	19.02	14.24	1,290,467	1,229,511	95.3
6	**9,317**	**12,857**	**17.84**	**13.32**	**1,273,512**	**1,201,957**	**94.4**

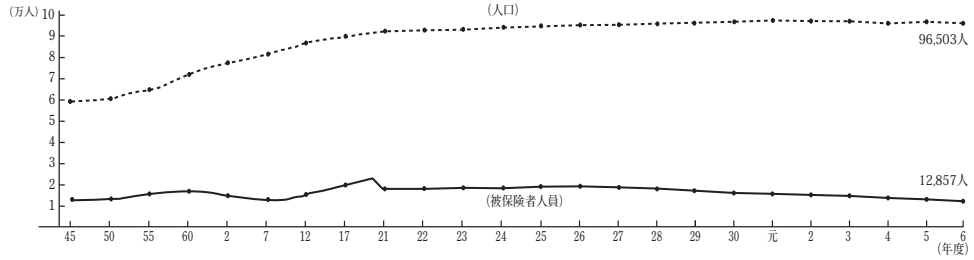
1　加入割合は各年度末現在の住民基本台帳世帯と人口に対する割合
国保医療課

(4) 給付状況の推移

区分	2年度	3年度	4年度	5年度	**6年度**
被保険者世帯(平均)	10,466	10,400	10,230	10,026	**9,636**
人員(平均)	15,428	15,182	14,729	14,181	**13,398**
療養諸費件数	235,120	245,305	246,950	244,293	**233,907**
費用額	5,745,883	6,198,689	6,459,356	6,375,703	**4,389,498**
療養の給付(医療の給付)件数	231,055	241,016	243,125	240,516	**230,412**
費用額	5,709,527	6,148,097	6,423,936	6,330,763	**4,362,748**
療養費(医療費)件数	4,059	4,277	3,810	3,755	**3,495**
費用額	36,357	50,592	35,421	44,940	**26,751**
高額療養費件数	10,388	12,669	13,572	13,135	**12,925**
費用額	602,045	693,753	750,115	756,294	**717,516**
出産育児一時金件数	49	48	48	28	**32**
費用額	20,548	20,080	20,124	13,496	**16,416**
葬祭費件数	99	99	111	124	**104**
費用額	2,970	2,970	3,330	3,720	**3,120**
被保険者1人当たり医療費	372	408	439	450	**326**

1　「被保険者1人当たり医療費」は「被保険者人員(平均)」で「療養諸費費用額」を除したもの
2　費用額千円未満切上げ
国保医療課

被保険者の推移



1　各年度末現在
国保医療課

(5) 年齢階層別被保険者の状況

区　分	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	計
人　数	169	242	261	303	725	967	1,372	1,585	1,159	2,269	3,805	**12,857**
割合(%)	1.3	1.9	2.0	2.4	5.6	7.5	10.7	12.3	9.0	17.7	29.6	**100.0**

1　令和6年度末現在
国保医療課

174　国民年金概要の推移

区　分	2年度	3年度	4年度	5年度	**6年度**
国民年金被保険者数	17,553	17,221	16,759	16,251	**15,228**
第1号	8,512	8,477	8,413	8,301	**7,932**
第3号	8,973	8,668	8,262	7,835	**7,153**
任意	68	76	84	115	**143**
基礎年金受給者数	23,639	23,956	24,198	24,501	**24,700**
老齢基礎年金	21,879	22,184	22,396	22,680	**22,878**
障害基礎年金	1,564	1,582	1,610	1,639	**1,655**
遺族基礎年金	196	190	192	182	**167**

1　各年度末現在
2　被保険者
第1号被保険者　国内に住んでいる20歳以上60歳未満の農林漁業・商業など自営業者やその配偶者、大学生・専修学校生など
第2号被保険者　厚生年金保険・共済組合に加入している人
第3号被保険者　第2号被保険者に扶養されている配偶者
任意加入者　原則として、上記第1号から第3号被保険者を除いた人で、一定の年齢要件を満たし加入を希望する人
日本年金機構北海道ブロック本部・新さっぽろ年金事務所、厚生労働省「事業統計」(戸籍住民課)

175　社会福祉施設一覧

区　分	施　設　名	設置	所　在　地	職員数	収容定員	設置年月日
総合相談施設	千歳市しあわせサポートセンター	市	東雲町１丁目11－１	－	－	H26年４月10日
	千歳市介護予防センター	〃	〃	4	－	H26年４月10日
	千歳市障がい者基幹相談支援センター	〃	〃	－	－	R７年４月１日
	千歳市障がい者総合支援センター	〃	〃	－	－	H15年９月１日
	千歳市更生保護サポートセンター	〃	〃	9	－	H26年４月10日
	千歳市老人クラブ連合会事務局	〃	〃	2	－	S44年２月24日
	千歳市在宅医療・介護連携支援センター	〃	〃	4	－	H30年４月１日
	千歳市西区地域包括支援センター	〃	新富１丁目３－５	4	－	H18年４月１日
	千歳市東区地域包括支援センター	〃	流通３丁目３－16	4	－	H24年４月１日
	千歳市北区地域包括支援センター	〃	北光２丁目１－１	5	－	H25年４月１日
	千歳市南区地域包括支援センター	〃	大和４丁目２－１	4	－	H26年４月１日
	千歳市向陽台区地域包括支援センター	〃	若草４丁目13－１	3	－	H26年４月１日
介護保険関連施設	特別養護老人ホームやまとの里	法人	大和４丁目２－１	38	50	H16年５月１日
	養護老人ホーム千歳千寿園	〃	大和４丁目２－４	22	50	S47年７月１日
	特別養護老人ホーム暢寿園	〃	富丘２丁目７－５	63	100	S54年４月１日
	地域密着型特別養護老人ホーム千歳ふくろうの園	〃	大和４丁目２－４	25	29	H26年８月１日
	地域密着型特別養護老人ホーム千歳ふくろうの園Ⅱ	〃	大和４丁目２－４	25	29	H27年５月１日
	医療法人社団いずみ会介護老人保健施設北星館	〃	清流５丁目１－１	75	100	H９年５月１日
	グループホーム里の家千歳	〃	若草１丁目18－２	26	27	H15年４月12日
	満快のふる郷さくら千歳	〃	勇舞１丁目７－15	17	18	H16年１月５日
	グループホームせせらぎの家	〃	新星２丁目２－３	9	9	H16年３月15日
	グループホームほくとの家	〃	北斗１丁目19－14	16	18	H17年６月１日
	グループホームぬくもりの里	〃	住吉４丁目８－14	17	18	H16年６月１日
	グループホームひまわりの家	〃	北斗４丁目14－４	19	18	H16年11月１日
	グループホーム向陽台	〃	白樺２丁目１－１	13	18	H16年11月15日
	グループホーム笑顔の郷	〃	北斗４丁目５－６	38	18	H18年３月１日
	グループホームかつら	〃	桂木３丁目１－２	24	18	H18年３月21日
	ニチイケアセンター千歳北陽	〃	北陽１丁目11－８	18	18	H19年11月１日
	グループホームゆうび	〃	日の出１丁目１－31－６	16	18	H25年４月１日
	グループホーム末広	〃	末広３丁目８－７	15	18	H28年５月１日
	グループホームあさひの家千歳	〃	北陽５丁目４－８	18	18	R元年１月12日
	グループホームえみなゆうまいの家	〃	勇舞７丁目10－12	21	18	R２年４月25日
	ふれあいの里グループホームほっ虹	〃	北光５丁目４－３	24	18	R５年３月20日
	グループホーム幸福	〃	幸福２丁目10－11	23	18	R５年４月１日
	けあビジョンホーム千歳	〃	里美１丁目１－20	19	18	R５年６月１日
	ふれあいの里グループホームしな暖	〃	信濃４丁目８－16	15	18	R８年３月31日
	ケアハウス千歳ふくろうの園	〃	大和４丁目３－11	18	50	H18年５月１日
障がい者福祉施設	千歳地域生活支援センター	〃	清水町４丁目15－１	－	－	H15年10月１日
	地域活動支援センターめいぷる共同作業所	NPO	自由ヶ丘６丁目５－７	－	－	H11年４月１日
	めいぷるほっとい～よ	〃	自由ヶ丘３丁目10－４	－	20	H21年４月１日
	めいぷるハウス	〃	自由ヶ丘６丁目５－７	－	6	H27年４月１日
	NPO法人ハートフルネットワークほほえみ	〃	幸町５丁目２－１	－	20	H12年４月３日
	障がい者支援施設いずみ	法人	泉郷403－９	－	40	S43年11月11日
	障がい者支援センターキラリ	〃	春日町３丁目５－１	－	40	H24年12月１日
	いずみワークセンター	〃	清流２丁目４－４	－	40	H18年10月１日
	いずみ寮	〃	春日町３丁目５－１	－	56	H18年10月１日
	青葉の杜	〃	桂木１丁目３－22	－	20	H18年10月１日
	青葉の郷	〃	蘭越10－37	－	20	H24年４月１日
	自立訓練施設蓮げ荘	〃	都756－21	－	20	H15年６月１日
	就労継続支援B型事業所ゆうび	〃	日の出１丁目１-41 カルナビル2F	－	20	H20年５月１日
	メビウス	〃	泉沢1007－172	－	27	H21年１月１日
	就労継続支援事業所エコ・ファクトリー	〃	信濃１丁目13－１	－	35	H19年５月14日
	ニチイケアセンター千歳	〃	清水町４丁目19－４清水オフィスビル2F	－	－	H19年８月１日
	千歳物流センター	〃	上長都1034－８	－	20	H20年３月１日
	生活介護ステーション ゆみな／パン工房ゆみな	NPO	清流４丁目10－10	－	20	H21年４月１日
	就労支援センターOm-net	法人	末広４丁目１－13	－	20	H22年３月１日
	マルハチ急行株式会社 福祉事業部 サークルエイト	〃	上長都1039－25	－	30	H24年４月１日
	グループホームメルシー	NPO	稲穂１丁目８－４	－	6	H28年10月１日
	新富ヘルパーステーション	法人	新富１丁目３－５	－	－	H25年４月１日
	祝梅ヘルパーステーション	〃	流通３丁目３－16	－	－	H25年４月１日
	グループホームTARUO	〃	青葉１丁目９－１	－	25	H25年４月１日
	ひまわりの会	〃	梅ヶ丘２丁目3－24	－	20	H26年３月１日
	株式会社帆の風 千歳事業所	〃	朝日町２丁目１-２アスクゲートビル2F	－	20	H26年９月１日
	Lifeサポートピアハー	〃	高台６丁目５－12	－	10	H27年４月１日
	ウィンドパレー	〃	稲穂１丁目８－８千歳市森林組合ビル	－	20	H27年８月１日
	ヘルパーステーションえみな	〃	長都駅前５丁目１－10	－	－	H28年８月１日
	訪問介護ステーションくらしさ千歳	〃	本町５丁目1502-３ メイライズA－２	－	－	H28年８月９日
	ちとせ24	〃	みどり台北２丁目11－11	－	－	H29年11月１日
	ミナモト就労継続支援事業所	〃	みどり台北２丁目５－14	－	30	H30年４月16日
	サポートセンターユリーカ	〃	幸町４丁目15－１	－	10	H28年９月９日
	TARUOCAFE	〃	清流２丁目３－４	－	20	H29年11月１日
	晴れるモキッチン	〃	信濃１丁目７－18	－	20	H30年２月１日

区　分	施　設　名	設置	所　在　地	職員数	収容定員	設置年月日
障がい者福祉施設	ワンステップス	法人	北斗１丁目27－12	－	20	H28年４月１日
	就労継続支援Ｂ型事業所スリーピース	〃	日の出５丁目８－12	－	20	H28年７月１日
	訪問介護事業所すずらん	〃	末広４丁目７－１ユーポート末広１階D	－	－	H30年４月１日
	やさしい介護ちとせ	〃	北斗１丁目25－１	－	－	H30年４月１日
	ＳＯＭＰＯケア千歳訪問介護	〃	北陽１丁目13-17 清ビル X・2001Ｂ－１Ｆ	－	－	H30年７月１日
	優友ハウス	〃	長都駅前１丁目17-24	－	28	R元年11月１日
	ライフヘルプちとせ	〃	北栄１丁目８－14	－	－	R元年11月１日
	ラポールハウスチトセ	NPO	幸町１丁目７－１	－	20	R２年２月１日
	共生型ケアホームやさしい介護ちとせ	法人	大和２丁目３－７	－	18	R２年４月１日
	共同生活援助モンレーヴ	〃	春日町５丁目１－15	－	14	R２年４月１日
	マルハチ急行株式会社　福祉事業部　エブリ	〃	上長都1039－25	－	－	R２年４月１日
	就労継続支援Ｂ型グウタッチ	NPO	東雲町２丁目11	－	20	R２年10月１日
	グループホームエミッツ	法人	本町１丁目７－１ アーバンポイント千歳	－	9	R３年９月15日
	ジョブタス千歳勇舞事業所	〃	勇舞６丁目７－２	－	20	R３年５月６日
	就労継続支援Ｂ型事業所　健心サポート	〃	富丘４丁目１－４	－	20	R３年10月15日
	小規模多機能型ホームくらしさ千歳	〃	本町５丁目1502－１	－	15	R元年６月１日
	居宅介護ゆうしんかん	〃	みどり台南１丁目６－１－２ MA２ 105号	－	－	R２年７月１日
	訪問介護ステーションみのり	〃	稲穂４丁目２－14　メゾンＹ・H21-102号	－	－	R２年７月10日
	ナーシングビラ訪問介護	〃	里美２丁目２－６　第3ビジュアルコーポ101号室	－	－	R３年４月１日
	ナーシングビラ向陽台デイサービスセンター	〃	稲穂３丁目17－１　グラン・セラ稲穂A館	－	18	R３年９月15日
	計画相談つむぎ	〃	桂木１丁目１－９	－	－	R３年10月20日
	計画相談青空	〃	東雲町１丁目11	－	－	R４年２月１日
	グループホームラウレア	〃	文京５丁目１－４	－	10	R４年４月１日
	グループホームＣＯＣＯ	〃	桂木１丁目２－５	－	5	R４年４月21日
	勇舞デイサービスセンターまごころの湯くれいん	〃	勇舞２丁目７－８	－	18	R４年４月22日
	ヨツバメイツ千歳	〃	青葉８丁目13－12	－	28	R４年５月16日
	デイサービスゆうく	〃	みどり台北３丁目５－８	－	40	R４年６月１日
	コラボワーク	〃	富丘４丁目１－22	－	20	R４年９月１日
	グループホームｂｅｅ	〃	日の出１丁目１－39	－	10	R４年11月１日
	ぐろーあっぷまくあけ千歳	〃	青葉８丁目12－７	－	25	R４年11月１日
	クレザ	〃	千代田町６丁目７　リレントビル301	－	20	R５年３月20日
	千歳市障がい者相談支援センターゆうしんかん	〃	みどり台南１丁目６－１－２ MA２ 105号	－	－	R５年９月１日
	相談支援事業所らいと	〃	清流２丁目４－４	－	－	R５年10月１日
	就労継続支援Ｂ型事業所　ＴｅＣＲＥＡ千歳	〃	幸町３丁目15　エレガンスビル４Ｆ	－	20	R６年１月１日
	ゼットアクション	〃	みどり台北１丁目７－８　第2末広ビル C号室	－	10	R６年11月１日
	グループホーム　Ｍａｎｏ	〃	東郊２丁目９－17	－	4	R６年12月１日
	共生型自立訓練（機能訓練）施設CHALLENGED GYM千歳	〃	清水町４丁目19－４	－	－	R８年１月１日
	ゆいさぼ	〃	富士３丁目14－６	－	－	R８年１月15日
障がい児福祉施設	千歳市児童発達支援センター	市	東雲町２丁目34　福祉センター２Ｆ	18	25	H24年４月１日（R２年4月１日種別変更）
	ブン・ブン・ブン・ハウス	法人	清水町４丁目８－１ シェルビル	11	30	H24年４月１日
	ぽすて	〃	北光６丁目４－10	10	10	H27年11月９日
	ちとせ療育教室はる	〃	富丘１丁目31－７	7	10	H28年７月１日
	ちとせ児童発達支援センターはる	〃	富丘１丁目31－16	30	26	R２年４月１日（R６年4月１日種別変更）
	ラブアリス千歳桜木	〃	桜木３丁目１－１	9	10	H28年11月１日
	児童デイサービス十彩（といろ）	〃	大和１丁目７－５ 1Ｆ	10	10	H29年３月１日
	すてっぷちとせ	〃	信濃３丁目20－２	7	10	H29年４月28日
	児童デイサービスみどり台	NPO	みどり台北１丁目３－５	9	10	H29年６月15日
	第二ちとせくらぶ	法人	長都駅前１丁目６－１	7	10	H30年７月23日
	ラブアリス千歳桜木別館	〃	桜木２丁目10－11	8	10	H31年１月10日
	デイジーハウス	〃	桂木３丁目９－28	6	10	R元年12月16日
	子ども通所支援センターにじいろひろば ちとせ	〃	富丘４丁目32－１	4	10	R２年４月10日
	ＢＬＡＮＫＥＴ（ブランケット）	〃	幸町3丁目6-12　千歳ゆうまいタウンプラザ C棟102号	6	10	R２年５月１日
	ONE SMILE（ワンスマイル）千歳店	〃	錦町１丁目７－３	5	10	R２年８月１日
	ＳＱＵＡＲＥ（スクエア）	〃	北光４丁目３－９	7	10	R３年４月１日
	ＲＡＳＡ（ラサ）	〃	新富１丁目23－５	14	10	R３年７月24日
	こどもプラス千歳教室ここ	〃	みどり台北１丁目７－１	8	10	R３年11月１日
		〃	末広５丁目8-1　アルファテラス末広C号棟	7	10	R４年５月25日
	児童発達支援・放課後等デイサービスほーむアスト	〃	末広５丁目７－13	4	10	R２年９月28日（R４年12月千歳市に移転）
	ｃｈｏｕｃｈｏｕ（シュシュ）千歳	〃	日の出１丁目１－49－２	7	10	R５年４月１日
	Ｌｅｉｄａｙ（レイデイ）	〃	自由ヶ丘５丁目２－４	6	10	R５年12月18日
	Ａｉｌｅｓ（えーる）	〃	朝日町４丁目36－１ 1Ｆ	8	20	R６年４月１日
	ゆめラボ千歳信濃教室	〃	信濃４丁目１－２千歳ビル２Ｆ	7	10	R７年９月１日
	BambleGYM（バンブルジム）千歳	NPO	富丘１丁目28－９	9	10	R７年11月１日
	ぱれっと	法人	花園５丁目７－２	7	10	R８年３月１日
児童福祉施設	認定こども園つばさ	市	花園４丁目３－１	42	102	S40年１月１日（H20年4月1日新築移転）
	認定こども園ひまわり	〃	新富２丁目４－60	41	102	S44年４月１日
	北斗認定こども園	法人	新富１丁目１－41	32	135	S56年４月１日（R３年4月1日新築移転）
	アリス認定こども園	〃	勇舞１丁目１－１	36	135	H11年４月１日
	認定こども園千歳春日保育園	〃	春日町２丁目１－９	27	110	H20年４月１日
	あずさつくし認定こども園	〃	あずさ５丁目21－１	37	110	H24年４月１日

区　分	施　設　名	設置	所　在　地	職員数	収容定員	設置年月日
児童福祉施設	認定こども園北陽幼稚園・第2北陽保育園	法人	北陽８丁目２－８	34	95	H25年４月１日
	認定こども園千歳第２幼稚園	〃	新富１丁目６－21	36	132	S39年７月１日
	住吉認定こども園	〃	豊里３丁目９－５	22	100	S49年12月25日
	認定こども園つくし保育園	〃	富丘１丁目５－13	34	120	H17年４月１日
	認定こども園向陽台つくし幼稚園	〃	若草５丁目３－１	36	150	H３年４月１日
	認定こども園おひさま園	〃	みどり台南２丁目12－６	39	104	H30年４月１日
	認定こども園	〃	春日町５丁目１－10	36	105	H31年４月１日
	認定こども園向陽台	〃	若草５丁目２－２	34	90	S56年４月１日
	認定こども園	〃	流通３丁目１－22	32	105	R２年４月１日
	第２住吉保育園	〃	豊里２丁目７－７	22	45	H29年４月１日
	北陽保育園	NPO	北陽１丁目12－２	9	20	H16年２月５日
	とりせんマイル保育園	〃	住吉５丁目１－24	30	49	H30年４月１日
	あり んこ保育室	法人	北栄１丁目25－９	14	12	S57年４月１日
	こだま保育園	〃	花園５丁目７－13	17	12	S56年４月１日 (R４年12月５日新築移転)
	さくら保育園	〃	稲穂１丁目２－５	14	19	S59年５月１日
	テップ赤ちゃんる～む	〃	清流７丁目８－８	11	9	H９年４月１日
	未保育園	〃	日の出４丁目３－10	13	19	H27年４月１日
	チイキッズおさつ駅前保育園	〃	長都駅前１丁目６－１	12	19	H28年４月１日
	千歳春日保育園ポケット	〃	春日町２丁目１－９	8	19	H28年４月１日
	よこ保育園	〃	新富２丁目４－11	13	19	H31年４月１日
	イナックスこどもくらぶ	〃	上長都1053－２	7	19	H14年４月１日
	千歳みどりの保育園	〃	大和４丁目３－11	18	25	H23年４月１日
	アリス子育て支援センター（アリスセンター）	〃	勇舞１丁目１－１	2	－	H11年４月１日
	子育て総合支援センター（ちとせっこセンター）	市	花園４丁目３－１	11	－	H20年４月１日
	北新子育て支援センター（げんきっこセンター）	〃	新富１丁目２－14	9	－	H26年３月27日
	ひしのみで児童館	〃	青葉５丁目８－８	3	－	H８年４月１日
	ほしなで児童館	〃	富士２丁目３－４	3	－	H10年４月１日
	くおう児童館	〃	北斗５丁目６－10	2	－	H12年４月１日
	ゅいぐりぱいう児童館	〃	弥生２丁目７－４	2	－	H13年10月１日
	くりみせゅさっわこ児童館	〃	清流２丁目４－２	2	－	H14年４月１日
	よがじりう丘ゅ台児童館	〃	柏陽２丁目２－１	3	－	H16年４月１日
	望んどく児童館	〃	花園４丁目３－１	2	－	H20年４月１日
	空濃まれこわあやいかららｐ

176　民生委員児童委員数

定数	委員			うち主任児童委員			
	総数	男	女	定数	総数	男	女
223	205	79	126	22	20	－	20

1　令和８年４月１日現在
2　民生委員は児童福祉法に基づく児童委員を兼ねる
福祉課

177　生活保護

（1）扶助別受給者の推移

年度	被保護		扶助別延人員					保護率（‰：千分率）
	延世帯	延人員	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	医療扶助	その他の扶助	
3	13,780	17,322	15,693	15,332	1,072	16,087	27	14.8
4	14,058	17,572	15,727	15,433	986	16,362	31	15.0
5	14,153	17,493	15,796	15,427	896	16,397	20	14.9
6	14,157	17,223	15,274	15,061	705	16,280	26	14.7
7	**14,061**	**16,838**	**14,893**	**14,767**	**602**	**16,018**	**20**	**14.5**

1　被保護「世帯」「人員」は各月の実世帯、実人員の合計
2　保護率は年度平均被保護人員の９月末住民基本台帳人口に対する割合
保護課

（2）扶助別保護費支出の推移

（単位　千円）

年度	総　額	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	その他の扶助
3	2,487,332	747,628	295,879	10,016	52,300	1,354,384	27,125
4	2,565,170	754,200	304,386	9,408	51,635	1,420,317	25,218
5	2,578,939	747,444	309,063	8,340	54,534	1,430,577	28,981
6	2,627,986	723,397	307,491	6,431	62,258	1,499,200	29,209
7	**2,589,750**	**712,286**	**308,060**	**6,427**	**59,868**	**1,477,278**	**25,829**

保護課

178　介護保険

（1）第１号被保険者（65 歳以上）の状況

ア　年齢別被保険者数の推移

年度	65歳以上75歳未満	構成比（%）	75歳以上	構成比（%）	総　数
2	11,810	51.7	11,034	48.3	22,844
3	11,667	50.5	11,418	49.5	23,085
4	11,368	48.8	11,920	51.2	23,288
5	11,039	46.9	12,491	53.1	23,530
6	**10,674**	**45.0**	**13,028**	**55.0**	**23,702**

1　各年度末現在
2　外国人被保険者、住所地特例被保険者を含む

イ　所得段階別被保険者数の推移

年度	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階	第13段階	総数
	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)
2	4,356	1,832	1,612	3,088	2,494	2,869	3,907	1,656	1,030	—	—	—	—	22,844
	19.1	8.0	7.1	13.5	10.9	12.6	17.1	7.2	4.5	—	—	—	—	100.0
3	4,375	1,925	1,693	2,953	2,593	2,882	4,205	1,544	915	—	—	—	—	23,085
	19.0	8.3	7.3	12.8	11.2	12.5	18.2	6.7	4.0	—	—	—	—	100.0
4	4,383	2,007	1,740	2,820	2,649	2,985	4,212	1,586	906	—	—	—	—	23,288
	18.8	8.6	7.5	12.1	11.4	12.8	18.1	6.8	3.9	—	—	—	—	100.0
5	4,367	2,106	1,793	2,760	2,740	2,975	4,137	1,674	978	—	—	—	—	23,530
	18.6	9.0	7.6	11.7	11.6	12.6	17.6	7.1	4.2	—	—	—	—	100.0
6	**4,244**	**2,090**	**1,734**	**2,614**	**2,828**	**2,567**	**4,416**	**1,953**	**635**	**245**	**87**	**58**	**231**	**23,702**
	17.9	**8.8**	**7.3**	**11.0**	**11.9**	**10.8**	**18.6**	**8.3**	**2.7**	**1.0**	**0.4**	**0.3**	**1.0**	**100.0**

1　各年度末現在
2　外国人被保険者、住所地特例被保険者を含む

ウ　保険料

（総数　円）

段　階	対　　象　　者	保険料(年額)
第１段階	・生活保護を受給されている人 ・世帯全員が市民税非課税で、老齢福祉年金を受給されている人 ・世帯全員が市民税非課税で、本人の合計所得金額（年金収入にかかる所得分を除く）＋課税年金収入額の合計が82.65万円以下の人	17,100
第２段階	世帯全員が市民税非課税で、本人の合計所得金額（年金収入にかかる所得分を除く）＋課税年金収入額の合計が82.65万円を超え120万円以下の人	29,100
第３段階	世帯全員が市民税非課税で、本人の合計所得金額（年金収入にかかる所得分を除く）＋課税年金収入額の合計が120万円を超える人	41,100
第４段階	本人が市民税非課税で、世帯の中に市民税課税者がいて、本人の合計所得金額（年金収入にかかる所得分を除く）＋課税年金収入額の合計が82.65万円以下の人	54,000
第５段階	本人が市民税非課税で、世帯の中に市民税課税者がいて、本人の合計所得金額（年金収入にかかる所得分を除く）＋課税年金収入額の合計が82.65万円を超える人	60,000
第６段階	本人が市民税課税で、合計所得額が120万円未満の人	72,000
第７段階	本人が市民税課税で、合計所得額が120万円以上210万円未満の人	78,000
第８段階	本人が市民税課税で、合計所得額が210万円以上320万円未満の人	90,000
第９段階	本人が市民税課税で、合計所得額が320万円以上420万円未満の人	102,000
第10段階	本人が市民税課税で、合計所得額が420万円以上520万円未満の人	114,000
第11段階	本人が市民税課税で、合計所得額が520万円以上620万円未満の人	126,000
第12段階	本人が市民税課税で、合計所得額が620万円以上720万円未満の人	138,000
第13段階	本人が市民税課税で、合計所得額が720万円以上の人	144,000

1　令和８年４月１日現在
高齢者支援課

(2) 要支援・要介護認定者数の推移

年度	第１号被保険者（65歳以上）	65歳以上75歳未満 75歳以上	第２号被保険者（40歳～64歳）	総数
2	4,014	521 3,493	87	4,101
3	3,991	502 3,489	90	4,081
4	3,974	459 3,515	75	4,049
5	4,061	421 3,640	70	4,131
6	**4,122**	**393** **3,729**	**77**	**4,199**

1　各年度末現在
高齢者支援課

(3) 介護保険給付状況の推移

給付件数：(単位　件)
給 付 額：(単位　千円)

年度	区分	訪問通所サービス	短期入所サービス	その他の単品サービス	福祉用具購入費	住宅改修費	地域密着型(介護予防)サービス	施設介護サービス	総数
2	給付件数	28,305	872	36,461	294	315	9,419	4,842	80,508
	給付額	969,081	64,413	512,892	8,984	23,164	1,508,176	1,318,793	4,405,503
3	給付件数	31,357	729	38,017	282	308	9,814	5,049	85,556
	給付額	1,047,809	51,482	529,898	8,183	22,033	1,563,981	1,401,455	4,624,841
4	給付件数	32,581	534	38,669	262	296	10,144	5,072	87,558
	給付額	1,043,743	35,488	526,097	8,120	21,654	1,604,270	1,411,570	4,650,942
5	給付件数	33,351	611	39,183	243	318	11,478	5,029	90,213
	給付額	1,057,125	38,615	553,925	7,706	22,918	1,841,328	1,402,808	4,924,425
6	**給付件数**	**38,111**	**701**	**39,574**	**316**	**295**	**11,507**	**4,771**	**92,974**
	給付額	**1,108,388**	**41,013**	**585,393**	**10,447**	**22,028**	**1,942,123**	**1,357,431**	**5,066,823**

1　各年度末現在
高齢者支援課

(4) 保険料収納状況の推移

(単位　円)

年度	区分	調定額	収入額	還付未済額	不納欠損額	未収入額	収納率(%)
2	現年度分	1,241,304,130	1,235,157,490	587,620	－	6,734,260	99.5
	滞納繰越分(累計)	35,418,847	6,199,747	1,680	8,587,030	20,633,750	－
3	現年度分	1,174,536,960	1,169,951,130	582,500	－	5,168,330	99.6
	滞納繰越分(累計)	27,293,510	3,738,600	－	8,812,240	14,742,670	－
4	現年度分	1,184,786,620	1,181,279,830	956,220	－	4,463,010	99.7
	滞納繰越分(累計)	19,848,900	2,475,260	8,010	8,367,110	9,014,540	－
5	現年度分	1,199,383,160	1,196,157,860	1,304,140	－	4,529,440	99.7
	滞納繰越分(累計)	13,389,230	1,749,210	－	7,688,040	3,951,980	－
6	**現年度分**	**1,351,252,340**	**1,349,397,960**	**1,692,200**	**－**	**3,546,580**	**99.9**
	滞納繰越分(累計)	**8,464,860**	**1,496,290**	**－**	**3,244,850**	**3,723,720**	**－**

1　各年度末現在
高齢者支援課

179　障がい者手帳等所持者数

(1) 身体障がい部位別の推移

年　度	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	肢体不自由	内部障害	総　数
3	156	260	22	1,895	1,038	3,371
4	151	257	25	1,857	1,047	3,337
5	147	259	27	1,805	1,036	3,274
6	143	263	31	1,733	1,054	3,224
7	**147**	**260**	**34**	**1,680**	**1,052**	**3,173**

1　各年度末現在
障がい者支援課

(2) 身体障がい者級別所持者数の推移

年度	1　級	2　級	3　級	4　級	5　級	6　級	総　数
3	1,089	432	456	865	338	191	3,371
4	1,088	427	431	852	332	207	3,337
5	1,030	424	425	839	334	222	3,274
6	1,027	407	426	804	327	233	3,224
7	**1,003**	**403**	**422**	**786**	**321**	**238**	**3,173**

1　各年度末現在
障がい者支援課

(3) 療育手帳所持者数の推移

年度	A　判　定	B　判　定	総　数
3	246	680	926
4	250	719	969
5	252	740	992
6	257	732	989
7	**258**	**764**	**1,022**

1　各年度末現在
障がい者支援課

(4) 精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

年度	1　級	2　級	3　級	総　数
3	54	351	237	642
4	55	366	259	680
5	49	393	299	741
6	51	383	332	766
7	**54**	**404**	**378**	**836**

1　各年度末現在
障がい者支援課

180　後期高齢者医療制度

（1）後期高齢者医療被保険者数の推移

（単位　人）

年　度	被保険者数	内訳				
		加入者年齢構成		自己負担割合		
		65～75歳未満	75歳以上	1　割	2　割	3　割
3	11,343	356	10,987	10,968	－	375
4	11,790	316	11,474	8,261	3,086	443
5	12,307	291	12,016	8,756	3,087	464
6	12,824	275	12,549	8,888	3,352	584
7	**13,236**	**259**	**12,977**	**8,798**	**3,772**	**666**

1　各年度末現在
国保医療課

（2）保険料現年度収納状況の推移

（単位　円）

年度	調　定　額	収　納　額	収納率（%）
3	917,211,200	916,991,400	99.98
4	948,731,200	947,356,600	99.86
5	985,058,400	981,340,742	99.62
6	**1,119,211,700**	**1,116,719,712**	**99.78**

国保医療課

181　共同募金会

（1）共同募金実績

（単位　千円）

区　分	3年度	4年度	5年度	6年度	**7年度**
目　標　額	8,200	8,200	8,200	8,200	**8,200**
募　金　額	6,873	6,974	7,102	6,671	**11,616**
募金実績／目標額（%）	83.8	85.0	86.6	81.3	**141.6**

千歳市共同募金委員会（千歳市社会福祉協議会内）

（2）歳末たすけあい運動実績の推移

（単位　千円）

区　分	3年度	4年度	5年度	6年度	**7年度**
目　標　額	7,500	7,500	7,500	7,500	**7,500**
募　金　額	5,171	4,665	4,623	3,885	**3,953**
募金実績／目標額（%）	68.9	62.2	61.6	51.7	**52.7**

千歳市共同募金委員会（千歳市社会福祉協議会内）

182　日本赤十字社・社資募金の推移

（単位　千円）

区　分	3年度	4年度	5年度	6年度	**7年度**
目　標　額	7,455	7,455	7,455	7,455	**7,455**
募　金　額	8,078	6,338	5,455	5,036	**4,640**
募金実績／目標額（%）	108.4	85.0	73.2	67.5	**62.2**

日赤千歳市地区協賛委員会（千歳市社会福祉協議会内）

183　コミュニティセンター・町内会館等集会施設一覧

（単位　㎡）

種　別	施　設　名	所　在　地	面　積	設置年度
コミュニティセンター	北新コミュニティセンター	新富２丁目１－21	1,212.00	S 48
	北信濃コミュニティセンター	北信濃864－５	824.50	S 51
	富丘コミュニティセンター	富丘４丁目12－16	1,109.21	S 53
	鉄東コミュニティセンター	青葉５丁目８－２	1,256.29	S 55
	千歳コミュニティセンター	東雲町２丁目34	2,313.34	S 58
	泉沢向陽台コミュニティセンター	里美２丁目９－２	1,318.10	S 62
	祝梅コミュニティセンター	弥生２丁目７－10	1,294.91	S 62
	北桜コミュニティセンター	北斗５丁目６－12	1,325.36	H 3
	北コミュニティセンター	釜加362－３	608.68	H 9
	中央コミュニティセンター	中央539－３	609.82	H11
	花園コミュニティセンター	花園４丁目２－５	1,438.25	H24
共同利用施設	東雲会館	東雲町１丁目10	582.49	S 42
	末広会館	末広８丁目６－５	329.55	S 46
	支笏湖市民センター	支笏湖温泉３	612.37	S 61
労働会館	労働会館	東雲町３丁目１	520.40	S 53
町内会館	春日会館	春日町５丁目６－１	155.25	S 45
	青葉丘南町内会館	青葉丘2015－127	97.20	S 48
	青葉２丁目町内会館	青葉２丁目８－13	135.40	S 50
	青葉６丁目町内会館	青葉６丁目11－３	106.92	S 52
	青葉３丁目町内会館	青葉３丁目13－８	126.36	S 53
	釜加第２会館	釜加96－２	33.00	S 53
	長都駅前町内会館	長都駅前３丁目１－４	208.98	S 54
	東雲町連合会館	朝日町７丁目22	149.04	S 56
	本町自治会館	本町３丁目21	131.85	S 57
	白樺町内会館	白樺３丁目７－15	279.34	S 58
	春日町東会館	春日町２丁目９－３	149.88	S 58
	ひばりヶ丘町内会館	北光４丁目１－２	263.95	S 58
	弥生町内会館	弥生２丁目７－２	195.03	S 59
	大和町内会館	大和１丁目７	131.22	S 60
	若葉会館	梅ヶ丘２丁目９	168.51	S 60
	北斗北町内会館	北斗６丁目４	130.00	S 61
	北斗３丁目町内会館	北斗３丁目５	130.00	S 61
	若草町内会館	若草３丁目２－７	230.04	S 62
	北斗２丁目自治会館	北斗２丁目14	130.00	S 62
	栄町東町内会館	栄町５丁目５－４	149.04	S 63
	北斗南町内会館	北斗１丁目８－１	137.70	H 2
	おさつ団地町内会館	北陽３丁目４－４	395.07	H 3
	静和町内会館	北光１丁目２	132.50	H 3
	北栄南町内会館	北栄１丁目24－４	145.80	H 4
	日の出東町内会館	日の出５丁目６－８	118.26	H 6
	新富北町内会館	新富３丁目14	248.91	H 7
	富士町内会館	富士４丁目７－８	249.25	H 8
	朝日町西自治会館	朝日町３丁目13	216.96	H 9
	柏陽町内会館	柏陽２丁目２－５	262.92	H 9
	清流町内会館	清流２丁目４－１	245.94	H10
	里美町内会館	里美４丁目３－10	189.54	H10

（単位　㎡）

種別	施設名	所在地	面積	設置年度
町内会館	北斗西町内会館	北斗４丁目10－13	127.52	H10
	花園町内会館	花園４丁目１－10	193.77	H11
	寿町内会館	寿１丁目７－12	281.52	H11
	自由ヶ丘町内会館	自由ヶ丘３丁目13－11	339.51	H12
	日の出南町内会館	日の出４丁目５	134.15	H13
	あずさ町内会館	あずさ３丁目９－15	277.81	H14
	中央長都町内会館	根志越2758	136.63	H14
	あけぼの団地町内会館	日の出３丁目８	246.49	H14
	富丘３丁目北町内会館	富丘３丁目14	197.91	H15
	新川連合会館	新川225－49	208.68	H15
	祝梅町内会館	祝梅436－４	125.87	H16
	ゆうまいホール	勇舞４丁目11－６	285.62	H16
	青葉丘町内会館	青葉７丁目４－27	177.21	H17
	文京町内会館	文京５丁目４－１	181.35	H18
	住吉北町内会館	住吉３丁目６－３	215.76	H19
	信濃連合町内会館	信濃２丁目18	313.02	H20
	稲穂町内会館	稲穂１丁目７－20	280.26	H21
	末広中区町内会館	末広４丁目５－10	210.95	H21
	東郊町内会館	東郊１丁目５－９	189.22	H21
	朝日町東自治会館	朝日町８丁目1206－295	99.45	H22
	新富西町内会館	新富１丁目23	183.06	H22
	北栄東町内会館	北栄２丁目617－２	218.61	H22
	栄町西区町内会館	栄町1丁目20－10	199.66	H23
	旭ヶ丘町内会館	旭ヶ丘３丁目８－１	251.42	H24
	真々地会館	真々地１丁目７－７	147.42	H25
	桂木町内会館	桂木４丁目６－２	213.73	H27
	桜木町内会館	桜木１丁目７－４	336.96	H27
	福住町内会館	福住３丁目６－１	183.01	H27
	幸福町内会館	幸福４丁目８－１	169.95	H28
	みどり台南町内会館	みどり台南３丁目14－９	323.72	H29
	みどり台北町内会館	みどり台北４丁目２－１	289.83	H29
	駒里町内会館	駒里849－３	221.80	H30
	豊里町内会館	豊里４丁目４	127.53	R４
寿の家	寿の家住吉会館	住吉５丁目７－８	110.16	S52
	寿の家錦町会館	錦町３丁目７－１	115.42	S53
	寿の家末広東区会館	末広２丁目10	140.77	S54
	寿の家幌加会館	幌加170－15	124.21	S56
	寿の家東丘会館	東丘1363－２	149.85	S57
地域会館	富丘集会所	富丘４丁目12	119.43	S45
	大和団地集会所	大和３丁目６	52.65	S47
	泉郷会館	泉郷289－17	353.16	S54
	駒里会館	駒里2231－２	268.92	S56

1　令和８年４月１日現在
市民生活課・支笏湖支所

184　コミュニティセンター利用の推移

名　称	福祉団体利用者	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
北新コミュニティセンター	コミュニティ関係	7,754	10,527	10,152	8,817	7,130
	その他の団体	5,577	7,642	8,526	5,321	8,763
	その他の個人	1,684	1,025	423	657	779
	計	15,015	19,194	19,101	14,795	16,672
北信濃コミュニティセンター	コミュニティ関係	8,111	11,374	10,720	11,577	11,477
	その他の団体	3,876	6,049	4,783	3,354	3,878
	その他の個人	52	11	—	1,252	1,014
	計	12,039	17,434	15,503	16,183	16,369
富丘コミュニティセンター	コミュニティ関係	5,575	7,564	8,692	8,090	6,109
	その他の団体	5,805	7,899	9,126	10,053	15,448
	その他の個人	1,184	2,675	3,147	4,514	4,170
	計	12,564	18,138	20,965	22,657	25,727
鉄東コミュニティセンター	コミュニティ関係	6,190	9,445	9,449	9,141	8,223
	その他の団体	3,027	5,456	6,820	7,799	10,936
	その他の個人	476	895	1,275	1,480	3,311
	計	9,693	15,796	17,544	18,420	22,470
中心街コミュニティセンター	コミュニティ関係	189	—	—	—	—
	その他の団体	5,773	—	—	—	—
	その他の個人	101	—	—	—	—
	計	6,063	—	—	—	—
千歳コミュニティセンター	コミュニティ関係	13,702	26,938	29,506	31,261	29,702
	その他の団体	32,382	25,205	23,132	23,044	21,865
	その他の個人	—	—	—	—	—
	計	46,084	52,143	52,638	54,305	51,567
泉沢向陽台コミュニティセンター	コミュニティ関係	11,103	15,983	15,770	14,743	14,448
	その他の団体	3,121	5,891	6,731	6,557	5,617
	その他の個人	287	546	437	580	597
	計	14,511	22,420	22,938	21,880	20,662
祝梅コミュニティセンター	コミュニティ関係	7,172	10,682	9,850	10,351	9,902
	その他の団体	5,129	6,326	6,694	5,350	5,577
	その他の個人	419	264	244	445	233
	計	12,720	17,272	16,788	16,146	15,712
北桜コミュニティセンター	コミュニティ関係	7,688	13,936	13,813	13,265	13,870
	その他の団体	6,240	6,723	10,328	11,303	10,792
	その他の個人	541	796	739	983	1,301
	計	14,469	21,455	24,880	25,551	25,963
北コミュニティセンター	コミュニティ関係	—	38	—	—	—
	その他の団体	691	902	1,192	1,081	1,434
	その他の個人	—	71	51	58	131
	計	691	1,011	1,243	1,139	1,565
中央コミュニティセンター	コミュニティ関係	—	—	—	110	26
	その他の団体	803	1,204	974	959	1,348
	その他の個人	15	20	116	377	119
	計	818	1,224	1,090	1,446	1,493
花園コミュニティセンター	コミュニティ関係	11,737	17,133	14,642	13,835	12,962
	その他の団体	8,949	10,761	11,416	13,658	17,033
	その他の個人	819	1,546	2,867	1,881	1,520
	計	21,505	29,440	28,925	29,374	31,515
総数		120,088	163,384	222,632	221,896	229,715

1　千歳コミュニティセンター利用者数は市福祉センター保健福祉事業等の利用者を含む

市民生活課・健康づくり課

185　共同利用施設利用の推移

施設名	利用者	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
東雲会館	官公庁	195	39	176	305	184
	町内会関係	29	446	370	476	275
	社会教育団体	1,920	3,133	3,514	3,608	3,249
	社会福祉団体	892	1,079	1,156	1,166	1,238
	その他	2,031	2,901	3,209	3,596	3,941
	計	5,067	7,598	8,425	9,151	8,887
末広会館	官公庁	5,910	12,301	11,497	12,472	11,934
	町内会関係	95	163	301	236	334
	社会教育団体	175	163	121	238	383
	社会福祉団体	29	32	－	－	ー
	その他	243	307	504	517	475
	計	6,452	12,966	12,423	13,463	13,126
支笏湖市民センター	官公庁	306	432	523	325	226
	町内会関係	66	170	384	336	293
	社会教育団体	－	30	0	－	ー
	社会福祉団体	243	292	371	284	164
	その他	275	463	438	452	976
	計	890	1,387	1,716	1,397	1,659

1　各年度末現在
市民生活課・支笏湖支所

186　児童遊園地一覧

遊園地名	設置場所	面積	設置管理者	設立年度
ママチ川児童遊園地	朝日町7丁目	1,634	東雲町連合会	S 43
朝日町青空児童遊園地	朝日町8丁目	339	朝日町東自治会	S 55
長都官舎児童遊園地	北信濃	400	長都官舎町内会	S 46
中央児童遊園地	中央	450	中央連合町内会	S 48
駒里児童遊園地	駒里	1,820	駒里部落会	S 48
日の出丘南団地児童遊園地	日の出4丁目	648	日の出丘南団地町内会	S 50
中央長都児童遊園地	根志越	1,020	中央長都連合会	S 50
平和児童遊園地	本町	5,000	本町南町内会	S 51
長都児童遊園地	長都	1,034	長都連合会	S 52
中長都児童遊園地	長都	162	中長都連合会	S 52
東千歳連合児童遊園地	幌加	725	東千歳四連合会	S 54
新富北第4区児童遊園地	新富2丁目	681	新富北町内会	S 55
北栄官舎遊園地	新富1丁目	1,600	国土交通省北栄官舎自治会	S 56
青葉2丁目児童遊園地	青葉2丁目	319	青葉2丁目町内会	S 56

1　令和8年4月1日現在
都市整備課

187　福祉団体一覧

団体名	代表者
社会福祉法人千歳市社会福祉協議会	井上英幸
千歳市共同募金委員会	九谷田旭
社会福祉法人せらぴ千歳地域生活支援センター	奥貫あい子
日赤北海道支部千歳市地区	横田隆一
千歳市赤十字奉仕団	林弥生
日赤千歳市地区協賛委員会	荒洋一
千歳市スキーパトロール赤十字奉仕団	影山広美
千歳市救急法赤十字奉仕団	加藤亜希子
千歳市無線赤十字奉仕団	桑原均
千歳市点訳赤十字奉仕団	稲生真奈美
千歳市民生委員児童委員連絡協議会	福田博志
千歳市第１地区民生委員児童委員協議会	大崎誠
千歳市第２地区民生委員児童委員協議会	工藤幹栄
千歳市第３地区民生委員児童委員協議会	金井隆幸
千歳市第４地区民生委員児童委員協議会	福田博志
千歳市第５地区民生委員児童委員協議会	正森秀男
千歳市第６地区民生委員児童委員協議会	青木一枝
千歳市第７地区民生委員児童委員協議会	伊藤隆
千歳市第８地区民生委員児童委員協議会	山田孝子
千歳市第９地区民生委員児童委員協議会	明石茂俊
千歳市第10地区民生委員児童委員協議会	伊藤宏之
千歳市第11地区民生委員児童委員協議会	高橋進
千歳市保護司会	宮本正志
千歳更生保護女性会	寺内多寿子
千歳市町内会連合会	荒洋一
千歳市老人クラブ連合会	佐々木昭男
千歳市母子会	大廣奈津子
千歳市子ども会育成連合会	四方信次
日本ボーイスカウト千歳第１団	小林幸治
ガールスカウト北海道第31団	丹波紀美子
千歳市民憲章推進協議会	荒洋一
千歳市各種相談員連絡協議会	天野眞弓
千歳身体障害者福祉協会	古田聖
千歳聴力障害者協会	佐藤義典

団　　体　　名	代　表　者
千歳視覚障害者福祉協会	菊　池　悦　子
千歳市手をつなぐ育成会	青　木　繁　雄
千歳地区ことばを育てる親の会	堀　　美名子
千歳市肢体不自由児者父母の会	岡　田　美智子
千歳市情緒障がい者父母の会	須　田　京　子
ひよこ父母の会	阿　部　裕　美
千歳市つくし会	後　藤　邦　子
全国障害者問題研究会千歳サークル	石　岡　　卓
千歳手話の会	神　能　直　子
千歳ＢＢＳ会	太　田　憲　之
北海道千歳高等学校ボランティア部	北　藤　真　紀
千歳音訳友の会	元　由　由起子
点訳絵本の会	加　来　利　江
北進親の会	細　川　まゆみ
人形劇団「ピッコロ」	東ヶ崎　千　里
北海道公立学校教職員互助会特別会員千歳市支部	末　永　爾　吉
千歳認知症の人と共にあゆむ会（はまなすの会）	佐々木　八重子
千歳市家庭生活カウンセラークラブ	坂　野　睦　実
布の絵本「ゆめの会」	栗　橋　万里子
NPO法人ナルク千歳（ペガサスの会）	田　中　　定
千歳市食生活改善協議会	板　林　光　子
札幌年金受給者協会千歳支部	廣　重　敏　雄
ちとせ映像クラブ	川　端　洋　一
千歳ひまわり号を走らせる会	坂　井　　治
千歳市女性会議	菊　地　利恵子
特定非営利活動法人千歳めいぷるの会	岡　田　美智子
NPO 法人ハートフルネットワークほほえみ	楯　館　　修
ブルーファミリア	目　黒　達　也
千歳市歯科衛生士会	石　上　　優
北海少年院篤志面接委員会	大　郷　栄　治
北海道手話通訳問題研究会千歳・恵庭支部	阿　部　幸　子
秋桜	成　田　けい子
おはなしぐるんぱ	大　瀧　恵　二
NPO法人アシストセンターちえりす	清　水　道　代

団　　体　　名	代　表　者
千歳リトルシニア球団	土　居　弘　志
千歳市退職校長会	温　井　文　雄
千歳市レクリエーション協会	佐久間　良　和
千歳消費者協会	秦　　由　基
北海道樽前岳風会所属千歳支部	渕　上　勝　己
（公社）日本３Ｂ体操協会	小野寺　真　澄
千歳フォークダンスハートフル	佐々木　睦　子
日本ＡＬＳ協会北海道支部千歳支会	澤　口　勇　治
千歳ボランティア通訳クラブ	野　崎　幸　一
千歳・歩こう会	山野辺　　勉
千歳宮城県人会	佐々木　雅　宏
美しい街づくり千歳ネットワーク	後藤田　格　布
すみれ文庫	佐々木　八重子
隆光書道会	山　口　紫　蘭
千歳いずみ学園保護者会	堤　　正　晴
千歳サケのふるさと村教授会	長谷川　　和
千歳要約筆記の会「やませみ」	打　矢　郁　子
公益社団法人千歳地方隊友会千歳支部	末　村　友　幸
北海道理容生活衛生同業組合千歳支部	小　山　道　男
社会福祉法人千歳いずみ学園	荒　　洋　一
千歳市フラワーマスターの会	岡　本　あや子
千歳オカリナ虹の会	福　良　　香
千歳手話サークル　しらかば	山　本　ひとみ
千歳市栄典者清風会	藤　井　　宏
千歳地区協力雇用主会	瀧　　雄　一
ＦＰスペース千歳	北　原　三津代
NPO法人もったいないわ・千歳	岩　本　典　子
千歳市防災マスターリーダー会	北　原　偉　男
社会福祉法人千歳福祉会	奈　良　充　康
千歳市芸能赤十字奉仕団	平　　稔　子
千歳市地域密着型事業所　絆の会	糸　田　純　子
ゆみなクラブ	山　川　澄　子
ちとせ・まち魅力検定実行委員会	山　本　　豊
千歳千年そばの会	中　川　哲　夫

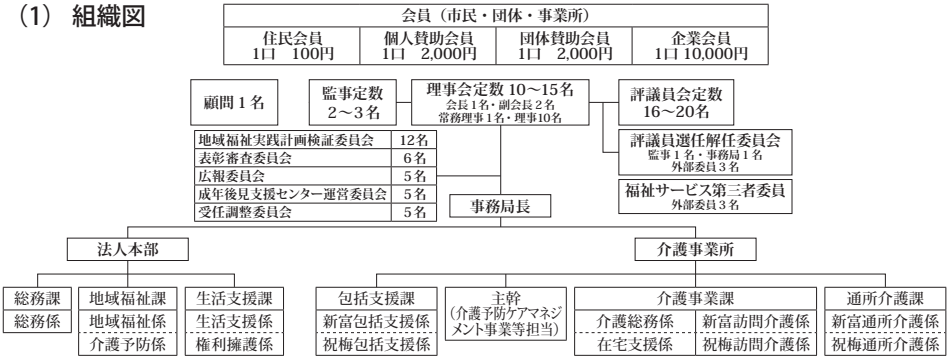
団　　体　　名	代　表　者
MS・スマイルサークル	小　沼　美　幸
千歳権利擁護懇談会（らいとりんく）	古　田　　聖
千歳たばこ小売人組合　女性部	奥　野　智恵子
千歳の自然保護協会	熊　本　進　誠
筆竜胆	星　野　一　郎
千歳山岳会	本　宮　敬　士
特定非営利活動法人北陽保育園	三　溝　理　恵
社会福祉法人恵愛会　住吉認定こども園	登　立　和　紀
男の料理サークル男厨会	中　川　　晃
千歳口風琴倶楽部	川　村　竹　義
一般社団法人 TARUO	山　本　健　二
特定非営利活動法人 フェアリー児童デイサービスみどり台	安　井　みどり
千歳市文化団体連絡協議会	太　田　憲　之
みんなをつなげる会～すべての人がこころのかよう社会を！～	坂　井　　治
特定非営利活動法人ほっとらんど	佐々木　正　明
特定非営利活動法人ビューティフルライフ・サポート	五十嵐　かおり
千歳地区退職者連合	石　野　正　信
楽しもう会	宮　崎　邦　昭
千歳ユネスコ協会	伊　藤　　博
早来アクティブバレーボール少年団	齋　藤　可　奈
コスハマ会	松　永　孝　雄
千歳ゲートボール協会	伊　東　ミツ子
キウス周堤墓群を守り活かす会	大　江　晃　己
ちとせみんなのままカフェ	上　野　かおり
千篁会（いけばな草月流）	國　政　和　代
千歳セントラルロータリークラブ	南　雲　勇　次
千歳ライオンズクラブ千歳子育て支援支部	押　見　尚　子
千歳福島県人会	上　田　政　則
大正琴サークル　キーハープくらぶ	大　和　弥　生
野菊の会	木　村　紀久子
道央農協東千歳支店年金友の会	森　本　元　明
向陽台パークゴルフ同好会	秋　葉　かがり
mixjuice　ちとせ	千　代　　茜
しこつ湖自然体験クラブ・トゥレップ	中　川　　晃

団　　体　　名	代　表　者
フラメンコ同好会アマポーラ	浦　川　博　子

※掲載団体との連絡を希望される場合は、千歳市社会福祉協議会地域福祉課地域福祉係までお問い合わせください
（直通27-2526）
1　令和８年４月30日現在
千歳市社会福祉協議会

188　社会福祉協議会

(1)　組織図



評議員（18）	
医療機関・団体関係	市立千歳市民病院
介護施設・事業所関係	千歳市地域密着型事業所 絆の会
社会福祉法人職員 OB	千歳市社会福祉協議会元職員
更生保護関係	千歳市保護司会
女性団体関係	国際ソロプチミスト千歳
児童福祉団体関係	アリス認定こども園
環境団体関係	千歳市環境整備事業協同組合
経済団体関係	千歳建設業協会
農協・生協関係	道央農業協同組合千歳支店
福祉委員関係	千歳市社会福祉協議会
当事者組織関係	千歳 認知症の人と共にあゆむ会
弁護士・司法書士関係	司法書士事務所
職域団体関係	東千歳駐屯地曹友会
公益事業団体関係	千歳市シルバー人材センター
NPO・市民活動団体関係	ちとせの介護医療連携の会
NPO・市民活動団体関係	千歳市家庭生活カウンセラークラブ
学識経験者関係	北海道千歳高等支援学校
学識経験者関係	北海道千歳リハビリテーション大学

理事（15）、監事（3）	
学識経験者関係	千歳市社会福祉協議会
障がい者関係	千歳身体障害者福祉協会
社会福祉行政機関関係	千歳市職員ＯＢ
学識経験者関係	千歳市社会福祉協議会
民生委員関係	千歳市民生委員児童委員連絡協議会
共同募金委員会関係	千歳市共同募金委員会
赤十字奉仕団関係	千歳市赤十字奉仕団
社会福祉行政機関関係	千歳市保健福祉部
町内会関係	千歳市町内会連合会
老人クラブ関係	千歳市老人クラブ連合会
社会福祉施設関係	千歳地域生活支援センター
防災団体関係	千歳地方隊友会千歳支部
ボランティア関係	千歳市ボランティアセンター（個人）
ボランティア関係	千歳市ボランティアセンター（団体）
学識経験者関係	公立千歳科学技術大学
社会福祉事業経験者	千歳市社会福祉協議会
財務管理経験者	千歳市社会福祉協議会
財務管理経験者	千歳市社会福祉協議会

1　令和８年４月１日現在
2　（　）内は配置人員を示す
千歳市社会福祉協議会

(2)　第８次地域福祉実践計画（令和７年度～11年度）

基本理念「思いやりが根づくまち千歳」

基本目標１　ともに地域を支える人づくり
基本目標２　ともに支え合い、つながる地域づくり
基本目標３　安心して福祉サービスを利用できるしくみづくり
基本目標４　安心して暮らせる地域づくり
基本目標５　地域から信頼される安定した組織づくり

千歳市社会福祉協議会

(3)　重点推進項目

令和８年度事業重点施策

1　ちとせ市民ふくし講座事業
2　若者・働く世代向けボランティア体験事業
3　災害ボランティアセンター運営事業
4　生活支援体制整備事業
5　介護予防センター運営事業
6　重層的支援体制整備事業
7　デイサービスセンター運営事業
8　ほっとす支援事業所運営事業
9　地域包括支援センター運営事業
10　成年後見支援センター運営事業
11　人材育成事業
12　広報活動推進事業

千歳市社会福祉協議会

鮮やかに彩る四季折々の風景

あらまし

令和７年度の市内観光入込客数は209万人と、前年度から24万人増加しました。市内観光入込客数の内訳としては、道外客83万人、道内客126万人となっており、そのうち、39万人が宿泊客、170万人が日帰り客となっています。千歳市は、日帰り中心の近郊型観光地となっていますが、近年では、ホテルの建設が進み、宿泊客の割合も増えています。

訪日外国人宿泊客延数は、26万人と前年度から６万人増加し、コロナ禍以前の水準に回復しました。

鉄道、高速道路、新千歳空港などの優れた都市機能を持ち、人・物・情報が多面的に結び付く千歳市は、国立公園支笏湖を中心に豊かな自然に恵まれているほか、製造過程等を学べる工場見学や体験農園など多様な観光資源に恵まれています。

「見る観光」と「体験する観光」のまち千歳市は、四季折々に支笏湖まつりやスカイ・ビア＆YOSAKOI祭などの多くのイベントも開催されています。中でも千歳・支笏湖氷濤まつりは、毎年多くの観光客が訪れており、令和７年度は約13万人の来場者が美しい氷像を楽しみました。

市内観光の拠点として、市街地にある道の駅サーモンパーク千歳の施設内には農産物直売所や飲食店のほかキッズスペースが、屋外には大型遊具があり、家族連れでにぎわっています。道の駅に隣接するサケのふるさと千歳水族館には、千歳川の水中を直接見ることができる日本初の水中観察室、サケや北方圏の様々な淡水魚を観察できる大水槽のほか、リニューアル時に整備された支笏湖の湖底を再現した支笏湖大水槽があり、令和７年度は約32万人が訪れました。また、水族館の目の前には「インディアン水車」として広く知られているサケの捕魚車があり、秋にはサケの捕獲風景を間近で見ることができます。

観光全般を取り巻く環境が日々変化する中、多様化する旅行スタイルや観光ニーズを見据え、千歳市が有する交通アクセスの優位性と自然・農業・産業など様々な観光資源を生かし、観光客受け入れの

ための環境の充実を図ることで、引き続き地域資源の持続的な発展と
魅力あふれる「観光都市千歳」の形成に努めていきます。



樽前山と風不死岳



支笏湖の桜



支笏湖でのアクティビティ



秋の支笏湖

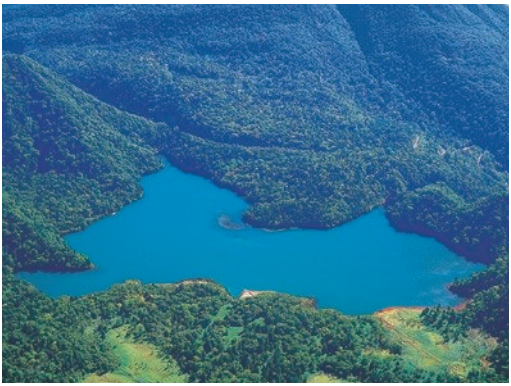


冬の支笏湖



美笛の滝

※現在は進入路が通行止めになっています。



オコタンペ湖

支笏湖周辺マップ



ヤマセミ



アカゲラ



美笛キャンプ場



支笏湖温泉

189　国立公園支笏湖

(1) 支笏湖周辺の概要

支笏湖は、周囲約42㎞、面積約77㎢、最深度約360m（日本第２位）で、洞爺湖とともに昭和24（1949）年に国立公園に指定されています。支笏湖は公園の景観の中心をなすカルデラ湖であり、後志火山群の東端に生成されたカルデラは本来、最大径東西約15㎞・南北約13㎞のほぼ円型をなしていましたが、南岸に風不死岳（1,103m）、北岸に恵庭岳（1,320m）が噴出し、長径13㎞・短径５㎞のほぼ東西に長いマユ型となっています。流入河川（通称：美笛川）、流出河川はともに千歳川で、支笏湖から流れ出た清流千歳川は東へと続き、まちに潤いをもたらしています。

湖は春の新緑に始まり、ヒメマス（チップ）釣り、キャンプ、登山、サイクリング、紅葉で彩られる原始林等、多彩な季節の移り変わりがあり、湖畔にある温泉にも毎年多くの来遊者をみています。

交通も苫小牧市から25㎞、札幌市から50㎞と距離も近く、千歳市からは路線バスも運行しています。

観光課

(2) 風不死岳（1,103m）

風不死岳は、支笏湖の南岸に位置し、山の名はアイヌ語でフップ・ウシ（トドマツのあるところ）から由来しています。その名のとおり、山頂近くまでトドマツやエゾマツ、落葉広葉樹を交える森林に覆われているため、湖水の風景に四季折々の彩りを添えています。

観光課

(3) 樽前山（1,041m）

樽前山は、支笏湖の南岸に位置し、山の原名はアイヌ語でオフイヌプリ（燃える山）、樽前川の原名タオロマイ（高岸あるもの）から由来しています。頂上にはプリン型のドーム（溶岩円頂丘）があることで有名です。これは明治42（1909）年４月の大爆発の際、粘着性の強い酸性の溶岩を噴き出したため、遠くまで流れ出さずに火口近くに盛り上がったもので、高さ約130m最大直径は約450mもあります。樽前山には、以前にも小さなドームがありましたが明治７年の爆発で吹き飛んでしまい、現在のドームができました。僅かな時間にこのような溶岩丘を生じる現象は、西インド諸島のモンプレー火山（1902～1903年溶岩岩尖生成、現在は消滅）や洞爺湖畔の昭和新山（昭和18～20年生成）とともに世界的にも珍しく、学術的にも貴重なもので国立公園特別保護地区に指定されていますが、近年の火山活動の活発化によりドーム周辺が立ち入り禁止等の登山規制がなされています。

観光課

(4) 恵庭岳（1,320m）

恵庭岳は支笏湖の北岸に位置し、山の名はアイヌ語の「エ・エン・イワ」（頭のとがった岩山）から由来しています。支笏湖周辺では最も高い円錐型火山で頂上付近に東向きの火口があり、火口より東方に延長した深い亀裂がポロピナイ沢となって湖岸に達します。この亀裂には数箇所の噴気孔があります。ポロピナイから４㎞、徒歩で上り３時間、下り２時間30分で頂上からの眺望は支笏湖全景と日高山系・石狩平野・札幌などを望めますが、平成15（2003）年十勝沖地震の影響により山頂部の一部が崩落し登山道への落石があり、第２見晴

台（８合目と９合目の間に位置）から山頂までは登山規制がなされています。

観光課

(5) 紋別岳（866m）

麓が支笏湖温泉として展開しているこの山は、上り約２時間、下り約１時間半と比較的短時間で登ることができる山です。山頂には、通信用の鉄塔等が立っており、保守管理用の車道があります。

※一般車両は通行止めになっています。

観光課

(6) 苔の洞門

支寒内の唐沢（からさわ）にあるこの洞門は、1739年の樽前山大噴火の堆積物が浸食されてできた回廊状の地形で、その切り立った両岩壁に約80種類の蘚苔類（せんたい）が密生している様は見事な景観です。

圧倒的に広い面積を占めているのはエビゴケで、次いでタカネツボミゴケ、ジャゴケの順に大きな群落が見られます。この群落は適当な温度、湿度と日照量によって形成されたものとして学術的にも貴重です。2014年８月、日本蘚苔類学会「日本の貴重なコケの森」（日本のコケ100選）に認定されました。

2014年発生の大雨災害により長期閉鎖をしておりましたが、安全性が担保できない状況から、令和元年度に苔の洞門の観光施設としての開放を断念し、今後は人工物の撤去を行い、石狩森林管理署に土地の返地を行うことが決定しました。

観光課

(7) 野鳥の森

野鳥に親しみながら、いろいろな野鳥やその生態について観察し、野鳥から多くのことを学ぶために開放された約100haの森林で支笏湖温泉から中モラップに至る国有林内にあります。野鳥の森の中には、観察のための歩道や、観察舎などが設けられていますが、災害のため、現在は野鳥観察舎から約400m区間のみが利用できます。

観光課

(8) オコタンペ湖（特別保護地区）

北海道３大秘湖といわれるオコタンペ湖は、支笏湖ができた後に恵庭岳の噴出によりこの山の西北麓に生まれた周囲４㎞、湖面標高599m（支笏湖より351m高い）の小さな湖ですが、湖の西には黒々としたエゾマツ、トドマツの原始林に覆われた漁岳、小漁岳の山裾が迫ります。水の色はエメラルドグリーンで、早春の残雪、盛夏の深緑、また、秋の紅葉と四季折々の姿で湖面に彩りを添えているところは、まさに絶景で支笏洞爺国立公園最大の原始境との折り紙が付けられています。

なお、オコタンペ湖は特別保護地区等に指定されているため、立入禁止です。道道78号線沿いに設置されている展望台から見学することができます。

観光課

(9) キャンプ場

ア　モラップキャンプ場

昭和33（1958）年市営野営場として道から移管を受けて開設し、平成９年度からは環境省が所管しています。山頂に溶岩ドームを形成した活火山樽前山を仰ぐこのキャンプ場は、支笏湖一の砂原として都会の喧騒を離れ自然に親しむキャンパーにとって絶好の憩いの場です。

開設期間　４月下旬～10月上旬

施　　設　フリーサイト
炊事場　トイレ　街灯　駐車場　管理棟

利用料金　（ア）キャンプ場管理費（１人１泊）大人 1,300円　小学生以上　700円
４歳以上（幼児）　500円
（イ）キャンプ場管理費（日帰り・１人）　大人　1,000円
小学生以上　500円
４歳以上（幼児）　350円

そ の 他　事前予約制

イ　美笛キャンプ場

通称・美笛川河口付近にあり、道内でも数少ない車の乗り入れができるオートキャンプ場として､昭和52（1977）年７月に開設されています。湖と川と森林に囲まれ、釣り、散策等自然に親しむキャンパーにとって絶好の憩いとなっています。

開設期間　４月下旬～10月下旬

施　　設　管理棟　トイレ　炊事場　街灯

利用料金　（ア）キャンプ場使用料（１人１泊）　市内　大人1,000円　小中学生　500円
未就学児童（４歳以上）200円
市外　大人2,000円　小中学生1,000円
未就学児童（４歳以上）400円
（イ）キャンプ場使用料（日帰り・１人）　市内　大人　500円　小中学生　200円
未就学児童（４歳以上）100円
市外　大人1,000円　小中学生　400円
未就学児童（４歳以上）200円

そ の 他　事前予約制

観光課

190　王子製紙千歳川発電所

支笏湖より流れ出る千歳川の水を落ち口付近で調整し、暗渠（あんきょ）送水路により水溜に誘導、第１発電所へ通します。第１発電所と、その下流約10㎞の間に４か所の発電所を設け出力最大合計37,000kw、平常17,850kwの電力を発生させ、苫小牧工場へ送電しています。

第１発電所は明治43年に完成しましたが、５か所の発電所用建設資材や製紙原料輸送のため苫小牧工場との間に軽便鉄道が通っていました。現在、千歳川落ち口に鉄橋が残り、鉄道跡はサイクリングロードとして活用されています。

第１発電所水溜付近は、春は桜、秋は紅葉と四季それぞれの風景は美しく、谷底を打つ水のこだまと飛び交う小鳥のさえずりなど、訪れた人を魅了します。

発電量などについては**第10章　93　王子製紙千歳川発電所**を参考にしてください。

王子製紙苫小牧工場

191　捕魚車（通称インディアン水車）

ＪＲ千歳駅から東へ約１㎞の距離にある道の駅サーモンパーク千歳に隣接して設置されています。この捕魚車は、（一社）日本海さけ・ます増殖事業協会が遡上するサケを捕獲するために設置しているもので、通称インディアン水車と呼ばれ、千歳の秋の風物詩として知られています。毎年秋になると千歳川を梁でせき止め、１か所だけ魚道を開けておき、その魚道をそ上するサケを水車で捕獲します。

明治29（1896）年、青葉公園下付近に設置されたのが最初で、その翌年に根志越（現在の花園）に移設され、その後千歳川護岸工事に伴い、現在のサケのふるさと千歳水族館側に設置されました。

捕魚車は、伊藤一隆が米国西海岸のコロンビア川水系で実見したもので、ここで捕獲されたサケは国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所さけますセンター千歳さけます事業所に運ばれ採卵受精し、ふ化した稚魚は翌春、千歳川に放流され３～５年で回帰します。千歳事業所では、平成６（1994）年に明治時代のふ化室を再現した「千歳さけますの森さけます情報館」が建設されサケの一生を学習することができます。

観光課

192　道の駅サーモンパーク千歳

サーモンパークを道内で85番目の道の駅として登録したものです。

サーモンパーク内には、淡水では国内最大級の巨大水槽を有し、四季折々に変化する千歳川の中を観察できる水中観察ゾーンでサケをはじめとした様々な淡水魚の生態を観察できる「サケのふるさと千歳水族館」があり、秋には千歳川で「インディアン水車」と呼ばれる水車を利用したサケの捕獲風景を見ることができます。

道の駅では、飲食、物販、案内コーナーなどを集約した地域振興施設の建設や、利用しやすい駐車場の整備などを行い、平成27年８月８日にリニューアルオープンしました。

観光課

193　サケのふるさと千歳水族館

(1) 施設概要

所 在 地　花園２丁目　サーモンパーク千歳内
構　　造　鉄筋コンクリート造　地上３階地下１階
面　　積　建築 1,511㎡　延床 2,992㎡
開　　館　平成６年９月10日
利用期間　通常　午前９時～午後５時　　冬季時短営業　午前10時～午後４時
※年末年始除く（またメンテナンスのため休館している場合あり）
主要施設　地階　世界の淡水魚コーナーや、千歳川の水中を直接見ることができる水中観察ゾーン
１階　北方圏の淡水魚を展示する大・中・小水槽・支笏湖大水槽
２階　展示室・学習室

（公財）千歳青少年教育財団

（2）利用状況の推移

年　度	3	4	5	6	**7**
利用者数	162,854	288,128	269,716	313,547	**321,535**

（公財）千歳青少年教育財団

194　支笏湖遊覧船舶の概要

船　舶　名	トン数	出力（KW）	旅客定員
客船エメラルド（ＦＲＰ）	18	117.68	50
客船サファイア（ＦＲＰ）	17	117.68	50

1　令和８年４月１日現在
北海道運輸局室蘭運輸支局苫小牧海事事務所

195　観光入込客数

（1）市内観光入込客数の推移

（単位　千人）

年　度	観光客入込数			左の内訳		宿泊客延べ数（千人泊）	
	計	道外	道内	日帰り客数	宿泊客数		うち訪日外国人
5	1,895.4	524.9	1,370.5	1,615.6	279.8	347.4	135.1
6	1,845.1	594.7	1,250.4	1,532.3	312.8	386.8	201.0
7	**2,085.0**	**827.1**	**1,257.9**	**1,697.4**	**387.6**	**480.6**	**256.7**

観光課

（2）市街地観光入込客数の推移

（単位　千人）

年　度	観光客入込数			左の内訳		宿泊客延べ数（千人泊）
	計	道外	道内	日帰り客数	宿泊客数	
5	1,183.0	350.4	832.6	1,032.6	150.4	193.8
6	915.8	377.6	538.2	740.0	175.8	227.1
7	**1,050.4**	**459.0**	**591.4**	**798.2**	**252.2**	**326.3**

観光課

（3）支笏湖観光入込客数の推移

（単位　千人）

年　度	観光客入込数			左の内訳		宿泊客延べ数（千人泊）
	計	道外	道内	日帰り客数	宿泊客数	
5	712.4	174.5	537.9	583.0	129.4	153.6
6	929.3	217.1	712.2	792.3	137.0	159.7
7	**1,034.6**	**368.1**	**666.5**	**899.2**	**135.4**	**154.3**

観光課

196　市内宿泊施設の概要

地　　区	施設数	客室数	収容人員
市街地・周辺地区	25	2,958	5,563
支笏湖地区	7	205	705

1　令和８年４月１日現在
観光課

197　ホテル・旅館の概況（地区別）

(1) 市街地・周辺地区

ホテル・旅館名	電　　話	客室数	収容人員
ＡＮＡクラウンプラザホテル千歳	２２－２３１１	438	818
ホテルルートイン千歳駅前	050-5847-7579	330	490
ホテルグランテラス千歳	050-1807-3126	256	415
ＪＲイン千歳	２５－８３５７	185	364
ベストウェスタンプラスホテルフィーノ千歳	４０－００３３	154	362
ポルトムインターナショナル北海道	４５－６０１２	171	342
エアターミナルホテル	４５－６６７７	188	329
ｍｉｎｎ千歳	050-3131-8822	51	321
千歳ステーションホテル	４９－３０００	138	275
クイーンズホテル千歳	２６－０００１	150	245
SMA・MO inn CHITOSE	２８－８８１１	60	240
ホテルクラッセステイ千歳	２５－５８３７	150	221
ＫＯＫＯ　ＳＴＡＹ　千歳	２４－２１１１	153	180
千歳エアポートホテル	２６－１１５５	89	145
ホテルエリアワン千歳	２６－１１５６	55	128
千歳第一ホテル	２７－２０００	119	123
ホテルかめや	２３－２００２	52	103
ホテルラフィナート千歳	２９－３０３０	43	94
ピエス千歳Ｓ１	0120-949-484	26	90
UCHI CHITOSE AJiTO	011-374-4638	17	81
ピエス千歳Ｓ４	0120-949-484	32	64
ビジネスホテルホーリン	２３－１１６６	34	46
千歳ホテル遊悠館	２５－５２２５	35	45
新千歳空港温泉	４６－４１２６	11	22
ＪＲモバイルイン千歳	011-374-4638	20	20

1　令和８年４月１日現在
2　ホテル等名は収容人員順で掲載した
3　**資料２（２）ア**に再掲
観光課

（2）支笏湖周辺

ホテル・旅館名	電話	客室数	収容人員
丸駒温泉旅館	２５－２３４１	55	248
しこつ湖鶴雅リゾートスパ水の謌	２５－２２１１	49	198
休暇村支笏湖	２５－２２０１	38	88
支笏湖第一寶亭留翠山亭	011-598-5252	24	79
しこつ湖鶴雅別荘碧の座	２５－８０２０	25	60
レイクサイドヴィラ翠明閣	２５－２１３１	8	20
雨ノ日と夕やけ	011-598-5252	6	12

1　令和８年４月１日現在
2　**資料２**（2）**イ**に再掲
観光課

198　温泉

温泉名	開湯	住所	泉質	効能
丸駒温泉	大正 4	幌美内	塩化物泉 （含土類・石膏－食塩泉）	神経痛、関節痛、筋肉痛、 冷え性、慢性婦人病等
松原温泉	昭和44	泉郷	含硫黄ナトリウム－塩化物泉 （ナトリウム・塩化物泉）	リウマチ性疾患、神経痛、 皮膚病等
新千歳空港温泉	平成23	美々	ナトリウム・塩化物泉 （弱アルカリ性温泉 Ph8）	神経痛、関節痛、筋肉痛、 冷え性、疲労回復
支笏湖温泉	平成26	支笏湖温泉 （第二号泉源）	ナトリウム－炭酸水素塩温泉 （低張性弱アルカリ性低温泉）	神経痛、冷え性、打撲、 睡眠障害、疲労回復、 皮膚乾燥症等

1　令和８年４月１日現在
2　温泉名は主なものを開湯順で掲載した
観光課





スカイ・ビア＆ YOSAKOI 祭



航空祭



千歳 JAL 国際マラソン





捕魚車「インディアン水車」
とサケのふるさと千歳水族館



千歳・支笏湖氷濤まつり

あらまし

開かれたまちづくり

民主主義が健全に発展していくためには、その基盤ともいえる選挙が正しく行われることが不可欠であり、そのためには、市民一人ひとりが積極的に投票し、政治参加をすることが必要です。

千歳市の令和８年３月１日現在の選挙人名簿登録者数は81,553人であり、選挙執行当日には市内30か所に投票所を設置しています。

令和８年２月８日に執行された第51回衆議院議員総選挙では、解散日から投票開始日まで戦後最短の16日間の日程で行われ、投票率は56.44％と、前回の選挙（令和６年）を4.55ポイント上回る結果となりました。千歳市選挙管理委員会では、有権者の利便性向上と投票機会の拡大を図るため、市の各支所などに臨時の期日前投票所を設置しているほか、大型商業施設「ちとせモール」にも臨時の期日前投票所を設置するなど、より投票しやすい環境づくりに努めています。

このほか、市民の政治や選挙への関心が投票率へつながるよう、引き続き投票期日の周知や期日前投票制度をはじめとする各種投票制度の啓発に努めるとともに、公募による投票立会人、投開票事務従事者の追加登録に加え、満18歳になった方へ選挙人名簿に登録された旨の通知を行っています。

市議会は、市の予算や条例などの重要な事項を審議し、決定する機関です。

千歳市議会の議員数は、段階的に削減が図られており、平成29年５月執行の市議会議員選挙から、それまでの25名を２名削減し、現在は23名となっています。

市議会には、定例会（年４回）と必要に応じて開く臨時会があります。市議会の最終的な決定（議決）は、本会議で行いますが、効率的・専門的な審議を行うために、常任委員会や特別委員会を設置しています。

令和８年４月１日現在、千歳市の行政組織は、市長部局（市立千歳市民病院を含む。）、教育委員会、水道局など計 1,126 人の職員で構成されています。現在は、「第７期総合計画」の将来都市像である

「人をつなぐ　世界をつなぐ　空のまち　ちとせ」の実現に向けたまちづくりを職員一丸となって進めています。

市では、「広報ちとせ」、「市民カレンダー」の紙媒体を全戸に配布するほか、「市ホームページ」、「LINE などのＳＮＳ」、「YouTube による動画配信」など、多様な媒体により、市政の状況を市の内外に向けてお知らせしています。また、広く市民ニーズを把握するため、「市長への手紙」や市のホームページで「市長へのメール」を実施しているほか、パブリックコメントや広報広聴モニター制度を活用し、地域における市民の声を聴く取組を進めています。

このほか、透明性の高い開かれた市政をより一層進展させるため、情報公開制度と個人情報保護制度を運用し、受付から公開・開示までを全庁統一した窓口で対応しています。また、市政情報コーナー及び行政資料室では、各種計画書を始め、「新千歳市史」や「要覧ちとせ」などの行政資料を閲覧することができます。

マイナンバーカード（個人番号カード）を利用したサービスとして、全国のコンビニエンスストアで住民票などの証明書や戸籍証明書を取得できるコンビニ交付サービスのほか、令和６年 10 月からは、申請書の記入が自動で行われる「書かない窓口」や、市役所に行かなくとも証明書の申請が出来る「行かない窓口」を開始しています。

全道の自治体に先駆けて開始したコンビニエンスストアにおける収納サービスでは、水道料金・下水道使用料、市税や保険料などについて取扱っているほか、クレジットカードによる収納サービスでは、水道料金・下水道使用料、市税などについても取扱っています。

さらに、スマホアプリ収納サービスについても、令和２年度から水道料金・下水道使用料、令和３年度から市税や保険料などの取扱いを開始するなど、より利便性の高い行政サービスの提供に努めています。

199　選挙人名簿登録者数の推移

年	総　数	男	女
4	81,951	41,576	40,375
5	81,932	41,635	40,297
6	82,275	41,750	40,525
7	81,786	41,505	40,281
8	**81,553**	**41,362**	**40,191**

1　各年３月１日現在
選挙管理委員会事務局

200　投票区別選挙人名簿登録者数

投票区（投票所）	区域	選挙人名簿登録者数(人)		
		男	女	計
第１(総合福祉センター)	東雲町、朝日町	712	603	1,315
第２(千歳小学校)	本町、真々地、真町、平和、平和防衛省所有、泉沢(一部)	1,731	1,041	2,772
第３(千歳中学校)	清水町、幸町、千代田町、栄町	1,231	1,264	2,495
第４(緑小学校)	錦町、春日町、緑町、大和	2,168	2,221	4,389
第５(北進小中学校)	北栄	795	768	1,563
第６(北新コミュニティセンター)	新富	1,290	1,503	2,793
第７(北桜コミュニティセンター)	北斗、北信濃724番地	1,397	1,143	2,540
第８(信濃小学校)	信濃、富士、北信濃(一部)	2,412	2,262	4,674
第９(桜木小学校)	北信濃(一部)、上長都(一部)、自由ヶ丘、桜木	2,140	2,180	4,320
第10(鉄東コミュニティセンター)	青葉丘、青葉、流通１丁目	1,049	975	2,024
第11(青葉中学校)	住吉、東郊、根志越(一部)、豊里	2,558	2,436	4,994
第12(日の出小学校)	日の出丘、旭ヶ丘１・４丁目、日の出、流通２丁目(一部)	1,018	1,026	2,044
第13(祝梅小学校)	旭ヶ丘２～３丁目、梅ヶ丘、流通3丁目(一部)、弥生１・3丁目、寿１～２丁目	1,664	1,636	3,300
第14(祝梅コミュニティセンター)	祝梅(一部)、弥生２丁目、寿３丁目、根志越(一部)、流通２～３丁目(一部)	1,700	626	2,326
第15(末広中区町内会館)	末広	1,212	1,293	2,505
第16(花園コミュニティセンター)	稲穂、花園	1,545	1,692	3,237
第17(高台小学校)	富丘１～２丁目、高台	1,471	1,717	3,188
第18(富丘コミュニティセンター)	富丘３～４丁目、北信濃(一部)、あずさ	1,652	1,809	3,461
第19(北陽小学校)	北光、北陽、長都駅前１～３丁目、北信濃(一部)、上長都(一部)	2,835	3,012	5,847
第20(勇舞中学校)	勇舞、長都駅前４・５丁目、みどり台北、みどり台南、北信濃(一部)、長都(一部)、上長都(一部)、都(一部)	3,129	3,262	6,391
第21(千歳第二小学校)	祝梅(一部)、根志越(一部)、幸福、清流	2,185	2,272	4,457
第22(桂木町内会館)	蘭越、桂木、新星	939	905	1,844
第23(向陽台小学校)	若草、白樺	1,297	1,420	2,717
第24(泉沢小学校)	泉沢(一部)、柏陽、文京、里美、福住	2,685	2,589	5,274
第25(北コミュニティセンター)	都(一部)、長都(一部)、釜加	130	127	257
第26(中央コミュニティセンター)	中央	35	37	72
第27(泉郷公民館)	泉郷	79	71	150
第28(農民研修センター)	幌加、協和、新川、東丘	140	144	284
第29(駒里公民館)	駒里、美々、柏台、柏台南	112	103	215
第30(支笏湖市民センター)	支笏湖温泉、幌美内、モラップ、藤の沢、奥潭、支寒内、水明郷、美笛	51	54	105
合計		41,362	40,191	81,553
在外選挙人名簿に登録されている在外選挙人の数		7	21	28

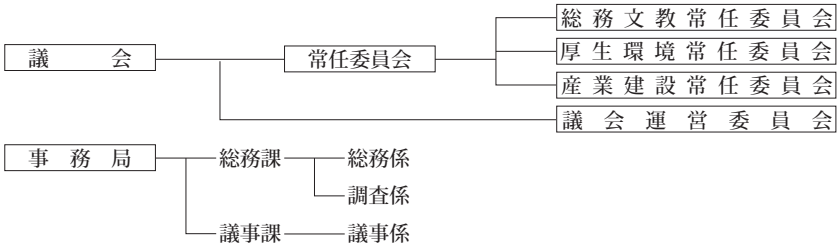
1　令和８年３月１日現在
選挙管理委員会事務局

201　各種選挙投票概要

選挙名	執行年月日	当日有権者数（人）			投票者数（人）			投票率（%）
		総数	男	女	総数	男	女	
衆議院小選挙区選出議員選挙	26年12月14日	76,501	38,721	37,780	43,716	23,221	20,495	57.14
衆議院比例代表選出議員選挙	26年12月14日	76,501	38,721	37,780	43,712	23,218	20,494	57.14
北海道知事選挙	27年4月12日	74,884	37,690	37,194	43,028	22,222	20,806	57.46
北海道議会議員選挙	27年4月12日	74,759	37,594	37,165	42,371	21,835	20,536	56.68
千歳市長選挙	27年4月26日	無投票						
千歳市議会議員補欠選挙	27年4月26日	74,599	37,488	37,111	25,870	14,021	11,849	34.68
衆議院北海道第5区選出議員補欠選挙	28年4月24日	77,008	38,863	38,145	40,582	21,209	19,373	52.70
参議院議員通常選挙	28年7月10日	79,274	40,158	39,116	43,237	22,758	20,479	54.54
参議院比例代表選出議員選挙	28年7月10日	79,274	40,158	39,116	43,237	22,758	20,479	54.54
千歳市議会議員選挙	29年5月28日	77,394	38,873	38,521	37,954	19,452	18,502	49.04
衆議院小選挙区選出議員選挙	29年10月22日	79,940	40,362	39,578	46,004	23,918	22,086	57.55
衆議院比例代表選出議員選挙	29年10月22日	79,940	40,362	39,578	46,004	23,918	22,086	57.55
北海道知事選挙	31年4月7日	78,627	39,613	39,014	43,469	22,032	21,437	55.29
北海道議会議員選挙	31年4月7日	78,439	39,485	38,954	42,465	21,487	20,978	54.14
千歳市長選挙	31年4月21日	無投票						
参議院選挙区選出議員選挙	元年7月21日	81,538	41,408	40,130	41,339	21,371	19,968	50.70
参議院比例代表選出議員選挙	元年7月21日	81,538	41,408	40,130	41,339	21,370	19,969	50.70
千歳市議会議員選挙	3年5月30日	79,383	39,954	39,429	35,740	18,292	17,448	45.02
衆議院小選挙区選出議員選挙	3年10月31日	81,850	41,509	40,341	44,208	23,010	21,198	54.01
衆議院比例代表選出議員選挙	3年10月31日	81,850	41,509	40,341	44,201	23,006	21,195	54.00
参議院選挙区選出議員選挙	4年7月10日	81,973	41,633	40,340	41,300	21,287	20,013	50.38
参議院比例代表選出議員選挙	4年7月10日	81,973	41,633	40,340	41,296	21,286	20,010	50.38
北海道知事選挙	5年4月9日	79,657	40,241	39,416	37,622	18,963	18,659	47.23
北海道議会議員選挙	5年4月9日	79,603	40,205	39,398	37,304	18,792	18,512	46.86
千歳市長選挙	5年4月23日	無投票						
千歳市議会議員補欠選挙	5年4月23日	無投票						
衆議院小選挙区選出議員選挙	6年10月27日	81,994	41,571	40,423	42,545	21,935	20,610	51.89
衆議院比例代表選出議員選挙	6年10月27日	81,994	41,571	40,423	42,544	21,935	20,609	51.89
千歳市議会議員選挙	7年5月25日	79,256	40,016	39,240	34,446	17,255	17,191	43.46
参議院選挙区選出議員選挙	7年7月20日	82,009	41,629	40,380	45,177	23,095	22,082	55.09
参議院比例代表選出議員選挙	7年7月20日	82,009	41,629	40,380	45,173	23,095	22,078	55.08
衆議院小選挙区選出議員選挙	8年2月8日	81,428	41,286	40,142	45,961	23,575	22,386	56.44
衆議院比例代表選出議員選挙	8年2月8日	81,428	41,286	40,142	45,952	23,571	22,381	56.43

選挙管理委員会事務局

202　市議会機構図



1　令和8年4月1日現在
議会事務局

203　議員定数および常任委員会別委員定数

議員定数	常任委員会別委員定数		
	総務文教	厚生環境	産業建設
23	9（8）	7	7

1　令和８年７月１日現在
2　議長は総務文教常任委員会委員を辞退
議会事務局

204　案件別審議概要（令和７年１月～令和７年12月）

区分	開会回数	会期日数	本会議日数	案件 総数	議案	報告	諮問・同意	決議	意見書	請願・陳情	認定	調査
総数	5	84	27	160	99	39	3	1	5	4	10	－
定例会	4	83	26	152	93	37	3	1	5	4	10	－
臨時会	1	1	1	8	6	2	－	－	－	－	－	－

1　案件は議決時点による（請願・陳情は継続審査中を含む）
議会事務局

205　歴代市議会議長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	滝川亮次	昭和33年５月１日	昭和34年４月30日
2代	吉田信一	34年５月１日	44年６月19日
3代	中川英男	44年６月23日	45年１月31日
4代	鈴木助雄	45年２月24日	49年６月24日
5代	村上茂治	49年６月24日	52年６月19日
6代	大矢秀計	52年６月21日	56年６月19日
7代	瀧澤榮八	56年６月23日	60年６月19日
8代	山口吉弘	60年６月25日	平成元年６月19日
9代	園田七五三一	平成元年６月26日	３年６月24日
10代	高野功	３年６月25日	５年６月19日
11代	黒木晃	５年６月29日	５年８月３日
12代	山越勇美	５年８月３日	６年３月14日
13代	山口貞四郎	６年３月14日	９年６月19日
14代	梅尾要一	９年６月27日	11年６月17日
15代	金等	11年６月17日	13年６月19日
16代	梅尾要一	13年６月29日	15年１月15日
17代	中山竹生	15年１月22日	15年６月19日
18代	藤田弘	15年６月19日	15年９月18日
19代	細見正美	15年９月19日	17年６月19日
20代	山本芳郎	17年６月30日	19年６月７日
21代	霍田隆良	19年６月７日	21年６月19日
22代	石川一郎	21年７月29日	23年６月６日
23代	本宮輝久	23年６月６日	25年６月19日
24代	高秀政博	25年６月28日	27年６月３日
25代	香月正	27年６月３日	29年６月19日
26代	古川昌俊	29年６月28日	令和元年６月13日
27代	佐々木雅宏	令和元年６月13日	３年６月19日
28代	山崎昌則	３年６月25日	５年６月19日
29代	坂野智	５年６月19日	７年６月19日
30代	松倉美加	７年６月27日	在任中

1　令和８年７月１日現在
議会事務局

206　市議会議員名簿

氏名	会派	住所	備考
松倉美加	無所属	千歳市文京１丁目	議長
今井ひろみ	参政党	千歳市春日町２丁目４番９-２号	
小川陽平	ちとせ未来クラブ	－	
佐々木昭	ちとせ未来クラブ	千歳市住吉３丁目６番１号	
相沢晶子	無所属	千歳市花園３丁目９番11号	
北山敬太	無所属	千歳市末広３丁目８番16号	
吉谷徹	日本共産党	千歳市信濃３丁目29番15-701	
渡部謙太郎	自民党議員会	千歳市勇舞	
北原偉男	自民党議員会	千歳市旭ヶ丘	
岩満順郎	自民党議員会	千歳市北栄２丁目６番10-２号	
大山益巳	自民党議員会	－	
今野正恵	公明党議員団	千歳市桜木	
平川美由紀	公明党議員団	千歳市弥生	
宮原伸哉	公明党議員団	千歳市北斗３丁目５番７号	
仲山正人	無所属	千歳市長都駅前２丁目	副議長
山口康弘	自民党議員会	千歳市清流１丁目	
山崎昌則	自民党議員会	千歳市豊里３丁目６番16号	監査委員
佐々木雅宏	自民の会	千歳市幌加	
古川昌俊	自民の会	千歳市自由ヶ丘１丁目１番11号	
落野章一	無所属	千歳市栄町１丁目20番地の36	
丸岡伸幸	無所属クラブ（維新・市民）	千歳市白樺２丁目１番地の７	
坂野智	無所属クラブ（維新・市民）	千歳市高台５丁目１番22号	
梅尾要一	無所属	千歳市末広４丁目７番６号	

1　令和８年７月１日現在
2　氏名は議席番号順に掲載した
議会事務局

207　歴代市長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	山崎友吉	昭和33年7月1日	昭和34年4月29日
2代	米田忠雄	34年4月30日	50年3月22日
3代	東峰元次	50年4月27日	62年4月26日
4代	梅沢健三	62年4月27日	平成3年4月26日
5代	東川孝	平成3年4月27日	15年4月26日
6代	山口幸太郎	15年4月27日	令和5年4月26日
7代	横田隆一	令和5年4月27日	在任中

職員課

208　歴代助役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	高橋為次	昭和33年7月1日	昭和34年5月2日
2代	神藤為五郎	34年7月10日	38年7月9日
3代	東峰元次	38年10月1日	50年2月17日
4代	岩瀬正人	50年5月29日	57年11月8日
5代	菅原文彌	58年5月17日	62年5月16日
6代	杉森一身	62年5月17日	平成3年5月16日
7代	小松裕	平成3年5月17日	7年5月16日
8代	松岡信之	7年5月17日	11年5月16日
9代	鈴木修	11年5月17日	16年3月31日
10代	川端正裕	16年4月1日	19年3月31日

1　地方自治法の改正により、平成19年4月から助役制度に代えて副市長制度が設けられた
職員課

209　歴代副市長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	川端正裕	平成19年4月1日	平成19年4月30日
2代	駒澤文雄	19年5月1日	平成27年4月30日
3代	横田隆一	27年5月1日	令和4年12月31日
4代	品田雅俊	令和5年5月13日	在任中

職員課

210　歴代収入役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	新谷喜久夫	昭和33年7月1日	昭和54年12月15日
2代	富永正	54年12月16日	62年12月15日
3代	東川孝	62年12月16日	平成3年1月16日
4代	田中哲	平成3年2月22日	7年2月21日
5代	瀬川賢	7年5月17日	13年3月31日
6代	太田正孝	13年4月1日	16年3月31日
7代	野元和光	16年4月1日	19年3月31日

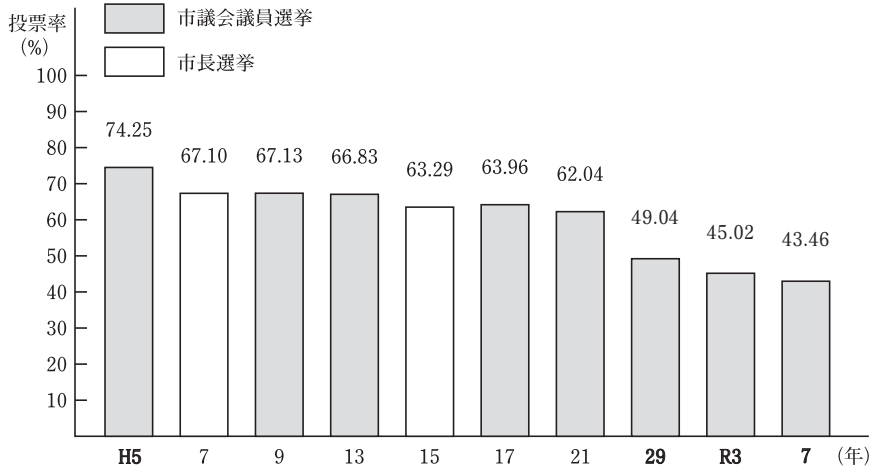
1　地方自治法の改正により、平成19年4月から収入役制度が廃止された
職員課

211　監査委員

職　名	氏　名	選出区分	選　任　年　月　日
委　員	磯　部　進　一	識　見　者	令和８年４月１日
	山　崎　昌　則	議　　会	令和７年６月27日

1　令和８年４月１日現在
監査事務局

身近な選挙投票率



選挙管理委員会事務局

212　行政委員会

(1) 教育委員会

職　名	氏　名	選　任　年　月　日
教　育　長	佐　藤　　勇	令和７年10月１日(新)
職務代理者	荒　井　由紀恵	平成27年10月１日(再)
委　員	杉　本　　功	令和３年10月１日(新)
	曙　　嘉　輝	４年10月１日(新)
	柴　口　史　子	５年４月１日(再)

1　令和８年４月１日現在
教育委員会企画総務課

(2) 選挙管理委員会

職　名	氏　名	選　任　年　月　日
委　員　長	三ツ野　　仁	令和６年３月30日(新)
職務代理者	荒　　洋　一	平成31年２月１日(再)
委　員	五十嵐　克　敏	令和６年３月30日(新)
	鶴　　友　助	令和２年３月30日(再)

1　令和８年４月１日現在
選挙管理委員会事務局

(3) 公平委員会

職　名	氏　名	選任年月日
委員長	川辺　豊	令和７年７月３日(再)
委　員	佐藤大吾	令和５年６月30日(再)
	打矢郁子	令和４年12月17日

1　令和８年４月１日現在
公平委員会事務局

(4) 固定資産評価審査委員会

職　名	氏　名	選任年月日	備　考
委員長	加賀屋　勝	令和７年12月22日(新)	
委　員	奥村　篤	令和６年12月21日(再)	
	井上英幸	令和５年７月21日(再)	

1　令和８年４月１日現在
納税課

(5) 農業委員会

職　名	氏　名
会　長	長島信行
会長職務代理者	片桐好英
委　員	山形繁雄
	川端智之
	金子拓矢
	今　務
	清水利一
	藤田勝久
	野尻　晃

職　名	氏　名
委　員	中島以知子
	平沖道徳
	平井　久
	中村由美子
	佐々木雅宏
	平岡日出男
	三溝健雄
	鈴木弘樹
	宮澤徳夫

1　令和８年７月21日現在
農業委員会事務局

213　市組織図・職員数



	R8	R7	増減
総職員数	1126	1104	22
特別職	5	5	0
一般職	1121	1099	22
うち病院医療職員	290	295	−5

令和８年４月１日現在
再任用職員を含まない
任期付職員を含まない

行政管理課

- 市民病院 319
  - 副院長 33
    - 診療部(内科系担当) 11
      - 診療科(呼吸器担当) 3
        - 内科(呼吸器担当)
      - 診療科(総合診療担当) 2
        - 内科(総合診療担当)
      - 診療科(循環器科担当) 2
        - 循環器科
      - 診療科(消化器科担当) 3
        - 消化器科
      - 診療科(感染対策担当) 1
        - 感染対策担当
    - 診療部(小児科担当) 4
      - 診療科(小児科担当) 4
        - 小児科
    - 診療部(外科系担当) 11
      - 診療科(外科担当) 3
        - 外科
      - 診療科(整形外科担当) 3
        - 整形外科
      - 診療科(眼科担当) 2
        - 眼科
      - 診療科(耳鼻咽喉科担当) 1
        - 耳鼻咽喉科
      - 診療科(皮膚科担当) 2
        - 皮膚科
      - 診療科(救急室担当) 0
        - 救急室
    - 診療部(外科系担当) 3
      - 診療科(脳神経外科担当) 0
        - 脳神経外科
      - 診療科(泌尿器科担当) 0
        - 泌尿器科
      - 診療科(麻酔科兼手術室担当) 2
        - 麻酔科
    - 診療部(産婦人科担当) 3
      - 診療科(産婦人科担当) 2
        - 産婦人科
    - 診療部(透析室担当) 0
      - 診療科(透析室担当)
        - 透析室
  - 感染対策室 1
    - 感染対策課 1
      - 感染対策係
  - 副院長 185
  - 看護部 185
    - 次長(業務・教育担当) 183
    - 次長(医療安全・労務担当) 1
    - 主幹(庶務・研修兼療養支援担当) 2
      - 主査(療養支援担当)
    - 主幹(助産師外来担当) 0
      - 主査(助産師外来担当)
    - 第一外来看護科 10
      - 第一外来看護係
    - 第二外来看護科 9
      - 第二外来看護係
    - 救急外来看護科 17
      - 救急外来看護係
    - 3階東病棟看護科 35
      - 3階東病棟看護係
    - 3階西病棟看護科 33
      - 3階西病棟看護係
    - 4階東病棟看護科 32
      - 4階東病棟看護係
    - 4階西病棟看護科 32
      - 4階西病棟看護係
    - 手術室看護科 12
      - 手術室看護係

- 建設部 65
  - 次長 64
    - 道路管理課 10
      - 管理係
      - 占用係
      - 維持係
    - 市営住宅課 5
      - 住宅管理係
      - 住宅施設係
    - 主幹(市営住宅整備担当) 3
      - 主査(市営住宅整備担当)
    - 建築政策課 6
      - 建築政策係
      - 建築指導係
    - 事業庶務課 8
      - 事業庶務係
      - 事業調整係
      - 用地庶務係
    - 道路建設課 10
      - 道路計画係
      - 幹線道路係
      - 生活道路係
    - 都市整備課 7
      - 公園整備係
      - 公園管理係
    - 建築課 6
      - 建築係
      - 営繕係
    - 建築設備課 8
      - 機械設備係
      - 電気設備係

- 薬局 9
  - 薬剤科 9
    - 薬剤係
    - 薬品管理係
- 医療技術室 47
  - 放射線科 8
    - 放射線係
    - 主査(放射線管理担当)
  - 臨床検査科 12
    - 臨床検査係
    - 視能訓練係
  - 主幹(超音波検査指導担当) 0
  - 臨床工学科 7
    - 臨床工学係
    - 主査(内視鏡等担当)
  - リハビリテーション科 17
    - 理学療法係
    - 作業療法係
  - 栄養管理科 3
    - 栄養管理係
- 患者サポートセンター 11
  - 地域医療連携課 9
    - 地域連携係
    - 医療相談係
  - 入院支援課 2
    - 入院支援係
- 健診センター 2
  - 管理課 2
    - 管理係
- 医療安全管理室 1
  - 医療安全管理課 0
    - 医療安全管理係
    - 主査(医療品安全管理担当)
    - 主査(放射線安全管理担当)
    - 主査(医療機器安全管理担当)

- 消防本部 141
  - 次長 23
    - 総務課 7
      - 総務係
      - 消防団担当係
      - 主査(北海道危機対策局派遣)
      - 〈札幌市消防局派遣〉
    - 財務管理課 2
      - 財務管理係
    - 警防課 5
      - 警防係
      - 防災企画係
    - 予防課 8
      - 予防係
      - 消防設備係
      - 保安係
      - 違反是正係
  - 消防署 117
    - 警備課 28
      - 警備1係
      - 消防装備1係
      - 警備2係
      - 消防装備2係
    - 査察課 13
      - 査察1係
      - 査察2係
    - 救急政策課 2
      - 救急政策係
    - 救急運用課 12
      - 救急運用係
      - 救急1係
      - 救急2係
    - 富丘出張所 11
      - 1係
      - 2係
    - 向陽台出張所 11
      - 1係
      - 2係
    - 西出張所 21
      - 消防1係
      - 救急1係
      - 消防2係
      - 救急2係

- 事務局 29
  - 次長 10
    - 総務課 7
      - 総務係
      - 調整係
    - 施設課 2
      - 施設係
  - 経営戦略室 18
    - 経営企画課 7
      - 財政係
      - 企画係
    - 医事課 7
      - 医事係
      - 情報システム係
    - 診療情報管理 4
      - 診療情報管理係
      - 医師診療支援係

泉郷診療所

支笏湖診療所

公営企業

- 水道局 50
  - 次長 49
    - 総務課 5
      - 総務係
    - 経営企画課 5
      - 財政係
      - 企画係
    - 水道サービス課 7
      - 給排水係
      - 管路管理係
    - 水道整備課 14
      - 水道計画係
      - 水道工事係
      - 水道維持係
      - 水道設備保全係
    - 下水道整備課 17
      - 下水道計画係
      - 下水道工事係
      - 下水道維持係
      - 下水道設備保全係

- 支笏湖温泉出張所 7
  - 1係
  - 2係
- 祝梅出張所 11
  - 1係
  - 2係

教育委員会

- 教育部 51
  - 次長 46
    - 企画総務課 11
      - 総務係
      - 企画係
      - 施設係
      - 小学校
      - 中学校
    - 学校教育課 9
      - 学校教育係
      - 特別支援教育係
      - 主査(特別支援教育学校指導担当)
    - 青少年課 4
      - 生徒指導係
      - 青少年指導係
    - 生涯学習課 6
      - 生涯学習推進係
      - 社会教育係
    - 埋蔵文化財センター 6
      - 管理普及係
      - 調査係
    - 主幹(国指定史跡担当)
    - 学校給食センター 5
      - 業務係
      - 主査(学校給食センター整備担当)
    - 文化施設課 4
      - 文化施設係
  - 学校指導室 4
    - 学校指導課 3
      - 指導係
      - 教職員係

214　主要広報広聴活動

区　分	内　容	活　動　内　容
広報ちとせ	市の仕事についての説明やお知らせ記事を中心に編集。市民の生活に役立つ情報などを掲載	A４版　26ページ オフセット印刷 毎月10日発行
市民カレンダー	ごみの収集や救急当番医などの定期的なお知らせや開催行事を掲載	A２版　オフセットカラー印刷 毎月１日発行
要覧ちとせ	市の現況を統計資料に基づいて紹介	毎年発行　A５版
市役所だより	地域の生活情報紙「ちゃんと」に市役所だより欄を設け、急を要するお知らせ事項を随時掲載	R７年度　13回掲載
声の広報	視覚障がい者の方に市民カレンダー、広報ちとせの内容をカセットテープ・CDに録音して配布	月１回録音
点字版広報	視覚障がい者の方に市民カレンダー、広報ちとせの内容を点字化して配布	月１回点字化
メディアを活用した広報	YouTube等、各種メディアを活用した発信	R７年度　YouTube動画 「ソラタヨムービー」46本
市民相談室	市民の日常生活における問題の解決、相談に当たる	日常生活に関する相談は常時 弁護士による無料法律相談は毎週金曜日
市政懇談会	市民と市理事者が、地域の抱える問題等について懇談（町内会連合会と共催）	
市長相談日	団体等から市政に対する要望などを市長が直接聞いて、今後のまちづくりに反映させる	
広報広聴モニター	市政と市民のパイプ役として13人に委嘱	任期１年間
市長への手紙	広報ちとせに専用の用紙を折り込み市政に対する要望や意見などを受付	毎年実施
市長へのメール	インターネットを活用し、市政に対する要望や意見などを受付	24時間受付
市政相談等	市政に対する団体からの要望などを広報広聴課で随時受付	
パブリックコメント	市の計画等の策定案を事前に公表し、市民からの意見を求め意思決定を行い結果等を公表する手続	R７年度　９件実施

広報広聴課・総務課・市民生活課

215　陳情・請願・要望件数の推移

区　　分	3年度	4年度	5年度	6年度	**7年度**
総　　数	23	25	29	23	**20**
建設関係	3	3	5	4	**5**
衛生関係	—	—	—	—	**—**
公害関係	—	—	—	—	**—**
生活関係	20	17	16	17	**14**
社会関係	—	5	8	2	**1**

広報広聴課

216　法律相談件数の推移

区　　分	3年度		4年度		5年度		6年度		**7年度**	
	市民相談	弁護士相談	市民相談	弁護士相談	市民相談	弁護士相談	市民相談	弁護士相談	市民相談	弁護士相談
総　　数	713	83	829	92	926	100	935	116	**1019**	**142**
金銭貸借関係	33	5	28	7	54	12	45	9	**60**	**14**
土地・家屋関係	56	8	88	20	40	9	89	17	**54**	**10**
財産・相続関係	148	20	145	8	240	16	269	26	**295**	**28**
夫婦・家庭関係	179	14	235	18	179	13	158	13	**180**	**30**
生活に関する問題	203	27	184	24	123	27	136	29	**137**	**27**
交通事故関係	7	1	5	0	10	3	14	3	**10**	**2**
そ　の　他	87	8	144	15	280	20	224	19	**283**	**31**

市民生活課

217　名誉市民

授与年月日	氏　　名	主　な　公　職	備　考
昭和29年9月7日	中川種次郎	千歳外3村戸長、町議会初代議長	逝　去
30年5月1日	渡部栄蔵	村・町議会議員、町議会議長	逝　去
34年9月24日	山崎友吉	町長、初代市長	逝　去
52年3月14日	伊藤　弘	町議会議員、商工会議所会頭、道議会議員	逝　去
53年3月29日	吉田信一	小学校長、町・市議会議員、市議会議長	逝　去
58年9月22日	米田忠雄	市長、道議会議員	逝　去
61年12月22日	松樹亮溪	村助役、選管委員長、社会福祉協議会会長	逝　去
平成元年9月14日	東峰元次	市助役、市長	逝　去
18年6月19日	東川　孝	市収入役、市長	逝　去
令和6年6月18日	山口幸太郎	市長、道議会議員、市議会議員	

1　令和8年7月1日現在
総務課

218　市功労者

表彰年度	功労別	氏名
昭和42	産業功労	・広重定次郎
	産業功労	・戸田菊次
	産業功労	・清水清信
	自治功労	・川合新三郎
	自治功労	・松樹亮溪
	自治功労	・滝川亮次
	自治功労	・谷本亀
	自治功労	・吉田信一
	自治功労	・熊谷正
	自治功労	・前田政太郎
43	自治功労	・吉田峯蔵
	自治功労	故輪島忠三郎
	産業功労	故坂井由太郎
	産業功労	・沢田浅吉
	その他功労	・藤本健太郎
44	自治功労	・高塚憲正
	産業功労	・今要作
	自治功労	故村田貢
	その他功労	・荒川作次
	文化功労	・田村千代枝
45	自治功労	故中川英男
	自治功労	・今与自郎
	自治功労	・高橋為次
	自治功労	・広重貞雄
	その他功労	・田中東作
46	産業功労	・小池金吾
	自治功労	・信田信太郎
47	文化功労	・岸本貞治
48	産業功労	・長島善作
	自治功労	・内村ナツ
49	自治功労	・鈴木助雄
	自治功労	・渡部郁郎
	その他功労	・西野忠義
50	自治功労	・伊藤弘
	自治功労	故佐藤文喜
	自治功労	故登坂修司
51	自治功労	・半田景明
	自治功労	・羽馬聞正
	自治功労	・菅原憲一
52	自治功労	・村上茂治
	自治功労	・氏原輝雄
	産業功労	・大蔵長蔵
53	産業功労	・尚和耕作
	自治功労	故片岡静夫
	自治功労	・神藤為五郎
54	自治功労	・鈴木茂夫
	自治功労	・前田利次
55	社会福祉功労	・沖中顕蔵
	社会福祉功労	・川名重蔵

表彰年度	功労別	氏名
昭和55	自治功労	・植村利三
	産業功労	故右近久雄
56	産業功労	・新谷利恒松
	消防功労	・浅見清八
57	自治功労	故森福善
	自治功労	・唐木田武
	産業功労	・山崎ヱ
58	社会福祉功労	・山本芳久
	自治功労	・新谷喜久夫
	自治功労	・藤居敏雄
	産業功労	故佐々木ヨシ
59	自治功労	故伊賀大二
	社会福祉功労	故山田達二
	社会福祉功労	・北岡体一
	産業功労	・森由太郎
	自治功労	・大橋久雄
	自治功労	・生田崎正義
60	産業功労	・山崎徳雄
	産業功労	・斉藤正三
	教育文化功労	・長見義三
	自治功労	・安澤健次
	自治功労	・廣重兼太郎
	自治功労	・河野有三
61	自治功労	・佐々木孝一
	産業功労	・新沼武雄
	産業功労	・力示武四
	社会福祉功労	・小川豊治
	社会福祉功労	・渡邉富重
62	産業功労	・木村豊次
	自治功労	・佐竹信夫
	産業功労	・近川宗信
	自治功労	・三津谷時男
	保健衛生功労	・中里和夫
	産業功労	・桑島一雄
	産業功労	故古谷一二
63	自治功労	故長内孝信
	保健衛生功労	・和田健次郎
	産業功労	・千代信一
	教育文化功労	・真鍋辰夫
	産業功労	・岩本正生
	産業功労	・小泉磯太
	社会福祉功労	・園部と正き
	産業功労	・前田正榮
平成元	自治功労	・岩瀬正人
	自治功労	・千葉正
	自治功労	・瀧澤榮八
	自治功労	・谷口定士
	自治功労	・本宮義輝
	教育文化功労	故大谷利夫

表彰年度	功労別	氏名
平成2	自治功労	・大矢秀計
	自治功労	・木村與一紀
	社会福祉功労	・杉原婦俊夫
	保健衛生功労	・中村俊進
	産業功労	・千葉美代子
3	自治功労	・西山徳雄
	社会福祉功労	・佐々木明清
	保健衛生功労	・伊勢八郎
	産業功労	・倉内哲
	社会福祉功労	故鈴木政治
4	社会福祉功労	故松原タマき
	自治功労	・金山みき光
	社会福祉功労	・中川忠夫
	社会福祉功労	佐々木滋雄
	保健衛生功労	・西條吉長
	保健衛生功労	・真鍋ツ一
	産業功労	・森本敬一
5	自治功労	・山田秀義
	社会福祉功労	・小財崎正
	保健衛生功労	・山崎本宏
	産業功労	・藤間義光
	産業功労	・曙勝
	産業功労	・藤間千マツエ
	産業功労	故小路文蔵
	社会福祉功労	故中島弘二
	社会福祉功労	故廣重興正
	自治功労	故奥野十郎
6	産業功労	故伊藤慶介
	自治功労	故高塚宗長
	社会福祉功労	故渡邊大修
	社会福祉功労	・中濱忠男
	保健衛生功労	・伊丸岡正
	産業功労	・若山康治
	産業功労	・清水彦
	住民運動実践功労	・中浦正男
7	社会福祉功労	・荒谷康治
	保健衛生功労	・服部忠由
	保健衛生功労	・阿部孟幸
	産業功労	・井坂博
	住民運動実践功労	・花野一仁
8	自治功労	・開発文
	社会福祉功労	・舟生一
	保健衛生功労	・寺山武
	産業功労	・加藤美
	産業功労	・原誠
	消防功労	・細川善
9	自治功労	・長島貞四郎
	自治功労	・山口八重子
	社会福祉功労	・木滑

表彰年度	功労別	氏名
平成9	保健衛生功労	・吉田直子
	産業功労	・小笠原幸雄
	産業功労	・坂井義夫
10	自治功労	・島倉充平
	自治功労	・宮澤一成
	自治功労	・今要吉
	社会福祉功労	・西野義照
	保健衛生功労	・神谷敏夫
	産業功労	・茎津春松之
	産業功労	芳賀慶勝男
	産業功労	故八木茂
	産業功労	故渡部信
11	社会福祉功労	・村井茂徳
	保健衛生功労	・稲場昭雄
	産業功労	・今村孝寛
	教育文化功労	・関重信
	消防功労	・小柳功
12	自治功労	・髙野茂
	社会福祉功労	・川名統一
	保健衛生功労	・佐藤昭治
	保健衛生功労	・遠藤壽夫
	産業功労	・内山敏美
13	自治功労	・根本孝光
	産業功労	・橋場力
	住民運動実践功労	・宮尾昭
14	自治功労	故赤間照美
	社会福祉功労	・小城一朗
	保健衛生功労	・田中儀治
	産業功労	・和田元
	教育文化功労	・林清
15	自治功労	・今勲
	社会福祉功労	藤澤一夫
	産業功労	・近藤勇一
	消防功労	大谷季子
	住民運動実践功労	・里見七五三一
16	自治功労	・園田貞子
	社会福祉功労	・馬場國次郎
	社会福祉功労	故徳満光一
	産業功労	・亀谷徳記
	産業功労	故佐々木馨
17	自治功労	故伊藤保
	社会福祉功労	・冨樫暁吉
	社会福祉功労	・中尾昇
	産業功労	神野井博美
18	自治功労	・石井俊子
	社会福祉功労	・丸山武雄
	社会福祉功労	・榊原睦雄
	産業功労	・山田重昭
	消防功労	・荒川

表彰年度	功労別	氏名
平成19	社会福祉功労	門倉美全
	社会福祉功労	・佐々木繁信
	社会福祉功労	矢島渡
	産業功労	・戸田燊介
20	社会福祉功労	坂本美智子
	産業功労	・落合幸四郎
	産業功労	・上井昭一
	産業功労	・沼山佐太郎
	教育文化功労	・水戸正美
21	社会福祉功労	西澤久
	社会福祉功労	故増田良一
	保健衛生功労	・尾谷透
	産業功労	・髙慶繁博
	産業功労	・岩本久竹生生
22	自治功労	中山厚徳
	社会福祉功労	・福井愛子
	社会福祉功労	蜂谷藤平次
	保健衛生功労	小西謙眞範ツ
	産業功労	・冨樫堅次
23	自治功労	河野良平吉
	社会福祉功労	・長岡忠伸也
	保健衛生功労	・中村ヒロ子
	産業功労	山本邦雄
	産業功労	・今良
24	自治功労	中山信
	社会福祉功労	宮本一代子
	保健衛生功労	・長澤伸昌
	産業功労	・小笠原善一郎
	消防功労	故細越良
25	自治功労	・大古瀬隆
	社会福祉功労	・宮田紀子
	保健衛生功労	赤堀政勝
	産業功労	登坂宏
26	自治功労	霍田
	社会福祉功労	須磨
	社会福祉功労	原
	産業功労	五十嵐

表彰年度	功労別	氏名
平成26	産業功労	・佐々木金治郎
27	社会福祉功労	早坂義人
	社会福祉功労	・鈴木愛子
	産業功労	・中山和朗
	産業功労	・早川信雄
28	自治功労	村上洋子
	社会福祉功労	仲澤和洋
	保健衛生功労	村上忠功
	産業功労	橋爪広征
29	自治功労	・米田忠彦
	社会福祉功労	村本昭子
	社会福祉功労	山内幸子
	産業功労	鈴木英範美
30	自治功労	細見正光良
	自治功労	荒牧律子
	自治功労	山田成士
	社会福祉功労	丸山久雄
	産業功労	近藤秀政博
令和元	自治功労	高瀬正明
	自治功労	川瀧澤順久
	産業功労	斎藤政枝
2	社会福祉功労	五十嵐正雄之
	社会福祉功労	松坂敏泰二
	産業功労	橋本勉
	消防功労	・北國谷ツ子
3	自治功労	伊東ミツ雄
	社会福祉功労	故渡邉鶴敏
	社会福祉功労	伊林資司
4	自治功労	道下光子
5	社会福祉功労	橋爪示文興
	社会福祉功労	力武建常宏
	社会福祉功労	北村田子
6	自治功労	沼田村静
	自治功労	西村男
7	社会福祉功労	今村
	産業功労	

1　令和８年７月１日現在
2　氏名前「・」は逝去を表す
総務課

219　市民栄誉賞受賞者

授与年月日	氏　　名	実　　績	備　考
昭和63年３月30日	房　野　抄　子	第15回冬季オリンピックカルガリー大会スピードスケート女子500m８位入賞	
平成３年７月２日	廣　重　　力	北海道大学第14代学長	逝　去
22年３月28日	穂　積　雅　子	第21回オリンピック冬季競技大会バンクーバー大会スピードスケート女子チームパシュート銀メダル 女子3,000m６位入賞　女子5,000m７位入賞	

1　令和８年７月１日現在
総務課

220　市技能功労者

（1）市技能功労者

表彰年度	氏名	職種
昭和53	阿萱佐竹仲飯金佐伊田古水清中萬伊髙野丹細今上小高五鈴髙花遠千難藤秋長吉石北黒伊南川川梅林坂佐皿髙山小永村岩谷中五竹中生森 部場藤内　塚澤藤藤中館口野島谷藤橋口波越村山林木嵐木橋井藤代波井岡岡川橋谷澤藤　下端澤　本藤方澤本倉井本佐川澤嵐内本杉谷 雄郎郎一ズ清治一春雄助吉三造郎正雄吉郎雄雄男夫夫榮郎治三雄一夫實雄一政二昇藏石一郎吉子一松子雄明勝滿司二榮市价宏雄三訓夫 行幸一福カ　豊君豊鐵鉄龍保優幸常利豊七寅秀秀和實松吉廣卓武信一　英義利清　冨介義京留孟京石歌信正　常　廣　幸成　茂陽　吉 塗左建板美建板左建電自建建塗板塗理洋建建電家板広理自配調自電マ調菓畳理塗自電理自塗理理自　動自車骨鉄 装　築　金　築　築　気動築築装装装仕服築大気工具建術技能整管理動車サ理製造容装整工整容整装容整備事容整備装容整備整備整と製造容金容管金整整組と菓理容板園　築 工官工工容工金官工士工工工工工工師工工工工工工工師工工工士師工工工工師工士師工工工師工士師工工工師工士師工工工士師師 師師師

(2) 千歳市民文化表彰受賞者

表彰年度	千歳市民文化賞		千歳市民文化奨励賞	
	対象部門	氏名又は団体名	対象部門	氏名又は団体名
平成4	芸術（書道）	中川　藤市	芸術（社交ダンス）	青木　貞夫
			教育その他（文化財保護）	登坂　英治
			教育その他（文化財保護）	中本ムツ子
5	芸術（華道）	園部　とき	教育その他（民謡）	千歳民謡連盟
	芸術（書道）	田代　智彦		
	教育その他（文芸）	千歳市民文芸の会		
6	芸術（短歌・書道）	内村　ナツ	芸術（邦舞）	毎床ソヱ子
	芸術（華道）	門脇美穂子	芸術（華道）	千歳華道連盟
			教育その他（学校教育）	千歳中学校吹奏楽部
7			芸術（民謡）	開発　幸治
			芸術（民謡）	千鳥会
			芸術（合唱）	千歳女声合唱団
8	芸術（箏曲）	大谷智恵子	芸術（手工芸）	藤田　令子
	教育その他（ユネスコ活動・郵趣文化）	真鍋　滋夫	教育その他（社会教育活動）	育児グループ玉匂会
9	芸術（文芸）	神出　杉雄	芸術（手工芸）	境　公美子
	芸術（俳句）	市村　正之	芸術（邦舞）	西川鯉智惠（石山智惠子）
			芸術（吹奏楽）	千歳吹奏楽団
10	芸術（民謡）	須川　正直		
	芸術（盆栽）	福田　留次		
	芸術（書道）	有馬　静峰（有馬　良博）		
11	芸術（短歌）	丸山　俊子	芸術（民謡）	福士　優子
			芸術（クラシックギター）	竹形　貴之
12	教育その他（アイヌ文化伝承）	故　小田　イト	教育その他（吹奏楽）	北栄小学校スクールバンド
13	芸術（民謡）	北岡　榮吉	教育その他（リコーダー）	富丘中学校リコーダー部
14	芸術（俳句）	丹野　　茂		
15	芸術（文芸）	森下　　洋	芸術（ピアノ）	鈴木　絢子
	芸術（木彫り）	草彅スミ子		
16	芸術（書道）	藤田　政保		
	芸術（民謡）	太田　義孝		

表彰年度	千歳市民文化賞		千歳市民文化奨励賞	
	対象部門	氏名又は団体名	対象部門	氏名又は団体名
平成17	芸術（文芸）	三好　憙彦	芸術（美術）	千歳美術協会
			芸術（郵趣文化）	久我　昇
18	芸術（邦舞）	毎床ソヱ子		
19	芸術（千歳市文化団体連絡協議会運営）	稲場　昭徳	芸術（吟剣詩舞）	千歳詩道連盟
20	芸術（詩吟）	小松　静子	芸術（和装文化）	齋藤　京
			芸術（民謡）	佐藤テル子
			科学（地域学）	千歳を知る会
21	芸術（文芸）	綾部　清隆		
	科学（電波適正利用活動）	増田　清吉		
22	芸術（絵画）	川名　茂		
	芸術（民謡）	千歳民謡連盟		
23	芸術（民謡）	中野みどり	芸術（工芸）	三浦千津子
			科学（文化財保護）	千歳文化財保護協会
			芸術（書道）	黒百合書道会
24	芸術（詩吟・吟舞）	坂上智恵子	芸術（作詩）	菊地　勝
25	芸術（組織運営）	米田　忠彦	芸術（美術）	亀田くるみ
			芸術（音楽）	北斗中学校音楽部
26	芸術（舞踊）	西川鯉智恵（石山智恵子）	芸術（美術）	福田　真子
27	芸術（美術）	塩谷　博	芸術（美術）	室澤はるか
28	芸術（音楽）	濵崎　計介	芸術（美術）	穂積　佳
29	芸術（美術）	愛澤　光司	芸術（美術）	中山　芽映
	芸術（音楽）	瀬戸山一義	芸術（文学）	栗沢まり（栗林真理）
30	芸術（音楽）	金子　光弘	芸術（美術）	足立　莉菜
	芸術（美術）	奈良　孝秋	芸術（美術）	中山　留位
			芸術（美術）	森本　桂如
令和元	芸術（音楽）	鴨林　三枝		
	芸術（美術）	北島　裕子		
	科学（自然科学）	山下　菊光		
2	芸術（舞踊）	中島　勝己	芸術（美術）	長島ひなた

表彰年度	千歳市民文化賞		千歳市民文化奨励賞	
	対象部門	氏名又は団体名	対象部門	氏名又は団体名
令和2	教育その他（アイヌ文化伝承）	中村　勝信		
3	芸術（手工芸）	鷲見　孝子	芸術（美術）	佐々木聖愛
4	芸術（詩吟）	鶯出　　功		
5	芸術（詩吟）	佐藤　清一		
6	芸術（音楽）	南雲　秀叡		
	芸術（民謡）	山本　芳郎		
7	芸術（華道）	吉岡　精子		
	芸術（音楽）	シャオニャンプロジェクト		
	教育その他（科学技術）	公立千歳科学技術大学 理科工房		
	芸術（工芸）	成冨惠以子		

教育委員会生涯学習課

(3) 市スポーツ賞

年　度	千歳市スポーツ賞	千歳市スポーツ奨励賞	千歳市スポーツ敢闘賞
平成８年度（第１回）	浅　利　作　造 大　矢　秀　計 横　山　國　利	金　谷　志　信	
９年度（第２回）	寺　山　才　一 西　内　　一 友　部　秋　夫		
10年度（第３回）	坂　本　光　令	茂　木　健　二 ミ　ド　ル　千　歳	
11年度（第４回）	工　藤　春　光 北　山　眞　一		
12年度（第５回）	柏　本　博　明 平　井　一　夫		
13年度（第６回）	水　谷　洋　三		
14年度（第７回）			
15年度（第８回）	正　木　一　郎		
16年度（第９回）	佐々木　勝　利		
17年度（第10回）	末　岡　　誠	小　山　佳　祐	佐　藤　拓　真
18年度（第11回）		神出設計ポプリ	

年　度	千歳市スポーツ賞	千歳市スポーツ奨励賞	千歳市スポーツ敢闘賞
平成19年度	田中　實	斎藤　實	
（第12回）	髙橋　富範		
20年度	望月　暎夫	小澤　雄次朗	
（第13回）	中野　次男		
21年度	馬場　弘幸	穂積　雅子	
（第14回）	林　健		
22年度	吉井　光夫	松本　梓	
（第15回）	野田　善郷	山田　那瑠亜	
23年度	西野　正紀		
（第16回）	小林　髙英		
24年度	水島　政子		
（第17回）			
25年度	平山　裕		
（第18回）			
26年度	今野　善行	吉村　優那	
（第19回）			
	綱引　次男		
27年度	為野　宜己		
（第20回）	三上　幸男		
28年度	吉永　悦也		
（第21回）	佐藤　正次		
29年度	石川　一郎		
（第22回）	興梠　三男		
	河村　知明		
	佐伯　修身		
30年度	村井　政孝	渡辺　由香理	
（第23回）	江口　宏		
	山本　晴雄		
令和元年度	高木　是		
（第24回）	大江　晃己		
	森　滿		
	生島　実		
	福田　博志		
２年度	山本　芳郎		
（第25回）	澤田　好広		
３年度	鷹觜　正三		
（第26回）	中村　與志一		
４年度	千葉　英一		
（第27回）			
５年度		荻野　照平	
（第28回）		杉浦　颯太	
６年度	小林　順一	坂本　茂敏	
（第29回）		廣瀬　勇太	
７年度	象谷　敏孝		
（第30回）			

スポーツ振興課

伸びゆくまちの財政

あらまし

令和８年度の我が国の経済は、安定的な物価上昇とそれを上回る持続的な賃金上昇が実現する「成長型経済」への転換を図るに当たり、将来世代への責任を果たす「責任ある積極財政」の考え方の下、経済財政運営を行うこととしており、戦略的な財政出動により官民が力を合わせ「危機管理投資」と「成長投資」を進めて社会課題を解決し、「暮らしの安全・安心」を確保するとともに、雇用と所得を増やし、潜在成長力を引き上げ、「強い経済」を実現していくこととしています。

また、地方財政計画では、通常収支分について、累積した巨額の債務残高を抱えるなど引き続き厳しい地方財政の状況等を踏まえ、歳出面においては、物価高の中での官公需の価格転嫁やいわゆる教育無償化への対応等に必要な経費を計上するとともに、地方公共団体が住民のニーズに的確に応えつつ、行政サービスを安定的に提供できるよう、物価高、社会保障関係費や人件費の増加を適切に反映した計上等を行うこととしており、歳入面においては、地方の一般財源総額について、経済・物価動向等を適切に反映し、令和７年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することとしています。

千歳市の令和８年度の予算は、こうした地方財政計画や景気の動向、国・地方を通じた厳しい財政状況を踏まえ、「第７期総合計画」及び「第２期財政標準化計画」の着実な推進を基本として、人口増加が続く、持続可能な千歳の未来に向けて、直面する課題解決に積極的に取り組むとともに、魅力あるまちづくりに向けた施策を積極的に進めるため、更に、今年は、空港開港100年という大きな節目の年となることから、様々な記念行事を通じて、この特別な年が、市民の記憶に深く刻まれ、次の100年に向けた新たなスタートの年となるよう、「Ⅰ　定住未来戦略パッケージ」、「Ⅱ　2026ちとせ・空港開港　100年記念事業」、「Ⅲ　喫緊の課題のうち、特に重点的に取り組む事業」の３つの項目について予算の重点化を図り、『「空港開港100年」千歳のさらなる百（飛躍）予算』としてとりまとめています。

その結果、一般会計では総額で628億652万6,000円、７特別会計では173億3,434万6,000円、これに３公営企業会計を加えた全会計では1,011億7,641万5,000円となり過去最高の規模となっています。

221　一般会計決算の推移

（単位　千円）

年　度	歳　入（A）	歳　出（B）	差　引（A）－（B）
27	37,446,167	36,689,669	756,498
28	38,542,996	38,069,953	473,043
29	40,921,283	40,847,382	73,901
30	40,243,540	39,753,220	490,320
元	47,304,859	46,554,270	750,589
2	67,940,045	66,949,534	990,511
3	61,191,884	59,920,757	1,271,127
4	54,866,826	53,211,942	1,654,884
5	57,628,413	54,590,145	3,038,268
6	**65,145,855**	**62,991,918**	**2,153,937**

財政課

222　令和６年度決算状況

（1）一般会計　歳入

（単位　千円）

款	予算現額 A	収入済額 B	予算額に対する収入割合 B/A(%)	収入済額構成比(%)
総額	**69,566,223**	**65,145,856**	**93.6**	**100.0**
市税	17,232,200	17,268,102	100.2	26.5
地方譲与税	852,422	871,347	102.2	1.3
利子割交付金	4,000	6,169	154.2	0.0
配当割交付金	32,000	58,777	183.7	0.1
株式等譲渡所得割交付金	43,000	90,712	211.0	0.1
法人事業税交付金	256,000	268,871	105.0	0.4
地方消費税交付金	2,600,000	2,814,320	108.2	4.3
ゴルフ場利用税交付金	66,000	65,421	99.1	0.1
環境性能割交付金	39,000	42,056	107.8	0.1
国有提供施設等所在市町村助成交付金	500,000	484,592	96.9	0.7
地方特例交付金	585,520	585,515	100.0	0.9
地方交付税	6,981,994	7,353,695	105.3	11.3
交通安全対策特別交付金	14,000	12,506	89.3	0.0
分担金及び負担金	121,548	116,562	95.9	0.2
使用料及び手数料	1,208,089	1,255,319	103.9	1.9
国庫支出金	14,146,006	11,322,610	80.0	17.4
道支出金	4,203,254	4,017,565	95.6	6.2
財産収入	2,355,278	2,779,051	118.0	4.3
寄附金	7,159,337	7,498,902	104.7	11.5
繰入金	3,525,074	2,783,892	79.0	4.3
繰越金	2,576,210	2,576,211	100.0	4.0
諸収入	1,454,744	1,390,461	95.6	2.1
市債	3,610,547	1,483,200	41.1	2.3

一般会計　歳出

（単位　千円）

款	予算現額 A	支出済額 B	予算額に対する支出割合 B/A(%)	支出済額構成比(%)
総額	**69,566,223**	**62,991,918**	**90.5**	**100.0**
議会費	223,583	217,099	97.1	0.3
総務費	16,426,451	13,654,304	83.1	21.7
民生費	19,010,768	17,801,861	93.6	28.3
衛生費	2,749,959	2,549,728	92.7	4.0
労働費	45,624	43,924	96.3	0.1
農林水産業費	1,210,167	996,441	82.3	1.6
商工費	2,461,058	1,817,968	73.9	2.9
土木費	5,003,511	4,583,531	91.6	7.3
消防費	1,090,538	1,062,449	97.4	1.7
教育費	7,316,337	6,598,716	90.2	10.5
公債費	4,364,049	4,363,240	100.0	6.9
諸支出金	2,319,342	2,236,563	96.4	3.5
職員費	7,329,939	7,066,094	96.4	11.2
予備費	14,897	0	0.0	0.0

財政課

(2) 特別会計

（単位　千円）

会計名	収入済額	支出済額	差引残高
国民健康保険	7,414,951	7,402,956	11,995
土地取得事業	55,204	54,752	452
公設地方卸売市場事業	62,648	62,488	160
霊園事業	22,725	22,672	53
介護保険	6,064,631	5,926,530	138,101
後期高齢者医療	1,424,003	1,416,772	7,231
計	**15,044,162**	**14,886,170**	**157,992**

財政課

(3) 企業会計

(単位　千円)

会計名	収益的			資本的		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
水道事業	2,486,881	2,236,053	250,828	1,431,869	2,182,245	△750,376
下水道事業	3,734,932	3,521,805	213,127	1,831,988	2,888,493	△1,056,505
病院事業	6,605,821	7,141,119	△535,298	112,000	817,836	△705,836
計	**12,827,634**	**12,898,977**	**△71,343**	**3,375,857**	**5,888,574**	**△2,512,717**

財政課

223　予算状況

(1) 令和７年度

ア　一般会計

(単位　千円)

歳入			歳出		
款	予算額	構成比(%)	款	予算額	構成比(%)
総額	**59,519,163**	**100.0**	**総額**	**59,519,163**	**100.0**
市税	18,169,500	30.5	議会費	220,537	0.4
地方譲与税	844,876	1.4	総務費	8,219,784	13.8
利子割交付金	10,000	0.0	民生費	18,248,480	30.7
配当割交付金	43,000	0.1	衛生費	2,815,745	4.7
株式等譲渡所得割交付金	50,000	0.1	労働費	47,187	0.1
法人事業税交付金	280,000	0.5	農林水産業費	498,168	0.8
地方消費税交付金	2,731,000	4.6	商工費	1,337,636	2.3
ゴルフ場利用税交付金	64,000	0.1	土木費	7,338,214	12.3
環境性能割交付金	45,000	0.1	消防費	1,201,927	2.0
国有提供施設等所在市町村助成交付金	494,000	0.8	教育費	6,673,842	11.2
地方特例交付金	100,000	0.2	公債費	2,934,164	4.9
地方交付税	6,652,000	11.2	諸支出金	2,453,397	4.1
交通安全対策特別交付金	14,000	0.0	職員費	7,490,082	12.6
分担金及び負担金	136,684	0.2	予備費	40,000	0.1
使用料及び手数料	1,300,717	2.2			
国庫支出金	10,973,008	18.4			
道支出金	3,685,556	6.2			
財産収入	1,182,942	2.0			
寄附金	3,725,615	6.2			
繰入金	5,749,753	9.7			
繰越金	60,000	0.1			
諸収入	1,473,412	2.5			
市債	1,734,100	2.9			

イ　特別会計

（単位　千円）

会計名	7年度
国民健康保険	7,968,948
土地取得事業	1,572
公設地方卸売市場事業	70,846
霊園事業	26,177

合計名	7年度
介護保険	6,129,884
後期高齢者医療	1,492,612
土地区画整理事業特別会計	2,936,577
計	**18,626,616**

ウ　企業会計

（単位　千円）

会計名	収益的		資本的	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	2,733,014	2,628,628	520,893	1,324,846
下水道事業	3,727,423	3,651,975	4,481,902	5,414,184
病院事業	7,924,350	8,153,595	140,101	940,275
計	**14,384,787**	**14,434,198**	**5,142,896**	**7,679,305**

財政課

(2) 令和８年度

ア　一般会計

（単位　千円）

歳入 款	予算額	構成比(%)	歳出 款	予算額	構成比(%)
総額	**62,806,526**	**100.0**	総額	**62,806,526**	**100.0**
市税	20,137,200	32.1	議会費	217,180	0.3
地方譲与税	840,178	1.3	総務費	10,270,887	16.4
利子割交付金	52,000	0.1	民生費	19,339,869	30.8
配当割交付金	64,000	0.1	衛生費	3,054,151	4.9
株式等譲渡所得割交付金	57,000	0.1	労働費	54,114	0.1
法人事業税交付金	291,000	0.5	農林水産業費	545,815	0.9
地方消費税交付金	3,240,000	5.2	商工費	1,199,364	1.9
ゴルフ場利用税交付金	68,000	0.1	土木費	4,609,986	7.3
環境性能割交付金	1	0.0	消防費	716,185	1.1
国有提供施設等所在市町村助成交付金	484,000	0.8	教育費	8,574,864	13.7
地方特例交付金	190,000	0.3	公債費	2,967,465	4.7
地方交付税	5,976,000	9.5	諸支出金	2,849,181	4.5
交通安全対策特別交付金	14,000	0.0	職員費	8,367,465	13.3
分担金及び負担金	126,933	0.2	予備費	40,000	0.1
使用料及び手数料	1,335,924	2.1			
国庫支出金	10,983,310	17.5			
道支出金	4,060,321	6.5			
財産収入	1,224,551	1.9			
寄附金	3,738,873	6.0			
繰入金	6,982,704	11.1			
繰越金	60,000	0.1			
諸収入	1,287,531	2.0			
市債	1,593,000	2.5			

イ　特別会計

（単位　千円）

会計名	８年度
国民健康保険	7,842,309
土地取得事業	716,148
公設地方卸売市場事業	73,767
霊園事業	30,898

合計名	８年度
介護保険	6,522,848
後期高齢者医療	1,746,155
土地区画整理事業	402,221
計	**17,334,346**

ウ　企業会計

（単位　千円）

会計名	収益的		資本的	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	2,955,295	2,765,902	1,895,565	2,505,578
下水道事業	4,069,322	4,051,988	1,443,058	2,508,425
病院事業	7,827,269	8,144,672	601,046	1,058,978
計	**14,851,886**	**14,962,562**	**3,939,669**	**6,072,981**

財政課

224　市税収入の推移

（単位　千円）

年度	予算額	調定額A	収入済額B	徴収率B/A（%）	Bの対前年伸長率（%）
27	14,121,600	14,804,927	14,284,870	96.5	0.3
28	14,548,000	15,373,414	14,979,548	97.4	4.9
29	14,761,400	15,236,551	14,893,642	97.7	△0.6
30	15,112,500	15,570,509	15,257,596	98.0	2.4
元	15,631,500	16,045,935	15,824,880	98.6	3.7
2	14,413,800	15,918,280	14,524,196	91.2	△8.2
3	16,598,400	16,857,288	16,659,259	98.8	14.7
4	16,437,400	16,723,325	16,518,385	98.8	△0.8
5	16,800,000	16,993,759	16,787,905	98.8	1.6
6	**17,232,200**	**17,472,908**	**17,268,102**	**98.8**	**2.9**

財政課

225　市税収入の内訳（令和６年度）

（単位　千円）

区分	予算額	調定額A	収入済額B	収入率B/A(%)	Bの構成比（%）
総額	**17,232,200**	**17,472,908**	**17,268,102**	**98.8**	**100.0**
市民税	6,848,800	6,993,237	6,859,307	98.1	39.7
固定資産税	8,032,200	8,105,576	8,049,883	99.3	46.6
軽自動車税	321,400	329,534	322,440	97.8	1.9
市たばこ税	979,000	984,506	984,506	100.0	5.7
入湯税	33,000	32,550	32,550	100.0	0.2
都市計画税	1,017,800	1,027,505	1,019,416	99.2	5.9

1　収入済額には還付未済額を含む
財政課

226　地方債の状況

（単位　円）

区　　分	令和５年度末現在高 A	令和６年度発行額 B	元金償還額 C	令和６年度末現在高 A＋B－C
総　　額	**48,537,431,621**	**3,824,400,000**	**6,014,636,783**	**46,347,194,838**
一般会計	**27,790,213,280**	**1,483,200,000**	**4,282,612,110**	**24,990,801,170**
総務債	1,151,355,928	189,600,000	101,510,386	1,239,445,542
民生債	645,830,354	－	96,924,898	548,905,456
衛生債	1,813,289,992	－	297,212,466	1,516,077,526
農林水産業債	188,452,046	－	14,951,256	173,500,790
商工債	84,866,834	－	13,966,642	70,900,192
土木債	5,665,886,617	574,000,000	709,155,981	5,530,730,636
消防債	563,830,828	135,300,000	103,833,386	595,297,442
教育債	3,491,232,933	584,300,000	300,966,432	3,774,566,501
災害復旧債	56,886,384	－	12,657,765	44,228,619
減税補てん債	43,948,836	－	22,960,132	20,988,704
臨時財政対策債	12,108,595,702	－	1,270,061,188	10,838,534,514
第三セクター等改革推進債	1,298,560,000	－	1,298,560,000	0
減収補てん債	677,476,826	－	39,851,578	637,625,248
特別会計	**66,600,000**	－	**9,054,000**	**57,546,000**
公設地方卸売市場事業会計	66,600,000	－	9,054,000	57,546,000
企業会計	**20,680,618,341**	**2,341,200,000**	**1,722,970,673**	**21,298,847,668**
水道事業	6,821,469,372	1,239,200,000	471,269,726	7,589,399,646
下水道事業	8,873,901,304	1,025,000,000	571,864,396	9,327,036,908
病院事業	4,985,247,665	77,000,000	679,836,551	4,382,411,114

財政課

227　財政力指数の推移

年度	2	3	4	5	**6**
指　数	0.781	0.753	0.740	0.717	**0.711**

1　地方公共団体の財政力の強弱を示す指数で、この数値が１に近く１を越えるほど財源に余裕がある団体

2　財政力指数＝$\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}$（過去３年度間平均値）

財政課

228　経常収支比率の推移

年度	2	3	4	5	6
指　数	89.8	85.8	88.2	87.6	**88.8**

1　地方公共団体の財政構造の弾力性を判断する指標で、比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを示す

2　経常収支比率＝$\frac{\text{経常経費充当一般財源の額}}{\text{経常一般財源の額}}$ ×100（%）

財政課

229　将来負担比率の推移

年度	2	3	4	5	6
指　数	16.6	0.4	－	－	**－**

1　地方公共団体が将来負担しなければならない借入金などに対し、返済し続ける財政力があるのかを示す指標で、市町村の場合、350%を超えると財政健全化団体となる

2　将来負担比率＝$\frac{\text{A}-(\text{B}+\text{C}+\text{D})}{(\text{E}-\text{F})}$ ×100（%）

A ＝将来負担額
B ＝充当可能基金額
C ＝特定財源見込額
D ＝地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額
E ＝標準財政規模
F ＝元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額

財政課

230　実質公債費比率の推移

年度	2	3	4	5	6
指　数	8.2	7.7	7.6	7.4	**7.0**

1　地方公共団体の一般財源に占める公債費や、公営企業債に対する繰出金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債相当額（普通交付税が措置されるものを除く）に充当された割合をいい、この比率が18%を超えると、地方債の発行に際し総務省の許可が必要となる

2　実質公債費比率＝$\frac{(\text{A}+\text{B})-(\text{C}+\text{D})}{(\text{E}-\text{D})}$ ×100（%）
上記の算式による比率の過去３年度間の平均

A ＝元利償還金
B ＝準元利償還金
C ＝元利償還金又は準元利償還金に充てられた特定財源
D ＝基準財政需要額算定額
E ＝標準財政規模

財政課

231　市有財産の状況

（1）公有財産

（単位　㎡）

区　分		土　地	建　物
行政財産		12,827,912.12	470,838.93
内訳	公用財産	758,582.33	55,664.81
	公共用財産	12,069,329.79	415,174.12
普通財産		3,643,184.07	16,014.31
合　計		**16,471,096.19**	**486,853.24**

1　令和７年度末現在
契約管財課

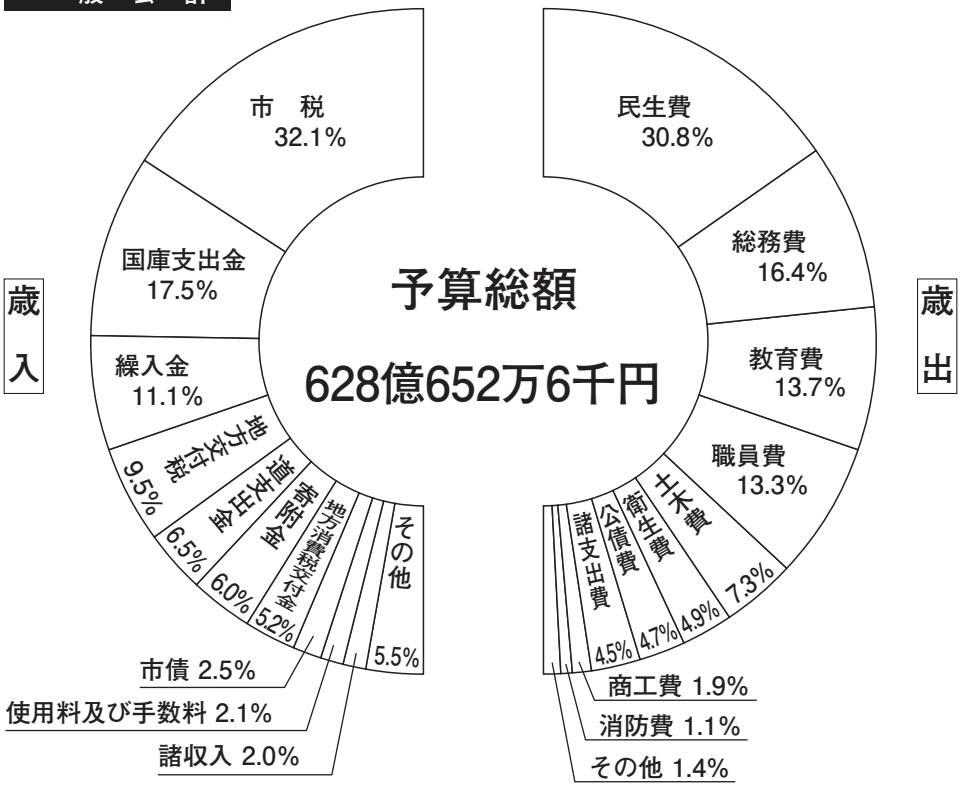
（2）評定価格

（単位　円）

区　分	金　額
有価証券	3,528,554,678
出資による権利	215,189,000
基　金	30,707,936,391

1　令和７年度末現在
会計課

一　般　会　計



〔主な歳入〕

（単位　千円）

区　　分	予　算　額
市　　税	20,137,200
国庫支出金	10,983,310
繰　入　金	6,982,704
地方交付税	5,976,000
道支出金	4,060,321
寄　附　金	3,738,873
地方消費税交付金	3,240,000
市　　債	1,593,000
使用料及び手数料	1,335,924
諸　収　入	1,287,531
そ　の　他	3,471,663
歳入計	62,806,526

〔主な歳出〕

（単位　千円）

区　　分	予　算　額
民　生　費	19,339,869
総　務　費	10,270,887
教　育　費	8,574,864
職　員　費	8,367,465
土　木　費	4,609,986
衛　生　費	3,054,151
公　債　費	2,967,465
諸支出費	2,849,181
商　工　費	1,199,364
消　防　費	716,185
そ　の　他	857,109
歳出計	62,806,526

財政課

地域を守る大きな力

あ ら ま し

千歳市には、陸上自衛隊東千歳駐屯地・北千歳駐屯地、航空自衛隊千歳基地に各部隊が所在しており、市内に居住する自衛官とその家族等は、人口の約25%を占め、町内会活動を始め、スポーツ・文化団体での活動を通して市民生活と大きな関わりあいを持っています。

北部方面隊に属する陸上自衛隊の第７師団は、我が国における陸上自衛隊唯一の機甲師団です。東千歳駐屯地に師団司令部と各部隊を置き、石狩管内南部地区と胆振管内、日高管内、空知管内の一部を警備担当区域とし、北千歳駐屯地にも部隊が駐屯しています。第１特科団は、北千歳駐屯地に団本部と主力が駐屯しており、地対艦誘導弾、多連装ロケットシステムなどを有する野戦砲部隊です。また、第１高射特科団は、東千歳駐屯地に団本部を置く陸上自衛隊最大の高射特科団で、地対空誘導弾を装備し、航空自衛隊と連携して北海道の防空を担っています。

航空自衛隊千歳基地には、北海道の第一線航空基地として、北部航空方面隊に属する第２航空団が所在しています。第２航空団は、戦闘航空団として、北日本全空域の領空侵犯に対処するほか、陸上・海上自衛隊の作戦行動に対する支援にあたっています。また、航空自衛隊千歳基地には、地対空誘導弾などを装備し重要区域を防空する高射部隊のほか、飛行場機能を維持する施設部隊、捜索や救助活動にあたる救難部隊、千歳飛行場と新千歳空港の航空交通管制業務にあたる管制部隊、政府専用機を運用する特別航空輸送隊などが所在しています。

各部隊は、国防の任務にあたっているほか、国際平和協力活動や国際緊急援助活動などに参加し、国際社会の平和と安定に貢献するとともに、大規模災害が発生した際には、人命救助、生活支援などの災害派遣活動を行っています。また、各種イベントの開催や支援を通して、地域社会との密接な関係を築いています。

さらに、自己完結組織の特性を生かし、防災会議や総合防災訓練などにも積極的に参加するなど力強い存在となっています。

自衛隊組織の見直し等により人員が減少した場合、北方の守りや災

害発生時の対応に不安が生じるほか、地域経済やまちづくりにも深刻な影響を及ぼします。このことから、千歳市では、自衛隊の現体制の維持、強化に努め、自衛隊が有する機能と人材などを生かした共存共栄のまちづくりを進めています。

232　陸上自衛隊

（1）第７師団編成組織

第七師団	東千歳駐屯地	師団司令部及び師団司令部付隊	
	東千歳駐屯地	第11普通科連隊	千歳
	北千歳駐屯地	第７１戦車連隊	室蘭・登別・伊達・豊浦 壮瞥・洞爺湖
	北恵庭駐屯地	第７２戦車連隊	夕張・恵庭・北広島・南幌 由仁・長沼・栗山
	南恵庭駐屯地	第７３戦車連隊	苫小牧・白老
	東千歳駐屯地	第７特科連隊	厚真・安平・むかわ・日高・平取
	静内・東千歳駐屯地	第７高射特科連隊	新冠・浦河・様似・えりも・新ひだか
	東千歳駐屯地	第７後方支援連隊	
	東千歳駐屯地	第７施設大隊	
	東千歳駐屯地	第７通信大隊	
	東千歳駐屯地	第７偵察隊	
	東千歳駐屯地	第７情報隊	
	丘珠駐屯地（札幌飛行場）	第７飛行隊	
	東千歳駐屯地	第７化学防護隊	
	東千歳駐屯地	第７音楽隊	

1　部隊名の後の地名は警備隊区担当市町村を表す

陸上自衛隊第７師団



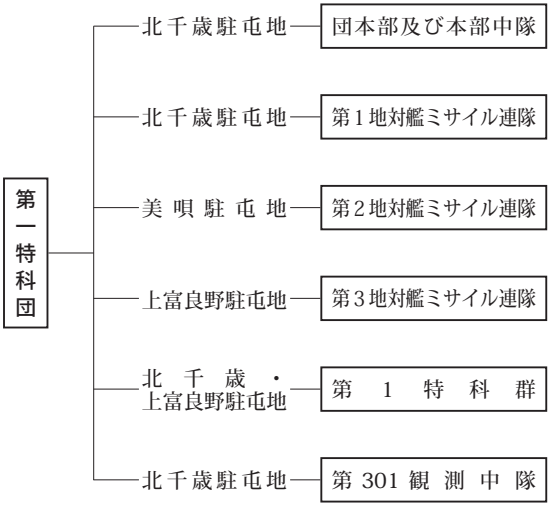


(2) 第１特科団編成組織

主要装備　88式地対艦誘導弾システム
多連装ロケットシステム　対砲レーダ装置等





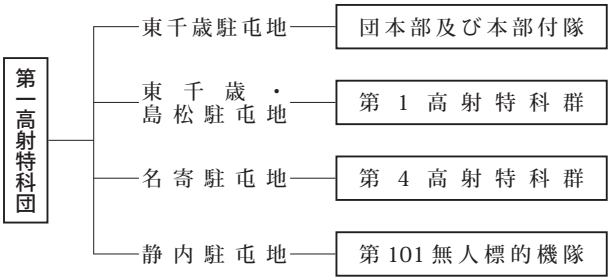


陸上自衛隊第１特科団

(3) 第１高射特科団編成組織

主要装備　対空戦闘指揮統制システム(ADCCS)Ⅰ型　対空レーダ装置(P-25)
改良ホーク(改善Ⅲ型)　対空射撃用目標システム





陸上自衛隊第１高射特科団

233　航空自衛隊

(1) 千歳基地所在部隊編成組織

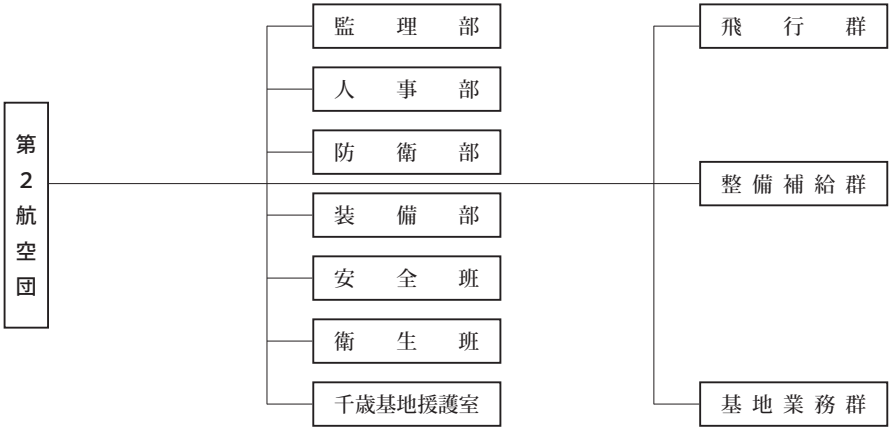
千歳基地	第２航空団	北部日本全空域を防空するとともに領空侵犯に対処する部隊（F－15J／DJ・T－4）
	北部警戒管制団 第１移動警戒隊	移動用レーダーでレーダーサイト防空網を補完する部隊
	北部高射群 第１指揮所運用隊	高射隊を統制する部隊
	北部高射群 第１整備補給隊	高射隊の整備・補給及び輸送業務の一役を担う部隊
	北部高射群 第９高射隊	重要防空地域へ侵入する目標を地対空誘導弾で防空する部隊（ペトリオット）
	北部高射群 第10高射隊	重要防空地域へ侵入する目標を地対空誘導弾で防空する部隊（ペトリオット）
	北部航空施設隊 第２作業隊	千歳飛行場の除雪、航空自衛隊関連施設における支援作業などを行う部隊
	航空救難団 千歳救難隊	事故機の捜索・救助、緊急物資輸送や災害派遣に従事する部隊（UH－60J　U－125A）
	航空戦術教導団 基地防空教導隊	基地防空部隊の教導を担当する部隊
	航空保安管制群 千歳管制隊	千歳飛行場と新千歳空港の航空管制業務を24時間体制で行う部隊
	航空気象群 千歳気象隊	航空気象観測を担当し、航空機の飛行運用を支援する部隊
	特別航空輸送隊	政府専用機を運航する部隊（B－777－300ER）
	航空システム通信移動通信群 第３移動通信隊	各基地間、災害派遣現場等との間に臨時通信網を確保する部隊
	航空警務隊 千歳地方警務隊	道内に所在する航空自衛隊の部隊に対して主に司法警察業務を担当している部隊

1　（　）は主要装備
航空自衛隊千歳基地（危機管理課）



(2) 第２航空団編成組織

配備航空機　F－15J／DJ戦闘機　T－４練習機



航空自衛隊千歳基地（危機管理課）



(3) 千歳飛行場施設概要

千歳飛行場は、防衛省が設置・管理する航空法第56条の４による共用飛行場です。

面　積　約1,060万㎡

滑走路　東側滑走路　全長3,000m　幅60m（セメントコンクリート舗装）
西側滑走路　全長2,700m　幅45m（アスファルトコンクリート舗装）

1　**表63**に再掲
航空自衛隊千歳基地

要覧ちとせ

資　　料

1　千歳市第７期総合計画

2　コンベンション都市　千歳

3　姉妹都市交流

4　友好親善都市交流

5　その他の交流

北海道千歳市

1　千歳市第７期総合計画

第１章　序論

1　計画策定の趣旨

これまで千歳市では、昭和38年（1963年）の「千歳市総合建設計画」から「千歳市第６期総合計画」まで、６期にわたって「総合計画」を策定し、総合的かつ計画的なまちづくりを進めてきました。

その後、平成23年（2011年）の地方自治法改正により、総合計画の基本部分となる「基本構想」の策定義務が廃止され、総合計画の策定は各自治体の任意によるものとなりましたが、全国的に少子高齢化や人口減少が進み、社会経済情勢等が急速に変化する中、まちの持続的な発展と市民生活の向上を目指すため、「千歳市第７期総合計画」を策定し、令和の時代を迎えた千歳市の新たなまちづくりの指針とします。

2　計画の位置付け

千歳市では総合計画を次のように位置付けます。

（1）まちづくりの最上位計画

千歳市のまちづくりにおける最上位計画とし、分野別の個別計画を策定する際には、その方向性等について、総合計画と整合を図ります。

（2）市内外にまちづくりの方向性を示す計画

行政内部はもとより、市民や他の自治体等に対し、千歳市の特性や長期的な展望に基づくまちづくりの目標とその実現方法を示すものとします。

（3）行政運営の指針となる計画

まちづくりに関する全ての分野を対象とし、総合的かつ計画的な行政運営を行うための指針とします。

（4）市民等の活動を支える計画

行政と市民や市民活動団体等の協働により、まちづくりを進めていくため、市民等に対し、まちづくりへの参画方法や活動に対する支援の方向性を示すものとします。

3　計画策定の視点

千歳市第７期総合計画の策定に当たって重視した点は次のとおりです。

（1）千歳市が持つ資源・特性を生かし、持続的な発展を目指す計画

千歳市は、道内において数少ない人口増加を続けるまちです。今後も、「住みよい・過ごしやすい 魅力的なまち」として発展するためには、千歳市の持つ資源や特性を最大限に生かすとともに、持続可能な財政基盤を確立することが必要です。

そのため、千歳市の強みや弱みを踏まえた選択と集中によるまちづくりを進め、持続的な発展を目指す計画としました。

（2）わかりやすく実効性のある計画

限られた経営資源の中、まちづくりを効果的に進めていくためには、市民にまちづくりの目標をわかりやすく示すとともに、実効性のある計画とすることが必要です。

そのため、この計画が目標とする「まちの姿」を市民がイメージできる計画とするとともに、財政計画や行政評価と連動しながら効果的・効率的に事業を展開する計画としました。

（3）社会経済情勢等の変化に対応できる計画

千歳市第７期総合計画の計画期間半ばには、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となるほか、新千歳空港の民間委託やボールパーク構想など、市内外で大型事業が進められており、千歳市を取り巻く環境は大きな変革期を迎えます。

また、情報通信技術や国際化などが想定を上回るスピードで進展しており、これら社会経済情勢等の変化を敏感にとらえ、適切に施策を展開できる計画としました。

（4）多くの声を反映させた計画

「住みよい・過ごしやすい 魅力的なまち」を目指すためには、市民がどのようなまちを望んでいるのかを把握することが重要です。

千歳市は、転出入が多いほか、市外から通勤・通学している方も多く、また、市内に居住する外国人が増加傾向にあるなど、千歳市に求められるニーズは多様化しています。

そのため、幅広い年代の市民や市内で活動する各種団体、市外から千歳市へ通勤・通学している方、公募市民を委員とする都市経営会議などから多くの「声」を集め、多様なニーズに対応できるまちの実現を目指す計画としました。

4　総合計画の構成と期間

千歳市第７期総合計画は、「基本構想」と「実施計画」により構成します。

また、総合計画に定める各種施策・事業のうち、人口増加に特化したものを「人口戦略プロジェクト」と位置付け、これを千歳市における地方版総合戦略とします。

（1）基本構想

基本構想は、千歳市を取り巻く社会動向や地域の現状と課題、市民の声などを踏まえ、目指すべき将来都市像や人口の将来展望、まちづくりの基本目標、それに向けた施策展開について基本的な考え方や方向性を示しています。

基本構想の目標年次は令和12年度（2030年度）としますが、社会経済情勢の急激な変化や人口の将来展望を大きく見直す必要が生じたときなどは、必要に応じて見直しを行います。

（2）実施計画

実施計画は、基本構想を実現するための施策や事業等を示しています。

実施計画の計画期間は３年間とし、社会経済情勢や市民ニーズ、事業の進捗状況や施策の評価結果、財政状況等を踏まえ、毎年見直しを行います。

なお、人口戦略プロジェクトは、実施計画の一部であり、まちの活力の源である人口の増加を維持するため、分野横断的に取り組む施策や事業を示しています。

第２章　新たなまちづくりに向けて

１　時代の潮流

人口構造の変化に加え、急速に進む情報化や国際化など、我が国を取り巻く環境は大きく変化しています。

千歳市のまちづくりについても、これら時代の潮流を踏まえ、的確に対応していくことが必要です。

（１）人口構造の変化

日本では、平成20年（2008年）をピークに人口減少が始まっており、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、令和47年（2065年）には、人口が約8,808万人になるとされています。

総人口が減少する中、65歳以上の高齢者は増加を続け、令和18年（2036年）には国民の３人に１人が高齢者になると推計されています。その後、令和25年（2043年）には高齢者人口が減少に転じるものの、高齢化率は上昇を続け、令和47年（2065年）には38.4％に達し、国民の約2.6人に１人が高齢者になると推計されています。

一方、合計特殊出生率は1.5を下回る状況が続いており、人口減少と少子高齢化が進展する中で、国内経済の縮小や労働力不足、社会保障制度における支える人と支えられる人のアンバランス化などが日本経済に大きな影響を与えることが懸念されています。また、地域や家庭における介護力が低下し、高齢者が高齢者を介護する「老老介護」がより深刻になっていくことも問題視されています。

人口の推移を地球規模でみると、日本のように人口減少が進む国がある一方、アフリカを中心に急激に人口増加が進む国もあり、国連の推計では、世界の総人口は令和元年（2019年）の77億人から令和12年（2030年）には約85億人に、さらに令和32年（2050年）には約100億人に達する見込みとなっています。

（２）情報化の進展

スマートフォンやタブレット等が普及し、ＡＩ（人工知能）などＩＣＴ（情報通信技術）が日々進化する中、ＩｏＴ（身の回りのものがインターネットとつながること）により、日常生活で便利さを感じることが増えています。

また、様々な産業において、労働力不足への対応や知識・技術の継承、ニーズの多様化への対応などにＩＣＴが活用されています。さらには、場所を問わず、手元の端末から全世界に情報発信することが簡単にできるようになり、新たなコミュニケーションやビジネスの機会が広がっています。

経済面では、電子マネーやスマートフォン等で支払いができる環境が普及し、世界中でキャッシュレス化が急速に進展しています。

このような中、国は、目指すべき未来社会の姿として、狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く5番目の社会「Society 5.0」を掲げ、ＩＣＴ等を活用し、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済の発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会の実現に取り組んでいます。

ＩＣＴによって、日常生活が便利になった一方、インターネットを通じた犯罪やトラブル、個

人情報の流出、情報格差が発生するなど、新たな社会問題が生まれています。

（3）新型コロナウイルス感染症の拡大

令和元年（2019年）12月に中国湖北省で初めて確認された新型コロナウイルス感染症は、その後、欧米を中心に感染が広がり、令和２年（2020年）９月末までに全世界で3,300万人以上が感染し、100万人以上が死亡するなど、世界的な大流行（パンデミック）となりました。

日本では、東京都や大阪府など、大都市圏を中心に新型コロナウイルス感染症が拡大し、医療機関や介護施設等で集団感染（クラスター）が発生したほか、マスクや消毒液、手洗い石鹸が店頭から姿を消すなど、国民の生活に大きな影響を与えました。

また、北海道は、感染者の増加を受け、国に先駆けて独自の「緊急事態宣言」を打ち出すなど、感染拡大防止に取り組みました。

その後、国は、全都道府県を対象に「緊急事態宣言」を発出し、国民に外出の自粛や「３つの密（密閉・密集・密接）」を避けるよう呼びかけ、全国の小中学校や高等学校が一斉に休校となったほか、企業等に対し、休業要請やテレワーク、テレビ会議の導入などにより、人と人との接触機会を大幅に削減するよう求め、これにより、仕事や働き方など、国民の生活スタイルが急速に変化することになりました。

国内外における移動制限や東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする各種イベントの延期・中止等により、航空会社や飲食店、宿泊施設など、国内経済に大きな影響が生じており、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化に伴う国及び自治体の対策や、収束後の経済復興に向けた迅速な取組が求められています。

（4）国際化の進展

日本を旅行などで訪れる外国人は急増しており、平成30年（2018年）には3,000万人を超えました。

令和２年（2020年）には、新型コロナウイルス感染症拡大により、訪日外国人は減少に転じましたが、感染症の収束後には、訪日外国人の増加が期待されています。

また、新たな在留資格の創設などにより、日本国内で働く外国人が今後更に増加していくことが予測されています。

一方、海外を訪れたり、海外で働く日本人も増えており、国を越えて、様々な国籍の人たちが行き来することが珍しくない時代になっています。

このような「人」を通じた国際交流等の拡大によるメリットはたくさんありますが、その一方で、感染症等の世界規模での拡大や、国際的な犯罪・テロなどの発生が懸念されます。

経済面においても国際化が進んでいます。関税撤廃など貿易の自由化は進む傾向にあり、海外に「日本」を売り込むチャンスが拡大していますが、国際競争の激化により、従来関税によって保護されてきた国内生産品の売上低下が懸念されています。また、海外においては関税を引き上げて自国の生産者を保護しようとする動きも見られます。

（5）地球環境の変動

人間が地球環境に与える負荷は高い状況が続いており、環境問題は年々深刻化しています。

中でも、大気中にある二酸化炭素やメタン、フロンなどの温室効果ガスが増えることにより、気温の上昇や地球全体の気候が変化する「地球温暖化」が進んでおり、気象庁や世界中の研究機

関では、このままの状況が続くと21世紀末には世界全体の年平均気温が約４℃高くなると予測されています。このような中、平成４年（1992年）には、大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させることを究極的な目的とする「気候変動に関する国際連合枠組条約」が国連で採択されましたが、地球温暖化の進展に歯止めをかける状況には至っていません。

このような中、平成27年（2015年）12月、フランスのパリで開催された第21回国連気候変動枠組条約締結国会議（COP21）において、令和2年（2020年）以降の温室効果ガス排出削減等のための新たな国際枠組みとして「パリ協定」が採択されました。

また、国では令和元年（2019年）６月、「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」を策定し、最終到達点としての「脱炭素社会」を掲げ、野心的に今世紀後半のできるだけ早期に実現することを目指し、「環境と成長の好循環」を実現することとしています。

また、プラスチックごみによる海洋汚染が世界中に広がるなど、気候変動以外でも地球規模の環境問題が起こっています。

（６）国土強靭化の取組

世界的な気候変動に伴い、日本においても大型の台風や局所的な短時間豪雨等が頻発しており、各地で甚大な被害が発生しています。また、地理的・地形的要因から大地震や火山噴火等の大災害もこれまで多く発生しており、その都度、多くの人命が失われ、莫大な経済的・社会的・文化的損失を被ってきました。

このような中、国は、大規模自然災害等から人命を守るとともに、経済社会が致命的な被害を受けることなく迅速に復旧することができる、強くてしなやかな国づくりを目指した「国土強靭化」や地域防災対策を進めており、地方自治体においても、地域の特性に合わせた国土強靭化の取組が求められています。

（７）価値観や生活様式の多様化

社会経済の変化とともに、一人ひとりが持つ価値観やライフスタイルの多様化が進んでおり、近年では、多様な価値観を持つ人たちへの理解を深め、配慮しようという動きも広がっています。

また、人種や民族、国籍、社会的地位、障がいの有無など、多様性を認め合う「ダイバーシティ」や、一人ひとりの個性を価値あるものと評価し、社会全体で包み込むように迎え入れる「インクルージョン」の考え方が尊重されるようになり、実際に、教育や福祉、環境整備、ビジネスの場などで、これらの考えに基づいた取組が広まっています。

また、量より質を重視する価値観が普及し、精神的な豊かさや生活の質の向上を求める人が増えており、コト消費の拡大や多様な働き方ができる社会づくりに向けた取組が進められています。

（８）地方創生の推進

国内の総人口が減少する中、東京圏への人口集中が進んでいます。

国は、地方での雇用創出や大都市から地方への新しい人の流れをつくるとともに、結婚・出産・子育ての希望をかなえ、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる「地方創生」を推進していますが、都市への人口集中は続いており、人口だけでなく税収面などで大都市と地方の間の格差が広がっています。

人口減少と少子化に歯止めがかからない中、将来的に存続できなくなるおそれがある自治体が指摘されており、今後、更に進む人口減少が、自治体運営に大きな影響を与えることが予測されています。

その一方で、地方創生を推進し、地域価値の創造・再生を図り、新たな活力を生み出している自治体もあり、これからの自治体には、地域の特性を生かした政策立案に加え、地域力を生かした近隣自治体・企業等との連携やシティセールスに関する力が問われています。

（9）持続可能性（サステナビリティ）の確保

生物やそれを取り巻く自然環境の保護など、環境分野で用いられることが多かった「持続可能性」という概念は、より多くの分野で用いられるようになっています。

世界では、地球の持続可能性が危ぶまれている中、平成27年（2015年）に、17のゴール（目標）と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）」が国連で採択されました。ＳＤＧｓの達成に向けて、地球環境を守りながら、多様性と包摂性のある社会の実現に各国が取り組んでおり、日本でも、ＳＤＧｓに基づく取組が企業や自治体で進められています。

また、厳しい財政状況が続く国や地方自治体では、「持続可能な財政運営」をいかに実現するかが大きな課題となっています。

人口減少、少子高齢化によって税収が減少する一方、社会保障費や老朽化が進む公共施設の更新費用、多発する自然災害への対応・対策にかかる費用は増加傾向にあります。

収入の増加が見込めない中、支出は増え続けることが予測されており、福祉施策やインフラの整備など、公共事業を進めるうえで、「健全化」に加え「持続可能性」が重要な視点となっています。

2　千歳市の資源・特性

千歳市には、多彩な人材や空港、自然、工業団地などの“資源”に基づく、多くの“特性”があり、これらを最大限に生かしたまちづくりを進める必要があります。

（1）位置・地勢

千歳市は、北海道の中南部、石狩平野の南端に位置し、札幌市や苫小牧市など４市４町に隣接しています。札幌市へは北へ40km、ＪＲ千歳線の快速電車で約30分と至近距離にあります。

また、千歳市は東西に長く、面積は594.5k㎡で東京23区とほぼ同じ面積となっており、市域の西部は、山岳地帯で支笏湖地域一帯は支笏洞爺国立公園に指定され、中央部の市街地には、住宅や商業施設、新千歳空港など都市機能が集中しており、東部は丘陵地帯で自然豊かな農業地帯となっています。

さらに、千歳市は道内でも降雪量が少なく、雪による被害が比較的少ないほか、平成30年（2018年）の北海道胆振東部地震でも道路や公共施設などに大きな被害はありませんでした。

（2）北海道の一大交通拠点

新千歳空港は、北は稚内、南は沖縄まで、国内の主要空港と結ばれており、国内線乗降客数は2,000万人を超え、羽田空港に次ぐ国内第２位となっています。

国際線は、アジアを中心に20都市以上と結ばれ、年間乗降客数は380万人を超えています。

都市間輸送を担うＪＲ千歳線は、ＪＲ北海道の最大幹線となっており、道内主要都市へのアク

セスに優れています。

また、道路については、高速道路２路線と国道６路線、道道14路線がネットワークを形成しています。

さらに、鉄道及び道路で直結した苫小牧・室蘭には国際拠点港湾があり、北海道における「空・陸・海」をつなぐ一大交通拠点となっています。

（３）豊かな自然

千歳市の西に位置し、市民の誇りである支笏湖は、その高い透明度から、環境省の湖沼水質測定結果で、これまで20回も全国１位に輝いています。

また、支笏湖の周辺には樽前山や風不死岳、恵庭岳などの山々が連なっているほか、北海道三大秘湖とも呼ばれるオコタンペ湖を有するなど、千歳市は自然の宝庫です。

さらに、東部には自然豊かな農業地帯が広がり、市街地中央部には、市民の憩いの場である青葉公園に加え、毎年サケが遡上する清流千歳川をはじめとする恵まれた水資源を有しており、千歳川支流の内別川は、市民の飲み水として貴重な水源となっており、環境省の名水百選に選ばれています。

（４）多様な企業が立地する工業都市

千歳市は、空・陸・海の交通ネットワークが結びつく一大交通拠点としての優位性や豊富な地下水などを生かし、11の工業団地を有しています。

工業団地には、260社を超える企業が立地しており、自動車、半導体、食品、飲料、物流、研究施設など、多岐にわたる生産・流通拠点が形成されています。

（５）道内有数の農業生産地域

千歳市の農業は、大規模経営と近代化が進められており、農業産出額は石狩管内第１位となっています。

また、畜産業も盛んで、鶏卵産出額は道内第１位となっています。

さらに、都市部の人が農業地域の人たちと交流し、農業体験などを楽しむグリーン・ツーリズムも推進されており、農家レストランや観光農園など、観光型農業も盛んに行われています。

（６）日本有数の防衛施設が所在するまち

千歳市には、２つの陸上自衛隊駐屯地と１つの航空自衛隊基地が所在しているほか、航空機エンジンの性能試験等を行う千歳試験場や広大な北海道大演習場を有するなど、日本における北方の防衛拠点となっています。

また、市内に居住する自衛隊員とその家族等は人口の約25％を占めており、災害時の支援や町内会活動、スポーツ・文化活動などを通じて市民生活と深い関わりを持っています。

（７）豊富な文化財

千歳市には、令和２年（2020年）にユネスコ世界遺産に推薦された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産である「国指定史跡キウス周堤墓群」をはじめ、数多くの埋蔵文化財があります。

また、「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」や「泉郷獅子舞」などの無形文化財も伝承・保存されており、これまで先人たちが築いてきた歴史を身近に感じることができます。

3　市民の評価と意向

総合計画の策定に当たり、まちづくりの評価や意向を把握するため、市民や中学生・高校生・大学生等を対象にアンケートを実施しました。

（1）市民アンケート

無作為抽出した18歳以上の市民3,000人を対象として実施した市民アンケートでは、千歳市の「住みごこち」については約８割が肯定的な評価であり、「定住意向」については７割以上が今の場所に住み続けたいと評価しています。

①　住みごこち

千歳市の住みごこちについては、「どちらかといえば住み良い」が49.0％で最も多く、次に「住み良い」が28.4％で続きます。この２つを合わせると77.4％となり、約８割が『住みごこちが良い』と評価しています。

②　定住意向

市民の定住意向については、「今の場所に住み続けたい」が71.6％で最も多くなっていますが、「市内の別の場所に移りたい」や「市外に移りたい」という回答がそれぞれ１割前後を占めており、その理由として、買い物の不便さのほか医療や福祉面への不安などをあげています。

（2）中高生・大学生等アンケート

千歳市の暮らしに関する総合評価について、中学生は「とても良い」と「どちらかといえば良い」がほぼ同率で約４割ずつを占めています。一方、高校生は「どちらかといえば良い」が約半数（49.0％）、大学生は「どちらかといえば良い」が４割弱（38.2％）でそれぞれ最多となっており、「とても良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた割合は、低い年代ほど高くなっています。

第３章　目指す都市像

1　基本理念

大正15年（1926年）、当時の千歳村民が総出で原野に一本の着陸場を造り、小樽新聞社（現 北海道新聞社）所有の「北海」第１号が着陸しました。千歳における空港の始まりです。

このことを原点として、千歳市民には、事に当たっては一致団結するという開拓精神がまちづくりの根底に脈々と流れています。

このような千歳の発展の歴史や、先人が時を重ねて守り続けてきた貴重な財産、また、支笏湖をはじめとする豊かな自然を、かけがえのない子どもたちの未来へ確実に受け継いでいく必要があります。

近年は、国際化や情報化の進展に加え、ライフスタイルの多様化など、社会情勢の変化が極めて速く、日々の変化に敏感に対応する必要があります。

また、豊かな自然環境や豊富で良質な水、北海道内にとどまらず世界に通じる良好なアクセス性など、千歳市が持つ特性や資源、優位性を最大限に生かし、まちの魅力や利便性をさらに高めるとともに、積極的な情報発信に努め、まちの勢いを一層加速させることが重要となっています。

「まちの活力、発展の原動力は“人”」です。

人口の増加を維持し、目標に向かって市民や企業、行政が一体となって取り組むことは、活発な市民活動や企業活動を生み、そのことがさらなるまちの活力となり、これから活躍する人たちが将来に夢を持てるような新しい魅力を創ります。

このことから、引き続きまちの勢いを持続し、このまちに暮らす市民がお互い支え合い「幸せ」を感じ、「住みやすい」、「住んで良かった」と思える、活力あるまちづくりを推進します。

本計画においては、将来にわたり人口増加が続く活気あふれるまちづくりに向け、次の時代を担う若い世代の方々の様々な意見や、国際都市として多様な価値観を受け入れながら、市民の誇りである新千歳空港や支笏湖及び周辺の山々、また、豊富で澄んだ水が流れる千歳川や内別川など、変わることのない千歳らしさを保ちつつ、全ての市民にとって住み良く、安全で安心できる魅力的なまちとしていくことを基本理念とします。

2　将来都市像

基本理念に基づき、人口増加が続く活気あふれるまちづくりを目指す千歳市の将来都市像を次のとおりとします。

人をつなぐ 世界をつなぐ
空のまち ちとせ

「人をつなぐ」……　人口の増加を維持し、多彩な市民や企業、団体、行政が互いにつながり支え合いながら、人と活力、魅力があふれる“幸せを感じるまち”

「世界をつなぐ」……　まちの勢いを持続し、人や企業が新千歳空港を通じて世界とつながり、国籍を問わず多様な人・価値観を受け入れる“開かれたまち”

「空のまち」……　村民の手によって造られた一本の着陸場を原点とする開拓精神や空港とともに歩んできた歴史をまちの誇りに、空港とともに成長・発展し、人と物が活発に行き交う“活力あふれるまち”

3　人口の将来展望

（1）千歳市の人口の現状

・千歳市の人口は昭和33年（1958年）の市制施行以来順調に増加を続けており、令和2年（2020年）10月１日現在の人口は、98,122人となっています。

・年齢３区分別に人口の内訳を見ると、年少人口（０～14歳）は減少傾向、生産年齢人口（15～64歳）は横ばいで推移しています。また、65歳以上の老年人口は年々増加傾向にあり、令和２年度（2020年度）における高齢化率は23.1％となっています。

・千歳市の転入者及び転出者は、それぞれ毎年、人口総数の約６％にあたる5,000～6,000人で推移しており、近年は増加傾向にあります。

・千歳市の出生数は減少傾向にあり、令和元年（2019年）には10年前と比べ約100人少ない

812人となっています。また、合計特殊出生率も低下傾向にあり、平成29年（2017年）に全国平均を下回りましたが、令和元年（2019年）には、再び全国平均を上回る水準へ回復しています。

（2）将来人口

千歳市は、全国的に人口減少が進む中、人口増加を続ける数少ないまちです。

また、新千歳空港や支笏湖など多くの特性や優位性を有する発展の可能性に満ちたまちであり、今後も、空港の発展や新たな企業の誘致、教育環境・住宅環境の充実等に取り組むとともに、デジタル化のさらなる推進や、ＩＣＴを活用した新しい働き方など多様なニーズへの積極的かつ柔軟な対応等により、まちの魅力をさらに高めていくことが必要です。

本計画では、人口増加が続く活気あふれるまちづくりに向け、人口増加に特化した施策や事業を“人口戦略プロジェクト”と位置付け、転入超過数の維持や出生数の回復などに戦略的に取り組み、道央圏の中核都市として、さらなる「高み」を目指すこととし、令和12年（2030年）における千歳市の将来人口を10万人とします。

（3）目指す方向性

① 雇用の創出や教育環境、住宅環境の充実等に取り組み、“人口の定着、転入者の増加”を目指します。

② 結婚や出産、子育てに関する希望をかなえる環境づくりに取り組み、“出生数の回復”を目指します。

③ 千歳市が持つ多くの観光資源や地理的優位性などを生かして“交流人口の拡大”や“関係人口の創出”を目指します。

4 国土強靭化の推進

我が国は、その国土の地理的・地形的・気象的な特性から、これまで数多くの災害に見舞われてきました。近年では、気候変動の影響から、大型台風の発生や局所的な短時間豪雨等による被害が頻発・激甚化しており、各地で甚大な被害が発生しています。また、大地震や火山噴火等の大災害もこれまで多く発生しており、平成23年（2011年）に発生した東日本大震災では、未曽有の大災害を経験し、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策の総合的・計画的な実施が重要になりました。

この教訓を踏まえ、国は平成25年（2013年）６月、「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靭化基本法」を制定しました。

また、この法律に基づき、平成26年（2014年）６月に策定した「国土強靭化基本計画」では、「人命の保護」、「国家・社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持される」、「国民の財産及び公共施設に係る被害の最小化」、「迅速な復旧復興」を基本目標とし、「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会の構築に向けた「国土強靭化」（ナショナル・レジリエンス）を推進することとしています。

一方、千歳市においても、台風による大規模な倒木や土砂崩れ、地震による市内全域の長時間停電（ブラックアウト）など、これまで想定していなかった事態が発生しています。さらに、支笏湖周辺には活火山である樽前山と恵庭岳が存在し、中でも樽前山は、現在も噴気活動を続けており、

注意が必要であるほか、市街地中央部には千歳川をはじめとする複数の河川が流れていることから、浸水等の発生にも備える必要があります。

また、国内外の航空路線が就航する新千歳空港を有し、道内各地の主要都市を結ぶ鉄道や高速道路網が整備され、北海道における交通の要衝となっている千歳市では、今後も災害等による様々な被害により、市民生活や社会・経済活動に多大な影響が及ぶことが想定されます。

このことから千歳市においても、国が策定した国土強靱化基本計画と整合を図りながら、地域の特性に合わせた国土強靱化の取組を推進します。

5　土地利用の基本方針

（1）土地利用の基本方向

千歳市は、東西に細長い行政区域を持ち、東から西に向かい、生産性の高い「農業地域」、空港や鉄道を中心に人口の９割以上が居住する「都市地域」、山岳、湖などの自然環境に恵まれた支笏洞爺国立公園支笏湖地域をはじめ、広大な国有林等を主とする「森林地域」及び「自然公園地域」で構成されています。

また、千歳市の特徴として市街地の東・西・南の三方に防衛施設が位置しているとともに、国・公有地が総面積の約75％を占めるなど、土地利用に制限があります。

近年の経済等のグローバル化、地球環境問題の進行や少子高齢化・人口減少等を背景に、持続可能なまちの発展を目指すためには、自然環境の保全を図りつつ、有効かつ適切な土地利用を進めていくことが重要です。

このことから、土地利用の基本方向を次のとおりとします。

① 環境と経済の調和を基本とし、市民が生き生きと暮らし、各種産業が展開できる社会の実現を目指し、地域の特性などを十分に踏まえながら、都市地域・農業地域・森林地域及び自然公園地域ごとに適正な土地利用を図ります。

② 自然環境の保全を図りつつ、市民の生命及び財産を災害から守り、安全で安心な生活を確保するための都市基盤の整備について、総合的かつ計画的に進めます。

③ 将来の人口減少社会に備えて、既存施設や低未利用地などの有効活用を基本とし、成熟した都市形成を推進します。

（2）地域類型別の土地利用の基本方向

都市地域、農業地域、森林地域及び自然公園地域の土地利用の基本方向は、次のとおりとします。

① 都市地域

・市街地については、将来の少子高齢化・人口減少に対応した、豊かで暮らしやすい都市形成を目指し、安全で快適な都市生活のために必要な都市機能の適正配置や既存施設・低未利用地などの有効活用、利便性の高い交通環境の確保を推進します。

・住宅系市街地については、無秩序な拡大を抑制することとし、低未利用地の有効活用を推進することを基本としますが、環境保全上の観点への配慮や農林業との十分な調整を図り、市街地整備の見通しが確実になった市街化調整区域について、市街化区域への編入を検討します。

・工業系市街地については、今後も企業誘致を推進し多様な産業の集積を目指し、低未利用地の有効活用を進めるほか、地域産業の活性化等を踏まえ、新千歳空港周辺の都市的土地利用の可能性について検討します。
・商業系市街地については、無秩序な拡大を抑制することとし、低未利用地の有効活用を推進することを基本とします。
・自然災害などに対する安全性を高めるとともに、地域の実情を考慮しながら、災害に強い都市構造の形成を図ります。
・良好な都市景観の創出などにより、美しくゆとりある都市環境の形成を推進します。

② 農業地域
・生産性が高く魅力ある農業経営を目指すため、土地改良や排水整備など優良農地の確保に努めます。
・農村における景観の維持・形成を図るとともに、適正な農用地利用に配慮しながら、地域資源の特性を生かした都市と農村の交流を促進する環境づくりに努めます。

③ 森林地域及び自然公園地域
・支笏洞爺国立公園に指定されている支笏湖及びその周辺地域については、貴重な動植物、山岳、湖沼、景観などの優れた財産を保護するとともに、観光や自然体験・学習等の場として、環境との調和に努めながら計画的な利用に努めます。
・国有林をはじめとする原生的な森林や貴重な動植物が生息・生育する森林については、自然環境の維持と保全に努めます。
・国立公園以外の良好な自然を形成している地域については、将来にわたって市民がその恵みを享受できるよう、自然環境の適切な保全と調和を保った適切な利用に努めます。

第４章　まちづくりの基本目標

［基本目標１　あたたかさとつながりを心で感じられるまち］

目標とするまちの姿

・子どもから高齢者まで、また、一人暮らしから大家族まで、それぞれの年齢やライフスタイルで生活している誰もが、お互いの理解を深め支え合うことができる「あたたかさとつながりを心で感じられるまち」を目指します。

［基本目標２　豊かな自然を育み快適で住みよいまち］

目標とするまちの姿

・身近な生活空間から支笏湖を包む大自然まで、千歳に広がる豊かな自然環境を継承し、快適に暮らすことができる「豊かな自然を育み快適で住みよいまち」を目指します。

［基本目標３　災害や危険から暮らしを守るまち］

目標とするまちの姿

・災害への備えの意識や日常生活と隣り合わせにある交通事故、犯罪などを未然に防ぐ意識を日頃

から高め合い、安全・安心なまちづくりを着実に進め、被害を最小限に抑え、災害時もみんなで助け合い、困難を乗り越えることができる「災害や危険から暮らしを守るまち」を目指します。

［基本目標４　充実した学びと豊かな文化・スポーツのまち］

目標とするまちの姿

・教育環境の整備を進め、幼児期から生涯にわたって市民が生き生きと学び、教養を深める機会を創出するとともに、文化芸術活動やスポーツ活動を通じて交流の輪を広げ、まちづくりや地域活性化の力となっていく「充実した学びと豊かな文化・スポーツのまち」を目指します。

［基本目標５　地の利と資源を生かした産業のまち］

目標とするまちの姿

・豊かな自然環境をはじめ、新千歳空港や多くの立地企業・人材など、千歳市が持つ地域資源を生かし産業を振興することで、市民の生活が豊かになり、地域経済も発展する「地の利と資源を生かした産業のまち」を目指します。

［基本目標６　暮らしやすく便利な都市基盤があるまち］

目標とするまちの姿

・これまで整備してきた都市基盤の利便性や強さを更に高め、市民が安心して快適に暮らし、にぎわいを生み出すことのできる「暮らしやすく便利な都市基盤があるまち」を目指します。

［基本目標７　多彩な市民とオール千歳で挑戦するまち］

目標とするまちの姿

・時代とともに生まれる様々な課題や目標に対し、千歳市民をはじめ、千歳市に縁のある人たちが持つ多彩な知恵や経験を結集し、解決に向けて取り組んでいくことができる「多彩な市民とオール千歳で挑戦するまち」を目指します。

企画課

2　コンベンション都市　千歳

コンベンションとは簡単にいえば、「人・物・情報等の複合的、総合的な集人・交流の場」です。コンベンションによって、労働力の需要が増大することはもちろん、交通・宿泊・飲食・観光など間接的効果が相乗し、地域経済を活性化することができます。

このことから、千歳市では、コンベンション都市形成に努めていますが、コンベンション都市の要件としては、

1．コンベンションをまちづくりのひとつの柱とするという構想をもつこと
2．参加者を集める以上、アクセス確保が容易であること
3．地域外から人が集まるので、宿泊施設が必要であること
4．参加者のコミュニケーションにとって、飲食は重要な要素となること
5．コンベンションを行う場としての施設整備が行われていること
6．コンベンション開催都市としての魅力は観光をはじめ基本的都市機能が充実されていること

などが挙げられます。

この6つの要件について、千歳市は北方圏を指向した国際空港を有する北海道の空陸交通の拠点都市であり、国立公園支笏湖を始めとする緑あふれる自然と清冽（せいれつ）な千歳川が流れるまちとして観光面でも充実し、また都市基盤も充分に整備されており、まちぐるみでコンベンション機能の充実に力を注いでいます。

コンベンションの開催は、住み良い活力のある地域づくりを創造する契機となり、新しい千歳の姿を世界、そして国内、道内の人々に紹介する機会ともなることから、千歳市では毎年多くのコンベンションが開催されています。

なお、コンベンション都市要件の2、4、6については、**第8章　空港・運輸・通信、第16章　観光・レクリエーション**などを参照してください。

交流推進課



(1) 施設

施設名	設備
北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)	大ホール　1,275席、中ホール　412席
	会議室　210席外
ホテルグランテラス千歳	会議室　600席外
ANAクラウンプラザホテル千歳	会議室　650席外
新千歳空港ポルトムホール	メインホール　405席外

1　令和8年4月1日現在
2　300席以上収容の施設を掲載した
観光課

(2) ホテル・旅館の概況（地区別）

ア　市街地・周辺

ホテル・旅館名	電話	客室数	収容人員
ANAクラウンプラザホテル千歳	22－2311	438	818
ホテルルートイン千歳駅前	050-5847-7579	330	490
ホテルグランテラス千歳	050-1807-3126	256	415
JRイン千歳	25－8357	185	364
ベストウェスタンプラスホテルフィーノ千歳	40－0033	154	362
ポルトムインターナショナル北海道	45－6012	171	342
エアターミナルホテル	45－6677	188	329
minn千歳	050-3131-8822	51	321
千歳ステーションホテル	49－3000	138	275
クイーンズホテル千歳	26－0001	150	245
SMA・MO inn CHITOSE	28－8811	60	240
ホテルクラッセステイ千歳	25－5837	150	221
KOKO STAY千歳	24－2111	153	180
千歳エアポートホテル	26－1155	89	145
ホテルエリアワン千歳	26－1156	55	128
千歳第一ホテル	27－2000	119	123
ホテルかめや	23－2002	52	103
ホテルラフィナート千歳	29－3030	43	94
ピエス千歳S1	0120-949-484	26	90
UCHI CHITOSE AJiTO	011-374-4638	17	81
ピエス千歳S4	0120-949-484	32	64
ビジネスホテルホーリン	23－1166	34	46
千歳ホテル遊悠館	25－5225	35	45
新千歳空港温泉	46－4126	11	22
JRモバイルイン千歳	011-374-4638	20	20

1　令和8年4月1日現在
2　ホテル等名は収容人員順で記載した
3　**表197**（1）に再掲
観光課

イ　支笏湖周辺

ホテル・旅館名	電話	客室数	収容人員
丸駒温泉旅館	２５－２３４１	55	248
しこつ湖鶴雅リゾートスパ水の謌	２５－２２１１	49	198
休暇村支笏湖	２５－２２０１	38	88
支笏湖第一寶亭留翠山亭	011-598-5252	24	79
しこつ湖鶴雅別荘碧の座	２５－８０２０	25	60
レイクサイドヴィラ翠明閣	２５－２１３１	8	20
雨ノ日と夕やけ	011-598-5252	6	12

1　令和８年４月１日現在
2　**表197**（2）に再掲
観光課

(3) 令和７年度スポーツ大会実績

規模別	参加希望者				
	100人未満	100～199人	200～399人	400人以上	計
全国	－	3	1	4	8
全道	11	13	23	29	76
管内・ブロック	65	39	38	27	169
計	**76**	**55**	**62**	**60**	**253**

(公財)千歳市スポーツ協会

(4) コンベンションの実績

平成４年	国際連合アジア・太平洋経済協力千歳会議	(国際会議・930人)
５年	北海道基地協議会研修会	(全道会議・283人)
	エアフレイト･アジア'93本会議	(国際会議・198人)
	北海道母子寡婦福祉大会	(全道大会・1,230人)
	北海道技術家庭科教育研究大会	(全道大会・310人)
	石狩管内婦人大会	(石狩大会・400人)
	麻薬・覚醒剤禍撲滅運動北海道大会	(全道大会・460人)
６年	北海道基地協議会研修会	(全道会議・283人)
	国際民間航空機関航空運送政策セミナー	(国際会議・209人)
	石狩管内教育研究会千歳市学校課題研究指定校発表会	(石狩大会・260人)
７年	北海道基地協議会研修会	(全道会議・310人)
	日本下水道協会北海道地方支部第32回定期総会	(全道会議・300人)
	全道造形教育研究大会	(全道大会・450人)
	北海道学校給食研究大会	(全道大会・700人)
	全道老人クラブ大会	(全道大会・1,400人)

平成８年	第20回全国高等学校総合文化祭	（全国大会・850人）
	第29回ガン予防道民大会	（全道大会・1,500人）
	国際農業シンポジウム	（国際会議・250人）
	防衛施設庁所管補助事業等実務担当者研修会	（全道会議・250人）
	北海道ぼけ老人を支える家族の会研修会	（道央ブロック会議・250人）
	第46回北海道公立小中学校事務研究大会	（全道大会・1,000人）
９年	国際連合アジア太平洋経済社会委員会（ＥＳＣＡＰ）	
	地域経済協力委員会第９回調整グループ会合	（国際会議・100人）
	第27回北海道養護教員研究大会千歳大会	（全道大会・829人）
	第42回北海道母と女性教職員のつどい	（全道大会・1,500人）
10年	先端有機ホトニクス物質と応用に関する国際会議（ICONO'4）	（国際会議・178人）
	第30回全国ボランティア研修会	（全国大会・500人）
	北海道社会教育研究大会	（全道大会・720人）
	北海道・東北商工会議所連絡会議	（全道・東北大会・285人）
11年	ＱＣサークル北海道支部大会	（全道大会・400人）
	ＱＳＤＳ改善事例発表会	（全道大会・450人）
	千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・108人）
12年	光メモリ国際シンポジウム（ＩＳＯＭ）	（国際会議・410人）
	デジタルシティ国際会議	（国際会議・460人）
	石狩管内中学校音楽発表会	（石狩大会・1,000人）
	日本青年会議所道央ブロック大会	（道央大会・1,400人）
	石狩管内ＰＴＡ連合会研究大会千歳大会	（石狩大会・1,400人）
	北海道合唱コンクール中・高等学校部門	（全道大会・800人）
	北海道言語障害児教育研究大会	（全道大会・400人）
	石狩地区子育て支援センター	（石狩大会・300人）
13年	石狩管内音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,000人）
	北海道小学校長会教育研究石狩・千歳大会	（石狩大会・1,500人）
	第25回赤十字北海道大会	（全道大会・2,000人）
	北海道基地協議会実務担当者研修会	（全道大会・268人）
	第２回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・250人）
	全道女性保護の会研修会	（全道大会・283人）
	石狩管内ＰＴＡ連合会母親研修会	（石狩大会・252人）
14年	ＩＴＵ－Ｔ国際会議	（国際会議・900人）
	北海道保育研究大会	（全道大会・350人）
	第３回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・92人）
15年	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,000人）
	第４回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・84人）
16年	ISO/IEC JTC1/SC 25千歳会議	（国際会議・961人）
	第54回北海道公立小中学校事務研究大会	（全道大会・990人）
	第25回健康増進研修大会	（全道大会・1,188人）
	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,000人）
	第５回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・72人）
17年	第39回全国障害者問題研究全国大会	（全国大会・1,500人）
	第52回日本ＰＴＡ北海道ブロック研究大会千歳大会	（全道大会・1,000人）
	情報科学用有機材料第142委員会30周年記念シンポジウム	（国際会議・50人）
	第６回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・70人）
18年	第７回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・146人）
19年	北海道里親研修大会全国里親会北海道地区里親研修大会	（全国大会・321人）
	㈱日本青年会議所北海道地区協議会第56回北海道地区大会千歳大会	（全国大会・1,200人）
	第８回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・120人）
	2008ふゆトピア・フェアin千歳	（全国大会・12,000人）
20年	第９回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・400人）
	Ｊ８サミット2008千歳支笏湖	（国際会議・134人）
21年	第10回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・500人）

平成22年	第12回日中韓三カ国環境大臣会合	（国際会議・120人）
	石狩管内中学校文化連盟音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,000人）
	第11回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・358人）
23年	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,148人）
	第41回北海道養護教員研究大会	（全道大会・750人）
	きょうされん北海道支部2011全道大会	（全道大会・250人）
	第60回全道身体障害者福祉大会千歳大会	（全道大会・733人）
	第45回北海道公立学校教頭会研究大会千歳大会	（全道大会・1,005人）
	第45回全道高等学校書道展・研究大会	（全道大会・1,200人）
	第40回全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会全国大会千歳大会	（全国大会・402人）
	第44回北海道言語障害児教育研究大会千歳大会	（全道大会・1,200人）
	第12回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・300人）
24年	第13回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・300人）
	第36回全道高等学校放送発表大会兼第59回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト北海道大会	（全道大会・2,100人）
	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,200人）
	第45回がん予防道民大会	（全道大会・700人）
	第67回北海道算数数学教育研究大会	（石狩大会・439人）
	北海道高等学校文化連盟第35回放送コンテスト	（全道大会・600人）
25年	第14回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・300人）
	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,240人）
	第63回北海道公立小中学校事務研究大会	（石狩大会・600人）
	第55回北海道スポーツ推進委員研究協議会	（全道大会・550人）
26年	第15回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・300人）
	第38回全道高等学校放送発表大会兼第61回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト北海道大会	（全道大会・2,000人）
	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,200人）
	石狩ＰＴＡ連合会研究大会千歳大会講演会	（石狩大会・600人）
	北海道高等学校文化連盟第37回放送コンテスト	（全道大会・845人）
27年	北海道柔道連盟柔道指導者研修会	（全道会議・490人）
	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,575人）
	麻薬・覚醒剤乱用防止運動北海道大会	（全道大会・800人）
	第16回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・312人）
28年	第17回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・200人）
	第27回北海道救急医学会救急隊員部会総会・研修会	（全道会議・300人）
	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,442人）
	第57回全道ろうあ者大会	（全道大会・830人）
	北海道高等学校文化連盟第39回放送コンテスト	（全道大会・650人）
	第40回全道高等学校放送発表大会兼第63回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト北海道大会	（全道大会・2,000人）
29年	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,500人）
	北海道柔道連盟柔道審判研修会	（全道会議・680人）
	石狩管内放課後児童会・学童クラブ指導員研修会	（石狩大会・300人）
	北海道中学校長会創立70周年記念第59回北海道中学校長会研究大会石狩・千歳大会	（全道会議・326人）
	第18回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・220人）
30年	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,600人）
	北海道柔道連盟柔道審判研修会	（全道会議・680人）
	第19回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・240人）
	第42回全道高等学校放送発表大会兼第65回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト北海道大会	（全道大会・3,240人）
	第63回北海道母と女性教職員のつどい	（全道大会・630人）
令和元年	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,600人）
	北海道柔道連盟柔道審判研修会	（全道会議・560人）
	第20回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・147人）

令和３年	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・400人）
４年	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,158人）
５年	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,474人）
６年	第48回全道高等学校放送発表大会兼第71回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト	（北海道大会・600人）
	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,590人）
	第91回ＮＨＫ全国学校音楽コンクール	（北海道大会・1,153人）
	石狩管内民生委員児童委員専門研修	（石狩大会・250人）
	第71回日本ＰＴＡ北海道ブロック研究大会	（石狩大会・540人）
７年	AAITF/20	（国際会議・100人）
	令和７年度 千歳市教職員研修会	（423人）
	がん予防道民大会	（1,240人）

1　国際会議は250人未満の会議も掲載している

交流推進課・観光課・文化施設課

（5）国際会議の実績（再掲）

平成４年	国際連合アジア・太平洋経済協力千歳会議	（930人）
５年	エアフレイト・アジア'93本会議	（198人）
６年	国際民間航空機関航空運送政策セミナー	（209人）
８年	国際農業シンポジウム	（250人）
９年	国際連合アジア太平洋経済社会委員会（ＥＳＣＡＰ）地域経済協力委員会第９回調整グループ会合	（100人）
10年	先端有機ホトニクス物質と応用に関する国際会議（ＩＣＯＮＯ'4）	（178人）
11年	千歳光科学国際フォーラム	（108人）
12年	光メモリ国際シンポジウム（ＩＳＯＭ）	（410人）
	デジタルシティ千歳会議「国際シンポジウム」	（460人）
13年	第２回千歳光科学国際フォーラム	（250人）
14年	ＩＴＵ－Ｔ国際会議	（900人）
	第３回千歳光科学国際フォーラム	（92人）
15年	第４回千歳光科学国際フォーラム	（84人）
16年	ISO/IEC JTC1/SC 25千歳会議	（961人）
	第５回千歳光科学国際フォーラム	（72人）
17年	情報科学用有機材料第142委員会30周年記念シンポジウム	（50人）
	第６回千歳光科学国際フォーラム	（70人）
18年	第７回千歳光科学国際フォーラム	（146人）
19年	第８回千歳光科学国際フォーラム	（120人）
20年	第９回千歳光科学国際フォーラム	（400人）
	Ｊ８サミット2008千歳支笏湖	（134人）
21年	第10回千歳光科学国際フォーラム	（500人）
22年	第12回日中韓三カ国環境大臣会合	（120人）
	第11回千歳光科学国際フォーラム	（358人）
23年	第12回千歳光科学国際フォーラム	（300人）
24年	第13回千歳光科学国際フォーラム	（300人）
25年	第14回千歳光科学国際フォーラム	（300人）
26年	第15回千歳光科学国際フォーラム	（300人）
27年	第16回千歳光科学国際フォーラム	（312人）
28年	第17回千歳光科学国際フォーラム	（200人）
29年	第18回千歳光科学国際フォーラム	（220人）
30年	第19回千歳光科学国際フォーラム	（240人）
令和元年	第20回千歳光科学国際フォーラム	（147人）

交流推進課

3　姉妹都市交流

（1）アメリカ合衆国アラスカ州アンカレジ市

千歳市は、昭和43年（1968年）6月、アメリカ合衆国アラスカ州アンカレジ市と日米間で70番目の姉妹都市提携を市議会において議決し、昭和44年４月21日千歳市長ほか親善使節団一行が、アンカレジ市を訪問して盟約書に調印しました。以来、両市の交流は年ごとに深まり、平成11年10月には姉妹都市提携30周年を迎え、アンカレジ市長を始め11人の友好使節団が来千しました。平成20年９月には、千歳市市制施行50周年記念式典参加のため、アンカレジ市議会議長始め４人が来千しました。平成21年７月には姉妹都市提携40周年を迎え、千歳市長を始め36人の市民訪問団がアンカレジ市を訪問しました。令和元年９月には、姉妹都市提携50周年を迎え、アンカレジ市長を始め15人が来千され、記念植樹、記念式典、祝賀会など各種行事に参加し、式典では、両市長が姉妹都市提携確認書にサインを交わしました。

今日まで、高校生の交換留学を皮切りにガールスカウト、少年野球、学校間交流など様々な分野での交流を続けており、令和２年１月には、新たな交流として、お互いの先住民族による交流が始まりました。

州 概 要

1741年　（寛保元年）　ロシア皇帝の命を受けたデンマーク人ベーリングによって探検されてからロシア人が入植。

1867年　（慶応３年）　アメリカ合衆国が約720万ドルでこの土地を買収。

1959年１月（昭和34年）　アメリカ合衆国で49番目の州となる。（州都はジュノー市）

広さは日本の４倍で合衆国一を誇り（約152万㎢、人口は約73万人）北米大陸最高峰のデナリ山（6,194m）がそびえ、世界最大の氷河マラピスナが横たわります。

主な産業は石油、観光、水産、林業、鉱業ですが、州の歳入の多くは石油に依存しています。

シンボルは、州花〔忘れな草〕、州鳥〔雷鳥〕、州魚〔キングサーモン〕、州木〔アラスカヒノキ〕、州技〔犬ゾリ〕。

市 概 要

アラスカ中南部に位置するアラスカ最大の都市で、約29万人が住んでいます。1914年にアラスカ鉄道建設基地本部が置かれたことにより交通の要所となり、さらに第２次世界大戦が契機となって国防の町として発展しました。近年は国際空港としても有名となり、名実ともにアラスカ経済、産業、行政機能の中心地となっています。現在のアンカレジ市は旧市街と近隣の町村が合併したもので、全米都市賞に３回輝くなど合衆国で最も成長著しい都市に数えられています。（市制施行1920年11月23日）

気　　候

アラスカの春は一面凍りついた川の氷が砕け始めた瞬間から巡ってきます。５月中旬には青葉が茂り、６月・７月には野に咲く花々を楽しめる季節となり、渡り鳥がアラスカに帰ってきます。７月・８月と夏は短めですが、日中平均温度が15℃近くになり、観光客が最も訪れる季節です。日照時間が大変長く白夜となって、夏至には日没時間が４時間ほどしかありません。この季節にさけが群れをなして遡上します。９月・10月の秋は、空気が澄み晴天の日が続き、大自然の森林は一斉に紅葉・黄葉を始め、深緑色の常緑樹との間で美しいコントラストを生み出します。11月から３月までの冬の季節はすがすがしく乾燥し、晴れた寒さの厳しい日と曇りの寒さの和らいだ日が交互に訪れます。一面銀世界となりオーロラが見えやすくなり、冬至には日照時間が5.5時間ほどになります。

経　済

アンカレジ市は州の主要な企業活動・金融・行政の中心であり、輸送・物流の基点で、最も急成長の分野である州の国際貿易、観光業の多くが拠点にしています。

アンカレジ市は重要な港であるとともに、アラスカ鉄道の要衝であり、ジョイント・ベース・エルメンドルフ－リチャードソンという大きな軍事基地を有しています。連邦政府と州政府による官営の事業所と観光事業はアンカレジの経済基盤の主要な要因となっています。

公式訪問（主なもの）

千歳→アンカレジ

昭和44年４月	姉妹都市提携盟約書調印
45年11月	アンカレジ開基50周年記念式典
48年２月	アンカレジ訪問千歳友好使節団
51年７月	アメリカ建国200年記念、アンカレジ市計画による「千歳デー」に招待
54年９月	千歳市開基100年・姉妹都市提携10周年記念行事としてアンカレジ訪問千歳友好使節団
59年７月	スポーツ交流少年野球使節団
63年７月	市制施行30周年記念・新千歳空港オープン記念行事としてアンカレジ訪問友好使節団及びスポーツ交流使節団
平成３年７月	アンカレジ訪問千歳友好使節団及びスポーツ交流使節団
６年３月	第６回北方都市市長会議及び国際冬の見本市に市長一行４人が参加
９月	姉妹都市提携25周年記念・アンカレジ訪問千歳友好使節団
12年７月	アンカレジ訪問千歳友好使節団及び少年野球使節団
16年２月	市長一行４人が第11回北方都市会議参加のためアンカレジを訪問し、「市長会議」や「国際冬の見本市」に参加
21年７月	姉妹都市提携40周年記念・アンカレジ訪問千歳友好使節団
26年８月	姉妹都市提携45周年記念・アンカレジ訪問
令和６年８月	姉妹都市提携55周年記念・アンカレジ訪問

アンカレジ→千歳

昭和44年７月	千歳市開基90年記念式典
50年９月	千歳訪問友好使節団
54年８月	千歳市開基100年記念式典
11月	千歳・アンカレジ姉妹都市盟約10周年記念式典
59年４月	千歳市民文化センターオープン記念式典
62年７月	「千歳・日航国際マラソン」に参加
平成元年10月	千歳市開基110年記念式典、姉妹都市提携20周年記念式典
４年７月	新千歳空港ターミナル供用開始記念式典
10月	ウインター・シティーズ・アンカレジ　'94セミナー
11年10月	千歳開庁120年記念式典、姉妹都市提携30周年記念式典
12年６月	アンカレジ市長友好親善交流
20年９月	千歳市市制施行50周年記念式典
令和元年９月	千歳・アンカレジ市姉妹都市提携50周年記念式典

市民友好親善交流

昭和48年２月	アンカレジ訪問千歳友好使節団（40人）
54年９月	千歳市開基100年、姉妹都市提携10周年記念行事として、チャーター便「ちとせ号」でアンカレジ訪問千歳友好使節団結成（153人）
59年７月	スポーツ交流少年野球使節団（27人）
63年７月	アンカレジ訪問千歳友好使節団（105人）
平成３年７月	少年野球交流、女子ソフトボール交流、中学生研究グループ（104人）
６年３月	千歳国際交流協会設立記念事業・小学生姉妹都市派遣団（24人）
９月	姉妹都市提携25周年記念・アンカレジ訪問千歳友好使節団（59人）
７年１月	姉妹都市提携25周年記念・チトセアンカレジスレッドドッグレース1995開催（以後12年１月まで開催）
７月	アンカレジ訪問少年野球使節団（19人）
12年７月	アンカレジ訪問千歳友好使節団（28人）少年野球使節団（19人）
13年１月	アンカレジ訪問千歳スケートスポーツ少年団（15人）
21年７月	姉妹都市提携40周年記念・アンカレジ訪問千歳友好使節団（36人）、子どもサミット開催
26年８月	姉妹都市提携45周年記念・アンカレジ訪問千歳市民訪問団（30人）、ユースサミット開催、YOSAKOIソーラン披露
令和２年１月	アンカレジ訪問千歳アイヌ協会他（８人）
４年10月	アンカレジ訪問千歳アイヌ協会他（12人）
６年８月	姉妹都市提携55周年記念・アンカレジ訪問千歳市民訪問団（16人）、和太鼓演奏披露
11月	アラスカ先住民族一行（５人）が来千
７年10月	アンカレジ訪問千歳アイヌ協会他（11人）

少年野球交流（ホームステイ）

千歳→アンカレジ

昭和59年７月	27人	７泊９日滞在	４試合
63年７月	21人	５泊７日滞在	４試合
平成３年７月	20人	５泊７日滞在	３試合
７年７月	19人	５泊７日滞在	３試合
12年７月	19人	５泊７日滞在	３試合

アンカレジ→千歳

昭和58年８月	20人	６泊７日滞在	４試合
62年８月	19人	５泊６日滞在	３試合
平成２年８月	19人	９泊10日滞在	４試合
５年８月	25人	９泊10日滞在	４試合
10年８月	19人	９泊10日滞在	３試合

姉妹校交流（千歳小学校－サンドレイク小学校）

平成４年１月	両校児童の作品交換を中心とした交流を開始
５年８月	アンカレジ少年野球訪問団にサンドレイク小児童が含まれていたため、千歳小にて交歓会、青葉公園にてキャンプを実施
６年３月	小学生姉妹都市派遣団（うち千歳小７人）がサンドレイク小を訪問
６月	サンドレイク小日本語集中訓練教育プログラムの児童20人が来千し、ホームステイ、体験入学、キャンプなどを通して交流
８年６月	サンドレイク小日本語集中訓練教育プログラムの児童21人が来千し、ホームステイ、体験入学、キャンプなどを通して交流

平成９年３月　千歳小学校一行52人（児童44人・引率８人）がサンドレイク小学校を訪問し、全校歓迎集会や一日体験入学、ホームステイなどを通して交流
10年６月　サンドレイク小学校一行52人（児童35人・引率17人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流
11年７月　千歳小学校一行36人（児童21人・卒業生３人・引率12人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
12年６月　サンドレイク小学校一行59人（児童39人・引率20人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流
15年１月　千歳小学校一行29人（児童11人・卒業生10人・引率８人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会、犬ゾリ体験などを通して交流
16年６月　サンドレイク小学校一行55人（児童36人・引率19人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流
17年８月　千歳小学校一行34人（児童17人・卒業生７人・引率10人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
18年６月　サンドレイク小学校一行46人（児童32人・引率14人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流
20年１月　千歳小学校一行27人（児童16人・卒業生３人・引率８人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会、犬ぞり体験などを通して交流
21年６月　サンドレイク小学校一行42人（児童30人・引率12人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流
23年１月　千歳小学校一行24人（児童10人・卒業生７人・引率７人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
24年６月　サンドレイク小学校一行35人（児童22人・引率13人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流
26年１月　千歳小学校一行22人（児童13人、卒業生３人、引率６人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
26年６月　サンドレイク小学校一行35人（児童21人・引率14人）が来千し、ホームステイや交歓会、運動会などを通して交流
28年１月　千歳小学校一行15人（児童10人・引率５人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
28年６月　サンドレイク小学校一行45人（児童29人・引率16人）が来千し、ホームステイや交歓会、運動会などを通して交流

学校間交流（市内小学校－サンドレイク小学校）

平成30年１月　市内小学校一行39人（児童32人・引率７人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
30年６月　サンドレイク小学校一行28人（児童17人・引率11人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流
令和２年１月　市内小学校一行24人（児童18人・引率６人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
３年１月　市内小学校（児童12人・大人４人）とサンドレイク小学校（児童17人・大人４人）の間でオンライン交流
令和３年９月　市内小学校（児童18人・大人４人）とサンドレイク小学校（児童15人・大人２人）の間でオンライン交流（９月から11月 計４回）
令和６年１月　市内小学校一行20人（児童15人・引率５人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
令和６年６月　サンドレイク小学校一行24人（児童17人・引率７人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流
令和８年１月　市内小学校一行13人（児童８人・引率５人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流

学校間交流（市内中学校－ミアーズ中学校）

平成22年３月	ミアーズ中学校一行17人（生徒12人・引率５人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流
23年１月	市内中学校一行12人（生徒９人・引率３人）がミアーズ中学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
25年１月	市内中学校一行15人（生徒12人・引率３人）がミアーズ中学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
25年６月	ミアーズ中学校一行20人（生徒15人・引率５人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流
27年１月	市内中学校一行16人（生徒12人・引率４人）がミアーズ中学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
27年５月	ミアーズ中学校一行29人（生徒23人・引率６人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流
29年１月	市内中学校一行24人（生徒20人・引率４人）がミアーズ中学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
29年５月	ミアーズ中学校一行23人（生徒20人・引率３人）が来千し、ホームステイや交歓会を通して交流
31年１月	市内中学校一行24人（生徒20人・引率４人）がミアーズ中学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
令和元年５月	ミアーズ中学校一行22人（生徒18人・引率４人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流
５年１月	市内中学校一行14人（生徒９人・引率５人）がミアーズ中学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
５年５月	ミアーズ中学校一行28人（生徒24人・引率４人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流
７年１月	市内中学校一行18人（生徒13人・引率５人）がミアーズ中学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
７年５月	ミアーズ中学校一行14人（生徒12人・引率２人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流

学校間交流（市内高校－ダイモンド高校）

令和５年１月	市内高校生一行６人がダイモンド高校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
５年８月	千歳高校の生徒１人とダイモンド高校の生徒２人による長期交換留学事業を実施（約10か月間）
６年１月	市内高校生一行３人がダイモンド高校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
６年８月	千歳高校の生徒１人とダイモンド高校の生徒１人による長期交換留学事業を実施（10か月間）
７年１月	市内高校生１人がダイモンド高校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
７年８月	千歳高校の生徒１人とダイモンド高校の生徒１人による長期交換留学事業を実施（10か月間）
８年１月	市内高校生３人がダイモンド高校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流

交流推進課

(2) 鹿児島県指宿市

千歳市と鹿児島県指宿市との交流は、昭和48年指宿市から「菜の花キャンペーン」のＰＲの一行が来千したことに始まります。その後、指宿市は「千歳・支笏湖氷濤まつり」に、千歳市は「指宿アロハまつり」に、それぞれの観光イベントを中心にミスなどを派遣し合い、交流を続けてきました。

こうした友好関係が続く中、平成５年指宿市長からの正式な姉妹都市提携の申入れを受け、同年12月の定例市議会で全会一致でこれを可決。平成６年４月15日指宿市制施行40周年記念式典の席上において調印式が行われ、当市としては初の国内姉妹都市提携となりました。

この姉妹都市提携により、商店街振興組合による両市の特色を生かした経済交流や両市小学生の相互派遣交流など、各分野での幅広い交流が始まり、市職員の派遣交流も行っています。

平成17年１月には、姉妹都市提携10周年を記念し、これまでの交流状況や指宿市の様子を紹介する「姉妹都市交流10年のあゆみ展」を開催しました。

平成18年１月には、山川町及び開聞町と市町村合併を行い、新「指宿市」が誕生しました。合併による新「指宿市」の誕生に伴い、新「指宿市」誕生記念式典に千歳市長が参加し、平成18年８月６日に姉妹都市として再提携を行いました。

平成20年には、千歳市市制施行50周年記念式典参加のため、田原迫市長を始め４人が来千しました。また、この来千に合わせて、大和地区にオープンした「指宿公園」の記念セレモニーを行いました。

平成23年10月には、大規模災害が発生した場合を想定し、千歳市と指宿市間で災害時等の相互応援に関する協定を締結しました。

令和元年９月には、姉妹都市提携25周年を記念し、最北端の休暇村支笏湖と最南端の休暇村指宿によるランチメニューのレシピ交換を行い、地元食材を活用したランチを両市民に提供しました。

令和６年には、姉妹都市提携30周年を記念し、千歳市民訪問団としてYOSAKOIソーランチームが指宿市を訪問し、介護施設への慰問のほか、指宿温泉祭会場で演舞を披露しました。そのほかに、道の駅で物産交流、美術展交流、図書館交流など様々な記念事業を実施しました。

概　　要（令和８年４月１日現在）

面　　積	148.82㎢
人　　口	35,512人（男16,587人、女18,925人）
世 帯 数	17,172戸

地　　勢

薩摩半島の最南端に位置し、錦江湾から東シナ海に臨む長く美しい海岸線を有しています。市の全域を霧島火山脈が縦断しており、その湧出量の豊富なことは全国でもまれで、特に摺ケ浜海岸と伏目海岸で行われる「天然砂むし温泉」は世界にも類がありません。

年間平均気温は、暖流の影響で約19℃と高く、温暖で亜熱帯的な気候のため、市内にはソテツが自生し、幸せを呼ぶ熱帯蝶のツマベニチョウが乱舞する北限の地ともいわれています。また、温暖な気候と泉熱を利用したソラマメやオクラ、メロン、ナス、マンゴーなどの温泉栽培、熱帯性の観葉植物の栽培も盛んに行われています。

南国情緒豊かな変化に富んだ景観は年間300万人もの国内外の観光客を魅了し、南九州地域の観光拠点としての役割も担っています。

歴　　史

今から約２万５千年前の旧石器時代には、既に先人達が豊かな自然に囲まれながら生活を営んでいました。日本で初めて縄文土器と弥生土器の新旧関係を証明した国指定史跡指宿橋牟礼遺跡など歴史的にも貴重な文化財が点在しています。また、薩摩富士と呼ばれる開聞岳周辺には、海幸彦・山幸彦の神話を始め、天智天皇の后である瑞照姫の伝説も数多く残っています。

さらに、中世の板碑には「湯豊宿」とも表記されており、歴史的にも湯の豊かな宿として知られていました。江戸時代には、薩摩藩主島津家代々の温泉別邸があり、島津斉興が造った「殿様湯」は市の指定文化財として現在も残っています。

観　　光

主な観光イベントとしては、いぶすき菜の花マラソン大会（1月）、アロハ宣言セレモニー（４月）、山川みなと祭り（６月）、かいもん夏まつり（８月）、指宿温泉祭（９月）、いぶすき産業まつり（12月）などがあり、毎年大勢の観光客が訪れています。

中央部には九州一の大きさを誇る池田湖、南西部には標高924mの薩摩富士の別名で呼ばれる秀峰開聞岳、南部には南国ムード漂う長崎鼻、東部には３月から10月の潮の干満で陸続きになる環境省のかおり風景百選に認定された知林ヶ島を有しています。

また、１日に10万ｔも湧き出る唐船峡周辺は、国土交通省の水の郷百選に認定されています。

市の花・木・魚・鳥・蝶（平成18年６月20日制定）

花（ハイビスカス・菜の花）、木（ツゲ・ギョボク）、魚（カツオ）、鳥（メジロ）、

蝶（ツマベニチョウ）

交流推進課

4　友好親善都市交流

(1) ノルウェー王国ヴィッケン県コングスベルグ市

ア　提携年月日

昭和63（1988）年８月31日

イ　経　　過

昭和52年、千歳市民歩くスキーの会は、歩くスキー普及を図るため山三ふじやの協力により千歳インターゴルフ場を会場に「歩くスキーまつり」を開催、昭和56年には本場ノルウェーで開催のホルメンコーレンマーチの名から「ちとせホルメンコーレンマーチ」と命名されました。

昭和53年以来、駐日ノルウェー王国大使などが毎年のように来千、第10回大会を迎えたのを機会に大使より「この歩くスキー大会の盛り上がりをノルウェー王国との都市提携に結び付けてはどうか」との提案がなされ、大使からコングスベルグ市を紹介され、昭和63年に友好親善都市を提携しました。

平成31年までに43回の「ちとせホルメンコーレンマーチ」が開催され、大会に合わせ駐日大使などが来千し、親善を深めています。

また、平成14年６月には千歳市訪問団一行９人がコングスベルグ市を訪問し、学校間交流やスポーツ交流など、今後の交流の推進について意見交換を行いました。さらに、平成15年２月には、コングスベルグ市長夫妻が同市在住のプロスキー選手とともに千歳市を訪問され、ホルメンコーレンマーチに参加するとともに、市内の小中学生と交流を深めました。

平成26年１月には、友好親善都市提携25周年を記念して、千歳市訪問団一行（市内中学生６人、市内高校生８人、引率３人）がコングスベルグ市を訪問しました。ホームステイ、学校訪問、交歓会などを通してコングスベルグ市民との友好を深めるとともに、ノルウェー王国の経済や文化、医療や教育システムについて学習しました。

平成26年６月には、コングスベルグ市の職員ハルバル・ベーヌム氏が１か月間市内に滞在し、エネルギーシステムや建築様式に関する視察研修を行ったほか、市民との交流を深めました。

平成30年9月に友好親善都市提携30周年を記念し、千歳市長をはじめとする、ちとせホルメンコーレンマーチ大会関係者を中心とした訪問団を結成し、9月3日にコングスベルグ市役所内においてサンド市長と山口市長が友好親善都市提携確認書にサインを交わしました。

交流推進課

(2) 中華人民共和国吉林省長春市

ア　提携年月日

平成16（2004）年10月11日

イ　経　　過

長春市との交流は民間交流団体である日中交流千歳市民会議が中心となり20年以上にわたって農業実習生の受入れや長春市訪問団の派遣などを行っており、長春市からも人民政府訪問団や経済訪問団などが来訪するなど相互の交流が行われてきました。

このように民間交流団体による交流が長年にわたり培われ交流の基礎が出来あがっていることや、両市の友好提携実現に向けて強い市民要望があること、そして長春市から両市間の交流について正式な要請を受けたことなどから、市長、議長などを含む訪問団が長春市を訪問し、平成16年10月に友好親善都市合意書に調印しました。

平成18年６月25日には、永年にわたり千歳市と長春市との交流に尽力をいただいた故 藤本敬一様が、長春市名誉市民の称号を授与されました。

平成20年10月には、千歳市市制施行50周年を記念し、日中交流千歳市民会議が企画した「千歳・長春、市民交流事業」に市長、議長などを含む訪問団25人が長春市を訪問し、両市の交流を深めました。

平成26年10月には、友好親善都市提携10周年を記念して、市及び市議会関係者をはじめ、日中交流千歳市民会議の会員による長春市訪問交流事業を実施し、長春市との継続的交流を目的としたマラソン交流を平成28年から実施しています。

令和６年10月には、友好親善都市提携20周年を記念して、市及び市議会関係者、日中交流千歳市民会議の会員による長春市訪問交流事業を実施し、文化交流などをとおして両市の交流を深めました。

交流推進課

5　その他の交流

（1）大韓民国済州特別自治道観光協会（千歳観光連盟との姉妹提携）

ア　提携年月日

昭和56（1981）年9月1日

イ　経　　過

自然景観の美しい観光地を有する千歳観光連盟と済州特別自治道観光協会は、日韓両国民の友好増進を図り、交流を深めることでお互いの観光事業の発展を図ることを目的に昭和56年に姉妹提携をしています。

また、新千歳空港からは、平成元年より大韓航空がソウルに直行便を運航するなど、千歳市民にとって韓国は身近な国となっています。

交流推進課

（2）韓国ソウル空港高等学校（千歳高等学校との姉妹校提携）

ア　提携年月日

平成６（1994）年11月８日

イ　経　　過

かねてから日本の高等学校と姉妹校提携を希望していた韓国ソウル市の空港高等学校は、駐札幌韓国教育院長と千歳市教育長の仲介により同じく空港都市に所在する高等学校として千歳高等学校が紹介されました。

両校の話合いの後、平成６年11月に千歳高等学校の代表団が訪韓、21世紀を担う国際人を育成することを目的として姉妹校の提携をし、７年２月には空港高等学校の代表団が来千、市民文化センターにおいて姉妹校提携式が行われました。

両校の交流は、平成７年以来毎年代表団が来訪するなど活発に展開されています。

交流推進課

要覧ちとせ

千歳略年表

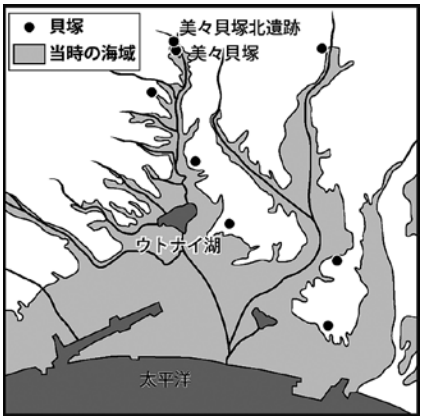
北海道千歳市

1　ちとせ略年表

4万6千年前	支笏火山大噴火
3万年前	千歳に初めて人が住む（祝梅下層遺跡）
2万4千年前	細石刃文化（柏台1遺跡）
2万年前	恵庭岳大噴火
1万8千年前	細石刃文化（オルイカ2遺跡・祝梅川上田遺跡）
1万5千年前	細石刃文化（祝梅上層遺跡・メボシ川2遺跡・オサツ16遺跡）
1万4千年前	縄文文化も小規模ながら見られ始める（キウス4遺跡・キウス9遺跡）
9千年前	樽前山大噴火
7千年前	美々川・美沢川など千歳の川辺に縄文時代の村ができ始める 子供の足跡をつけた土版が作られる（美々7遺跡）
6千年前	縄文海進　美々貝塚（市指定史跡）や盛土遺構（美々貝塚北遺跡）が造られる
4千年前	環壕が造られる（丸子山遺跡）
3千2百年前	中央地区に大規模な集団墓地が造られる（国指定史跡キウス周堤墓群） 石棒（市指定有形文化財）が作られる
3千年前	動物形土製品（国指定重要文化財）が作られる（美々4遺跡）
2千5百年前	樽前山大噴火
2千4百年前	土面（国指定重要文化財）が作られる（ママチ遺跡） 男性土偶（市指定有形文化財）が作られる（ウサクマイA遺跡）
2千3百年前	続縄文文化（北海道）・弥生時代（本州）
1千3百年前	東北より蕨手刀（市指定有形文化財）が伝わる（ウサクマイA遺跡） 擦文文化（ウサクマイC遺跡・ウサクマイN遺跡・末広遺跡・丸子山遺跡）
7百年前	アイヌ文化（末広遺跡・美々8遺跡・オサツ2遺跡）
3百年前	チャシが造られる（アッテウシ・フレドイヒ・シュトクンネヒ・ペサなどのチャシ）

教育委員会埋蔵文化財センター

縄文海進のようす



教育委員会埋蔵文化財センター



江戸時代末の千歳橋付近

正保元（1644）年	「正保御国絵図」シコツ越えが描かれる
万治元（1658）年	志古津弁天堂建立　地名「志古津」初出（『福山秘府』）
寛文６（1666）年	僧円空　自作仏像奉納
７（1667）年	樽前山大規模噴火
享保９（1724）年	東蝦夷地シコツ－餓死者多発
元文４（1739）年	樽前山大噴火
享和２（1802）年	幕府「蝦夷地奉行（箱館奉行）」を新設・羽太正養、戸川安論を任命
文化２（1805）年	「シコツ川」を「千歳川」と命名（羽太正養命名）
安政４（1857）年	荒井金助・村垣範正　石狩－千歳間道路を開削
	松浦武四郎　千歳（支笏湖）周辺踏査（５回目の蝦夷地踏査）
慶応３（1867）年	樽前山中噴火
明治２（1869）年８月	千歳・長都・漁・島松・蘭越・烏柵舞６村＝胆振国千歳郡編成
20日	高知藩の支配地が千歳郡、勇払郡、夕張郡となる
３（1870）年	高知藩開拓者ママチ川両岸に入植
４（1871）年５月	勇払開拓出張所設置
５（1872）年２月３日	樽前山大噴火溶岩円頂丘崩壊
5月	開拓使千歳出張所開庁（担当　藤田　武三）
10月１日	千歳郵便取扱所設置
	新保旅館開業（千歳初の旅館）
６（1873）年12月	室蘭街道（現・国道36号）開通　開拓使が千歳に駅逓所開設
７（1874）年２月８日	樽前山噴火（２・16にも噴火）
4月28日	開拓使千歳出張所廃止、勇払出張所所管となる
８（1875）年２月	開拓使民事局所管となる
11月	稲荷神社（後の千歳神社）、豊受姫大神を祭り郷社となる
10（1877）年	支笏湖街道（沼街道）開削（ママチ、藤の沢経由）
11（1878）年11月13日	官営美々鹿肉缶詰製造所開設（M13～休業、M17・６廃止）
12（1879）年７月23日	郡区町村編成－苫小牧を本郡とする五郡役場設置　開拓後、郡区町村編制法施行により管内大小区廃止
10月15日	寺小屋開設
13（1880）年３月１日	勇払外五郡郡役所開庁（苫小牧）
	千歳郡各村戸長役場開庁（初代戸長　石山　専蔵）
	巡査駐在所分署開設
4月１日	千歳教育所開設（戸長宅）
14（1881）年９月２日	明治天皇行幸・千歳行在所泊（新保旅館）
16（1883）年10月７日	樽前山噴火（10・８、11・15にも噴火）
17（1884）年５月	山口県人31戸・千歳入植（長岡　源次兵衛外140人）
18（1885）年１月４日	樽前山噴火（３・26にも噴火）
6月	千歳学校校舎設置（現・錦町１、民家借り上げ）
19（1886）年４月13日	樽前山噴火（４・15～16、28にも噴火）
20（1887）年９月３日	樽前山噴火（10・７～８にも噴火）
21（1888）年12月	さけ・ますふ化場開設（伊藤　一隆技師）
22（1889）年４月	千歳学校、千歳簡易科小学校となる
23（1890）年８月	千歳由仁道路開通
24（1891）年	ケヌフチ神社（現・泉郷神社）建立
25（1892）年７月	札幌警察署千歳巡査駐在所開設
26（1893）年	千歳原野殖民地区画割完了（号線設定）
27（1894）年２月	千歳原野殖民地払下開始
	ネシコシ・オルイカ・ケヌフチ官林解放
2月８日	樽前山噴火
3月	千歳簡易科小学校新築（本町３）
	阿寒湖カバチェップ（ヒメマス）卵移植（支笏湖）
28（1895）年	ネシコシ造田本格化
29（1896）年７月１日	千歳郵便局為替・貯金取扱開始
11月９日	捕魚車（インディアン水車）始動
30（1897）年６月13日	千歳郡漁・島松２村離脱－漁村外一ヶ村戸長役場開庁（７・15）

明治30（1897）年７月　千歳郡千歳村のうち幌内を長沼に帰属
　　１日　千歳郡千歳村外四ヶ村戸長役場開庁
　32（1899）年９月　長都に私立教育所開設（土谷弥之進、河本勇吉）
　33（1900）年６月　千歳尋常小学校阿宇砂里分教場設置
　　９月24日　幌加簡易教育所設置
　　10月８日　嶮淵簡易教育所仮教場設置
　　11月21日　長都簡易教育所設置
　34（1901）年６月３日　長都尋常小学校開校
　　12月１日　近唐簡易教育所設置
　35（1902）年４月　木臼簡易教育所設置
　39（1906）年９月１日　阿宇砂里簡易教育所設置
　　ママチ川上に牧場経営
　　乳牛飼養（戸田菊治）
　41（1908）年１月１日　千歳郵便局電信取扱開始
　　８月12日　王子製紙苫小牧工場専用鉄道（山線・王子軽便鉄道）運行開始（Ｓ26・５・10廃止）
　42（1909）年４月　樽前山大噴火（４・17～19に噴火）
　43（1910）年７月12日　王子製紙千歳第１発電所送電開始
大正元（1912）年10月１日　烏柵舞特別教授所設置
　　11日　千歳郵便局電話通話取扱開始
　４（1915）年４月４日　第１回村会議員選挙執行
　　20日　千歳村２級町村制施行（千歳・長都・蘭越・烏柵舞村合併４・１）
　５（1916）年３月　王子製紙千歳第二発電所完成
　６（1917）年４月　嶮渕尋常小学校・近唐尋常小学校・木臼尋常小学校・阿宇砂里尋常小学校開校
　　30日　樽前山噴火（５・12にも噴火）
　　12月　私立王子尋常小学校開校（烏柵舞特別教授所廃止）
　７（1918）年５月　樽前山噴火
　　王子製紙千歳第三発電所完成
　　６月　千歳小学校高等科新設
　　６日　新嶮渕尋常小学校仮校舎授業開始
　　13日　樽前山噴火
　　10月　嶮渕尋常小学校新築完成
　８（1919）年４月１日　農産物検査所開設（竜丑内＝新川）
　　５月４日　樽前山噴火
　　王子製紙千歳第四発電所完成
　９（1920）年７月17日　樽前山噴火（７・22にも噴火）
　　10月１日　第１回国勢調査実施（1,065世帯、5,366人）
　　12月13日　千歳尋常小学校根志越分教場開設（根志越青年倶楽部）
　10（1921）年７月６日　樽前山噴火
　11（1922）年４月24日　樽前山噴火（４・25にも噴火）
　　７月　摂政宮支笏湖行啓（本道初行啓）
　　８月４日　消防組創設
　12（1923）年２月21日　樽前山噴火（このほか６～８月に噴火）
　　嶮渕小学校高等科併置
　13（1924）年４月１日　根志越特別教授所開設（旧・千歳尋常小学校分教場）
　　６月　国立公園地域編入の請願、「支笏湖」を「千歳湖」に改名する上申書提出
　　７月　「北海道千歳郡千歳村字『ママチ』ニ航空場設置ノ件」衆議院請願委員会採択
　　９月　千歳地方ひょうの害　農地被害1,400ha・被害額10,500円
　15（1926）年５月１日　釜加特別教授所開設
　　８月22日　北海道鉄道札幌線（苗穂－沼の端）開業　千歳・美々駅設置（Ｈ29・３・３廃止）
　　10月　樽前山噴火（10・19、24、26、30）
　　22日　小樽新聞社機「北海」第１号千歳着陸場飛来
昭和３（1928）年９月　樽前山噴火（９・６、10・25にも噴火）

昭和４（1929）年 ９月　千歳市街電灯供用開始
５（1930）年 ６月22日　「キウスチャシ」（周堤墓群）史跡仮指定（～Ｓ24）
６（1931）年 ４月　烏柵舞尋常高等小学校開校（旧・私立王子尋常高等小学校）
８（1933）年 ２月　第１次千歳村経済更生計画樹立
５月　美笛　金鉱脈第１露頭発見
９（1934）年 10月28日　千歳飛行場開場式　北海タイムス社機「北斗」飛来
10（1935）年 ９月24日　千歳郵便局電話交換開始
市街通話開始
10月　中島商事、鉱山操業開始（美笛／10月～金採掘開始　坑外専用軌道敷設＝ガソリン機関車５両配置）（Ｓ27・７千歳鉱山軌道廃止）
11（1936）年 ９月　支笏湖郵便局開局（水溜郵便取扱所廃止）
胆振嶮渕郵便局開局
10月　千歳鉱山㈱創立　金採掘本格開発（美笛）
５日　第34回陸軍特別大演習期間中旅客機便臨時就航（千歳－羽田）
11月15日　樽前山噴火（11・25にも噴火）
12（1937）年 ２月15日　千歳鉱山特別教授所開設
12月　支笏湖郵便局集配・電信電話取扱開始（集配三等局昇格）
13（1938）年 ４月11日　第２次経済更生計画樹立・特別助成村指定
８月11日　美笛郵便局開局
10月13日　都市計画区域指定
14（1939）年 ４月１日　千歳村１級町村制施行
８月27日　日本初世界一周機「ニッポン」、米アラスカ州ノームに向け発航
11月　札幌警察署千歳警部補派出所開設
１日　千歳海軍航空隊開庁（陸上攻撃機・艦上戦闘機部隊）（５日開隊式／Ｓ18・３・１解隊）
12月　千歳鉱山製錬所完成
17日　北海道農産物検査所札幌支店千歳出張所開設（由仁町字三川）
千歳農業会内駐在所開設
15（1940）年 ３月　胆振種馬所千歳種付所開設（嶮渕）
４月　北海道林産物検査所札幌支所千歳駐在所開設（Ｓ19北海道石狩千歳林産物検査所）
16（1941）年 10月１日　木更津海軍航空廠大湊支廠千歳分工場設置（Ｓ17第41海軍航空廠千歳支廠、Ｓ19千歳が本廠）
11月　コンクリート道路完成（千歳駅－航空隊営門）
17（1942）年 １月　北海少年院開設
21日　美笛郵便局電信電話取扱開始
４月１日　北海道食糧営団千歳出張所開設
５月１日　町制施行（初代町長　岡本　幸信）
７月２日　千歳第一土地区画整理組合設立認可
18（1943）年 １月16日　森林組合設立
２月１日　千歳町国民健康保険組合事業開始
４月１日　金鉱業務整備令実施、千歳鉱山休山（保坑）
８月１日　鉄道省　北海道鉄道戦時買収（バス部門戦時統合北海道中央乗合自動車）
19（1944）年 １月１日　千歳電話中継所開設
５月20日　千歳農業会発足（農会・産業組合統合）
７月２日　樽前山噴火
20（1945）年 10月５日　連合国軍米軍進駐（第５航空軍）
15日　終戦連絡札幌事務所千歳出張所開設（Ｓ23廃止）
31日　札幌財務局千歳管財出張所開設
21（1946）年 ４月１日　千歳第二国民学校開校（３月根志越特別教授所廃止）
11月１日　日本医療団千歳病院開設（開院Ｓ22・１、Ｓ23・８・１北海道移管）
20日　蘭越国民学校開校
12月24日　札幌日傭勤労署千歳出張所開設
22（1947）年 １月12日　日本医療団千歳病院開院（旧・海軍航空基地営外酒保）（Ｓ23・10道立千歳病院となる）

昭和22（1947）年 4月1日　札幌土木現業所千歳派出所開設
北海道作物報告事務所千歳出張所開設
5日　民選初町長選挙（第1回統一地方選挙　2代町長　山崎　友吉当選）
30日　町議会議員選挙
5月　恵庭営林署千歳・烏柵舞・紋別担当区事務所開設
1日　鉱山中学校開校
6月　千歳中学校開校・幌加中学校開校
7月　総合計画樹立
1日　北海道中央乗合自動車（現・中央バス）札幌－千歳間バス運行開始（9・1本町に千歳営業所新設）
9月23日　湖畔・東部（由仁町三川）支所開設
23（1948）年 1月　札幌保健所千歳支所設置
2月22日　千歳駅全焼
3月2日　千歳渉外労務管理事務所開設（旧・2代役場庁舎）
7日　自治体警察・千歳町警察発足
26日　東千歳農業協同組合設立認可
4月8日　千歳町開拓農業協同組合設立認可
14日　千歳町農業協同組合設立認可
6月1日　千歳第3小学校開校（S43・7廃校）
8月20日　東千歳開拓農業協同組合設立認可
12月1日　札幌保健所千歳支所が江別保健所千歳支所に改称
20日　道立野幌高等学校千歳分校（千歳中学校併置／後の千歳高校）開校（S24・5・1開校式）
31日　千歳駅完成（3代目）
烏柵舞小学校移転新築
24（1949）年 1月　特別調達庁札幌調達局千歳調達事務所開設（現・防衛事務所）
29日　支笏湖小学校開校
4月　米陸軍第7歩兵師団来駐
8日　札幌公共職業安定所千歳出張所開設
13日　千歳商工会設立
5月16日　支笏洞爺国立公園指定
24日　千歳観光協会設立
30日　千歳町開拓生産農業協同組合設立認可（6・25設立）
6月10日　千歳第一土地区画整理事業完了
10月17日　「開町」70年記念式典挙行
『躍進千歳の姿』刊行（千歳初の史書）
25（1950）年 4月1日　道立野幌高等学校千歳分校、豊平町立月寒高等学校千歳分校に変更
30日　北海道千歳高等学校独立設置認可（5・2開校）
5月23日　役場庁舎移転（東雲町1丁目）
8月25日　警察予備隊千歳臨時部隊駐屯（100ビル）
27・28日　千歳川流域大雨水害
9月23日　千歳音頭発表（支笏湖畔）
26（1951）年 1月29日　樽前山噴火（7・28にも噴火）
4月23日　町長・町議会議員選挙（無投票／2代町長　山崎　友吉再選）
27日　米陸軍第45歩兵師団（オクラホマ州兵部隊）朝鮮出兵のため来駐
5月　美笛支所開設（S52・11・30閉鎖）
10日　王子軽便鉄道（山線）廃止
7月　開発建設部千歳出張所開設
20日　農業委員会発足　第1回農業委員選挙
8月頃　米空軍千歳基地　北海道空港（北海道の拠点空港）指定
10月25日　民間航空再開・日本航空千歳空港所開設
26日　日本航空就航（千歳－羽田）
12月　千歳中学校新築移転（栄町4丁目）
米陸軍第1騎兵師団朝鮮から来駐（S30・3撤退完了）
27（1952）年 4月　東千歳中学校開校

昭和27（1952）年 5月1日　町章制定　町制施行10周年記念式挙行
7月　千歳鉱山軌道撤去
10月5日　町教育委員選挙
30日　千歳町警察の存廃を決める住民投票（廃止決定）
11月1日　教育委員会発足
12月4日　室蘭街道　一級国道36号となる（S40・4・1一般国道36号）
12日　保安隊千歳駐屯地開庁（現・北千歳）
28（1953）年 1月1日　国警札幌方面千歳地区警察署開設（千歳町警察廃止）
28日　千歳駅全焼
3月30日　千歳第2次都市計画施行区域決定
4月1日　千歳少年院開院
5月21日　千歳駅前巡査派出所開設
25日　北栄小学校開校
8月8日　胆振千歳郵便局新庁舎完成（本町3丁目）
9月14日　樽前山噴火
10月1日　消防本部新庁舎完成（東雲町2丁目）
3日　千歳保健所開設（江別保健所千歳支所昇格）
11月2日　千歳（千歳橋）－札幌（豊平町定山渓鉄道踏切）間道路舗装竣工＝「弾丸道路」
29（1954）年 3月　青葉公園敷地の払い下げを受ける
4月1日　町立千歳高等学校道立移管
千歳駅完成（4代目）
18日　千歳公民館開館
支笏湖畔集団施設地区指定
5月2日　樽前山噴火（11・19にも噴火）
5日　千歳保育所開設
16日　千歳保健所新庁舎完成（東雲町4丁目）
29日　千歳町体育協会発足
6月26・27日　第1回支笏湖湖水まつり（千歳・苫小牧共催）
7月1日　北海道札幌方面千歳警察署となる
8月10日　日本ヘリコプター輸送（現・ＡＮＡ）就航
23日　昭和天皇・香淳皇后御来町（全国巡幸最終奉迎地）
25日　陸上自衛隊東千歳駐屯地開庁、千歳駐屯地から北千歳駐屯地へ名称変更
9月　米空軍第4戦闘要撃航空団来駐
15日　陸上自衛隊第1特科団本部東千歳来駐
23日　陸自第11普通科連隊東千歳来駐
26日　洞爺丸台風（15号台風）、支笏湖樽前山一帯森林大被害
11月5日　大火　幸町2丁目出火・17棟全半焼
30（1955）年 1月　上水道給水開始
2月4日　樽前山噴火
4月30日　町長・町議会議員選挙（2代町長　山崎　友吉再選）
農村地区の有線放送通話開始
5月23日　長都中学校開校（H17・3閉校）
6月　ディーゼルカー（キハ17）運行
7月22日　千歳・追分地方局地的豪雨　ケヌフチ・ママチ川氾濫・被害額7,407千円
9月1日　札幌税関支署千歳出張所開設
11日　大火　幸町1丁目出火・全半焼144棟・罹災世帯160・被害額13,925千円
31（1956）年 1月　駒里・中央・泉郷・水明中学校が千歳中学校から独立開校
3月　青葉公園都市計画公園認可
4月　末広小学校開校
5月　千歳川・ケヌフチ川改修着工（長都原野開発事業所）
6月　南長都地区開拓計画実施
18日　北栄小学校で石狩管内最初の完全学校給食を開始
8月5日　町営と場開設（北信濃）
9月15日　冷害（40数年来）

昭和31（1956）年 12月１日　公益質屋開設（Ｓ43・３・１廃止）
32（1957）年 ４月１日　緑小学校開校
５月１日　航空自衛隊第２航空団先遣隊移駐（５・20飛行隊移駐）、（浜松から・千歳飛行場周辺でＦ－86Ｆ×２墜落）
８月　青葉中学校開校
24日　第２航空団主力移駐（浜松・Ｆ－86Ｆ装備）
９月２日　航空自衛隊千歳基地開庁
10月１日　町内字名廃止
33（1958）年 ３月１日　役場庁舎完成移転（東雲町２丁目）
公民館移転（東雲町１丁目　旧・町役場庁舎）
国鉄長都仮乗降場開設
５月１日　真々地保育所開設（Ｈ24・３・31民営化、あずさつくし保育園として移転開園）
６月　米空軍完全撤退
23日　天皇陛下（皇太子殿下として）支笏湖御遊覧
７月１日　市制施行（初代市長　山崎　友吉）
千歳駅前郵便局開局
千歳特別無線中継所開設
長都駅開業
８月　本町巡査派出所開設
９月　モーラップ野営場市移管
11月１日　市営ガス事業供給開始
12日　美笛－大滝間道路開通式・丸駒－石山間道路開通（Ｓ34豪雨土砂崩れにより不通）
12月　消防庁舎完成
34（1959）年 ２月１日　千歳救難隊編成完結（Ｔ－６・Ｈ－19装備）
４月20日　水明小中学校藤の沢分校開校（Ｓ42・３廃止）
23日　豪雨　河川氾濫・道路決壊・被害額2,332千円
30日　市長選挙（２代市長　米田　忠雄当選）
市議会議員選挙
９月５・６日　局地的雷雨　美笛川橋梁流出・道路決壊・被害額2,332千円
24日　「開基」80年記念式典挙行　千歳市賛歌制定
35（1960）年 ４月　国民健康保険事業開始
５月　千歳小学校特殊学級（児童会館内＝旧・幸病院）設置
７月１日　ディーゼル急行「すずらん」運行
８月４日　全国レクリエーション大会開催（支笏湖）
11月８日　千歳商工会議所設立
36（1961）年 ５月１日　大火　幸町５丁目出火（全半焼30棟・罹災世帯70・損害額54,520千円）
16日　市議会解散決定（リコール住民投票）
24日　昭和天皇・香淳皇后をお迎え、第12回植樹行事及び国土緑化大会開催（支笏湖モラップ山麓）
６月20日　市議会議員選挙（解散による一般選挙）
７月24・25日　水害　下釜加・長都地方　住宅浸水189戸・被害額79,711千円
28日　千歳川切替工事完了根志越橋下流約6,000m新水路完成
８月11・12日　第３回国立公園大会開催（支笏湖・モラップ）
10月25日　公害対策協議会設立
30日　クマ・ステーション命名（Ｓ35～38米軍第３基地集約／主力＝ＡＳＡ千歳）
11月25日　電話自動式化　即時通話化（札幌・恵庭・支笏湖畔等）
12月１日　千歳飛行場東側滑走路供用開始
37（1962）年 １月６日　陸上自衛隊第１特科団本部北千歳駐屯地移駐
18日　陸上自衛隊第７混成団東千歳駐屯地来駐
３月12日　交通安全都市宣言
４月　千歳中学校特殊学級設置（千歳児童会館内）
７月28日　幌加峠改修工事完了
８月３日　台風９・10号来襲　被害額78,600千円

昭和37（1962）年 8月15日　陸上自衛隊第７混成団改編　第７師団創設（東千歳駐屯地）
9月15日　航空自衛隊千歳基地Ｆ－104Ｊ型戦闘機配備（第２航空団）
11月８日　市民会館開館
12月１日　蘭越生活会館開館
14日　千歳小学校・千歳中学校校舎新築（16日落成式典）
20日　企業誘致第１号新世乳業操業開始
38（1963）年 4月１日　千歳空港ターミナルビル供用開始
空港警備警察官派出所開設（Ｈ６改称・空港警備派出所）
30日　市長選挙（２代市長　米田　忠雄再選）
5月24日　強風　農作物被害・被害額24,286千円
6月　市営牧野開設（美々）
15日　支笏湖診療所診療開始
7月20日　「千歳民報」創刊（Ｒ２・１・31休刊）
12月　千歳市総合建設計画樹立
15日　国設モーラップスキー場開設（Ｈ６休止）
39（1964）年 1月　道立千歳高等学校新校舎に移転
4月１日　ＮＨＫ受信料市街地周辺半額免除（航空機騒音）
消防団東千歳分団設置
２日　消防団支笏湖分団設置
４日　新産業都市建設促進法指定
5月　水明小学校廃校（藤の沢分校は千歳小学校分校となる）
水明中学校藤の沢分校は水明中学校に統合
6月３・４日　大雨水害　釜加地方・被害額66,800千円
7月10日　公共下水道事業着手
8月７～９日　第１回千歳空港まつり開催（Ｓ49～56中止／Ｈ９～スカイ＆ビアフェスタ）
9月９・10日　オリンピック東京大会聖火空路到着　市内５区間リレー（空港～長都川左岸）
10月１日　給食センター開設（東雲町４丁目）
16日　末広保育所開設
12月１日　蘭越浄水場通水式
12日　第二小学校新築移転
16日　末広郵便局開局
40（1965）年 2月15日　豪雪　美笛地区降雪40㎝・260世帯孤立
4月　洞爺支笏湖線（現・国道276号）主要道道認可
千歳小学校藤の沢分校が藤の沢小学校として独立開校
5月25日　市議会議員選挙
8月10日　丸市魚菜卸売市場業務開始
22日　電話・全国即時通話化（全国主要520地域）
9月10日　台風23号来襲　住宅浸水133戸・農業被害311ha・美笛地区被害甚大（死者２名）
27日　国鉄千歳線千歳恵庭間複線化
10月30日　東千歳調理場（学校給食第２センター）新築落成（Ｈ５・７・22閉所）
12月１日　千歳北栄郵便局開局
16日　暴力追放都市宣言
41（1966）年 3月　水明中学校閉校
8月17～21日　集中豪雨・被害額47,845千円
11月11日　市営工場団地立地企業第１号北海道民芸木工㈱千歳工場操業
12月22日　清く明るく正しい選挙都市宣言
23日　末広し尿処理場完成
42（1967）年 1月　日の出小学校開校
3月　藤の沢小学校廃校
4月１日　千歳市立病院開院（旧・道立千歳病院移管）
28日　市長・市議会議員補欠選挙（２代市長　米田　忠雄再選）
5月　北栄警察官派出所（現・新富交番）開所
7月７日　用途地域指定（1,302ha）

昭和42（1967）年 9月20日　北海道初有料道路「支笏湖畔有料道路」（6.97㎞）開通
10月　市営食肉処理センター開設（美々・Ｈ４廃止）
25日　農村集団自動電話開通（567戸）
26日　市内路線バス運行開始（中央バス、千歳バス）
千歳バス開業（Ｓ50・12・19　千歳相互観光バス譲渡）
11月25日　千歳空港乗降客年間100万人突破
43（1968）年 2月25日　第１回市功労者表彰
3月27日　青少年健全育成都市宣言
泉郷小中学校廃校
4月１日　信濃小学校開校
市の木を制定（シラカバ）
5月16日　十勝沖地震発生　市内全域被害・被害額16,375千円
7月　千歳第３小学校廃校
17日　千歳消費者協会設立
8月30日　歩道橋完成（市内初・千歳小学校前）
9月　島松千歳線道道認可
11月10日　胆振千歳郵便局新築移転（東雲町３丁目）
12月１日　千歳春日郵便局開局
18日　キウス環状土籬群（周堤墓群）、北海道文化財（史跡）指定（Ｓ54国指定）
44（1969）年 1月　北栄保育所開設
3月31日　市消防に化学消防車配備
4月21日　千歳市長一行アンカレジ市訪問　姉妹都市盟約書調印
5月21日　市議会議員選挙
8月２日　「開基」90年記念式典挙行　『千歳市史』刊行
9月　都市診断を報告（東洋大学学長　磯村　英一）
11月10日　千歳中学校完全防音体育館完成（北海道初）
12月６日　青少年会館開館
20日　青年の家支笏湖青少年研修センター開所（H17・３・31閉所）
45（1970）年 2月８日　全日本冬季総合大会滑降競技大会開催（８日女子・12日男子・恵庭岳・12日　滑降コース）
3月16～20日　雪害　道道洞爺支笏湖線全線不通・苫小牧営林署員行方不明
4月　高台小学校開校
大型旅客機就航（日航・ＤＣ－８型　全日空・ボーイング727型）
6月29日　スポーツ都市宣言
航空自衛隊第３高射群新編完結（千歳基地）
8月　第１回市民納涼盆踊り大会
9月16日　江別市有林約634ha売買契約締結
12月１日　千歳飛行場東側3,000m滑走路供用開始
18日　消防署富丘出張所開所
46（1971）年 1月　東小学校開校（幌加・協和・東丘小学校統合）
2月５～10日　滑降競技大会開催・恵庭岳滑降コース
7～13日　札幌国際冬季スポーツ大会（プレオリンピック）
3月31日　米軍クマ・ステーション閉鎖（東千歳）
4月　北進小・中学校開校（旧・千歳小・中学校北栄分校）
1日　千歳市第２期総合開発計画スタート
10日　公民館新築開館
25日　市長・市議会議員補欠選挙（２代市長　米田　忠雄再選）
5月15日　市街化区域及び市街化調整区域決定
6月30日　千歳渉外労務管理事務所閉鎖
7月５日　千歳公民館長都分館新築開館
8月20日　第１回千歳川まつり（現・千歳川清掃）
12月４日　道央自動車道（高速千歳ＩＣ－北広島ＩＣ）開通
47（1972）年 1月17日　真町中学校開校
29日　第11回オリンピック冬季大会聖火市内リレー

昭和47（1972）年 2月3~13日　第11回オリンピック札幌冬季大会
5・7日　オリンピック冬季大会滑降競技大会開催（5日女子・7日男子・恵庭岳滑降コース）
3月　中央中学校廃校（真町中学校統合）
24日　陸上自衛隊第1高射団編成（東千歳／後の第1高射特科団）
6月28日　北栄・新富が自治省モデルコミュニティ地区指定
7月1日　養護老人ホーム「千寿園」開設
9月19日　道央自動車道（高速千歳ＩＣ－北広島ＩＣ）4車線全面開通
12月12日　千歳市土地開発公社設立（H26・3・31解散）
48（1973）年 1月　青葉中学校校舎新築移転
15日　広報「ちとせ」発刊500号
25日　千歳恵庭高等職業訓練所開校
2月28日　公設卸売市場開業
3月16日　ガス工場移転（第1工業団地）
4月　北海道千歳北陽高校開校（中央仮校舎）
ガス水道局庁舎移転（旧・拓銀・本町3丁目）
千歳市民生委員連絡協議会発足
1日　千歳手形交換所開設
5月20日　市議会議員選挙
6月3日　千歳共同仕入センター完成
7日　Ｆ－104Ｊ型戦闘機墜落（祝梅）
10月1日　乳幼児・寝たきり老人医療費無料化実施
17日　長都大橋完成
12月4日　市道第2停車場線（旧・中央大通）東11線－9線間開通
49（1974）年 1月20日　北新コミュニティセンター開設
3月　末広小学校新築移転
4月1日　「市民カレンダー」発行開始
学校給食センター新築移転（第2工業団地）
17日　大型旅客機就航（日航ボーイング747型　全日空Ｌ－1011型）
東千歳中学校校舎落成
共同火葬場新築移転（根志越）
7月1日　千歳市医師会による救急急病当番病院制度開始
8月1～6日　ボーイスカウト第6回日本ジャンボリー開催（千歳原＝東千歳）
4～6日　皇太子殿下、千歳御滞在
10月1日　航空自衛隊千歳基地Ｆ－4ＥＪ型戦闘機配備（第2航空団）
17日　支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター開設（H15・3閉所）
11月1日　人口6万人突破
12月1日　東亜国内航空機就航（丘珠から移転／H16・4・1合併（日本航空ブランド））
50（1975）年 1月　住吉保育園開設
2月12日　千歳市・恵庭市境界問題解決「境界確認に関する協定書」調印（千歳市上長都地区）
4月　富丘中学校開校
27日　市長選挙（3代市長　東峰　元次当選）
市議会議員補欠選挙
30日　支笏湖温泉通湯式（39℃ナトリウム－炭酸水素塩泉）
6月1日　支笏湖自然の村開村
30日　米軍千歳基地完全閉鎖
8月10日　美々貝塚発掘調査
23日　台風6号来襲　ケヌフチ川決壊・被害額395,000千円・祝梅川溢水ほか
12月19日　千歳相互観光バス運行開始（千歳バス継承）
27日　北海道千歳北陽高校新築移転（現・北陽）
この年　支笏湖ヒメマス水かび病発生・全面禁漁～Ｓ53
51（1976）年 4月　千歳医師会准看護学院開校（Ｓ55・4改称－看護高等専修学校）
1日　青少年指標制定

昭和51（1976）年 4月1日　祝梅小学校開校
市立図書館開館
市立病院増改築し、千歳市立総合病院と改称
23日　千歳市婦人団体協議会発足（現・千歳市女性団体協議会）
26日　市庁舎新築移転（現・本庁舎）
5月1日　下水終末処理場運転開始
8日　北信濃コミュニティセンター開設
6月1日　支笏湖ヒメマス釣り2年ぶりに解禁（～7月）
8月21日　国鉄千歳線開通50周年記念式典
10月22日　千歳飛行場開設50周年記念式典
12月21日　国鉄千歳線高架事業都市計画決定
52（1977）年 4月23日　美々貝塚が市史跡指定、磨製石棒・男性土偶・駅逓看板が市有形文化財指定
5月22日　市議会議員選挙
7月23日　国設美笛野営場開設
9月19日　支笏湖畔国民休暇村開業（全国28番目、道内初）
10月16日　第1回支笏湖紅葉まつり開催
11月15日　千歳鉱山職住分離完了
30日　美笛支所閉鎖
53（1978）年 1月11日　千歳消防団美笛分団解団式
3月31日　鉱山小中学校廃校
蘭越小学校廃校（緑小学校統合）
支笏湖自然の村閉村
4月1日　桜木小学校開校
5月14日　樽前山小噴火（苫小牧測候所推定・22時53分～23時36分）
6月17日　スポーツセンター開設
8月14日　泉沢開発造成工事着手（11日「泉沢向陽台」命名）
9月7日　千歳空港国際化促進道民大会（札幌市）
10月16日　千歳富丘郵便局開局
20日　交通安全教育施設「交通公園」開設
23日　恵庭営林署千歳地区合同担当区事務所新築移転（桂木）
11月　千歳商工技術研修センター落成
16日　消防総合庁舎新築移転（現・消防庁舎）
30日　ニチイ千歳ショッピングデパート開店（現・イオン千歳店）
12月1日　千歳飛行場東側滑走路南方移動供用開始
23日　泉沢市民スキー場開設
54（1979）年 1月30日　第1回千歳支笏湖氷濤まつり開催
2月11日　千歳空港利用客通算乗降客数5000万人達成（全国4番目）
3月1日　戸長役場開設100年記念式典
11日　富丘コミュニティセンター開設
4月1日　特別養護老人ホーム「暢寿園」開園
22日　市長・市議会議員補欠選挙（3代市長　東峰　元次無投票再選）
5月22日　千歳市民友好訪中団出発
23日　ウサクマイ遺跡群、国史跡指定
6月6日　動物形土製品、国重要文化財指定
7月1日　市民憲章制定
8月4日　「開基」100年記念式典挙行
10月7・8日　第1回千歳川さけ祭り（現・インディアン水車まつり）開催
23日　キウス周堤墓群、国史跡指定
24日　千歳市防災訓練（真々地地区）
25日　泉郷獅子舞、市無形文化財指定
11月9日　姉妹都市提携10周年記念式典（サリバン・アンカレジ市長来千）
17日　泉沢向陽台開村式
12月15日　開基100年記念タイムカプセル収納式
55（1980）年 2月16日　農民研修センター開設

昭和55（1980）年 5月1日　支笏湖自然科学館（支笏湖ビジターセンター）開設
27日　日本近距離航空（現・エアーニッポン）千歳就航
7月10日　国鉄千歳線高架供用開始
21日　蕨手刀、市有形文化財指定
10月1日　千歳線電化供用開始、千歳空港駅開業・空港駅連絡歩道橋供用開始（現・南千歳駅）
11月1日　アーケード落成（ニューサンロード　H18・11・30撤去）
56（1981）年 1月20日　千歳警察署新築移転（東雲町5）
2月22日　鉄東コミュニティセンター開設
27日　樽前山小噴火
3月16日　千歳空港・植物防疫法及び家畜伝染予防法空港指定
20日　千歳空港・税関空港指定
23日　千歳空港国際定期便初就航（日本航空ホノルル線（成田経由）定期便就航（S62・12・30運休））記念祝賀会開催・記念訪米団出発
4月　千歳いずみ学園新園舎完成
1日　千歳市第3期総合開発計画スタート
千歳市環境保全公社設立（7・17財団法人）
北斗保育園開設
5月24日　市議会議員選挙
7月5日　第1回千歳日航ポピュラーマラソン（現・千歳JAL国際マラソン）大会開催
8月3～6日　“前線と台風12号による北海道の大雨”　雨量327㎜・被害額3,190,710千円
22～24日　“台風15号と前線による大雨”　農業壊滅的打撃・被害額1,101,550千円
31日　済州道観光協会と姉妹提携調印（千歳観光連盟）
10月1日　国鉄石勝線開業（千歳空港－新得間）
30日　千歳駅前広場完成
57（1982）年 2月11日　「三笠宮寛仁親王殿下と輪になって語ろう障害者とボランティアの集い」開催
3月12日　千歳青少年教育財団設立（H24・4・1公益財団法人）
4月　向陽台小学校開校
14日　千歳市農協野菜集出荷施設完成
23日　千歳市・長沼町境界確認調印式
26日　泉沢養魚場開設
5月19日　クリーンジャパンセンターが千歳市を「社会システム実験モデル都市」に指定（千歳市環境保全公社）
7月20日　千歳市文化団体連絡協議会設立
10月2日　臨空工業団地操業第1号・明昌特殊産業千歳工場完成
11月29日　リサイクルセンター運転開始
12月10日　再開発ビル（ちとせデパート入居／旧・千歳タウンプラザ）オープン／中心街コミュニティセンター開設
11日　千歳梅ヶ丘郵便局開局
58（1983）年 2月5日　高齢者事業団事務所完成
7日　人口7万人突破
3月20日　『増補千歳市史』刊行
4月1日　総合福祉センター開設（千歳コミュニティセンター含む）
13日　航空自衛隊千歳基地Ｆ－15Ｊ型戦闘機配備（第2航空団）
15日　千歳飛行場周辺移転先地公共施設整備事業・北斗5丁目宅地分譲開始
24日　市長選挙（3代市長　東峰　元次再選）
7月15日　一村一品製品化第1号「ハスカップの詩」発表
8月10日　支笏湖畔下水終末処理場（支笏浄湖苑）運転開始
19日　全国基地関係協議会正副会長会議開催
9月8日　常陸宮妃殿下総合福祉センター御視察
11月21日　東部支所東丘移設（由仁町三川→農民研修センター）
12月20日　航空3社機内放送「札幌千歳空港」から「千歳空港」に統一（旧・空港時代）
22日　紫明女子学院歌志内から移転開院

昭和58（1983）年12月22日　千歳少年院廃止（S51～58院生収容なし）
59（1984）年４月　北斗中学校開校
向陽台保育園開設
１日　市民文化センター開設（S58・12・１竣工）
14日　支笏湖畔有料道路無料化
５月27日　支笏湖公園線自転車道全線開通
７月18日　千歳市シルバー人材センター設立（H24・４・１公益財団法人）
10月１・２日　全国都市行政研究会総会開催
５日　国道276号美笛峠新ルート開通
15日　千歳自由ケ丘郵便局開局
24日　電話局番２桁移行
11月６日　消防署向陽台出張所開所
27日　市内から映画館なくなる
60（1985）年３月28日　ナイベツ川湧水「名水百選」に選定
５月26日　市議会議員選挙
８月１日　小規模授産施設ちとせ開設
20日　第16回全国中学校卓球大会開催
10月１日　環境センター廃棄物破砕処理施設始動
道東自動車道千歳－夕張間整備計画路線昇格
31日　エキノコックス汚染地域指定
11月25日　千歳白樺郵便局開局
12月22日　ひびけ市民の“第９”発表会
12月25日　北海少年院移転完了
61（1986）年１月14日　千歳市公園緑化協会設立（３・28財団法人）
２月１日　グリーンベルト地下駐車場開業
24日　千歳鉱山休山式
３月15日　第１回千歳21世紀フォーラム「都市と空港」開催
24日　札幌支笏湖国際観光モデル地区指定（旧・運輸省）
４月１日　支笏湖市民センターオープン
市の木・花・鳥を新規制定（カツラ・ツツジ・ハナショウブ・ヤマセミ・コウライキジ）
20日　湖畔が「支笏湖温泉」に字名変更
６月１日　直通バス運行（千歳空港－美笛経由－洞爺湖温泉）
（北海道中央バス・道南バス、１日１往復）
７月１日　夜間救急医療業務委託一本化（千歳医師会）
15日　札幌国際エアカーゴターミナル設立
27日　青空公園内アスファルト舗装スケートリンク竣工
８月10日　千歳飛行場・鉄道千歳線60周年記念事業「昔を偲ぶ集い」開催
10月１日　泉沢地区第２期開発事業起工式
22日　千歳飛行場開基60周年・鉄道千歳線開通60周年記念事業式典
62（1987）年２月２日　住民基本台帳オンライン業務開始
３月　職安千歳出張所　札幌東公共職業安定所管轄となる
31日　道央テクノポリス推進地域協議会設立総会（於苫小牧市）
航空自衛隊北部航空警戒管制団第８移動警戒隊創隊
４月　向陽台中学校開校
１日　泉沢向陽台コミュニティセンター開設
26日　市長選挙（４代市長　梅沢　健三当選）
市議会議員補欠選挙
５月12日　青葉公園に市民球場オープン
７月１日　航空自衛隊千歳基地　ジェット燃料タンク落雷爆発炎上（第２航空団）
８月26日　“62年８月大雨災害”　雨量254㎜・被害額298,340千円
９月13日　皇太子殿下・同妃殿下、第11回全国育樹祭御出席（支笏湖・モラップ）
11月１日　祝梅コミュニティセンター開設
14日　千歳川放水路事業促進連合協議会設立（於札幌市）
18日　「サーモン橋」開通

昭和62（1987）年 12月15日　グリーンベルト地下駐車場第２期オープン
この年　千歳空港年間乗降客数旅客数1000万人突破
63（1988）年 ２月１日　市立図書館新築移転
２月５日　公共空地整備事業竣工
３月28日　暴力追放・防犯都市宣言
４月　日本航空学園千歳校（現・日本航空大学校北海道新千歳空港キャンパス）開校
６月20日　新千歳空港管制塔運用開始（千歳管制隊）
７月10日　新千歳空港オープニングフェスティバル開催
17日　おさつ駅前土地区画整理組合設立
20日　新千歳空港開港（Ａ滑走路供用開始）
国際エアカーゴ初便就航
23日　青葉公園中央広場開園
８月６・７日　第１回清流千歳川噴水フェスティバル開催
31日　コングスベルグ友好親善都市声明文に署名（コングスベルグ）
12月15日　長都へき地保育所落成
17日　東千歳地区水道事業通水式（Ｈ元事業完了）
平成元（1989）年 ２月14日　道央テクノポリス開発計画承認（全国26番目）
３月１日　戸長役場開庁110年記念式
５月１日　たんぽぽ夜間保育園開園
13日　おさつ駅前土地区画整理事業起工式
21日　市議会議員選挙
６月２日　コリアンエアー　ソウル線定期便就航
６日　北海道横断自動車道千歳－夕張間杭打ち式
28日　北海道さけますふ化場千歳支場新庁舎落成
７月８日　新千歳空港ターミナルビル新築工事起工式
９月11日　第44回国民体育大会石狩支庁管内大会旗・炬火リレー採火式（支笏湖畔）
18～21日　第44回国民体育大会野球競技会
10月　青空公園「ふれあいセンター」完成
21日　名水ふれあい公園開園
28日　「開基」110年記念式典挙行
30日　千歳・アンカレジ市姉妹都市提携20周年記念式
11月４日　ＪＲ長都駅西口構外待合室寄付採納　ＪＲ長都駅前広場待合室竣工
12月１日　消防署西出張所開所
13日　東千歳地区水道事業竣工
２（1990）年 ２月２日　廃棄物焼却処理施設完成
26日　東千歳へき地保育所改築落成
28日　蘭越生活館改築竣工
３月31日　航空自衛隊第３高射群改編・ナイキシステムからペトリオットシステムへ換装完了
航空自衛隊第３移動通信隊新設（千歳基地）
７月２日　コンチネンタル航空（現・ユナイテッド航空）　グアム・サイパン線定期便就航（Ｈ30・１・15運休）
８月１日　支笏湖小学校環境庁長官賞受賞
北海道地価監視区域指定
３～５日　全国障害者問題研究会第24回全国大会
８日　「おはよう橋」開通（ふるさと創生事業）
11日　第１回北海道ビールまつり・イン・ちとせ開催
14日　国際航空貨物取扱施設竣工
９月９日　道央恵庭地区圃場整備事業完成記念式
10月28日　キャセイ・パシフィック航空　香港線定期便就航（Ｈ10・10・24運休→Ｈ13・12・２再開）
11月29日　千歳美々ワールド設立（Ｈ11・８・27解散決議・千歳市土地開発公社事業承継）
30日　陸上自衛隊第７師団司令部庁舎竣工

平成２（1990）年 11月30日　国営千歳地区直轄明渠排水事業竣工式
12月６日　航空自衛隊千歳基地200ビル（海軍航空隊司令部庁舎）大規模改修
３（1991）年 ２月１日　千歳市農協・東千歳農協合併　新「千歳市農業協同組合」発足
15日　消防署富丘出張所増改築庁舎落成
３月４日　おさつタウンセンター落成
４月　支笏湖診療所新築移転
１日　千歳市第４期総合計画（Ｈ３～12年度）スタート
20日　中央バス「高速ちとせ号」（千歳市内－札幌）運行
21日　市長選挙（５代市長　東川　孝当選）
市議会議員補欠選挙
５月８日　札幌入国管理局千歳・苫小牧出張所開設
日本道路公団札幌建設局千歳工事事務所新事務所庁舎落成
15日　日本航空　香港－名古屋－新千歳－ニューヨーク線貨物定期便就航（エバーグリーン・インターナショナル機・Ｈ３・11　臨時化・Ｈ５・２運休）
７月15日　グリーンベルト地下駐車場地下連絡通路開通式
20日　市民憲章ブロンズ像完成
８月１日　消防支笏湖温泉分遣所、出張所昇格
済州道姉妹提携10周年記念交流訪問団出発
９月７日　千歳霊園経営許可（11・３分譲開始）
14日　市役所庁舎等土曜閉庁制実施（毎月第２・第４土曜日）
22日　千歳航空少年団結団式
10月１日　泉沢向陽台証明事務取扱所開設（消防署向陽台出張所内）
第５回ツール・ド・北海道第１ステージスタート
７日　新千歳空港輸入食品届出窓口開設
16日　日本ユニバーサル航空就航（国内貨物専用・Ｈ４・９休止）
22日　航空自衛隊Ｆ―15Ｊ型戦闘機標的曳航ワイヤー切断ミス事故　民家・工場・架線等被害（第２航空団）
28日　青葉公園冒険の森開設
30日　人口８万人突破
11月３日　千歳霊園永代貸付開始
25日　千歳長都駅前郵便局開設
12月７日　向陽台警察官派出所（現・向陽台交番）開設
10日　北桜コミュニティセンター開設
４（1992）年 ２月１日　新千歳空港簡易ガス事業火入れ式・供給開始
千歳川取水施設取水開始
３日　日本航空　ホノルル線定期便就航再開（ＪＡＺ／H15・９・30運休）
３月１日　暢寿園デイサービスセンター開設
17日　道央自動車道、186台多重衝突事故発生（長都川橋付近）
27日　陸上自衛隊第１地対艦ミサイル連隊創設
５月11～15日　国際連合アジア・太平洋経済協力千歳会議（国連フォーラム）
７月１日　新千歳空港ターミナルビル供用開始・新千歳空港駅開業・新千歳空港内郵便局開局
ハートピアショップ「るぴなす」（新千歳空港ビル内）開店（H16・３・31閉店）
17日　消防創設70周年記念式典
８月５・６日　第34回自然公園大会開催（支笏湖・モラップ）
６～８日　全国水環境保全市町村連絡協議会（名水シンポジウム）
９月13日　全日本「第９を歌う会」千歳演奏会
21日　泉郷開拓100年記念式典
30日　道央自動車・札樽自動車道連結（札幌ＪＣＴ）
千歳市防災訓練（青葉運動場）
10月27日　カンタス・オーストラリア航空　ケアンズ線定期便就航（H10・３・31運休）
11月３日　第１回千歳市民文化賞・文化奨励賞贈呈式

平成５（1993）年 ３月　　中央小学校閉校式
１日　新千歳空港24時間運用第１回テストフライト（３・１、９、21）
10日　㈶千歳市体育協会設立（H25・４・１公益財団法人）
４月１日　情報公開制度スタート
17日　北海道エアロポリス・プロジェクト・プレゼンテーション開催
５月23日　オール北海道オープンアーチェリー大会開催
30日　市議会議員選挙
６月１日　開基記念総合武道館開館
航空自衛隊特別航空輸送隊編成完結（千歳基地）
７月20日　新千歳空港24時間運用第２回テストフライト（７・20、27、８・３）
22日　東千歳調理場閉所式
８月８日　第26回全日本少林寺流空手道全国選手権大会
17日　千歳・苫小牧地方拠点都市地域指定
22日　第27回全日本医科学生体育大会準硬式野球大会開催
25日　おさつ駅前土地区画整理事業竣工記念式典
９月20日　北海第１号ブロンズ除幕式（空港広場）
10月12日　第26回全国昭和市長会開催
26日　麻薬・覚醒剤禍撲滅運動北海道大会開催
11月１日　支笏湖ヒメマス移植100年・養殖ヒメマス出荷10周年記念事業開催
６（1994）年 ２月９日　総合武道館・北海道赤レンガ建築賞受賞
14日　美々プロジェクト起工式
３月29日　北海道エアフロント開発創立総会（H11・４・１解散）
４月　　北陽小学校開校
２日　市立総合病院泉郷診療所新築移転
８日　消防緊急通信指令施設運用開始
15日　鹿児島県指宿市と姉妹都市提携盟約調印
19日　市営牧場新築移転（駒里）
５月22日　市議会議員補欠選挙
６月　　防衛庁技術研究本部東千歳地区空力維持研究施設開所
23日　新千歳空港24時間運用開始（国内初）
30日　新千歳空港深夜早朝便初就航
７月９日　全道信用組合野球大会開催
25～29日　国際民間航空機関航空運送政策セミナー開催
８月20日　第24回全国中学校選抜剣道大会開催
９月７日　流通業務団地造成起工式
10日　千歳サケのふるさと館開館
12月５日　北海道さけますふ化場千歳支場「さけの里ふれあい広場」開設
17日　ＪＲ長都駅跨線橋（自由通路－おさつスカイロード）供用
18日　第21回全道自衛隊剣道大会開催
７（1995）年 １月18日　北海道総合在宅ケア事業団千歳訪問看護ステーション開所
２月１日　千歳福祉サービス公社設立（H25・３・31解散、社協に統合）
３月17日　千歳ワールド・マーケット・プレイスＮＥＷＳ開業（H10・３・31閉鎖）
31日　マルチメディア情報センター開設（H15・９・30閉鎖）
４月　　北海道千歳リハビリテーション学院（現・北海道千歳リハビリテーション大学）開校
15日　市民ギャラリー落成
23日　市長選挙（５代市長　東川　孝再選）
市議会議員補欠選挙
５月25日　ガスパイプライン千歳市内ルート合意
６月27日　航空自衛隊千歳管制隊新ラプコン落成
７月１日　第18回全日本学生軟式野球選手権大会
４日　ホトニクスバレー講演・説明会
８月23日　千歳命名190年シンポジウム「江戸時代にみる千歳の風景」
９月１日　東京事務所開設（千代田区平河町）（H17・３閉所）
10月１日　個人情報保護制度スタート

平成７（1995）年 10月２日　向陽台支所開設
新周堤墓発見（中央キウス４遺跡）
14日　ヒメマスフォーラム開催
17日　人口８万５千人突破
21日　第36回全日本初生雛雄雌鑑別選手権大会
12月　インディアン水車サケ捕獲過去最多（55万尾／年）
18日　千歳警察署住吉交番開所
８（1996）年 ２月29日　北海道砂利採取連絡協議会設立
３月19日　ガスパイプライン（勇払－札幌）竣工
26日　㈶千歳科学技術大学設立準備財団許可
29日　陸上自衛隊北千歳駐屯地129特科大隊新編完結
４月１日　ひので児童館開設
26日　新千歳空港Ｂ滑走路供用
５月29日　千歳・苫小牧・恵庭－災害時広域「相互応援協定」締結
６月４日　皇太子同妃殿下、千歳サケのふるさと館御視察
７月　青葉陸上競技場改修完成
（全天候型青色ウレタン走路－全国２番・道内初）
４日　千歳・新千歳空港乗降客数２億４千万人突破
18日　千歳オフィス・アルカディア起工式
８月17日　第24回北海道青年祭開催
９月20日　スカイフェスタ　ニューチトセ　96（空の日）
21日　千歳飛行場を造った村民顕彰の碑除幕式
10月16日　石油資源開発㈱基礎試錐「馬追」開坑式（泉郷）
22日　千歳線開通・千歳空港開港70年記念式典、市民フォーラム
11月１日　市の魚を制定（ヒメマス・サケ）
５日　インディアン水車設置100年記念特別講演開催
15日　国際農業シンポジウム開催
12月２日　千歳科学技術大学建設工事起工式
９（1997）年 2月4~7日　ＥＳＣＡＰ（国際連合アジア太平洋経済社会委員会）調整グループ会合開催
４月　泉沢小学校開校
１日　北コミュニティセンター開設
消防署祝梅出張所開設
在宅福祉総合センター「ほっとす」開設
５月25日　市議会議員選挙
６月１日　市営ガス事業譲渡（北海道ガス・５・20認可）
市民文化センター証明事務取扱所開設（H16・３・31閉鎖）
８月９・10日　第１回北海道スカイ＆ビアフェスタちとせ開催（ビールまつり＋空港まつり）
25日　千歳市防災総合訓練（臨空工業団地内）
10月１日　市指定ごみ袋導入
29日　ＫＬＭオランダ航空　アムステルダム線定期便就航（H14・２・１運休）
11月22日　「山線鉄橋」（旧王子軽便鉄道千歳川鉄橋）解体修復完了・開通式
12月２・３日　支笏湖・東部支所開設50周年を祝う会
10（1998）年 ３月27日　通信・放送機構「千歳ホトニクスリサーチセンター」開設
28日　北海道エアシステム（ＨＡＣ）就航（H23・６・11撤退）
30日　新葬斎場完成
４月１日　しなの児童館開設
11日　千歳科学技術大学第１回入学式
５月11日　ジェイ・エア　就航
６月８日　千歳郵便局新築移転（千歳駅前）
28日　チャイナ・ノーザン航空（現・チャイナ・サザン航空）瀋陽線定期便就航（H24・９・１運休）
７月20日　温水プール落成
30日　ビア・ワークスちとせ落成
８月11日　千歳市支笏湖ヒメマスふ化場開設（水産庁より譲渡）

平成10（1998）年 10月５日　千歳ヤマセミ郵便局開局
12～15日　第４回先端有機ホトニクス物資と応用に関する国際会議（ＩＣＯＮＯ'４）開催
19日　自衛隊札幌地方連絡部千歳募集事務所新築事務所開き
22日　商店街振興組合連合会創立20周年記念式典
12月１日　ペデストリアンデッキ（南千歳駅南口）開通
14日　千歳駅エレベーター・エスカレーター完成
20日　北海道国際航空（現・ＡＩＲＤＯ）就航
11（1999）年 ２月28日　ちとせデパート営業終了（自己破産）
３月１日　戸長役場開庁120年記念式（市民ホール）
25日　道央圏連絡道路新千歳空港―日の出ランプ間供用
26日　千歳市地域振興券利用開始（～９・30）
４月１日　中央コミュニティセンター開設
アリス保育園開園（併設・地域子育て支援センター）
16日　千歳信用組合経営不振・事業譲渡決定（専和信用組合）
24日　スカイマーク・エアラインズ（現・スカイマーク）就航（H12・６・30運休→H18・４・28再開）
25日　市長選挙（無投票／５代市長　東川　孝再選）
５月６日　千歳いずみ学園祝梅分場開設
７月10日　支笏洞爺国立公園指定50周年記念フォーラム
17・18日　YOSAKOIソーランちとせトーナメント祭
30日　千歳川放水路計画中止決定
千歳オフィス・アルカディア竣工式
８月２日　向陽台在宅介護支援センター開所
４日　最高気温33.1度記録（新千歳航空測候所観測史上２位・鉄道一時運行休止）
24日　山線鉄橋、市有形文化財指定
10月１日　千歳命名195年・開庁120年記念式典
千歳・アンカレジ姉妹都市提携30周年記念式典
７日　道東自動車道千歳恵庭ＪＣＴ－夕張ＩＣ間開通
12・13日　千歳光科学国際フォーラム
11月６日　道立千歳高等学校創立50周年・新校舎落成記念式典
15日　札幌東公共職業安定所千歳出張所移転
29日　千歳東郊郵便局開局
12月13日　北央信用組合営業開始（旧・専和信用組合）
12（2000）年 ４月１日　祝梅在宅福祉センター「祝梅ほっとす」開設
千歳市福祉共同作業所「ほほえみ」開所
ほくおう児童館開館
26日　支笏湖美化センター開館
５月８日　人口８万８千８百人突破
７月28日　東日本電信電話㈱千歳営業所廃止
９月５～８日　光メモリ国際シンポジウム（ＩＳＯＭ）開催
15・16日　全国生涯学習まちづくりフォーラム開催
28日　中央バス「支笏湖バスターミナル」営業終了
10月２日　気象庁ドップラーレーダー完成（新千歳空港）
24日　デジタルシティ千歳会議開催
31日　ゆうまいタウンプラザ竣工（11・１イトーヨーカドー千歳店開店）
12月31日　ちとせ21世紀カウントダウンフェスティバル開催
13（2001）年 ２月１日　道央農業協同組合発足（千歳・恵庭・北広島・江別・野幌農協合併）
２月12日　支笏湖結氷（湖水開き一週間延期）
４月１日　千歳市新長期総合計画（H13～22年度）スタート
千歳オフィス・アルカディア「千歳アルカディア・プラザ」開業
ごみ収集業務民間委託祝祭日収集開始
２日　水道局新庁舎開庁（東雲町３丁目）
消防署支笏湖温泉出張所新築移転
５月20日　市議会議員選挙
６月５日　苔の洞門岩盤崩落全面閉鎖

平成13（2001）年 7月22日　サハリン航空（現・オーロラ航空）　ユジノサハリンスク線定期便就航
8月1日　チャイナ・ノースウエスト航空（現・チャイナ・イースタン航空）上海線定期便就航
9月7日　第2回千歳光科学国際フォーラム開催
12～14日　第25回赤十字北海道大会開催
10月1日　しゅくばい児童館開館
26日　千歳空港開港75周年・民間航空再開50周年記念式典
14（2002）年 2月20日　千歳市ＩＳＯ１４００１認証取得（～H18・2）
3月　道央圏連絡道路国道36号－日の出ランプ間供用
2日　千歳医師会看護高等専修学校閉校
16日　千歳科学技術大学第1回卒業式
25日　市立市民病院本体施設竣工
27日　陸上自衛隊第7化学防護隊創隊
4月1日　千歳科学技術大学大学院（修士課程）開設
千歳市ファミリー・サポート・センター開設（8・1サービス開始）
3日　せいりゅう児童館開館
5月29日　都市ガス－天然ガス化完了（北海道ガス）
7月9～11日　ＩＴＵ－Ｔ（国際電気通信連合）国際会議
9月1日　市立千歳市民病院開院
2日　循環型コミュニティバス（通称ビーバス）運行開始
26日　人口9万人突破
10月22日　北海第1号操縦士、酒井憲次郎飛行士のブロンズ像除幕式
12月10日　千歳こどもデイケアルーム開設（市民病院敷地内）
15（2003）年 1月24日　第1回千歳川光と氷のオブジェ開催（～2・3）
3月25日　道央圏連絡道路日の出－寿ランプ間供用
30日　エバー航空　台北線定期便就航
4月1日　下水道汚泥処理施設「スラッジセンター」供用
27日　市長選挙（6代市長　山口　幸太郎当選）
市議会議員補欠選挙
8月1日　おさつジャンボバス運航開始
31日　日本航空機製造YS－11型機民航ラストフライト（エアーニッポン女満別線）
9月1日　障害者総合支援センター開設
12月5日　深夜貨物定期便就航（全日空新千歳－羽田）
16（2004）年 4月1日　千歳駅前大型商業施設「ペウレ千歳」開業（千歳駅バスターミナル機能供用開始・千歳駅市民サービスセンター開設（H31・4・30閉鎖））
いずみさわ児童館開館
市庁舎全面禁煙
5月1日　特別養護老人ホーム「やまとの里」開設
6月21日　JTC1/SC 25千歳会議開催（情報技術機器の相互接続の標準化）
10月11日　長春市友好親善都市合意調印
17（2005）年 1月30日　千歳命名200年記念事業　千歳市民劇「シコツ越え」開催
3月12日　千歳タウンプラザ（旧・エスプラザ）開業
15日　支笏湖青少年研修センター閉所
20日　長都小・中学校閉校
4月1日　水防センター開設
つくし保育園開設
29日　千歳アウトレットモール・レラ開業
5月29日　市議会議員選挙
30日　住民参加型ミニ市場公募債「千歳命名200年記念債」発行
31日　千歳市駒里農業協同組合設立認可
6月2日　道央農業振興公社設立
25日　道の駅「サーモンパーク千歳」オープン
7月6日　北海道競馬場外発売所「Aiba千歳」開所
9月6日　航空自衛隊第2航空団所属Ｆ－15Ｊ型戦闘機空中接触（積丹上空）
10月　社会福祉協議会事務所新築移転（旧・市立総合病院看護婦宿舎位置）
1日　エアトランセ　就航（H19・3・31撤退）
11月9日　山三ふじや創業100年記念祝賀会開催

平成18（2006）年	2月20日	千歳市環境マネジメントシステムISO14001自己適合宣言
	4月1日	地域支援包括センター新設（新富ほっとす内）市内に4ブランチ設置
		職安千歳出張所、千歳公共職業安定所に昇格
		支笏湖動力船規制要綱発表
	7日	市民文化センターリニューアルオープン
	5月1日	家庭ごみの有料化実施
	6月1日	コリアンエアー　釜山線定期便就航
	7月1日	チャイナエアライン　台北線定期便就航
	15～17日	第1回スカイ・ビア＆YOSAKOI祭（スカイ＆ビアフェスタ＋YOSAKOIソーランちとせトーナメント祭）
	8月1日	市民活動交流センター「ミナクール」開設
	10月23日	千歳空港開港80年記念（献花式）
	この年	新千歳－羽田間航空路線年間乗降客数1千万人突破（年間1,014万2,091人）
19（2007）年	4月1日	市社会教育施設　指定管理者に運営移管始まる
	4日	ギャラクシーエアラインズ（貨物専用）就航（H20・10・6事業廃止）
	18日	エアチャイナ　北京線定期便就航
	20日	千歳アウトレットモール・レラ2期拡張オープン
	22日	市長選挙（無投票／6代市長　山口　幸太郎再選）
	5月2日	チャイナ・サザン航空　大連線定期便就航
	6月26日	天皇皇后両陛下、千歳サケのふるさと館御視察
	7月2日	市役所、旅券窓口開設
	11月	支笏湖漁業組合設立
20（2008）年	2月23・24日	長都地区暴風雪害　第7師団災害派遣・車両約50台救出等
	25～28日	在日米軍再編に伴う訓練移転初回実施（米海兵隊岩国FA－18×4）
	4月1日	子育て総合支援センター「ちとせっこセンター」開設（ちとせっこ児童館等併設）
		千歳保育所が民営化され千歳春日保育園になる
	24日	空港公園オープン（柏台南）
	7月1～10日	ジュニア・エイトサミット2008千歳支笏湖開催
	13日	市制施行50周年記念メインイベント（「第九」合唱演奏会）開催
	9月7日	市制施行50周年記念式典
	11月1・2日	世界ラリー選手権（WRC）第14戦ラリージャパン開催
21（2009）年	2月28日	イトーヨーカドー千歳店（ゆうまいタウンプラザ）閉店
	3月2日	戸長役場開庁130年記念式
	30日	千歳市開拓農業協同組合解散
	4月24日	スーパーアークス長都店（ちとせモール（旧・ゆうまいタウンプラザ））開店
	5月31日	市議会議員選挙
	7月27日	千歳・アンカレジ姉妹都市提携40周年記念式
	8月1・2日	支笏洞爺国立公園指定60周年記念事業開催
	24～28日	世界一周機「ニッポン」千歳出発70周年記念パネル展開催
	9月11日	支笏湖自然保護官事務所改築開所式
	15日	千歳命名205年・開庁130年記念事業「千歳の歴史写真展」開催
22（2010）年	3月19日	『新千歳市史　通史編　上巻』刊行
	26日	新千歳空港国際線旅客ターミナルビル供用開始
	4月1日	ほくよう児童館開館
		埋蔵文化財センター　長都移転（展示室等開設／旧・長都小中学校）
		フジドリームエアラインズ就航
	24日	防災学習交流センター「そなえーる」開設
	5月22・23日	第12回日中韓三カ国環境大臣会合開催
	7月1日	エアーニッポン就航（丘珠から移転）
	12月18日	道央圏連絡道路　寿－中央ランプ間供用
	28日	サハリン航空（現・オーロラ航空）　ハバロフスク線定期便就航（H23・3・27運休）
23（2011）年	2月29日	日本航空ジャンボ・ボーイング747－400D型機ラストフライト（退役ツアー）
	3月12日	3・11東日本大震災　千歳市災害対策本部設置

平成23（2011）年 4月　全国瞬時警報システム－ジェイ・アラート運用開始
1日　第６期総合計画（H23～32年度）スタート
ちとせ環境と緑の財団発足（環境保全公社＋緑化協会／H25・４・１公益財団法人）
24日　市長選挙（無投票／６代市長　山口　幸太郎再選）
市議会議員補欠選挙
5月5日　イースター航空（LCC＝格安航空）ソウル線定期便就航
6月1日　ホテル日航千歳売却　ホテルグランテラス千歳となる
7月1日　防災学習交流施設「防災の森」オープン
千歳市内ハイヤー・タクシー全面禁煙（全国最後）
15日　ジンエアー（LCC）ソウル線定期便就航
新千歳空港国内線旅客ターミナル商業施設リニューアルオープン
8月11日　観測史上最高気温34.2度記録（新千歳航空測候所）
31日　人口全道10位達成94,390人（室蘭市94,104人抜く）
9月9日　天皇陛下　千歳市役所行幸
24（2012）年 2月19日　第１回ちとせ・まち魅力検定実施（『要覧ちとせ』から出題）
3月1日　ピーチ・アビエーション（LCC）就航
23日　真町中学校閉校式
4月　勇舞中学校開校
1日　真々地保育所が民営化、あずさつくし保育園として移転開園
7月3日　ジェットスター・ジャパン（LCC・日本航空系）就航
10日　千歳警察署支笏湖駐在所改築開所式
8月1日　エアアジア・ジャパン（LCC・ＡＮＡ系／ＷＡＪ）就航（H25・10・26ＡＮＡ提携解消・運航終了→バニラ・エアへ社名変更）
9月4日　トランスアジア航空（H28・11・22解散決議）　台北線定期便就航（同日運休）
10月28日　ＡＮＡボーイング787型機就航（ＡＮＡ・日航　H25・１・16～５・25運航停止）
31日　タイエア　バンコク線定期便就航
ハワイアン航空　ホノルル線定期便就航
11月1日　花園コミュニティセンター　開設
3日　航空自衛隊千歳チーム　第38回社会人野球日本選手権初出場（京セラドーム大阪）
12月9日　新千歳空港国際線年間出入国者数100万人突破（年間107万9,400人）
11日　キウス周堤墓群「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」世界文化遺産候補構成資産に追加（縄文遺跡群世界遺産登録推進本部）
25（2013）年 1月　真冬日連続23日記録（アメダス観測史上第１位）月間真冬日28日
3月5日　支笏湖温泉第２泉源湧出（ナトリウム－炭酸水素塩・塩化物温泉／動力揚水33.2度）
4月　北海道千歳高等支援学校開校
1日　社会福祉協議会　福祉サービス公社事業継承
30日　人口９万５千人突破（95,094人）
5月11・12日　第１回グリーンベルトはるまつり開催（グリーンベルト芝生公園・千歳川河畔公園）
26日　市議会議員選挙（史上初無投票）
7月10日　広報「ちとせ」発刊1000号（S26創刊）
20日　「千歳民報」創刊50周年（S38創刊／苫小牧民報社）
8月3日　道央自動車道　新千歳空港インターチェンジ開業
10月1日　市消防本部ほか管内６消防本部－消防救急デジタル無線システム運用開始
12月23日　ティーウェイ航空（LCC）ソウル線定期便就航
26（2014）年 1月28日　チャイナ・サザン航空　広州線定期便就航（H26・３運休）
バニラ・エア（LCC・ＡＮＡ系（旧ＷＡＪ）現・ピーチ・アビエーション）就航
2月25・27日　越冬エゾシカ学術捕獲実施／銃器使用＋国道閉鎖－全国初
（国道453号（旧・支笏湖畔有料道路北側斜面）／酪農学園大ほか）
3月27日　北新子育て支援センター「げんきっこセンター」開館
希望が丘児童館開館
30日　ＡＮＡジャンボ・ボーイング747－400Ｄ型機退役フライト（ＮH74）
31日　千歳市土地開発公社解散

平成26（2014）年 4月1日　全国コンビニエンスストア市税等収納サービス開始
市営住宅窓口センター開設（指定管理－管理・入退去・収納業務等委託）
10日　しあわせサポートセンター開所（介護予防センター、更生保護サポートセンターほか入居）
13日　支笏湖温泉第２泉源配湯（第１泉源廃泉）
19日　「ダイナックスアリーナ（スポーツセンター）」リニューアルオープン（ネーミングライツスポンサー＝ダイナックス（H26・3・28調印））
5月12日　千歳青年会議所創立50周年記念式典（S39・5・10設立）
6月～8月　支笏湖ヒメマス釣果最多記録（解禁期間）15万8,741尾
7月21日　姉妹都市提携20周年を記念して指宿市から天然記念物・池田湖大うなぎ贈られる（「いぶりん」と命名し展示＝サケのふるさと千歳水族館）
28日　養護老人ホーム千寿園移転新築落成記念式典（８・１開所）（大和４丁目）
8月9日　航空自衛隊千歳管制隊無事故管制500万回達成（S37・1・1米空軍移管～）
9月11・12日　支笏湖地区集中豪雨（11日午前５時35分大雨特別警報発令／支笏湖地区住民に避難勧告、土石流により国道453号不通、美笛キャンプ場封鎖など）
市街－インディアン水車水没
10月1日　市民文化センター・ネーミングライツ「北ガス文化ホール」（ネーミングライツスポンサー＝北海道瓦斯（H26・９・25調印））
26日　スプリング航空（LCC）上海線定期便就航
11月20日　北海道国際航空（エア・ドゥ）国際チャーター便初運航（新千歳－台北）
12月19日　支笏湖ヒメマスふ化場改築落成（12・25開場式／旧施設解体H26・6・26）
ホンコン航空　香港線定期便就航
27（2015）年 2月1日　チャイナエアライン　高雄線定期便就航
17日　千歳公民館、文部科学省第67回優良公民館表彰受賞
18日　新千歳空港深夜早朝発着枠30回を苫小牧市地域協議会基本合意
3月7日　夕張シューパロダム竣工式（夕張市ゆうばり文化スポーツセンター）
29日　ティエンジン航空　天津線定期便就航
4月1日　石狩東部広域水道企業団千歳川浄水場供用（３・31通水式、供給先４市１町１企業団）
市立末広・北栄保育所廃止、幼保連携型認定こども園新設（市立２園、私立５園）
北海道空港、新千歳空港ロジスティクスセンター分譲開始（H25・11・15造成着手）
ふるさと千歳ナンバープレート（デザイン＝擬人化飛行機）、原付自転車などに交付開始
26日　市長選挙（無投票／６代市長　山口　幸太郎再選）
市議会議員補欠選挙
5月1日　合葬墓「千縁塚」埋葬始まる（末広第一霊園）
2日　エアアジアＸ（LCC）バンコク線定期便就航（代替運航＝マレーシア・エアアジアＸ）
16日　薬用作物集出荷貯蔵施設竣工（日本初／ＪＡ道央）
7月1日　千歳プレミアム付商品券発売開始
25日　千歳サケのふるさと館がサケのふるさと千歳水族館としてリニューアルオープン
8月8日　道の駅サーモンパーク千歳リニューアルオープン
24日　東川　孝　前千歳市長死去市葬執行（8/18逝去）
9月29日　製造品出荷額全道第４位（苫小牧・室蘭・札幌・千歳）平成26年工業統計調査速報値
10月1日　エアアジアＸ（LCC）クアラルンプール線定期便就航
15日　新千歳空港深夜早朝時間帯発着枠拡大（６便→30便・8/22地元合意）
28日　航空自衛隊第３高射群　地対空誘導弾ペトリオット（PAC3）を配備
11月12日　千歳市の自衛隊を支える中央大会開催（東京都千代田区砂防会館106人出席）
第40回土地区画整理全国大会（広島市）おさつ駅みどり台土地区画整理組合最高賞受賞

平成27（2015）年 12月３日　エアプサン（LCC）プサン線定期便就航
30日　支笏湖丸駒温泉旅館創業100年
28（2016）年 ２月６日　千歳市町内会連合会設立50周年記念式典
17日　平成27年国勢調査速報値　人口95,664人（対前回比2.2％増）
人口増加数全道第２位、人口増加率市部全道１位
23日　日本航空機・航空事故（福岡行ボーイング737／左エンジン発煙→機内流入→緊急脱出・原因＝着氷による不完全燃焼）
４月６日　デマンドバス「心－ふれあいバスおおぞら号」運行開始（長都・中長都・釜加）
５月１日　人口９万６千人突破（96,230人）
７月１日　アシアナ航空　ソウル線定期便就航
ペウレ千歳　「千歳ステーションプラザ」に名称変更
20日　チェジュ航空（LCC）ソウル線定期便就航
８月20日　スプリングジャパン（LCC）成田線定期便就航
９月26日　国産初小型ジェット旅客機ＭＲＪ初飛来
10月１日　市内バス路線再編
スクート（LCC）シンガポール線定期便就航
７日　千歳空港開港90周年記念　毛利　衛　宇宙飛行士特別講演会
12月25日　エアプサン（LCC）大邱線定期便就航
29（2017）年 ２月１日　コンビニ交付サービス開始（住民票、印鑑登録証明書など）
３月26日　フジドリームエアラインズ　山形線定期便就航
中国東方航空　南京線定期便就航
海南航空　杭州線・長沙線就航（H29・９・５運休）
４月１日　第２住吉保育園開設
北海道千歳リハビリテーション大学開学
上海吉祥航空　上海線定期便就航
５月28日　市議会議員選挙（女性過去最多６名当選）
８月８日　道の駅サーモンパーク千歳年間来場者数100万人突破（1,016,309人）
９月５日　千歳市休日夜間急病センター（ささえーる）診療開始
24日　ピーチ・アビエーション（LCC）台北線定期便就航
10月29日　エアアジア・ジャパン（LCC）中部線定期便就航
12月26日　支笏湖が2016年公共用水域水質測定結果で湖沼の部連続10年第１位
この年　路線別旅客数で新千歳－羽田が国際197路線で最多の905万1,293人
30（2018）年 ３月25日　アイベックスエアラインズ松山線定期便就航
４月１日　ちとせスマイル保育園開設
認定こども園おひさま開設
11日　エアアジアX（LCC）バンコク線定期便就航
18日　「千歳市人口ビジョン・総合戦略～みんなで97,000プロジェクト～」（平成28年３月策定）における目標人口９万７千人達成（97,012人）
５月８日　イースター航空（LCC）釜山線就航
７月２日　市制施行60周年記念式
９月６日　北海道胆振東部地震発生（午前３時７分頃）（安平町で震度６強）
10月29日　イースター航空（LCC）清州線定期便就航（R元・９・５運休）
11月26日　エアソウル（LCC）仁川線就航
12月　支笏湖が2017年公共用水域水質測定結果で湖沼の部連続11年第１位
７日　フィリピン航空　マニラ線定期便就航
21日　ウラル航空　ウラジオストク線定期便就航
31（2019）年 ２月12日　市役所第２庁舎開庁
３月１日　千歳命名215年・戸長役場開庁140年記念式
23日　マリンド・エア　クアラルンプール線就航
26日　陸上自衛隊第102弾薬大隊新編
28日　『新千歳市史　通史編　下巻』刊行
29日　札幌市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約締結
４月　公立千歳科学技術大学開学
１日　あんじゅ認定こども園開園
21日　市長選挙（無投票／６代市長　山口　幸太郎再選）

令和元（2019）年	8月30日	千歳市と恵庭市の連携施策の充実拡大に関する覚書の締結
	9月4日	千歳・アンカレジ市姉妹都市提携50周年記念式
	10月23日	千歳市成年後見支援センター開設
	11月1日	深圳航空　無錫線定期便就航
	29日	山東航空　青島線定期便就航
	12月16日	フィンランド航空　ヘルシンキ線定期便就航
		カンタス航空　シドニー線定期便就航
2（2020）年	1月14日	厦門航空　福州線定期便就航
	15日	北海道エアポートによる新千歳空港ターミナルビル経営開始
	17日	四川航空　成都線定期便就航
	3月26日	陸上自衛隊訓練評価支援隊新編
		新型コロナウイルスの影響により、新千歳空港国際線定期便全便運休
	4月1日	あさ陽認定こども園開園
		千歳市こども通園センターを千歳市児童発達支援センターに変更
	6月1日	北海道エアポートによる新千歳空港運営事業開始
3（2021）年	1月19日	新千歳空港年別乗降客数929万7,546人（対前年比62.2％減。34年ぶりに1,000万人を下回る）
	4月1日	第7期総合計画（R3～12年度）スタート
	5月30日	市議会議員選挙
	7月27日	キウス周堤墓群を構成資産に含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産登録
	11月1日	千歳市指定障害児相談支援事業所を千歳市こども相談支援室（愛称「あーち」）に名称変更
		千歳市こども発達相談室に愛称「はぐ」を追加
	11月30日	令和2年国勢調査確報値97,950人（対前回比2.4％増）
		人口増加数全道第2位、人口増加率市部全道1位
4（2022）年	4月	みどり台小学校開校
	1日	みどり台児童館開館
	5月1日	交通安全教育施設「交通公園」リニューアルオープン
	7月17日	2年4か月ぶりの国際線定期便となる大韓航空　ソウル線定期便再開
	10月16日	タイガーエア　台北線定期便就航
	28日	スターラックス航空　台北線定期便就航
5（2023）年	4月23日	市長選挙（無投票／7代市長　横田　隆一当選）
		市議会議員補欠選挙
6（2024）年	1月18日	深圳航空　深圳線定期便就航
	4月	学校法人日本航空学園日本航空高等学校北海道開校
	1日	民間児童発達支援センター道内3ヵ所目のちとせ児童発達支援センターはる開設
	11月28日	エアロK　清州線定期便就航
	12月17日	タイベトジェットエア　バンコク線定期便就航
	12月28日	北京首都航空　北京大興線定期便就航
7（2025）年	1月16日	セブパシフィック航空　マニラ線定期便就航
	4月25日	史跡キウス周堤墓群ガイダンスセンター開館
	6月15日	タイ・エアアジア　チェンマイ線定期便就航
	10月26日	ティーウェイ航空　釜山線定期便就航
	12月1日	タイ・ライオン・エア　ドンムアン線定期便就航
	12月17日	グレーターベイ航空　香港線定期便就航
8（2026）年	1月20日	新千歳空港年別乗降客数2,583万6,515人（対前年比107.8％）で年別過去最高
		＝国内線2,149万3,654人（105.2％）＋国際線434万2,861人（123.2％）
	4月21日	新千歳空港年度別乗降客数2,601万5,370人（対前年度比104.8％）で年度別過去最高
		＝国内線2,148万7,467人（102.6％）＋国際線452万7,903人（116.8％）

1　平成9年から千歳市は「開基」を「千歳命名○○年・開庁○○年」に改称したが、過去に実施した事業名までは変更していない

総務課

2　事業年表

(1) 泉沢開発事業

昭和45（1970）年９月	泉沢地域634haを11億７千万円で江別市から買収
47（1972）年12月	千歳市土地開発公社設立
49（1974）年６月	市議会議員協議会に基本構想の検討を報告
51（1976）年２月	市議会議員協議会に基本計画書を提出
３月	市議会「中核的工業団地造成に関する要望意見書」議決
52（1977）年７月	市議会「泉沢土地利用問題特別委員会」設置
９月	泉沢開発プロジェクトチーム「千歳市の将来と泉沢」発刊
53（1978）年６月	泉沢地区市街化区域編入
	住宅金融公庫宅地造成資金融資に係る計画承認
７月	工事中の防災措置に関する計画承認
８月	住宅地名称を「泉沢向陽台」に決定
	開発行為許可（都市計画法第29条）
	泉沢開発着工式挙行
53（1978）年10月	住宅地造成工事発注　一般分譲地予約受付開始
54（1979）年３月	市議会「泉沢地域開発等特別委員会」設置
10月	千歳臨空工業団地造成開始
11月	開村式挙行
56（1981）年４月	千歳臨空工業団地販売開始
57（1982）年４月	向陽台小学校開校
59（1984）年４月	向陽台保育園開園
７月	北海道電力臨空工業団地内変電所供給開始（６万６千ＫＶＡ）
８月	泉沢地区（２期住宅地）市街化区域編入
10月	千歳市消防署向陽台出張所完成
11月	全天候型テニスコート（３面）完成
60（1985）年３月	泉沢向陽台コミュニティ協議会発足
７月	向陽台水泳プール完成
９月	日本航空大学校千歳校（現・日本航空大学校北海道新千歳空港キャンパス）誘致決定
11月	千歳市白樺郵便局開局
61（1986）年３月	泉沢開発記念誌〈大いなる挑戦〉完成
４月	第２期計画に伴う環境影響評価書提出
５月	第２期計画に伴う防災協議成立
	泉沢地区（２期工業地）市街化区域編入
	第２期計画に伴う実施設計完成
７月	第２期計画に伴う住宅金融公庫宅地造成資金融資に係る計画承認
８月	第２期計画に伴う環境影響評価書確定告示
	第２期計画に伴う開発行為許可（都市計画法第29条）
10月	第２期開発着工式挙行
12月	第２期都市計画用途地域の変更告示
62（1987）年４月	泉沢向陽台コミュニティセンター完成
	向陽台中学校開校
63（1988）年４月	日本航空学園千歳校（現・日本航空大学校北海道新千歳空港キャンパス）開校
５月	第２期泉沢向陽台住宅地分譲開始
平成２（1990）年１月	業務施設用地の名称「千歳サイエンスパーク」と決定、分譲開始
３（1991）年４月	向陽台つくし幼稚園開園
12月	向陽台警察官派出所（現・向陽台交番）開設
５（1993）年５月	臨空工業団地に全天候型テニスコート（４面）完成
６（1994）年４月	向陽台公園完成
10月	住宅地文京ニュータウン造成開始
７（1995）年４月	北海道千歳リハビリテーション学院（現・北海道千歳リハビリテーション大学）開校
９月	住宅地文京ニュータウン分譲開始
10月	泉沢自然の森竣工・向臨橋竣工・渡橋式挙行・ハヤブサ公園完成・向陽台支所開設

平成８（1996）年７月　泉沢自然の森キャンプ場オープン
10月　泉沢開発事業最終完了検査
９（1997）年３月　竣工記念誌＜泉沢～森の中の新しい都市＞完成
４月　泉沢小学校開校
10（1998）年７月　泉沢向陽台１万人達成セレモニー実施
10月　泉沢竣工記念事業実施
13（2001）年１月　向陽台病院開院
16（2004）年４月　いずみさわ児童館開館
17（2005）年12月　道道泉沢新千歳空港線　供用開始
25（2013）年８月　道央自動車道新千歳空港インターチェンジ開業
26（2014）年３月　千歳市土地開発公社解散
29（2017）年４月　北海道千歳リハビリテーション大学開学
向陽台ファミリークリニック開院
令和３（2021）年９月　泉沢向陽台住宅地完売
５（2023）年６月　住宅地文京ニュータウン完売

企業振興課

（2）水道事業

昭和27（1952）年４月　水道事業施行議案可決
５月　上水道新設工事認可申請（昭和28年３月認可）
給水人口　22,000人　１人当たり225ℓ／日　最大配水量　4,950㎥／日
計画目標年次　昭和37年度
浄水施設：（春日浄水場）千歳川伏流水
配水施設：高架水槽・自然流下
９月　湖畔地区簡易水道工事施行議案可決
28（1953）年４月　簡易水道布設工事認可申請（昭和28年５月認可）
給水人口　2,000人　１人当たり150ℓ／日　最大配水量　450㎥／日
計画目標年次　昭和43年度
12月　上水道新設工事着手
簡易水道布設工事着手（昭和29年３月完成）
29（1954）年６月　千歳町上水道条例制定
30（1955）年１月　春日浄水場給水開始
32（1957）年12月　創設工事完成　総事業費　87,509千円
36（1961）年12月　第１期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口　40,000人　１人当たり250ℓ／日　最大配水量　10,000㎥／日
計画目標年次　昭和46年度
取水施設：内別川取水堰
導水施設：沈砂池、導水管
浄水施設：（蘭越浄水場）緩速ろ過池、塩素滅菌設備、浄水池
送水施設：送水ポンプ室、送水ポンプ、送水管
配水施設：配水管
37（1962）年８月　第１期拡張工事着手
39（1964）年10月　事業変更認可申請（第１期拡張事業変更）　予定事業費　280,000千円
浄水施設：緩速ろ過池から急速ろ過池に変更
配水施設：配水管
12月　蘭越浄水場給水開始
40（1965）年４月　料金改定　上水道36％値上げ
42（1967）年３月　第１期拡張工事完成　総事業費　221,905千円
43（1968）年３月　中央長都地区開拓地に特別給水
44（1969）年３月　第２期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口　85,000人　１人当たり400ℓ／日　最大配水量　34,000㎥／日
計画目標年次　昭和58年度　予定事業費　755,000千円
取水施設：内別川取水堰増改造
導水施設：導水管変更

昭和44（1969）年３月　浄水施設：着水井、混和池、急速ろ過池増設、塩素滅菌設備増設
送水施設：送水管増設、送水ポンプ室増設、送水ポンプ変更
配水施設：配水池増設、配水管
８月　第２期拡張工事着手
45（1970）年７月　ナイベツ川原水汚濁防止のため薬品混和池、沈澱池の補修着手（昭和46年12月完成）
46（1971）年10月　長都・釜加地区水道施設工事着手（昭和51年３月完成）
47（1972）年２月　事業変更認可申請（第２期拡張事業変更）
配水人口　85,000万人　１人１日最大給水量　400ℓ／日
１日最大給水量　34,000㎥／日　計画目標年次　昭和58年度
予定事業費　1,170,000千円
浄水施設：混和地変更、フロック形成池、沈殿池
送水施設：送水ポンプ室増設
12月　駒里地区に専用水道利用組合設立、上水道分水
48（1973）年12月　航空自衛隊千歳基地へ分水開始
49（1974）年10月　陸上自衛隊北千歳駐屯地へ分水開始
50（1975）年11月　陸上自衛隊東千歳駐屯地へ分水開始
51（1976）年７月　料金改定　上水道、簡易水道61.76％値上げ
53（1978）年２月　第２期拡張工事事業の一部変更申請・認可
給水人口　68,250人　１人１日最大給水量　498ℓ／日
１日最大給水量　34,000㎥／日　計画目標年次　昭和58年度
事業費継続分　1,670,934千円
新規分　1,099,471千円　} 2,770,405 千円
送水施設：送配水管、泉沢送水ポンプ
配水施設：泉沢高架配水池、駒里配水池（ポンプ）、泉郷配水池（ポンプ）、塩素滅菌設備（駒里、泉郷）
３月　駒里専用水道廃止
４月　支笏湖畔地区簡易水道第１期拡張事業変更申請・認可
給水人口　450人　１人当たり最大給水量　2,888ℓ／日
最大給水量　1,300㎥／日　計画目標年次　昭和62年度
取水施設：深井戸
導水施設：導水ポンプ・導水管
浄水施設：混和池
配水施設：配水池・配水本管
55（1980）年４月　料金改定　簡易水道272.24％値上げ
57（1982）年２月　第３期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口　77,400人　１人１日最大給水量　542ℓ／日
１日最大給水量　42,000㎥／日　計画目標年次　昭和60年度
予定事業費　4,347,000千円
取水施設：祝梅川取水井
導水施設：祝梅川集水井
浄水施設：浄水池
送水施設：送水ポンプ増設
配水施設：蘭越配水池増設、上長都高架配水池、配水管
58（1983）年４月　料金改定　上水道45.5％値上げ
12月　上長都高架配水池（球形ＲＣドームＰＣ造　2,034㎥）新設
59（1984）年４月　石狩東部広域水道企業団（漁川浄水場）から受水開始
62（1987）年３月　薬品沈澱池　１池（12,500㎥）築造
第４期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口　82,470人　１人１日最大給水量　544ℓ／日
１日最大給水量　44,800㎥／日　計画目標年次　平成４年度
予定事業費　2,676,000千円
浄水施設：フロック形成池増設、沈殿池増設
送水施設：送水ポンプ増設、泉沢送水ポンプ増設、送水管
配水施設：蘭越配水池変更、配水管
63（1988）年７月　東千歳地区水道管布設工事着手（平成元年11月完成）
12月　東千歳地区一部給水開始

平成元（1989）年４月　料金改定　上水道、簡易水道３％値上げ（消費税相当分）
10月　名水ふれあい公園開園
２（1990）年４月　料金改定　上水道、簡易水道1.93％値下げ
３（1991）年６月　事業変更認可申請（第４期拡張事業変更）
第４期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口　82,200人　１人１日最大給水量　544ℓ／日
１日最大給水量　44,800㎥／日　計画目標年次　平成５年度
予定事業費　2,677,000千円
取水施設：千歳川取水口
導水施設：千歳川導水管、導水ポンプ
浄水施設：蘭越配水池変更
４（1992）年２月　千歳川からの取水開始（祝梅川水利権の振替）
６（1994）年８月　第５期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口　89,400人　１人１日最大給水量　568ℓ／日
１日最大給水量　50,800㎥／日　計画目標年次　平成10年度
予定事業費　6,491,100千円
取水施設：深井戸
導水施設：導水管
配水施設：塩素滅菌設備、オゾン接触層、活性炭接触
７（1995）年11月　千歳市公営企業経営審議会設置
８（1996）年４月　新千歳空港周辺プロジェクト関連の幹線配水管整備事業着手（平成15年３月完成）
７月　地下水高度浄水処理施設稼動
10月　料金改定　上水道45.90％、簡易水道28.39％値上げ
９（1997）年４月　料金改定　上水道、簡易水道２％値上げ（消費税相当分）
10（1998）年３月　蘭越浄水場新管理棟完成
10月　蘭越浄水場浄水池及び送水ポンプ場建設着手
12（2000）年３月　蘭越浄水場浄水池及び送水ポンプ場供用開始
４月　下水道事業と組織統合
13（2001）年４月　水道局新庁舎新築移転
15（2003）年11月　フロック形成池・沈澱池機械設備・上屋建築工事着手
17（2005）年２月　薬品注入設備増設（建築・機械・電気）
３月　フロック形成池・沈澱池機械設備・上屋建築工事完成
７月　急速ろ過池洗浄強度増強工事着手
８月　第６期拡張事業変更申請・認可
給水人口　93,900人　１人１日最大給水量　597ℓ／日
１日最大給水量　54,400㎥／日　計画目標年次　平成27年度
配水施設：配水池新設
18（2006）年９月　臨空工業団地配水池・泉沢幹線配水管事業着手
20（2008）年10月　臨空工業団地配水池工事着手
21（2009）年３月　泉沢幹線配水管工事着手
急速ろ過池洗浄強度増強工事完成
24（2012）年８月　事業変更認可申請（第６期拡張事業変更）
給水人口94,800人　１人１日最大給水量　574ℓ／日
１日最大給水量　54,400㎥／日　計画目標年次　平成34年度
配水施設：配水管
26（2014）年４月　料金改定　上水道、簡易水道３％値上げ（消費税相当分）
27（2015）年３月　臨空工業団地配水池・泉沢幹線配水管供用開始
４月　石狩東部広域水道企業団（千歳川浄水場）から受水開始
30（2018）年４月　料金改定　上水道17.5％値上げ
令和元（2019）年10月　料金改定　上水道、簡易水道２％値上げ（消費税相当分）
２（2020）年４月　重要給水施設配水管整備事業着手
５（2023）年３月　第６期拡張事業変更申請・認可
給水人口　97,300人　１人１日最大給水量　567ℓ／日
１日最大給水量　54,400㎥／日　計画目標年次　令和15年度
８（2026）年３月　第６期拡張事業変更申請・認可
浄水方法の一部変更　膜ろ過法の追加

水道局総務課

(3) 清掃事業

昭和31（1956）年	清掃条例施行　じん芥は特別清掃区域を設け、町（失業対策事業）が処理
33（1958）年	市制施行、計画収集地域を定め、市直営じん芥計画収集を実施
	じん芥処理手数料賦課制徴収
34（1959）年	じん芥捨場指定（美々）
37（1962）年	清掃条例全面改正、「千歳市清掃条例」制定
39（1964）年	じん芥処理手数料賦課制から従量制に改正
42（1967）年	末広し尿処理場完成運転開始（嫌気性加温消化方式、処理能力54kℓ／日）
43（1968）年	千歳市衛生団体連合会発足
44（1969）年	じん芥収集従量制からパック方式（紙袋）に改正、手数料無料化実施、市内ごみ箱全廃清掃センター完成
47（1972）年	廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行　事業系廃棄物処理、埋立手数料徴収
48（1973）年	じん芥、し尿計画収集完全実施（市街化区域内）
	美々廃棄物処理場（約12ha）　汚水浄化槽設置
	農村地域じん芥収集実施（３回／年）
	大型じん芥収集実施（１回／月）
55（1980）年	千歳市廃棄物処理計画の基本構想策定
	トラックスケール施設装置
56（1981）年	千歳市環境保全公社設立（７月19日財団法人化）
57（1982）年	千歳市リサイクルセンター完成
59（1984）年	有害物を多く含んだ特定のごみ分別収集実施（１回／月）
	美々廃棄物埋立処分場及び浸出水処理施設設置
	一般家庭じん芥（可燃ごみ・不燃ごみ）分別モデル地区（３地区）設定、分別収集実施
60（1985）年	普通じん芥（可燃ごみ・不燃ごみ）分別収集実施
	千歳市環境センター破砕処理場完成
63（1988）年２月	千歳市廃棄物処理基本計画策定
平成元（1989）年12月	千歳市環境センター車庫棟完成
２（1990）年１月	千歳市焼却処理場完成
２月	千歳市環境センター管理棟完成
３（1991）年４月	コンポスト容器購入補助金助成開始
５（1993）年４月	千歳市廃棄物の処理及び清掃に関する条例全部改正
９月	千歳市廃棄物減量等推進審議会設置
６（1994）年３月	汚水投入施設稼動（処理能力28kℓ／日）
	小動物焼却施設建設（焼却能力最大170kg／時間）
４月	廃棄物処理手数料改定（じん芥処理手数料、埋立等処分手数料）
７（1995）年３月	千歳市廃棄物最終処分場建設
	埋立面積46,800㎡（容積362,764㎥）
	浸出水処理施設　平均120㎥／日
８（1996）年４月	収集曜日の変更
８月	容器包装リサイクル法に基づく第１期「千歳市分別収集計画」策定
９（1997）年４月	農村地域（３回／月）から（４回／月）へ変更
10月	市指定ごみ袋の実施
10（1998）年４月	中心街事業系廃棄物の自己処理化実施（プリペイド方式の導入）
	千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
11（1999）年５月	容器包装リサイクル法に基づく第２期「千歳市分別収集計画」策定
13（2001）年４月	千歳市廃棄物の処理等に関する条例の一部改正
	新リサイクルセンター完成運転開始
	４種資源物収集（１回／週）の実施
	市街地区じん芥収集運搬業務の完全民間委託
	祝日収集の実施
	大型ごみの戸別収集実施
	特定家庭用機器の戸別収集実施
	有害ごみ収集（１回／月）から（１回／週）へ変更

平成14（2002）年５月	容器包装リサイクル法に基づく第３期「千歳市分別収集計画」策定
11月	１号焼却炉のダイオキシン対策工事完了
15（2003）年３月	千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
４月	農村地域の可燃ごみ収集（２回／月）から（１回／週）へ変更
16（2004）年３月	千歳市廃棄物の処理等に関する条例の一部改正
17（2005）年３月	２号焼却炉のダイオキシン対策工事完了
４月	廃棄物処理手数料改定（じん芥処理手数料、埋立等処分手数料）
６月	容器包装リサイクル法に基づく第４期「千歳市分別収集計画」策定
18（2006）年３月	千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
５月	家庭ごみの有料化実施
11月	千歳市廃棄物最終処分場（第２埋立処理場）埋立終了 千歳市廃棄物最終処分場（第３埋立処理場）完成 埋立面積45,000㎡（容積310,000㎥） 浸出水処理施設 120㎥／日
19（2007）年３月	南空知公衆衛生組合「可燃性一般廃棄物の処理に関する協定書」締結 （期間：H19年度試験受入・H20・４・１からH27・３・31まで）
６月	容器包装リサイクル法に基づく第５期「千歳市分別収集計画」策定
21（2009）年４月	廃棄物処理手数料改定（事業系一般廃棄物処理手数料、産業廃棄物処分費用、し尿処理手数料、浄化槽汚泥処理手数料、生活雑排水処理手数料）
22（2010）年４月	千歳市環境センターの施設運転管理を民間企業に全面委託
６月	容器包装リサイクル法に基づく第６期「千歳市分別収集計画」策定
12月	プラスチック製容器包装有料収集開始に伴う千歳市廃棄物の処理等に関する条例の一部改正
23（2011）年３月	千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
８月	新破砕処理場（太陽光発電装置付）完成運転開始
10月	プラスチック製容器包装収集（１回／週）の実施
24（2012）年３月	道央地域ごみ処理広域化推進協議会に参画表明
５月	第24回道央地域ごみ処理広域化推進協議会開催、千歳市の参画が決定、千歳市長が会長に就任
10月	新たな集団資源回収システム（奨励金方式）の実施
25（2013）年６月	容器包装リサイクル法に基づく第７期「千歳市分別収集計画」策定
26（2014）年２月	道央廃棄物処理組合設立、千歳市長が管理者に就任
３月	道央地域ごみ処理広域化推進協議会解散
４月	廃棄物処理手数料改定（事業系一般廃棄物処理手数料、産業廃棄物処分費用、し尿処理手数料、浄化槽汚泥処理手数料、生活雑排水処理手数料）使用済み小型家電の回収を実施
12月	南空知公衆衛生組合「可燃性一般廃棄物の処理に関する協定書」延長 （期間H27.4.1からH36.3.31まで）
28（2016）年３月	千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
５月	千歳市災害廃棄物処理計画策定
６月	容器包装リサイクル法に基づく第８期「千歳市分別収集計画」策定
31（2019）年４月	廃棄物処理手数料改定（事業系一般廃棄物処理手数料、産業廃棄物処分費用、し尿処理手数料）
令和元（2019）年６月	容器包装リサイクル法に基づく第９期「千歳市分別収集計画」策定
３（2021）年３月	千歳市一般廃棄物処理基本計画改訂
４（2022）年１月	道央廃棄物処理組合構成自治体による、今後の最終処理場の共同処理に向け、道央廃棄物処理組合規約を改正
６月	容器包装リサイクル法に基づく第10期「千歳市分別収集計画」策定
６（2024）年４月	道央廃棄物処理組合焼却処理施設供用開始
７月	道央廃棄物処理組合焼却処理施設の供用開始に伴う、環境センター焼却処理場廃止

令和７（2025）年３月　計量所の移設整備
４月　廃棄物処理手数料改定（事業系一般廃棄物処理手数料、産業廃棄物処分費用、し尿処理手数料）
８（2026）年３月　千歳市一般廃棄物処理基本計画改訂

廃棄物業務課・廃棄物施設課

（4）病院事業

昭和22（1947）年１月　日本医療団千歳病院開院（旧・千歳海軍航空隊隊外酒保）
23（1948）年８月　道立千歳病院となる
病床数　50
診療科 内科・外科・産婦人科
42（1967）年４月　道から移管、千歳市立病院となる
病床数　132
診療科 内科・外科・小児科・産婦人科・整形外科・耳鼻咽喉科
48（1973）年８月　病院増改築第１期工事着工
50（1975）年　第２期工事完成　病床数200（一般病棟171・結核病棟29）
51（1976）年３月　増改築全工事完成　千歳市立総合病院と改称
眼科・皮膚科開設
59（1984）年４月　泌尿器科開設
平成２（1990）年４月　麻酔科開設
６（1994）年４月　泉郷診療所開設
12（2000）年４月　支笏湖診療所　保健福祉部より所属替え
13（2001）年10月　脳神経外科開設
14（2002）年９月　市立総合病院新築移転（一般病棟 190床）
市立千歳市民病院と改称
循環器科開設
15（2003）年10月　消化器科開設
17（2005）年４月　地域医療連携室設置
18（2006）年12月　㈶日本医療機能評価機構による「病院機能評価（Ver.５）」の認定を受ける
20（2008）年７月　看護基準７対１取得
21（2009）年２月　市立千歳市民病院改革プラン策定
３月　電子カルテシステム導入
４月　ＤＰＣ（診断群分類による包括医療制度）運用開始
24（2012）年１月　㈶日本医療機能評価機構による「病院機能評価（Ver.６）」の認定を更新する
25（2013）年４月　医療安全管理室、感染対策室設置
７月　助産外来開設
26（2014）年３月　市立千歳市民病院中期経営計画策定
29（2017）年２月　㈶日本医療機能評価機構による「病院機能評価（３rdG：Ver.1.1）」の認定を更新する
３月　地域包括ケア病床開設（16床）
市立千歳市民病院中期経営計画（改訂版）策定
７月　千歳市地域連携ネットワークシステム「ちえネット」運用開始
令和元（2019）年６月　入院支援センター開設
10月　緩和ケア病床開設（２床）
５（2023）年10月　市立千歳市民病院経営強化プラン策定
６（2024）年４月　患者サポートセンター開設

市立千歳市民病院事務局総務課

（5）下水道事業

昭和36（1961）年８月　都市下水路として下水道事業着手
39（1964）年５月　千歳市公共下水道事業認可（第１次（当初）認可）
処理面積　130ha
６月　千歳市下水道条例制定
44（1969）年７月　第２次（第１回変更）認可
処理面積　330ha
46（1971）年５月　千歳下水終末処理場建設着手
48（1973）年６月　第３次認可
処理面積　990ha
51（1976）年４月　千歳市水洗便所改造資金貸付条例制定
５月　千歳下水終末処理場運転開始
処理能力　7,400㎥／日
52（1977）年２月　第４次認可（支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業の追加）
処理面積（支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業のみ）31ha
７月　東雲汚水中継ポンプ場建設着手
12月　第５次認可（支笏湖畔下水終末処理場構造変更）
53（1978）年４月　東雲汚水中継ポンプ場運転開始
12月　支笏湖畔下水終末処理場建設着手
54（1979）年４月　千歳下水終末処理場第１系列拡張完了運転開始
処理能力　22,200㎥／日
10月　第６次認可（泉沢地区の区域拡大）
処理面積　1,519ha
58（1983）年２月　下水道使用料改定
支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業受益者分担金に関する条例制定
８月　支笏湖畔下水終末処理場（支笏浄湖苑）運転開始
処理能力　1,080㎥／日
59（1984）年２月　千歳川横断下水道工事完成
口径　3,000㎜
４月　豊里汚水中継ポンプ場運転開始（暫定）
60（1985）年12月　第１・２・３工業団地汚水受入開始
61（1986）年４月　千歳下水終末処理場第２系列運転開始
処理能力　29,600㎥／日
62（1987）年３月　第７次認可（泉沢地区の区域拡大）
処理面積　1,970ha
４月　豊里汚水中継ポンプ場運転開始
千歳下水終末処理場第２系列拡張完了運転開始
処理能力　44,400㎥／日
63（1988）年７月　第８次認可（旭ヶ丘、上長都地区の区域拡大）
処理面積　2,054ha
12月　デザイン公共桝蓋設置（仲の橋通）
平成４（1992）年２月　千歳下水終末処理場第３系列運転開始
処理能力　56,000㎥／日
３月　第９次認可（美々汚泥処理センターを反映）
処理面積　2,590ha
５（1993）年４月　第10次認可（合流区域の分流化を反映）
処理面積　2,730ha
６（1994）年２月　第11次認可（支笏湖畔処理区拡張）
処理面積（支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業のみ）40ha
４月　個別排水処理施設整備事業開始
６月　第12次認可（美々、流通地区の区域拡大）
処理面積　3,016ha
７（1995）年３月　千歳下水終末処理場汚泥乾燥設備運転開始
７月　千歳市特定環境保全公共下水道事業受益者分担金条例制定

平成８（1996）年１月　第13次認可（OA、根志越第３地区の区域拡大）
　処理面積　3,078ha
３月　千歳下水終末処理場第３条系列拡張完了運転開始
　処理能力67,600㎥／日
９（1997）年３月　美々汚泥処理センター建設工事着手
10（1998）年８月　第14次認可（勇舞、根志越第４、蘭越地区の区域拡大）
　処理面積　3,197ha
11（1999）年６月　第15次認可（蘭越地区の区域拡大）
　処理面積　3,216ha
12（2000）年４月　地方公営企業法適用し、水道事業と組織統合
６月　第16次認可（みどり台、北信濃第3地区の区域拡大）
　処理面積　3,309ha
13（2001）年４月　水道局新庁舎に移転
８月　第17次認可（勇舞第２地区を区域拡大）
　処理面積　3,319ha
千歳下水終末処理場を千歳市浄化センターへ、美々汚泥処理センターを千歳市スラッジセンターへ名称変更
15（2003）年４月　千歳市スラッジセンター第１系列供用開始
16（2004）年３月　第18次認可（支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業の期間延伸）
10月　千歳市浄化センター第４系列運転開始
　処理能力　79,200㎥／日
18（2006）年３月　第19次認可（事業期間延伸）
19（2007）年３月　第20次認可（合流式下水道緊急改善事業を反映）
４月　千歳市スラッジセンター第２系列供用開始
20（2008）年４月　第21次認可（北陽高校前地区の区域拡大）
　処理面積　3,350ha
21（2009）年１月　第22次認可（あずさ地区の区域拡大）
　処理面積　3,357ha
23（2011）年２月　第23次認可（支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業の期間延伸）
24（2012）年２月　第24次認可（千歳処理区と支笏湖畔処理区の統合を反映）
　処理面積　3,402ha
　浄化センターの処理能力　74,200㎥／日
　浄化センター場内ポンプ場雨水滞水池供用開始
26（2014）年３月　第25次認可（平和地区の区域拡大）
　処理面積　3,452ha
　浄化センターの処理能力　64,200㎥／日
　水処理系列を4.0系列から3.5系列に変更
４月　下水道使用料改定　３％値上げ（消費税相当分）
28（2016）年６月　第26次認可
29（2017）年４月　支笏湖畔処理区の汚水の浄化センターへの汚水流下開始
９月　第27次認可（千歳川第15排水区と第16排水区の区域変更）
30（2018）年４月　下水道使用料改定　15.0％値下げ
31（2019）年２月　第28次認可（千歳市スラッジセンターの汚泥処理方法変更）
令和元（2019）年10月　下水道使用料改定　２％値上げ（消費税相当分）
３（2021）年３月　第29次認可（事業期間延伸）

水道局総務課

3　資料入手先一覧

章	事業所名	住所地	電話
4	国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所さけますセンター千歳さけます事業所	千歳市蘭越無番地	0123 23－2804
7	道央農業協同組合千歳支店	千歳市高台５丁目１－15	0123 23－5151
7	千歳金融協会	千歳市千代田町３丁目11番地北洋銀行千歳中央支店内	0123 23－3111
8	北海道エアポート㈱	千歳市美々987－22	0123 46－5100
8	日本郵便㈱北海道支社	札幌市中央区北２条西４丁目３	011 214－4013
8	ＮＥＸＣＯ東日本北海道支社	札幌市厚別区大谷地西５丁目12－30	011 896－5804
8	北海道旅客鉄道㈱	札幌市中央区北11条西15丁目	011 700－5717
8	千歳地区ハイヤー事業協同組合	千歳市末広１丁目４－８	0123 23－2731
8	北海道中央バス㈱千歳営業所	千歳市青葉２丁目16	0123 23－2171
8	道南バス㈱	室蘭市東町３丁目25－３	0143 45－2131
8	千歳相互観光バス㈱	千歳市里美２丁目１－５	0123 28－8822
8	あつまバス㈱	勇払郡厚真町字本郷229－１	01452 7－2311
8	十勝バス㈱	帯広市西23条北１丁目１番１号	0155 37－6500
8	富士交通㈱	恵庭市住吉町２丁目１番３号	0123 33－6271
8	ＮＴＴ東日本－北海道	札幌市中央区北１条西４丁目	011 212－4479
9	北海道開発局札幌開発建設部	札幌市北区北２条西19丁目	011 611－0111
9	北海道開発局建設部	札幌市北区北８条西２丁目札幌第１合同庁舎	011 611－0239
9	北海道空知総合振興局札幌建設管理部千歳出張所	千歳市桂木６丁目１－28	0123 23－4191
10	王子製紙㈱苫小牧工場	苫小牧市王子町２丁目１－１	0144 32－0438
10	北海道ガス㈱千歳支店	千歳市清水町１丁目１－１	0123 26－8600
11	北海道石狩振興局	札幌市中央区北３条西７丁目５	011 231－4111
11	北海道千歳高等学校	千歳市北栄１丁目４－１	0123 23－9145
11	北海道千歳北陽高等学校	千歳市北陽２丁目10	0123 24－2818
11	日本航空高等学校北海道	千歳市泉沢1007－95	0123 28－1155
11	北海道千歳高等支援学校	千歳市真々地２丁目３－１	0123 23－6681
11	公立千歳科学技術大学	千歳市美々758－65	0123 27－6001
11	北海道千歳リハビリテーション大学	千歳市里美２丁目10	0123 28－5331
12	千歳公共職業安定所	千歳市東雲町４丁目２－６	0123 24－2177
13	北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室	千歳市東雲町４丁目２	0123 23－3175

章	事業所名	住所地	電話
14	北海道警察札幌方面千歳警察署	千歳市東雲町５丁目	0123 42－0110
16	北海道運輸局室蘭運輸支局苫小牧海事事務所	苫小牧市港町１丁目６－15	0144 32－5901
19	陸上自衛隊第七師団司令部総務課	千歳市祝梅1016	0123 23－5131
19	陸上自衛隊第一特科団本部広報班	千歳市北信濃724番地	0123 23－2106
19	陸上自衛隊第一高射特科団第一科広報班	千歳市祝梅1016	0123 23－5131
19	航空自衛隊千歳基地第２航空団司令部監理部広報室	千歳市平和無番地	0123 23－3101

1　資料入手先事業所名は順不同
総務課

要 覧 ち と せ

令和８年版

令和８年10月発行

発行　北海道千歳市
〒066-8686 千歳市東雲町２丁目34番地

編集　千歳市総務部総務課
電話（0123）24－0137（直通）

印刷　千歳印刷株式会社